

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
1	<p>第1編 総則 第1節 計画の主旨</p> <p>2 計画の基本的な考え方</p> <p>(1) 減災対策の推進</p> <p>災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本に、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最優先とし、また、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせて災害に備えることとする。</p> <p>(4) 多様な主体の協働により立ち向かう防災の推進</p> <p>県民、民間団体、事業者、行政機関等、多様な主体が相互に連携しながら協働して防災の取り組みを推進することとする。</p> <p>その際、男女共同参画の視点から、地域防災計画修正や避難所運営等の応急対策、復旧・復興対策など、災害対策のあらゆる場・組織における女性の参画を促進することとする。併せて、障害者、高齢者等の災害時要援護者の参画を促進することとする。</p> <p>また、救援物資、避難所の設置・運営等の対策面において、災害時要援護者や女性や子育て家庭のニーズに配慮することとする。</p>	1	<p>第1編 総則 第1節 計画の主旨</p> <p>2 計画の基本的な考え方</p> <p>(1) 減災対策の推進</p> <p>災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念とする。たとえ被災したとしても人命が失われないことを最優先とし、また、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせて災害に備えることとする。</p> <p><u>災害対策の実施にあたっては、最新の科学的知見に基づき、起こりうる災害及びその災害によって引き起こされる被害を適時、的確に想定するとともに、過去に起こった大規模災害の教訓を踏まえ、絶えず対策の改善を図ることとする。</u></p> <p>(4) 多様な主体の協働により立ち向かう防災の推進</p> <p><u>災害対策の実施にあたっては、県民、民間団体、事業者、行政機関等、多様な主体がその役割を果たすとともに、相互に密接な連携を図りながら協働して防災の取り組みを推進することとする。併せて、住民一人一人が自ら行う防災活動や、地域の防災力向上のために自主防災組織や地域の事業者等が連携して行う防災活動を促進することで、国、公共機関、地方公共団体、事業者、住民等が一体となって対策をとらなければならない。</u></p> <p>その際、男女共同参画の視点から、地域防災計画修正や避難所（災害対策基本法第49条の7に規定する「指定避難所」。以下同じ。）や避難場所（災害対策基本法第49条の4に規定する「指定緊急避難場所」。以下同じ。）の設置・運営等の応急対策、復旧・復興対策など、災害対策のあらゆる場・組織における女性の参画を促進することとする。併せて、障害者、高齢者等の災害時要援護者（災害対策基本法第8条に規定する「要配慮者」。以下同じ。）の参画を促進することとする。</p> <p>また、救援物資、避難所の設置・運営等の対策面において、災害時要援護者や女性や子育て家庭のニーズに配慮することとする。</p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
	追加	2	<p>4 重点を置くべき事項</p> <p>本県は、平成16年の度重なる台風災害をはじめ、過去に多くの風水害を経験してきた。また、阪神・淡路大震災の経験と教訓や、東日本大震災への支援の経験は、風水害等の災害対策にも活かさなければならぬものがある。</p> <p>こうした観点から、特に重点を置くべき事項を次のとおりとする。</p> <p>(1) 災害への即応力の強化</p> <p>被害の甚大な地域ほど情報が少ないという教訓を踏まえ、情報は自ら取りに行くという姿勢のもと、災害発生時の積極的な情報の収集・伝達・共有体制を強化するとともに、国、関西広域連合、県、市町、実動機関等の間で、連携・協力・支援の体制を構築すること。</p> <p>(2) 被災地への迅速な物資供給と要員派遣</p> <p>被災現場は混乱しており、具体的な支援ニーズの発信が困難であるという教訓を念頭に支援ニーズの把握に努めるとともに、これまでの被災経験を踏まえて、必要とされる物資及び要員についての緊急支援を確実に被災地に届く仕組みを整備すること。</p> <p>(3) 県民の円滑かつ安全な避難</p> <p>県民の避難行動は安全が第一であるという原則に則り、平常時から緊急時の避難場所や避難路等について、ハザードマップや実践的な避難訓練を通じて住民との情報共有を図ること。また、雨量や河川水位等に関する情報をもとに、空振りを恐れることなく迅速、的確な避難勧告等の発令に資する取り組みや、夜間の突発的な豪雨等においても構築する確実な情報伝達手段の整備に努め、特に、災害時要援護者の避難にあたっては、避難支援体制の充実強化を促進すること。</p> <p>(4) 被災者へのきめ細やかな支援</p> <p>被災者の一刻も早い生活復興を支援するため、トイレ対策等生活環境を含めた避難所の運営を適切に行うこと。また、迅速に家屋被害認定を行うとともに、被災者支援システム(被災者台帳)などの仕組みの活用も図り、被災者のニーズに応じたきめ細やかな各種支援施策の具体化や周知に努めること。</p>	国防災基本計画にあわせた修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	2	<p><u>(5) 事業者や県民との連携</u> <u>食料や生活用品等物資の供給をはじめ、多様な分野で民間からの支援を得るため、事業者や事業者団体との間に災害時応援協定を締結するなど、平常時から連携体制の強化を図ること。自主防災組織や消防団等、住民主体による地域防災力の充実強化を支援し連携を深めること。</u></p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>
2	4 計画の構成	3	<p><u>(6) 円滑かつ迅速な復興</u> <u>住民の参画なくして地域の復興はなし得ないという教訓を踏まえ、住民と行政をつなぐ中間支援組織など多様な主体の参画のもと、創造的復興を目指す復興計画等を策定する仕組みを整備すること。</u></p>	
			5 計画の構成	

頁	現 行					頁	修 正 案					対応	
4	第2節 防災機関の事務又は業務の大綱					5	第2節 防災機関の事務又は業務の大綱					関係機関からの修正意見に基づく修正	
	第1 指定地方行政機関						6	第1 指定地方行政機関					
	機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧	災害復興			機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧		災害復興
	近畿経済産業局		1 災害対策用物資の適正な価格による円滑な供給の確保 2 事業者(商工業等)の業務の正常な運営の確保	1 生活必需品・復旧資機材の円滑な供給の確保 2 被災中小企業の復興 3 ライフライン(電力、ガス、工業用水道)の復旧対策	1 被災地の復興支援 2 ライフライン施設等の本格復興 3 被災中小企業の復興その他経済復興の支援			近畿経済産業局		1 災害対策用物資の調達に関する情報の収集及び円滑化 2 災害時における所管事務に関する情報の収集及び円滑化 3 電力・ガスの供給の確保	1 生活必需品・復旧資機材等の調達に関する情報の収集及び円滑化 2 被災中小企業の事業再開に関する相談・支援 3 電力、ガス、工業用水道の復旧支援		1 被災地の復興支援 2 電力・ガス施設等の本格復興 3 被災中小企業の復興その他経済復興の支援
大阪航空局(仮設置機関)		1 災害時における航空機による輸送の安全確保 2 遭難航空機の捜索及び救助	被災空港施設(直轄)の復旧		大阪航空局(仮設置機関)		1 災害時における航空機による輸送の安全確保 2 遭難航空機の捜索及び救助	航空保安施設の復旧					
神戸海洋気象台					神戸地方気象台								
海上保安本部					第五管区海上保安本部 第八管区海上保安本部 (船舶海上保安本部) ※以下海上保安本部とする。								
5	第5 指定公共機関					8	第5 指定公共機関						組織名変更による修正 関係機関からの修正意見に基づく修正
	機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧	災害復興		機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧	災害復興		
	郵便事業(株) (神戸支店郵便局(株))						日本郵便(株) (神戸支店郵便局)						
	本州四国連絡高速道路(株) (神戸支店)						本州四国連絡高速道路(株) (神戸支店) (神戸支店)						
新関西国際空港(株)	消火救急体制の整備	災害時における消火救急体制の構築	被災空港施設(直轄)の復旧		新関西国際空港(株)	航空施設の整備と防火管理	航空機による輸送の安全確保と空港施設の維持管理	被災空港施設の復旧					
					ワコパルコ(株) ワコバンク(株)	電気通信設備の整備と防災管理	電気通信の迅速確保と設備の応急対策の取組	被災電気通信設備の災害復旧					
7	追 加					9						指定公共機関追加による修正	

頁	現 行					頁	修 正 案					対応	
8	第6 指定地方公共機関					9	第6 指定地方公共機関					組織名変更による修正 関係機関からの修正意見に基づく修正	
	機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧	災害復興		機関名	災害予防	災害応急対策	災害復旧	災害復興		
	鉄道等輸送機関 山陽電気鉄道㈱ 阪急電気㈱ 阪神電気鉄道㈱ 神戸臨海鉄道㈱ 神戸新交通㈱ 北神急行電鉄㈱ 能勢電気㈱ 北条鉄道㈱ 北近畿タンゴ鉄道㈱ 智頭急行㈱ 一般社団法人 神戸すまい まちづくり公社 六甲有明鉄道㈱						鉄道等輸送機関 山陽電気鉄道㈱ 阪急電気㈱ 阪神電気鉄道㈱ 神戸臨海鉄道㈱ 神戸新交通㈱ 北神急行電鉄㈱ 能勢電気㈱ 北条鉄道㈱ 北近畿タンゴ鉄道㈱ 智頭急行㈱ 一般社団法人 神戸すまい まちづくり公社 六甲山陽鉄道㈱						
道路輸送機関 神姫バス㈱ 淡路交通㈱ 全日バス㈱ 阪急バス㈱ 阪神バス㈱ 社団法人 兵庫県バス協会					道路輸送機関 神姫バス㈱ 淡路交通㈱ 全日バス㈱ 阪急バス㈱ 阪神バス㈱ 一般社団法人 兵庫県バス協会								
一般社団法人 兵庫県薬剤師会		1 災害時における医療救護に必要な医薬品の提供 2 調剤業務及び医薬品の管理			一般社団法人 兵庫県薬剤師会		1 災害時における医療救護に必要な医薬品の提供 2 調剤業務及び医薬品の管理						
9	医師会 神戸府医師会 神戸市医師会					10	医師会 神戸府医師会 神戸市医師会						
	一般社団法人 兵庫県LPガス協会	LPガス供給設備の防災管理	1 LPガス供給設備の応急対策の実施 2 災害時におけるLPガスの供給	被災LPガス供給設備の復旧		一般社団法人 兵庫県LPガス協会	LPガス供給設備の防災管理	1 LPガス供給設備の応急対策の実施 2 災害時におけるLPガスの供給	被災LPガス供給設備の復旧				

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
18	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第1節 組織体制の整備</p> <p>第2 内容 2 県の災害対策要員等の確保体制 (3) 災害対策本部員の招集手段の確保 災害発生時に交通が途絶したときは、警察活動に支障がない限りにおいて、災害対策本部員をパトカー等により搬送することとする。</p> <p>追加</p>	20	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第1節 組織体制の整備</p> <p>第2 内容 2 県の災害対策要員等の確保体制 (3) 災害対策本部員の招集手段の確保 災害発生時に交通が途絶したときは、警察活動に支障がない限りにおいて、災害対策本部員のうちあらかじめ指定された者をパトカー等により搬送することとする。</p> <p><u>(4) 職員の体制</u> 県は、災害発生時における職員の体制につき、以下の事項をあらかじめ取り決めておくこととし、職員に対しては定期的な訓練を通じ、周知徹底を図ることとする。</p> <p>① 参集基準 ② 夜間、休日に災害が発生した場合における電話連絡網、緊急通報システムを使った参集体制 ③ 応急活動時に使用する資機材の保管場所、使用方法の周知 ④ フェニックス防災システム端末の使用法の習熟</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>他の災害編とあわせて追加</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
19	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第2節 研修・訓練の実施</p> <p>第2 内容 2 防災訓練</p> <p>県等は、防災体制の検証、対応能力や技能の向上、県民の防災意識の高揚等、目的に応じた各種の防災訓練を実施し、実戦的な対応力をかん養するとともに、訓練結果の事後評価を通して課題を明らかにし、その改善に努めるなど、防災対策の充実強化を図ることとする。</p> <p>防災訓練の実施や防災知識の普及に当たっては、救出・救護等における高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等の災害時要援護者への的確な対応が図られるよう留意するとともに、被災時の男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮するよう努めることとする。</p> <p>以下 略</p>	21	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第2節 研修・訓練の実施</p> <p>第2 内容 2 防災訓練</p> <p>県等は、防災体制の検証、対応能力や技能の向上、県民の防災意識の高揚等、目的に応じた各種の防災訓練を実施し、実戦的な対応力をかん養するとともに、訓練結果の事後評価を通して課題を明らかにし、その改善に努めるなど、防災対策の充実強化を図ることとする。</p> <p>防災訓練の実施や防災知識の普及に当たっては、救出・救護等における高齢者、障害者、<u>外国人</u>、乳幼児、妊産婦等の災害時要援護者への的確な対応が図られるよう留意するとともに、被災時の男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮するよう努めることとする。</p> <p>以下 略</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
20	<p>(3) 地域防災訓練</p> <p>県（県民局）を中心に、管内市町、自主防災組織等の協力を得て、訓練を実施することとする。</p> <p>災害対策地方本部の設置、情報収集・伝達、避難誘導、交通規制、消防・水防活動等</p> <p>(4) 津波防災訓練</p> <p>県（県民局）は、市町等と連携して、防潮扉等の閉鎖体制の確立、住民の津波避難の意識啓発等を目的とした津波防災訓練を実施することとする。</p>	22	<p>(3) 地域防災訓練</p> <p>県（<u>県民局・県民センター等</u>）を中心に、管内市町、自主防災組織等の協力を得て、訓練を実施することとする。</p> <p>災害対策地方本部の設置、情報収集・伝達、避難誘導、交通規制、消防・水防活動等</p> <p>(4) 津波防災訓練</p> <p>県（<u>県民局・県民センター等</u>）は、市町等と連携して、防潮扉等の閉鎖体制の確立、住民の津波避難の意識啓発等を目的とした津波防災訓練を実施することとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
21	<p>※ 防災訓練を行う際の交通規制</p> <p>公安委員会は、防災訓練の効果的な実施を図るため特に必要があると認めるときは、当該訓練の実施に必要な限度で区域又は道路の区間を指定して、歩行者又は車両の道路における通行を禁止し、又は制限することができる。(災害対策基本法第48条第2項)</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 県職員行動マニュアルの作成</p> <p>県は、職員が災害発生時に迅速かつ的確な災害応急対策を実施することができるよう、通常業務のうち最低限継続すべき業務を記載したうえで職員のとるべき行動を、部局ごとに時系列、地域別(本庁、県民局単位)にとりまとめた職員行動マニュアルを作成し、自然災害発生時の業務継続計画(BCP)として、職場研修等を通じて、その周知徹底を図ることとする。</p> <p>(2) 県職員防災ハンドブックの作成</p> <p>県は、災害発生時の職員の基本的な対応がすぐに確認できる必要最低限の事項を示した県職員防災ハンドブックを作成し、職場研修等を通じて、その周知徹底を図ることとする。</p> <p>(3) 市町等の取り組み</p> <p>市町、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等は、災害応急対策等の円滑な実施を図るため、災害時の行動マニュアルを作成するなど、防災知識の周知徹底を図ることとする。</p>	23	<p>※ 防災訓練を行う際の交通規制</p> <p>都道府県公安委員会は、防災訓練の効果的な実施を図るため特に必要があると認めるときは、政令で定めるところにより、当該防災訓練の実施に必要な限度で区域又は道路の区間を指定して、歩行者又は車両の道路における通行を禁止し、又は制限することができる。(災害対策基本法第48条第2項)</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 県職員行動マニュアル等の作成</p> <p>県は、職員が災害発生時に迅速かつ的確な災害応急対策を実施することができるよう、通常業務のうち最低限継続すべき業務を記載したうえで職員のとるべき行動を、部局ごとにとりまとめた職員行動マニュアルを作成し、<u>自然災害発生時等の業務継続計画(BCP)として、職場研修等を通じて、その周知徹底を図ることとする。</u></p> <p><u>また、職員として共通に必要な風水害等の防災知識や連絡手段、機器操作等をわかりやすくまとめて提供するなど、平時からの習得を促進するための環境整備に努めることとする。</u></p> <p>削除</p> <p>(2) 市町等の取り組み</p> <p>市町、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共機関等は、災害応急対策等の円滑な実施を図るため、災害時の行動マニュアルを作成するなど、防災知識の周知徹底を図ることとする。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
25	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第3節 広域防災体制の確立</p> <p>第2 内容 5 県・市町間の連携強化 (1) 災害応急対策全般に係る相互応援協定の締結 県は、県内市町について県民局や広域市町圏を単位に、防災全般に関する協力体制の強化のための取り組みを支援することとする。</p>	27	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第3節 広域防災体制の確立</p> <p>第2 内容 5 県・市町間の連携強化 (1) 災害応急対策全般に係る相互応援協定の締結 県は、<u>県内市町</u>について<u>県民局・県民センター</u>や広域市町圏を単位に、防災全般に関する協力体制の強化のための取り組みを支援することとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
27	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第4節 災害対策拠点の整備・運用</p> <p>第2 内容 2 県災害対策センターの整備・運用 (4) センターの特徴 ② ライフライン途絶時にも庁舎機能がダウンしない多重化した設備とした。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">非常用発電機の設置、燃料の備蓄、電話回線の二重化、専用井戸による飲料水の確保などバックアップ機能を充実 通信設備の多重化や映像機器の新設など、防災情報システムの一層の充実・強化</p> <p>(5) 施設内容 (主なもの) 地下1階：非常用電源室、備蓄倉庫、地下連絡通路 1階：災害対策本部室、事務室兼災害対策本部事務局室 2階：本部長室、防災監室、会議室、事務室 3階：ネットワーク管理室、報道関係室、事務室 4階：防災関係機関室、宿直室 5階：防災関係機関室、待機室 6階：機械室 増築棟2階：会議室、事務室 増築棟3階：会議室</p>	29	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第4節 災害対策拠点の整備・運用</p> <p>第2 内容 2 県災害対策センターの整備・運用 (4) センターの特徴 ② ライフライン途絶時にも庁舎機能がダウンしない多重化した設備とした。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">非常用発電機の設置、燃料の備蓄、電話回線の二重化、専用井戸による飲料水の確保などバックアップ機能を充実 通信設備の多重化や映像機器の整備など、防災情報システムの充実・強化</p> <p>(5) 施設内容 (主なもの) 地下1階：非常用電源室、備蓄倉庫、地下連絡通路 1階：災害対策本部室、事務室兼災害対策本部事務局室 2階：本部長室、防災監室、会議室、事務室 3階：ネットワーク管理室、報道関係室、事務室 4階：防災関係機関室、宿直室 5階：防災関係機関室、待機室 6階：機械室 増築棟2階：事務室 増築棟3階：会議室</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
28	<p>3 災害対策本部室の整備・運用 (3) 主な設備 ② フェニックス防災システム (災害対応総合情報ネットワークシステム) 庁内各部局に設置した防災端末を庁内LANでネットワーク化するとともに、県民局・土木関係地方機関、各市町・消防本部、県警本部・警察署に設置した防災端末を兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、専用回線、ISDNで結び、情報交換・共有を行う。</p>	30	<p>3 災害対策本部室の整備・運用 (3) 主な設備 ② フェニックス防災システム (災害対応総合情報ネットワークシステム) 庁内各部局に設置したフェニックス防災端末を庁内LANでネットワーク化するとともに、<u>本庁関係課室、各県民局・県民センター、関係地方機関、市町、消防本部、県警察本部、警察署、自衛隊、第五管区海上保安本部、国(消防庁等)、ライフライン事業者等に設置したフェニックス防災端末を兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、専用回線、ISDNで結び、情報交換・共有を行う。</u></p>	所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
28	<p>5 市町における災害対策拠点の整備・運用</p> <p>市町は、対策本部機能や通信機能を維持するために、対策本部や避難所等防災関連施設における耐震性を確認し、不十分な場合は、暫定的な代替候補地の確保や、耐震性の強化等の対応方策を検討することとする。</p>	30	<p>5 市町における災害対策拠点の整備・運用</p> <p>市町は、対策本部機能や通信機能を維持するために、対策本部や避難所等防災関連施設における耐震性や水害などによる浸水対策等を確認し、不十分な場合は、暫定的な代替候補施設及び設備の確保や、耐震性の強化等の対応方策を検討することとする。</p>	<p>国からの指摘による修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応												
29	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第5節 情報通信機器・施設の整備・運用</p> <p>第2 内容</p> <p>1 フェニックス防災システム（災害対応総合情報ネットワークシステム）の運用</p> <p>(1) 市町、消防本部、警察本部・警察署、自衛隊、第五管区海上保安本部、県関係機関、ライフライン事業者等の各防災関係機関を結ぶフェニックス防災システム（災害対応総合情報ネットワークシステム）の運用により、県域のみならず、国との連携を強化している。</p>	31	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第5節 情報通信機器・施設の整備・運用</p> <p>第2 内容</p> <p>1 フェニックス防災システム（災害対応総合情報ネットワークシステム）の運用</p> <p>(1) 本庁関係課室、各県民局・県民センター、関係地方機関、市町、消防本部、県警察本部、警察署、自衛隊、第五管区海上保安本部、国（消防庁等）、ライフライン事業者等の各防災関係機関を結ぶフェニックス防災システム（災害対応総合情報ネットワークシステム）の運用により、県域のみならず、国との連携を強化している。</p>	他の災害編と書きぶりを統一												
30	<table border="1" data-bbox="159 694 958 1034"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>主 な 機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地理情報システム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等を防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 </td> </tr> <tr> <td>ネットワークシステム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関に防災端末を配置 市町・消防本部等に防災端末を設置 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	主 な 機 能	地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等を防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 	ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関に防災端末を配置 市町・消防本部等に防災端末を設置 	32	<table border="1" data-bbox="1068 694 1861 1034"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>主 な 機 能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地理情報システム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等をフェニックス防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 </td> </tr> <tr> <td>ネットワークシステム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関にフェニックス防災端末を配置 市町・消防本部等にフェニックス防災端末を設置 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	主 な 機 能	地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等をフェニックス防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 	ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関にフェニックス防災端末を配置 市町・消防本部等にフェニックス防災端末を設置 	他の災害編と書きぶりを統一
名 称	主 な 機 能															
地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等を防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 															
ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関に防災端末を配置 市町・消防本部等に防災端末を設置 															
名 称	主 な 機 能															
地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所等の基礎情報の事前登録 被害状況等をフェニックス防災端末から入力 災害情報システム、被害予測システムとリンクし、地図上で各種データ（被害詳細、画像等）を検索・表示 															
ネットワークシステム	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN、光専用線、ISDN回線により、県地方機関、市町・消防本部等を結ぶ。 防災専用VPNをネットワーク上に構築 本庁防災担当課室・防災関係機関にフェニックス防災端末を配置 市町・消防本部等にフェニックス防災端末を設置 															
	<p>3 災害時非常通信体制の充実強化</p> <p>県、市町及び各防災関係機関は、災害時等に加入電話、自動車電話又は携帯電話が使用できない時で、他の有線通信が利用することができないか、又は利用することが著しく困難な場合に対処するため、電波法第52条の規定に基づく非常通信の活用を図ることとし、県は、近畿地方非常通信協議会の活動等を通して、非常通信体制の整備充実に努めることとする。</p> <p>追加</p>		<p>3 災害時非常通信体制の充実強化</p> <p>県、市町及び各防災関係機関は、災害時等に加入電話、自動車電話又は携帯電話が使用できない時で、他の有線通信が利用することができないか、又は利用することが著しく困難な場合に対処するため、電波法第52条の規定に基づく非常通信の活用を図ることとし、県は、近畿地方非常通信協議会の活動等を通して、非常通信体制の整備充実に努めることとする。</p> <p>また、非常用電源設備を整備するとともに、その保守点検の実施、的確な操作の徹底、専門的な知見・技術を基に水害のおそれがなく耐震性のある堅固な場所への設置を図ることとする。</p>	国防災基本計画に合わせた修正												

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																											
30	<p>4 市町防災行政無線の整備促進</p> <p>市町は、防災行政無線の整備を図ることとする。</p> <p>県は、市町防災行政無線の整備を積極的に指導することとする。</p>	32	<p>4 市町防災行政無線の整備促進</p> <p>市町は、防災行政無線の整備を図ることとする。特に障害者世帯や土砂災害警戒地域及び津波浸水想定区域等にある世帯については、戸別受信機等を設置するなど、より確実な情報伝達手段の確保に努めることとする。</p> <p>県は、市町防災行政無線の整備を積極的に指導することとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p> <p>組織名変更による修正</p>																																											
31	<p>○ 市町防災行政無線等の整備状況 (平成 25 年 4 月 1 日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>整備数</th> <th>整備率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">防災 行政 無線</td> <td>同 報 系</td> <td>23 市町</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>移 動 系</td> <td>24 市町</td> <td>58.5%</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>32 市町</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">A 被害状況の把握</td> <td>24 市町</td> <td>24 市町</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B 住民への情報伝達</td> <td>41 市町</td> <td>41 市町</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 防災情報提供システム</p> <p>県は神戸海洋気象台との間の専用線で結ばれた防災情報提供システムにより、気象・地震情報等を入手し活用を図ることとする。</p>				整備数	整備率	防災 行政 無線	同 報 系	23 市町	56.1%	移 動 系	24 市町	58.5%	全 体	32 市町	78.0%	A 被害状況の把握		24 市町	24 市町	B 住民への情報伝達		41 市町	41 市町	33	<p>○ 市町防災行政無線等の整備状況 (平成 26 年 4 月 1 日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>整備数</th> <th>整備率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">防災 行政 無線</td> <td>同 報 系</td> <td>23 市町</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>移 動 系</td> <td>26 市町</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>32 市町</td> <td>78.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">A 被害状況の把握</td> <td>26 市町</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B 住民への情報伝達</td> <td>41 市町</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 防災情報提供システム</p> <p>県は神戸地方気象台との間の専用線で結ばれた防災情報提供システムにより、気象・地震情報等を入手し活用を図ることとする。</p>			整備数	整備率	防災 行政 無線	同 報 系	23 市町	56.1%	移 動 系	26 市町	63.4%	全 体	32 市町	78.0%	A 被害状況の把握		26 市町	63.4%	B 住民への情報伝達		41 市町
		整備数	整備率																																												
防災 行政 無線	同 報 系	23 市町	56.1%																																												
	移 動 系	24 市町	58.5%																																												
	全 体	32 市町	78.0%																																												
A 被害状況の把握		24 市町	24 市町																																												
B 住民への情報伝達		41 市町	41 市町																																												
		整備数	整備率																																												
防災 行政 無線	同 報 系	23 市町	56.1%																																												
	移 動 系	26 市町	63.4%																																												
	全 体	32 市町	78.0%																																												
A 被害状況の把握		26 市町	63.4%																																												
B 住民への情報伝達		41 市町	100%																																												

頁	現 行	頁	修 正 案	対応																																																																																																																																											
34	第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実 第6節 防災拠点の整備 第2 内容 1 広域防災拠点の整備 (2) 配置計画	35	第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実 第6節 防災拠点の整備 第2 内容 1 広域防災拠点の整備 (2) 配置計画	所管課からの修正意見に基づく修正 関係機関からの修正意見に基づく修正 所管課からの修正意見に基づく修正																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>所在地</th> <th>拠点のタイプ</th> <th>広域防災拠点名</th> <th>要員宿泊 出動機能</th> <th>物資集積 配送機能</th> <th>備蓄機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中播磨</td> <td>姫路市</td> <td>その他</td> <td>手柄山中央公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>市川町</td> <td>その他</td> <td>市川町スポーツセンター</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">西播磨</td> <td>上郡町</td> <td>ブロック</td> <td>西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>赤穂市</td> <td>その他</td> <td>赤穂海浜公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">但馬</td> <td rowspan="2">豊岡市</td> <td>ブロック</td> <td>但馬広域防災拠点 (但馬空港内)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>但馬ドーム</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>朝来市</td> <td>その他</td> <td>朝来市中央文化公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波市</td> <td>ブロック</td> <td>丹波の森公園・丹波県民局内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡路</td> <td>南あわじ市</td> <td>ブロック</td> <td>淡路広域防災拠点(淡路ふれあい公園)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>淡路市</td> <td>その他</td> <td>淡路島公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		地域		所在地	拠点のタイプ	広域防災拠点名	要員宿泊 出動機能	物資集積 配送機能	備蓄機能	中播磨	姫路市	その他	手柄山中央公園	○	○	×	市川町	その他	市川町スポーツセンター	○	○	×	西播磨	上郡町	ブロック	西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)	○	○	○	赤穂市	その他	赤穂海浜公園	○	○	×	但馬	豊岡市	ブロック	但馬広域防災拠点 (但馬空港内)	○	○	○	その他	但馬ドーム	○	○	×	朝来市	その他	朝来市中央文化公園	○	○	×	丹波	丹波市	ブロック	丹波の森公園・丹波県民局内	○	○	○	淡路	南あわじ市	ブロック	淡路広域防災拠点(淡路ふれあい公園)	○	○	○	淡路市	その他	淡路島公園	○	○	×	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>所在地</th> <th>拠点のタイプ</th> <th>広域防災拠点名</th> <th>要員宿泊 出動機能</th> <th>物資集積 配送機能</th> <th>備蓄機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中播磨</td> <td>姫路市</td> <td>その他</td> <td>手柄山中央公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>市川町</td> <td>その他</td> <td>市川町スポーツセンター</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">西播磨</td> <td>上郡町</td> <td>ブロック</td> <td>西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>赤穂市</td> <td>その他</td> <td>赤穂海浜公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">但馬</td> <td rowspan="2">豊岡市</td> <td>ブロック</td> <td>但馬広域防災拠点 (但馬空港内)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>但馬ドーム</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>朝来市</td> <td>その他</td> <td>朝来市和田山中央文化公園</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>丹波市</td> <td>ブロック</td> <td>丹波の森公園・丹波県民局内</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡路</td> <td>南あわじ市</td> <td>ブロック</td> <td>淡路広域防災拠点 (淡路ふれあい公園)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>淡路市</td> <td>その他</td> <td>淡路島公園 国営明石海峡公園(淡路地区)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	地域	所在地	拠点のタイプ	広域防災拠点名	要員宿泊 出動機能	物資集積 配送機能	備蓄機能	中播磨	姫路市	その他	手柄山中央公園	○	○	×	市川町	その他	市川町スポーツセンター	○	○	×	西播磨	上郡町	ブロック	西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)	○	○	○	赤穂市	その他	赤穂海浜公園	○	○	×	但馬	豊岡市	ブロック	但馬広域防災拠点 (但馬空港内)	○	○	○	その他	但馬ドーム	○	○	×	朝来市	その他	朝来市和田山中央文化公園	○	○	×	丹波	丹波市	ブロック	丹波の森公園・丹波県民局内	○	○	○	淡路	南あわじ市	ブロック	淡路広域防災拠点 (淡路ふれあい公園)	○	○	○	淡路市	その他	淡路島公園 国営明石海峡公園(淡路地区)
地域	所在地	拠点のタイプ	広域防災拠点名	要員宿泊 出動機能	物資集積 配送機能	備蓄機能																																																																																																																																									
中播磨	姫路市	その他	手柄山中央公園	○	○	×																																																																																																																																									
	市川町	その他	市川町スポーツセンター	○	○	×																																																																																																																																									
西播磨	上郡町	ブロック	西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)	○	○	○																																																																																																																																									
	赤穂市	その他	赤穂海浜公園	○	○	×																																																																																																																																									
但馬	豊岡市	ブロック	但馬広域防災拠点 (但馬空港内)	○	○	○																																																																																																																																									
		その他	但馬ドーム	○	○	×																																																																																																																																									
	朝来市	その他	朝来市中央文化公園	○	○	×																																																																																																																																									
丹波	丹波市	ブロック	丹波の森公園・丹波県民局内	○	○	○																																																																																																																																									
淡路	南あわじ市	ブロック	淡路広域防災拠点(淡路ふれあい公園)	○	○	○																																																																																																																																									
	淡路市	その他	淡路島公園	○	○	×																																																																																																																																									
地域	所在地	拠点のタイプ	広域防災拠点名	要員宿泊 出動機能	物資集積 配送機能	備蓄機能																																																																																																																																									
中播磨	姫路市	その他	手柄山中央公園	○	○	×																																																																																																																																									
	市川町	その他	市川町スポーツセンター	○	○	×																																																																																																																																									
西播磨	上郡町	ブロック	西播磨広域防災拠点 (播磨科学公園都市内)	○	○	○																																																																																																																																									
	赤穂市	その他	赤穂海浜公園	○	○	×																																																																																																																																									
但馬	豊岡市	ブロック	但馬広域防災拠点 (但馬空港内)	○	○	○																																																																																																																																									
		その他	但馬ドーム	○	○	×																																																																																																																																									
	朝来市	その他	朝来市和田山中央文化公園	○	○	×																																																																																																																																									
丹波	丹波市	ブロック	丹波の森公園・丹波県民局内	○	○	○																																																																																																																																									
淡路	南あわじ市	ブロック	淡路広域防災拠点 (淡路ふれあい公園)	○	○	○																																																																																																																																									
	淡路市	その他	淡路島公園 国営明石海峡公園(淡路地区)	○	○	×																																																																																																																																									
35	2 三木総合防災公園 (4) 施設構成 ② 三木総合防災公園 イ 災害時機能 <ul style="list-style-type: none"> ・全県備蓄機能(陸上競技場サイドスタンド・バックスタンド下に備蓄倉庫を整備) ・救援物資の集積・仕分け・配送機能(陸上競技場、駐車場等) ・応急活動要員の集結・宿泊・出動機能(競技場、テニスコート、駐車場等) ・臨時ヘリポート機能(陸上競技場、野球場等) 	36	2 三木総合防災公園(全県拠点) (4) 施設構成 ② 三木総合防災公園 イ 災害時機能 <ul style="list-style-type: none"> ・全県備蓄機能(陸上競技場サイドスタンド・バックスタンド下に備蓄倉庫を整備) ・救援物資の集積・仕分け・配送機能(陸上競技場、テニスコート、駐車場等) ・応急活動要員の集結・宿泊・出動機能(競技場、テニスコート、駐車場等) ・臨時ヘリポート機能(陸上競技場、野球場等) 																																																																																																																																												

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																												
36	<p>3 広域防災拠点（ブロック拠点）の整備 (2) 構成 ③ 整備計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック拠点名</th> <th>位置</th> <th>備蓄倉庫 延床面積</th> <th>整備期間</th> <th>供用開始年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西播磨広域防災拠点</td> <td>赤穂郡上郡町 (播磨科学公園都市内)</td> <td>1,132.18㎡</td> <td>平成9～10年度</td> <td>平成11年3月</td> </tr> <tr> <td>但馬広域防災拠点</td> <td>豊岡市岩井 (但馬空港内)</td> <td>823.49㎡</td> <td>平成11～13年度</td> <td>平成13年8月</td> </tr> <tr> <td>淡路広域防災拠点</td> <td>南あわじ市 (淡路ふれあい公園)</td> <td>810 ㎡</td> <td>平成17～18年度</td> <td>平成19年2月</td> </tr> <tr> <td>丹波広域防災拠点</td> <td>丹波市 (丹波の森公園・丹波県民局)</td> <td>34 ㎡</td> <td>平成19年度</td> <td>平成20年3月</td> </tr> <tr> <td>阪神南広域防災拠点</td> <td>西宮市 (今津浜公園)</td> <td>300 ㎡</td> <td>平成18～19年度</td> <td>平成20年4月</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック拠点名	位置	備蓄倉庫 延床面積	整備期間	供用開始年月	西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町 (播磨科学公園都市内)	1,132.18㎡	平成9～10年度	平成11年3月	但馬広域防災拠点	豊岡市岩井 (但馬空港内)	823.49㎡	平成11～13年度	平成13年8月	淡路広域防災拠点	南あわじ市 (淡路ふれあい公園)	810 ㎡	平成17～18年度	平成19年2月	丹波広域防災拠点	丹波市 (丹波の森公園・丹波県民局)	34 ㎡	平成19年度	平成20年3月	阪神南広域防災拠点	西宮市 (今津浜公園)	300 ㎡	平成18～19年度	平成20年4月	37	<p>3 広域防災拠点（ブロック拠点）の整備 (2) 構成 ③ 整備計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック拠点名</th> <th>位置</th> <th>備蓄倉庫 延床面積</th> <th>整備期間</th> <th>供用開始年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西播磨広域防災拠点</td> <td>赤穂郡上郡町光都 (播磨科学公園都市内)</td> <td>1,132 ㎡</td> <td>平成9～10年度</td> <td>平成11年3月</td> </tr> <tr> <td>但馬広域防災拠点</td> <td>豊岡市岩井 (但馬空港内)</td> <td>823 ㎡</td> <td>平成11～13年度</td> <td>平成13年8月</td> </tr> <tr> <td>淡路広域防災拠点</td> <td>南あわじ市広田広田 (淡路ふれあい公園)</td> <td>810 ㎡</td> <td>平成17～18年度</td> <td>平成19年2月</td> </tr> <tr> <td>丹波広域防災拠点</td> <td>丹波市柏原町伯原 (丹波の森公園・丹波県民局)</td> <td>34 ㎡</td> <td>平成19年度</td> <td>平成20年3月</td> </tr> <tr> <td>阪神南広域防災拠点</td> <td>西宮市里子園浜 (今津浜公園)</td> <td>300 ㎡</td> <td>平成18～19年度</td> <td>平成20年4月</td> </tr> </tbody> </table>	ブロック拠点名	位置	備蓄倉庫 延床面積	整備期間	供用開始年月	西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町光都 (播磨科学公園都市内)	1,132 ㎡	平成9～10年度	平成11年3月	但馬広域防災拠点	豊岡市岩井 (但馬空港内)	823 ㎡	平成11～13年度	平成13年8月	淡路広域防災拠点	南あわじ市広田広田 (淡路ふれあい公園)	810 ㎡	平成17～18年度	平成19年2月	丹波広域防災拠点	丹波市柏原町伯原 (丹波の森公園・丹波県民局)	34 ㎡	平成19年度	平成20年3月	阪神南広域防災拠点	西宮市里子園浜 (今津浜公園)	300 ㎡	平成18～19年度	平成20年4月	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
ブロック拠点名	位置	備蓄倉庫 延床面積	整備期間	供用開始年月																																																												
西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町 (播磨科学公園都市内)	1,132.18㎡	平成9～10年度	平成11年3月																																																												
但馬広域防災拠点	豊岡市岩井 (但馬空港内)	823.49㎡	平成11～13年度	平成13年8月																																																												
淡路広域防災拠点	南あわじ市 (淡路ふれあい公園)	810 ㎡	平成17～18年度	平成19年2月																																																												
丹波広域防災拠点	丹波市 (丹波の森公園・丹波県民局)	34 ㎡	平成19年度	平成20年3月																																																												
阪神南広域防災拠点	西宮市 (今津浜公園)	300 ㎡	平成18～19年度	平成20年4月																																																												
ブロック拠点名	位置	備蓄倉庫 延床面積	整備期間	供用開始年月																																																												
西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町光都 (播磨科学公園都市内)	1,132 ㎡	平成9～10年度	平成11年3月																																																												
但馬広域防災拠点	豊岡市岩井 (但馬空港内)	823 ㎡	平成11～13年度	平成13年8月																																																												
淡路広域防災拠点	南あわじ市広田広田 (淡路ふれあい公園)	810 ㎡	平成17～18年度	平成19年2月																																																												
丹波広域防災拠点	丹波市柏原町伯原 (丹波の森公園・丹波県民局)	34 ㎡	平成19年度	平成20年3月																																																												
阪神南広域防災拠点	西宮市里子園浜 (今津浜公園)	300 ㎡	平成18～19年度	平成20年4月																																																												
37	<p>6 コミュニティ防災拠点 (2) 機能 ⑤ 電気、飲料水等の自給自足機能 ・自家発電設備</p>	38	<p>6 コミュニティ防災拠点 (2) 機能 ⑤ 電気、飲料水等の自給自足機能 ・自家発電設備、再生可能エネルギー発電設備</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>																																																												
38	<p>7 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点との連携 京阪神都市圏における大規模地震発生時等に広域災害応急対策の拠点となる堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点と連携し効果的な輸送機能を確保する。</p>	39	<p>7 基幹的広域防災拠点との連携 京阪神都市圏における大規模地震発生時等に広域災害応急対策の拠点となる三木総合防災公園、堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点、山城総合運動公園と連携し効果的な輸送機能を確保する。</p>																																																													

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																				
39	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第7節 火災予防対策の推進</p> <p>第1款 出火防止・初期消火体制の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 組織の確立</p> <p>(1) 常備消防 平成24年4月1日現在、県下の41市町で常備消防が設置されており、常備化率は、人口比で100%、面積比で100%となっている。</p> <p>○ 常備消防設置状況 (平成24年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="219 651 945 801"> <thead> <tr> <th>常備消防の方法</th> <th>消防本部の数</th> <th>市町の数</th> <th>消防職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単 独</td> <td>25</td> <td>23市 2町</td> <td>5,242</td> </tr> <tr> <td>一部事務組合</td> <td>3</td> <td>6市 3町</td> <td>466</td> </tr> <tr> <td>事務委託</td> <td>—</td> <td>7町</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28</td> <td>29市12町</td> <td>5,708</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 非常備消防 地域における消防防災の中核として重要な役割を果たす消防団について、団員数は全国最多だが、年々減少傾向が見られる。そのため、市町は、施設・設備の充実、青年層・女性層の団員の参加を促進するとともに、機能別団員・分団の制度導入を行うなど、積極的に増員に努める。</p> <p>○ 消防団設置状況 (平成24年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="235 1273 878 1343"> <thead> <tr> <th>消防団の数</th> <th>市町の数</th> <th>消防団員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62</td> <td>29市12町</td> <td>44,077人</td> </tr> </tbody> </table>	常備消防の方法	消防本部の数	市町の数	消防職員数	単 独	25	23市 2町	5,242	一部事務組合	3	6市 3町	466	事務委託	—	7町	—	計	28	29市12町	5,708	消防団の数	市町の数	消防団員数	62	29市12町	44,077人	40	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第7節 火災予防対策の推進</p> <p>第1款 出火防止・初期消火体制の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 組織の確立</p> <p>(1) 常備消防 平成25年4月1日現在、県下の41市町で常備消防が設置されており、常備化率は、人口比で100%、面積比で100%となっている。</p> <p>○ 常備消防設置状況 (平成25年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="1102 651 1800 801"> <thead> <tr> <th>常備消防の方法</th> <th>消防本部の数</th> <th>市町の数</th> <th>消防職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単 独</td> <td>19</td> <td>18市 1町</td> <td>4,930</td> </tr> <tr> <td>一部事務組合</td> <td>5</td> <td>11市 5町</td> <td>843</td> </tr> <tr> <td>事務委託</td> <td>—</td> <td>6町</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24</td> <td>29市12町</td> <td>5,773</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 非常備消防 地域における消防防災の中核として重要な役割を果たす消防団について、団員数は全国最多だが、年々減少傾向が見られる。そのため、市町は、施設・設備・処遇の改善、教育訓練体制の充実、青年層・女性層の団員の入団促進をはじめ、機能別団員・分団の制度導入を行うなど、消防団の活性化を推進し、その育成を図ることとする。</p> <p>県は、市町による消防団の加入促進や活性化の取組について、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の趣旨を踏まえ、普及啓発や助言などの支援を行う。</p> <p>○ 消防団設置状況 (平成25年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="1182 1273 1765 1337"> <thead> <tr> <th>消防団の数</th> <th>市町の数</th> <th>消防団員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62</td> <td>29市12町</td> <td>43,873人</td> </tr> </tbody> </table>	常備消防の方法	消防本部の数	市町の数	消防職員数	単 独	19	18市 1町	4,930	一部事務組合	5	11市 5町	843	事務委託	—	6町	—	計	24	29市12町	5,773	消防団の数	市町の数	消防団員数	62	29市12町	43,873人	<p>現状にあわせた時点修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p>
常備消防の方法	消防本部の数	市町の数	消防職員数																																																					
単 独	25	23市 2町	5,242																																																					
一部事務組合	3	6市 3町	466																																																					
事務委託	—	7町	—																																																					
計	28	29市12町	5,708																																																					
消防団の数	市町の数	消防団員数																																																						
62	29市12町	44,077人																																																						
常備消防の方法	消防本部の数	市町の数	消防職員数																																																					
単 独	19	18市 1町	4,930																																																					
一部事務組合	5	11市 5町	843																																																					
事務委託	—	6町	—																																																					
計	24	29市12町	5,773																																																					
消防団の数	市町の数	消防団員数																																																						
62	29市12町	43,873人																																																						

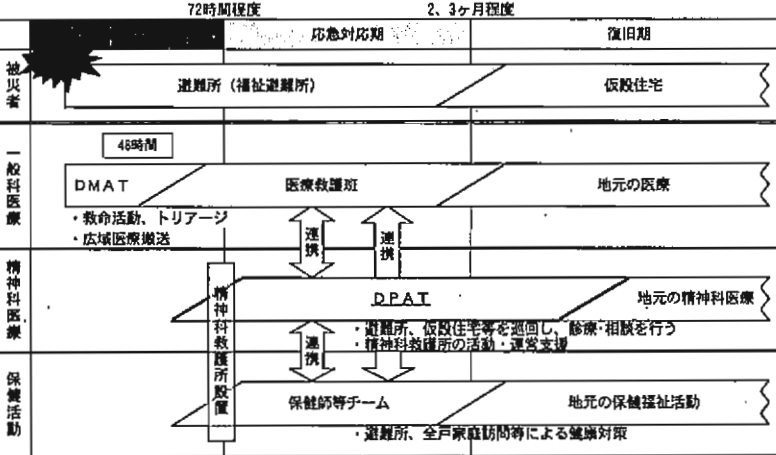
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																																																																																																																								
41	<p>第2款 消防施設・設備の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>3 消防施設の整備</p> <p>(1) 現況</p> <p>① 整備水準</p> <p>(平成21年度「消防施設等整備計画実態調査」)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>基 準</th> <th>現 有</th> <th>充足率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防署所数</td> <td>177</td> <td>168</td> <td>94.9</td> </tr> <tr> <td>ポンプ自動車(常備)</td> <td>264</td> <td>238</td> <td>90.2</td> </tr> <tr> <td>ポンプ自動車(消防団)</td> <td>562</td> <td>556</td> <td>98.9</td> </tr> <tr> <td>動力消防ポンプ(消防団)</td> <td>1,925</td> <td>1,866</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>消防水利</td> <td>64,734</td> <td>54,797</td> <td>87.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 消防職員・団員の数等(平成24年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>消防署数</th> <th>56</th> <th>消防団数</th> <th>62</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張所数</td> <td>114</td> <td>分 団 数</td> <td>1,257</td> </tr> <tr> <td>消防職員数</td> <td>5,708</td> <td>消防団員数</td> <td>44,077</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 消防ポンプ自動車等の保有数 (平成24年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>消防本部</th> <th>消防団</th> <th>種 別</th> <th>消防本部</th> <th>消防団</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通消防ポンプ自動車</td> <td>161</td> <td>532</td> <td>手引動力ポンプ</td> <td>—</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>水槽付消防ポンプ自動車</td> <td>101</td> <td>13</td> <td>大型高所放水車</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>はしご付消防自動車</td> <td>55</td> <td>—</td> <td>泡原液搬送車</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屈折はしご付消防自動車</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>救急自動車</td> <td>216</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学消防自動車</td> <td>50</td> <td>—</td> <td>救助工作車</td> <td>49</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>27</td> <td>1,478</td> <td>消防艇</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ</td> <td>80</td> <td>374</td> <td>ヘリコプター</td> <td>3(※)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	基 準	現 有	充足率(%)	消防署所数	177	168	94.9	ポンプ自動車(常備)	264	238	90.2	ポンプ自動車(消防団)	562	556	98.9	動力消防ポンプ(消防団)	1,925	1,866	96.9	消防水利	64,734	54,797	87.3	消防署数	56	消防団数	62	出張所数	114	分 団 数	1,257	消防職員数	5,708	消防団員数	44,077	種 別	消防本部	消防団	種 別	消防本部	消防団	普通消防ポンプ自動車	161	532	手引動力ポンプ	—	8	水槽付消防ポンプ自動車	101	13	大型高所放水車	4	—	はしご付消防自動車	55	—	泡原液搬送車	4	—	屈折はしご付消防自動車	4	—	救急自動車	216	—	化学消防自動車	50	—	救助工作車	49	—	小型動力ポンプ付積載車	27	1,478	消防艇	3	—	小型動力ポンプ	80	374	ヘリコプター	3(※)	—	42	<p>第2款 消防施設・設備の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>3 消防施設の整備</p> <p>(1) 現況</p> <p>① 整備水準</p> <p>(平成24年度「消防施設等整備計画実態調査」)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>基 準</th> <th>現 有</th> <th>充足率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防署所数</td> <td>179</td> <td>168</td> <td>93.9</td> </tr> <tr> <td>ポンプ自動車(常備)</td> <td>263</td> <td>243</td> <td>92.4</td> </tr> <tr> <td>ポンプ自動車(消防団)</td> <td>562</td> <td>555</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>動力消防ポンプ(消防団)</td> <td>2,051</td> <td>1,987</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>消防水利</td> <td>57,319</td> <td>48,067</td> <td>83.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 消防職員・団員の数等(平成25年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>消防署数</th> <th>56</th> <th>消防団数</th> <th>62</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張所数</td> <td>116</td> <td>分 団 数</td> <td>1,257</td> </tr> <tr> <td>消防職員数</td> <td>5,773</td> <td>消防団員数</td> <td>43,873</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 消防ポンプ自動車等の保有数 (平成25年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>消防本部</th> <th>消防団</th> <th>種 別</th> <th>消防本部</th> <th>消防団</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通消防ポンプ自動車</td> <td>161</td> <td>525</td> <td>手引動力ポンプ</td> <td>—</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>水槽付消防ポンプ自動車</td> <td>98</td> <td>13</td> <td>大型高所放水車</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>はしご付消防自動車</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>泡原液搬送車</td> <td>4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>屈折はしご付消防自動車</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>救急自動車</td> <td>218</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>化学消防自動車</td> <td>48</td> <td>—</td> <td>救助工作車</td> <td>50</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>26</td> <td>1,507</td> <td>消防艇</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ</td> <td>82</td> <td>402</td> <td>ヘリコプター</td> <td>3(※)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	基 準	現 有	充足率(%)	消防署所数	179	168	93.9	ポンプ自動車(常備)	263	243	92.4	ポンプ自動車(消防団)	562	555	98.8	動力消防ポンプ(消防団)	2,051	1,987	96.9	消防水利	57,319	48,067	83.9	消防署数	56	消防団数	62	出張所数	116	分 団 数	1,257	消防職員数	5,773	消防団員数	43,873	種 別	消防本部	消防団	種 別	消防本部	消防団	普通消防ポンプ自動車	161	525	手引動力ポンプ	—	24	水槽付消防ポンプ自動車	98	13	大型高所放水車	3	—	はしご付消防自動車	54	—	泡原液搬送車	4	—	屈折はしご付消防自動車	4	—	救急自動車	218	—	化学消防自動車	48	—	救助工作車	50	—	小型動力ポンプ付積載車	26	1,507	消防艇	3	—	小型動力ポンプ	82	402	ヘリコプター	3(※)	—	<p>現状にあわせた時点修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p>
項 目	基 準	現 有	充足率(%)																																																																																																																																																																									
消防署所数	177	168	94.9																																																																																																																																																																									
ポンプ自動車(常備)	264	238	90.2																																																																																																																																																																									
ポンプ自動車(消防団)	562	556	98.9																																																																																																																																																																									
動力消防ポンプ(消防団)	1,925	1,866	96.9																																																																																																																																																																									
消防水利	64,734	54,797	87.3																																																																																																																																																																									
消防署数	56	消防団数	62																																																																																																																																																																									
出張所数	114	分 団 数	1,257																																																																																																																																																																									
消防職員数	5,708	消防団員数	44,077																																																																																																																																																																									
種 別	消防本部	消防団	種 別	消防本部	消防団																																																																																																																																																																							
普通消防ポンプ自動車	161	532	手引動力ポンプ	—	8																																																																																																																																																																							
水槽付消防ポンプ自動車	101	13	大型高所放水車	4	—																																																																																																																																																																							
はしご付消防自動車	55	—	泡原液搬送車	4	—																																																																																																																																																																							
屈折はしご付消防自動車	4	—	救急自動車	216	—																																																																																																																																																																							
化学消防自動車	50	—	救助工作車	49	—																																																																																																																																																																							
小型動力ポンプ付積載車	27	1,478	消防艇	3	—																																																																																																																																																																							
小型動力ポンプ	80	374	ヘリコプター	3(※)	—																																																																																																																																																																							
項 目	基 準	現 有	充足率(%)																																																																																																																																																																									
消防署所数	179	168	93.9																																																																																																																																																																									
ポンプ自動車(常備)	263	243	92.4																																																																																																																																																																									
ポンプ自動車(消防団)	562	555	98.8																																																																																																																																																																									
動力消防ポンプ(消防団)	2,051	1,987	96.9																																																																																																																																																																									
消防水利	57,319	48,067	83.9																																																																																																																																																																									
消防署数	56	消防団数	62																																																																																																																																																																									
出張所数	116	分 団 数	1,257																																																																																																																																																																									
消防職員数	5,773	消防団員数	43,873																																																																																																																																																																									
種 別	消防本部	消防団	種 別	消防本部	消防団																																																																																																																																																																							
普通消防ポンプ自動車	161	525	手引動力ポンプ	—	24																																																																																																																																																																							
水槽付消防ポンプ自動車	98	13	大型高所放水車	3	—																																																																																																																																																																							
はしご付消防自動車	54	—	泡原液搬送車	4	—																																																																																																																																																																							
屈折はしご付消防自動車	4	—	救急自動車	218	—																																																																																																																																																																							
化学消防自動車	48	—	救助工作車	50	—																																																																																																																																																																							
小型動力ポンプ付積載車	26	1,507	消防艇	3	—																																																																																																																																																																							
小型動力ポンプ	82	402	ヘリコプター	3(※)	—																																																																																																																																																																							

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																				
42	<p>④ 消火水利の概要 (平成24年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="232 181 732 472"> <tr> <td>消火栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">防火水槽</td> <td rowspan="4">17,494</td> <td>100m³以上</td> <td>967</td> </tr> <tr> <td>60~100 m³</td> <td>1,171</td> </tr> <tr> <td>40~ 60 m³</td> <td>12,935</td> </tr> <tr> <td>20~ 40 m³</td> <td>2,421</td> </tr> <tr> <td>井 戸</td> <td>541</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>1,037</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>884</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 整備計画</p> <p>② 県は、市町と十分協議の上、消防施設強化促進法に基づく消防施設等の整備に対する補助制度及び地方債制度を活用し、市町の消防力の強化を促進することとする。</p> <p>イ 地方債制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災基盤整備事業 公共施設等耐震化事業 施設整備事業（一般財源化分） 	消火栓				防火水槽	17,494	100m ³ 以上	967	60~100 m ³	1,171	40~ 60 m ³	12,935	20~ 40 m ³	2,421	井 戸	541			プール	1,037			その他	884			43	<p>④ 消火水利の概要 (平成25年4月1日現在)</p> <table border="1" data-bbox="1128 181 1664 472"> <tr> <td>消火栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">防火水槽</td> <td rowspan="4">17,639</td> <td>100m³以上</td> <td>973</td> </tr> <tr> <td>60~100 m³</td> <td>1,188</td> </tr> <tr> <td>40~ 60 m³</td> <td>13,071</td> </tr> <tr> <td>20~ 40 m³</td> <td>2,407</td> </tr> <tr> <td>井 戸</td> <td>536</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>1,039</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>879</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 整備計画</p> <p>② 県は、市町と十分協議の上、消防施設強化促進法に基づく消防施設等の整備に対する補助制度及び地方債制度を活用し、市町の消防力の強化を促進することとする。</p> <p>イ 地方債制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災基盤整備事業 公共施設等耐震化事業 施設整備事業（一般財源化分） 緊急防災減災事業 	消火栓				防火水槽	17,639	100m ³ 以上	973	60~100 m ³	1,188	40~ 60 m ³	13,071	20~ 40 m ³	2,407	井 戸	536			プール	1,039			その他	879			<p>現状にあわせた時点修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正意見</p>
消火栓																																																								
防火水槽	17,494	100m ³ 以上	967																																																					
		60~100 m ³	1,171																																																					
		40~ 60 m ³	12,935																																																					
		20~ 40 m ³	2,421																																																					
井 戸	541																																																							
プール	1,037																																																							
その他	884																																																							
消火栓																																																								
防火水槽	17,639	100m ³ 以上	973																																																					
		60~100 m ³	1,188																																																					
		40~ 60 m ³	13,071																																																					
		20~ 40 m ³	2,407																																																					
井 戸	536																																																							
プール	1,039																																																							
その他	879																																																							

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
48	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第8節 防災資機材の整備</p> <p>第2 内容 3 拠点用資機材 ② 県は、水害又は津波災害発生時における物資の輸送、緊急連絡、被害状況把握等に必要な資機材として、手漕式ボート、災害用トラックを県民局に備蓄することとする。</p>	49	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第8節 防災資機材の整備</p> <p>第2 内容 3 拠点用資機材 ② 県は、水害又は津波災害発生時における物資の輸送、緊急連絡、被害状況把握等に必要な資機材として、手漕式ボート、災害用トラックを県民局・<u>県民センター</u>等に備蓄することとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
50	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第9節 災害救急医療システムの整備</p> <p>〔実施機関：県企画県民部災害対策局、県健康福祉部健康局、健康福祉部障害福祉局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>2 救急搬送システムの整備</p> <p>県は、災害救急医療情報指令センター等が搬送機関へ迅速かつ的確に、災害救急医療情報システム等により把握した情報の提供や搬送等の指示・要請ができる体制を整備するとともに、防災関係機関と連携し、ヘリコプター等による搬送体制や災害拠点病院等でのヘリポート、患者搬送車の整備促進等に努めることとする。</p> <p>3 災害救急医療システムの充実</p> <p>県は、災害救急医療システムの充実を災害医療センターの整備にあわせて行うこととする。</p> <p>また、県、市町等は、各二次保健医療圏域における災害救急医療体制の充実・強化を図るとともに、各二次保健医療圏域ごとに、医療機関相互の応援体制や発災直後の医療対応の具体的手順、市町の役割である救護所予定場所の設定や医薬品及び飲料水等の備蓄及び市町単位の拠点医療機関から災害拠点病院への患者転送の流れ等の災害救急医療マニュアルを定め、特に初動期に迅速に対応できる体制を整備することとする。</p>	51	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第9節 災害救急医療システムの整備</p> <p>〔実施機関：県企画県民部災害対策局、県健康福祉部健康局、健康福祉部障害福祉局、病院局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>2 救急搬送システムの整備</p> <p>県は、災害救急医療情報指令センター等が搬送機関へ迅速かつ的確に、災害救急医療情報システム等により把握した情報の提供や搬送等の指示・要請ができる体制を整備するとともに、防災関係機関と連携し、ヘリコプター等による搬送体制や災害拠点病院等でのヘリポート、<u>SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)</u>、<u>災害派遣用車両(DMATカー)</u>の整備促進等に努めることとする。</p> <p>3 災害救急医療システムの充実</p> <p>県は、災害救急医療システムの充実を災害医療センターの整備にあわせて行うこととする。</p> <p>また、県、市町等は、各二次保健医療圏域における災害救急医療体制の充実・強化を図るとともに、各二次保健医療圏域ごとに、医療機関相互の応援体制や発災直後の医療対応の具体的手順、市町の役割である救護所予定場所の設定や医薬品及び飲料水等の備蓄及び市町単位の拠点医療機関から災害拠点病院への患者搬送の流れ等の災害救急医療マニュアルを定め、特に初動期に迅速に対応できる体制を整備することとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
50	<p>4 機動性のある医療チーム（兵庫DMAT）等の整備</p> <p>(1) 県は、災害拠点病院の救護班及び災害拠点病院のうち兵庫DMAT指定病院に指定された病院のDMAT（以下、「兵庫DMAT」という）の運用方法を定めるとともに、通信用機器、衛星携帯電話、簡易心電図モニター、共通ユニホームなどの資機材を整備し、特別な訓練を実施することとする。</p> <p>(2) 県は、状況によっては、災害拠点病院が初動時に、自らの判断に基づき、速やかに救護班及び兵庫DMATの派遣を行うことができるようにするとともに、その場合は、県からの要請に基づいた派遣・活動として扱うこととする。</p> <p>(3) 県は、災害拠点病院の医師に、災害医療コーディネーターを委嘱し、初動時に院内調整や自主判断による救護班及び兵庫DMATの派遣、災害医療現場における各救護班に対する指導、さらに地域医療情報センター等、関係機関との連携により災害医療の確保を図る役割を担うこととする。</p> <p>追加</p>	51	<p>4 機動性のある医療チーム（兵庫DMAT）等の整備</p> <p>(1) 県は、<u>兵庫DMAT指定病院のDMAT</u>（以下、「兵庫DMAT」という）の運用方法を定めるとともに、<u>通信用機器、医療資機材などの資機材の整備を促進するとともに訓練を実施することとする。</u></p> <p>(2) 県は、状況によっては、災害拠点病院が初動時に、自らの判断に基づき、速やかに<u>兵庫DMAT等の派遣を行うことができるようにするとともに、その場合は、県からの要請に基づいた派遣・活動として扱うこととする。</u></p> <p>(3) 県は、災害拠点病院の医師・各地域の医療関係者等に、災害医療コーディネーターを委嘱し、初動時に院内調整や自主判断による兵庫DMAT等の派遣、<u>被災患者の搬送先や兵庫DMAT及び救護班（以下「救護班等」という。）の派遣及び受入調整、地域医療情報センター等、関係機関との連携により災害医療の確保を図る役割を担うこととする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
		53	<p>5 兵庫県こころのケアチーム「ひょうごDPAT」等の整備</p> <p>(1) 県は、<u>兵庫県こころのケアチーム「ひょうごDPAT」（以下、「ひょうごDPAT」という）の体制を整備するため、ひょうごDPAT登録制度とひょうごDPAT活動マニュアルを整備することとする。</u></p> <p>(2) 県は、<u>通信用機器、衛星電話、共通ユニフォームなどの資機材を整備し、登録者に対し専門研修を実施することとする。</u></p> <p>(3) 県は、<u>発災後72時間以内に活動を開始するDPAT先遣隊を組織し、災害時こころの情報支援センターと協力して、各関係機関等との連携体制を整備することとする。</u></p>	<p>新制度創設に伴う追加</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																
	追加	53	<p><参考> ○ こころのケアチーム (DPAT) とは (DPAT : Disaster Psychiatric Assistance Team)</p> <table border="1" data-bbox="1064 252 1839 901"> <thead> <tr> <th colspan="2">こころのケアチーム DPAT の活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>被災者及び支援者に対する精神医療及び精神保健活動支援</td> </tr> <tr> <td>活動期間</td> <td>概ね、救命活動終了後～復旧期</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td>医療救護班、保健活動と連携し、精神科医療の提供、支援者支援、普及啓発を行う</td> </tr> <tr> <td>活動拠点</td> <td>DPAT 活動拠点本部 (健康福祉事務所等)</td> </tr> <tr> <td>活動場所</td> <td>救護所、避難所、仮設住宅等</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 被災前から精神科疾患に罹患しているもの 被災後、精神的不調を訴えた者 (トラウマ・PTSD関連疾患患者含む) 支援者 (地域医療従事者、救急隊員、行政職等) </td> </tr> <tr> <td>チーム構成</td> <td> 精神科病院単位を基本として登録 精神科医師 1名 精神科看護師等 1名 精神保健福祉士、臨床心理士 1名 ロジスティクス (公的機関職員) 1名 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 災害時における DMAT、医療救護班と DPAT の動き</p> 	こころのケアチーム DPAT の活動内容		目的	被災者及び支援者に対する精神医療及び精神保健活動支援	活動期間	概ね、救命活動終了後～復旧期	活動内容	医療救護班、保健活動と連携し、精神科医療の提供、支援者支援、普及啓発を行う	活動拠点	DPAT 活動拠点本部 (健康福祉事務所等)	活動場所	救護所、避難所、仮設住宅等	対象者	<ul style="list-style-type: none"> 被災前から精神科疾患に罹患しているもの 被災後、精神的不調を訴えた者 (トラウマ・PTSD関連疾患患者含む) 支援者 (地域医療従事者、救急隊員、行政職等) 	チーム構成	精神科病院単位を基本として登録 精神科医師 1名 精神科看護師等 1名 精神保健福祉士、臨床心理士 1名 ロジスティクス (公的機関職員) 1名	新制度創設に伴う追加
こころのケアチーム DPAT の活動内容																				
目的	被災者及び支援者に対する精神医療及び精神保健活動支援																			
活動期間	概ね、救命活動終了後～復旧期																			
活動内容	医療救護班、保健活動と連携し、精神科医療の提供、支援者支援、普及啓発を行う																			
活動拠点	DPAT 活動拠点本部 (健康福祉事務所等)																			
活動場所	救護所、避難所、仮設住宅等																			
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 被災前から精神科疾患に罹患しているもの 被災後、精神的不調を訴えた者 (トラウマ・PTSD関連疾患患者含む) 支援者 (地域医療従事者、救急隊員、行政職等) 																			
チーム構成	精神科病院単位を基本として登録 精神科医師 1名 精神科看護師等 1名 精神保健福祉士、臨床心理士 1名 ロジスティクス (公的機関職員) 1名																			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																						
52	<p>5 兵庫県災害医療センターの運営</p> <p>施設内容 所在地：神戸東部新都心（神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1） 鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階建、延床面積：6,300㎡、 病床数：30床 診療科目：内科、外科、整形外科、循環器科、神経内科など計9科</p> <table border="1" data-bbox="168 414 963 774"> <thead> <tr> <th colspan="2">兵庫県災害医療センター</th> <th rowspan="2">神戸赤十字病院</th> </tr> <tr> <th>病院機能</th> <th>病院以外の機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平時</td> <td> 1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送 </td> <td> 1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施 </td> </tr> <tr> <td>災害時</td> <td> 1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班の派遣 </td> <td> 1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班の派遣 </td> </tr> </tbody> </table> <p>6 災害拠点病院の整備 県及び災害拠点病院（県下10の二次保健医療圏域に16病院）の開設者は、各災害拠点病院について、耐震強化を図るとともに、備蓄倉庫、自家発電装置、受水槽、ヘリポート等の施設・設備整備を推進することとする。</p> <p>7 兵庫県こころのケアセンターの運営</p> <p>8 医薬品等の確保</p> <p>9 医療マンパワーの確保</p> <p>10 住民に対する啓発</p> <p>11 市町における災害医療体制等の整備</p> <p>12 市町地域防災計画で定めるべき事項</p>	兵庫県災害医療センター		神戸赤十字病院	病院機能	病院以外の機能	平時	1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送	1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施	災害時	1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班の派遣	1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班の派遣	54	<p>6 兵庫県災害医療センターの運営</p> <p>施設内容 所在地：神戸東部新都心（神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1） 鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階建、延床面積：6,300㎡、 病床数：30床 診療科目：内科、外科、整形外科、循環器内科、神経内科など計11科</p> <table border="1" data-bbox="1086 414 1881 774"> <thead> <tr> <th colspan="2">兵庫県災害医療センター</th> <th rowspan="2">神戸赤十字病院</th> </tr> <tr> <th>病院機能</th> <th>病院以外の機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平時</td> <td> 1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送 </td> <td> 1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施 </td> </tr> <tr> <td>災害時</td> <td> 1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班等の派遣 </td> <td> 1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班等の派遣 </td> </tr> </tbody> </table> <p>7 災害拠点病院の整備 県及び災害拠点病院（県下10の二次保健医療圏域に17病院）の開設者は、各災害拠点病院について、耐震強化を図るとともに、備蓄倉庫、自家発電装置、受水槽、ヘリポート等の施設・設備整備を推進することとする。</p> <p>8 兵庫県こころのケアセンターの運営</p> <p>9 医薬品等の確保</p> <p>10 医療マンパワーの確保</p> <p>11 住民に対する啓発</p> <p>12 市町における災害医療体制等の整備</p> <p>13 市町地域防災計画で定めるべき事項</p>	兵庫県災害医療センター		神戸赤十字病院	病院機能	病院以外の機能	平時	1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送	1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施	災害時	1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班等の派遣	1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班等の派遣	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p>
兵庫県災害医療センター		神戸赤十字病院																								
病院機能	病院以外の機能																									
平時	1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送	1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施																								
災害時	1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班の派遣	1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班の派遣																								
兵庫県災害医療センター		神戸赤十字病院																								
病院機能	病院以外の機能																									
平時	1 救命救急センターとして、3次救命救急医療を提供 2 ドクターカーによる患者搬送	1 災害救急医療情報指令センターを設置し、救急医療情報の収集・提供、救急救命士に対する特定行為の指示 2 災害時に備えた医薬品等の備蓄 3 医療従事者を対象にした災害医療に関する研修の実施																								
災害時	1 被災地からの重症患者等の受入れ 2 30床から100床に増床 3 救護班等の派遣	1 被災地からの患者の受入れ 2 310床から500床に増床 3 救護班等の派遣																								
53	<p>8 医薬品等の確保</p> <p>9 医療マンパワーの確保</p> <p>10 住民に対する啓発</p> <p>11 市町における災害医療体制等の整備</p> <p>12 市町地域防災計画で定めるべき事項</p>	55	<p>9 医薬品等の確保</p> <p>10 医療マンパワーの確保</p> <p>11 住民に対する啓発</p> <p>12 市町における災害医療体制等の整備</p> <p>13 市町地域防災計画で定めるべき事項</p>																							

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
54	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第10節 緊急輸送体制の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、県県土整備部県土企画局、県県土整備部土木局、県警察本部、市町、日本通運(株)、道路輸送機関〕</p> <p>第1 趣旨 災害時における災害応急活動に必要な物資等のための緊急輸送路の整備や緊急自動車等の通行を確保するための緊急交通路の設定等緊急輸送体制の整備について定める。</p> <p>第2 内容 1 緊急輸送路ネットワークの設定 県は、災害発生後、救助・救急・医療・消火活動を迅速に行うため、また、被災者に緊急物資を供給するため、あらかじめ緊急輸送路を定めることとする。 (1) 緊急輸送路ネットワークの形成 県は、道路状況や輸送拠点等の面から災害時の緊急輸送路を検討し、緊急時における輸送活動に適した円滑で効率的な道路ネットワークを形成することとする。</p>	56	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第10節 緊急輸送体制の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、<u>県農政環境部農林水産局</u>、<u>県県土整備部県土企画局</u>、<u>県県土整備部土木局</u>、<u>県警察本部</u>、市町、日本通運(株)、道路輸送機関〕</p> <p>第1 趣旨 災害時における災害応急活動に必要な物資等のための<u>緊急輸送道路</u>の整備や緊急自動車等の通行を確保するための緊急交通路の設定等緊急輸送体制の整備について定める。</p> <p>第2 内容 1 <u>緊急輸送道路</u>ネットワークの設定 県は、災害発生後、救助・救急・医療・消火活動を迅速に行うため、また、被災者に緊急物資を供給するため、あらかじめ<u>緊急輸送道路</u>を定めることとする。 (1) <u>緊急輸送道路</u>ネットワークの形成 県は、道路状況や防災拠点等をもとに、緊急時に円滑で効率的な輸送体制を確保できるよう、<u>緊急輸送道路ネットワークの整備を図り、代替路の設定などと併せ、大規模災害発生時の輸送手段の確保に努めることとする。</u> <u>緊急輸送道路を構成する路線は、県外からの救援物資等の輸送や、被災者の搬送など諸活動を想定して選定し、道路や防災拠点の整備状況等の変化を踏まえ、適宜見直しを行うこととする。</u></p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>所管課からの修正 い県に基づく修正</p> <p>所管課からの修正 意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
54	<p>(2) 路線の種類</p> <p>① 幹線緊急輸送路 <u>県は、県外からの物資流入地点と、広域防災拠点等を結ぶ幹線道路を設定し、県内いずれの地点で災害が発生した場合でも、被災地へ物資輸送ができるよう、その通行確保に努めることとする。</u></p> <p>② 一般緊急輸送路 <u>県は、広域防災拠点に集められた物資を、各市区町ごとに定めた地域防災拠点に送るための道路設定をし、当該地域が被災した場合に、その通行確保に努めることとする。</u></p> <p>(3) 維持管理 道路管理者は、緊急輸送路について、日頃から整備・点検に努めるとともに、災害発生時に万一被災した場合には、特に迅速な復旧に努めることとする。</p> <p>追加</p> <p>2 緊急交通路予定路線の事前指定</p> <p>(1) 緊急交通路の確保 県警察本部は、大規模災害が発生した場合において、被災地域内への緊急自動車等の通行を確保するため、活断層の分布状況、河川等の地理的条件等を勘案して、阪神・淡路地域、東・西播地域及び日本海地域に分割し、高速道路及び幹線道路を中心に道路及びその区間を緊急交通路の予定路線として事前指定することとする。</p>	56	<p>削除</p> <p>(2) 維持管理 道路管理者は、緊急輸送路について、日頃から整備・点検に努めるとともに、災害発生時に万一被災した場合には、特に迅速な復旧に努めることとする。</p> <p>(3) 通行の確保 <u>県は、県外からの救援物資等を広域防災拠点等を経由して各市区町ごとに定めた地域防災拠点等に輸送し、また、被災者を救助し災害拠点病院等に搬送するため、緊急輸送道路ネットワークに基づき、県内いずれの地点で災害が発生した場合でも、迅速な物資輸送や救援活動ができるよう、その通行確保に努めることとする。</u></p> <p>2 緊急交通路予定路線の事前指定</p> <p>(1) 緊急交通路の確保 県警察本部は、大規模災害が発生した場合において、被災地域内への緊急自動車等の通行を確保するため、被害想定状況、河川等の地理的条件等を勘案して、<u>県内を阪神地域、東・西播地域、但馬・丹波地域及び淡路地域に分割し、高速道路及び幹線道路を中心に道路及びその区間を緊急交通路の予定路線として事前指定することとする</u>とともに、その周知を図る。また、必要に応じて区域を指定して道路の占用の禁止又は制限を行う。</p>	<p>緊急輸送道路として統一</p> <p>国の防災基本計画にあわせた修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
54	<p>(2) 平時の整備</p> <p>県警察本部は、大規模災害が発生した場合において、通行可能な道路や交通状況の迅速な把握、さらには交通規制の実施のために、交通監視カメラ、車両感知器、交通規制資機材等の整備に努めることとする。</p> <p>追加</p> <p>また、広域交通管制及びそれに必要な相互支援活動を的確に行うため、他都道府県警察本部と協定等を締結し、平時からの連携体制を整備しておくこととする。</p>	57	<p>(2) 平時の整備</p> <p>県警察本部は、大規模災害が発生した場合において、通行可能な道路や交通状況の迅速な把握、さらには交通規制の実施のために、交通監視カメラ、車両感知器、交通規制資機材等の整備に努めることとする。</p> <p><u>また、道路交通機能の確保のため重要となる信号機への電源付加装置の整備等信号機滅灯対策を推進することとする。</u></p>	国防災基本計画にあわせた修正
55	<p>5 物資供給体制の整備</p> <p>近畿運輸局、神戸運輸監理部は、県、市町、関係機関と連携して、被災市町が自ら物資の調達・輸送を行うことが困難な場合にも被災者に物資を確実かつ迅速に届けられるよう、物資の要請体制・調達体制・輸送体制の整備を図るための協議会を設置し、民間の施設やノウハウを活用した災害ロジスティックスを構築することとする。</p> <p>(資 料)</p> <p>「緊急輸送路ネットワーク」*電子データ</p> <p>「緊急輸送路ネットワーク一覧表」*電子データ</p>		<p>5 物資供給体制の整備</p> <p>近畿運輸局、神戸運輸監理部、関西広域連合は、県、<u>政令市</u>、関係機関と連携して、被災市町が自ら物資の調達・輸送を行うことが困難な場合にも被災者に物資を確実かつ迅速に届けられるよう、物資の要請体制・調達体制・輸送体制の整備を図るための協議会を設置し、民間の施設やノウハウを活用した災害ロジスティックスを構築することとする。</p> <p>(資 料)</p> <p>「<u>緊急輸送道路</u>ネットワーク」*電子データ</p> <p>「<u>緊急輸送道路</u>ネットワーク一覧表」*電子データ</p>	所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
56	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第11節 避難対策の実施</p> <p>第2 内容 2 避難所の指定等</p> <p>(1) 市町が避難所を指定する場合の順位は、原則として次の通りとするが、立地条件や施設の耐震性を十分考慮することとする。</p> <p>① 公立小、中学校 ② その他公立学校 ③ 公民館 ④ その他の公共施設 ⑤ その他の民間の施設</p> <p>なお、市町は、避難所の場所について、標識、案内板、防災マップ等により住民に周知徹底を図ることとする。また、学校を避難所とする場合については、特に教育機能の早期回復に留意することとする。そのため、指定に当たって、教育委員会及び当該学校と市町（防災担当部局）は十分協議し、「学校における避難所運営業務及び市町防災部局への移行手順」を策定するとともに、継続的に連絡会議等を開催し、施設の開放区域と使用禁止区域、鍵の保管状況、資機材等の保管状況等について確認するなど、平時からの協力・連携体制の充実に努めることとする。</p> <p>(2) 市町は、各市町域における県被害想定による最大規模の避難者数を収容できる避難所確保を目標とし1施設の収容者数は概ね数百人程度までとすることとする。</p> <p>(3) 市町は、あらかじめ高齢者・障害者等、避難所での生活において特別な配慮を必要とする者を把握し、福祉避難所を指定するよう努めることとする。</p>	58	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第11節 避難対策の実施</p> <p>第2 内容 2 避難所等の指定</p> <p><u>市町は、都市公園、公民館、学校等の公共的施設等を対象に、地域の人口、地形、災害に対する安全性等及び想定される地震の諸元に応じ、その管理者の同意を得た上で、災害の危険が切迫した緊急時において安全が確保される「指定緊急避難場所」及び被災者が避難生活を送るための「指定避難所」をあらかじめ指定し、住民に対して周知徹底を図ることとする。</u></p> <p><u>(1) 指定緊急避難場所</u> <u>指定緊急避難場所については、災害の危険が及ばない場所又は施設を洪水等の災害種別ごとに指定することとし、異なる災害であっても、それらの災害の危険が及ばない場合は相互に兼ねることができる。</u></p> <p><u>指定緊急避難場所の指定基準は次のとおりとする。また、都市公園等のオープンスペースについては、火災に対して安全な空間とすることに努めることとする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>災害発生時に迅速に避難場所の開設を行うことが可能な管理体制を有するもの（管理条件）</u> ・<u>異常な現象による災害発生のおそれのない区域（安全区域）に立地しているもの（立地条件）</u> ・<u>安全区域外に立地する場合には、当該異常な現象に対して安全な構造であることのほか、洪水、津波等については、その水位よりも上に避難スペースがあるもの（構造条件）</u> 	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	58	<p><u>(2) 指定避難所</u></p> <p><u>①指定基準</u></p> <p>指定避難所の指定基準は次のとおりとし、指定避難所は指定緊急避難場所と相互に兼ねることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者等を滞在させるために必要かつ適切な規模を有するもので、各市町域における県被害想定による最大規模の避難者数を収容できる避難所確保を目標とし、1施設あたりの収容者数は概ね数百人程度までとする。(規模条件) ・速やかに被災者等の受入れ、生活関連物資の配布が可能な構造・設備を有するもの(構造条件) ・想定される災害による影響が比較的少ない場所に立地していること(立地条件) ・車両その他の運搬手段による物資の輸送等が比較的容易な場所にあるものであること(交通条件) ・災害時要援護者の滞在を想定し、バリアフリー化や、相談・介助等の支援体制に十分配慮するものとする。 	国防災基本計画にあわせた修正
		59	<p><u>②指定順位</u></p> <p>市町が避難所を指定する場合の順位は、原則として次の通りとし、施設管理者の同意を得た上で指定することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立小、中学校 ・その他公立学校 ・公民館 ・その他の公共施設(社会教育施設、福祉センター、文化・スポーツ施設等) ・その他の民間の施設(集会施設、体育施設、宿泊施設、寺社仏閣、社会福祉施設等) 	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	59	<p><u>③広域一時滞在への配慮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町は、指定避難所を指定する際に併せて広域一時滞在の用にも供することについて定めるなど、他の市町からの被災住民を受け入れることができる避難所を予め決定しておくよう努め、その際には、施設管理者に対し、広域一時滞在の用に供する避難所になりうることに付て予め同意を得るよう努めることとする。 ・市町は、大規模広域災害時に円滑な広域避難が可能となるよう、他の市町との広域一時滞在に係る応援協定の締結や被災者の運送が円滑に実施されるよう運送事業者との協定の締結など、発災時の具体的な避難、受け入れ方法を含めた手順等を定めるよう努めることとする。 ・県は、市町から県有施設（指定管理施設を含む）を広域一時滞在の用にも供する避難所として指定したい旨の申し出があったときは協力するよう努める。 ・県は、大規模広域災害時に円滑な広域避難が可能となるよう、他の都道府県との広域一時滞在に係る応援協定の締結や、被災者の運送が円滑に実施されるよう運送事業者との協定の締結など、発災時の具体的な避難、受け入れ方法を含めた手順等を定めるよう努める。 <p><u>④留意事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町は、避難所の場所について、標識、案内板、防災訓練の実施や防災マップの作成・配布等により住民に周知徹底を図ることとする。 ・学校を避難所とする場合については、特に教育機能の早期回復に留意することとする。そのため、指定に当たって、教育委員会及び当該学校と市町（防災担当部局）は十分協議し、「学校における避難所運営業務及び市町防災部局への移行手順」を策定するとともに、継続的に連絡会議等を開催し、施設の開放区域と使用禁止区域、鍵の保管状況、資機材等の保管状況等について確認するなど、平時からの協力・連携体制の充実に努めることとする。 ・市町は、あらかじめ高齢者・障害者等、避難所での生活において特別な配慮を必要とする者を把握し、福祉避難所を指定するよう努めることとする。 	国防災基本計画にあわせた修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
57	<p>4 施設、設備の整備 追加</p> <p>7 避難所管理・運営マニュアルの作成 市町は、災害時における避難所の迅速かつ円滑な管理・運営等を図るため県が作成した「避難所管理・運営の指針」等に基づき、自主防災組織をはじめとする住民、学校等の施設管理者その他の関係機関等とともに、地域の実情に応じた適切なマニュアルの作成に努めることとする。</p>	59	<p>4 施設、設備の整備 <u>(4) 市町は、過去の災害での事例を参考に必要なトイレを確保する。仮設トイレ等が必要な場合には、使用する者の事情や現場の状況を踏まえ、協定事業者、県等への応援要請を行う。トイレは避難者が中心となって清掃等を適切に行って健康被害の防止と衛生対策に努める。</u> <u>(5) 市町は、平常時から、井戸の整備をはじめ、避難所ごとに断水に備えた生活用水の確保方策を検討し、準備しておく。</u></p> <p>60 7 避難所管理運営マニュアルの作成 市町は、災害時における避難所の迅速かつ円滑な管理・運営等を図るため県が作成した「<u>避難所管理運営指針（平成25年版）</u>」等に基づき、自主防災組織をはじめとする住民、学校等の施設管理者その他の関係機関等とともに、<u>地域の実情に応じた適切なマニュアルの作成に努めることとする。</u></p>	所管課からの修正意見に基づく修正
58	<p>8 避難勧告等発令判断基準等策定のためのガイドライン作成 県は、市町の適時適切な避難情報の発令や住民への伝達に資するため、市町がマニュアルを作成する際の手順や基本事項について具体例を交えて示したガイドラインを作成することとする。</p> <p>9 市町地域防災計画で定めるべき事項 (1) 避難所の指定箇所 (2) 管理・運営体制の整備 (3) 設備・備蓄等の整備 (4) 運営組織の育成 (5) その他必要な事項</p>	60	<p>8 避難勧告等発令判断基準等策定のためのガイドライン作成 県は、市町の適時適切な避難情報の発令や住民への伝達に資するため、市町がマニュアルを作成する際の手順や基本事項について具体例を交えて示したガイドラインを作成するとともに、<u>市町から求めがあった場合には避難指示又は避難勧告の対象地域、判断時期等について助言することとする。</u> <u>市町は、避難勧告等を行う際に、国又は県に必要な助言を求められることができるよう、連絡調整窓口、連絡の方法を取り決めておくとともに、連絡先の共有を徹底しておくなど、必要な準備を整えておくこととする。</u></p> <p>9 市町地域防災計画で定めるべき事項 <u>(1) 指定緊急避難場所の指定箇所</u> <u>(2) 指定避難所の指定箇所</u> (3) 管理・運営体制の整備 (4) 設備・備蓄等の整備 (5) 運営組織の育成 (6) その他必要な事項</p>	国防災基本計画にあわせた修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																											
59	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第12節 備蓄体制の整備</p> <p>第2 内容 1 基本方針 (2) 県、市町は、県民が各家庭や職場で、平時から3日分の食料、飲料水、生活必需物資を備蓄するよう、自主防災組織や自治会等を通じて啓発するとともに、事業所等における物資の確保についても啓発することとする。</p> <p>2 食料 (1) 備蓄、調達 ② 目標数量</p> <table border="1" data-bbox="152 726 952 981"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">県民による備蓄</th> <th colspan="2">行政による備蓄</th> </tr> <tr> <th>市町</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティ域又は小中学校区レベル</td> <td>1人3日分 (現物備蓄)</td> <td>被災者の1日分相当量 (現物備蓄)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市町域レベル</td> <td></td> <td>被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広域レベル</td> <td></td> <td></td> <td>被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3日分</td> <td>2日分</td> <td>1日分</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 矢印は、不足が生じた場合、カバーする手順を示す。</p>		県民による備蓄	行政による備蓄		市町	県	コミュニティ域又は小中学校区レベル	1人3日分 (現物備蓄)	被災者の1日分相当量 (現物備蓄)		市町域レベル		被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)		広域レベル			被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)	合計	3日分	2日分	1日分	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第12節 備蓄体制の整備</p> <p>第2 内容 1 基本方針 (2) 県、市町は、県民が各家庭や職場で、平時から<u>最低でも3日間、可能な限り1週間分程度</u>の食料、飲料水、生活必需物資を備蓄するよう、自主防災組織や自治会等を通じて啓発するとともに、事業所等における物資の確保についても啓発することとする。</p> <p>2 食料 (1) 備蓄、調達 ② 目標数量</p> <table border="1" data-bbox="1064 718 1863 997"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">県民による備蓄</th> <th colspan="2">行政による備蓄</th> </tr> <tr> <th>市町</th> <th>県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティ域又は小中学校区レベル</td> <td>1人3日分※ (現物備蓄)</td> <td>被災者の1日分相当量 (現物備蓄)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市町域レベル</td> <td></td> <td>被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広域レベル</td> <td></td> <td></td> <td>被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3日分※</td> <td>2日分</td> <td>1日分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※可能な限り1週間分程度の備えをめざす。 (注) 矢印は、不足が生じた場合、カバーする手順を示す。</p>		県民による備蓄	行政による備蓄		市町	県	コミュニティ域又は小中学校区レベル	1人3日分※ (現物備蓄)	被災者の1日分相当量 (現物備蓄)		市町域レベル		被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)		広域レベル			被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)	合計	3日分※	2日分	1日分	<p>南海トラフ地震防災対策推進基本計画にあわせた修正</p>
	県民による備蓄			行政による備蓄																																											
		市町	県																																												
コミュニティ域又は小中学校区レベル	1人3日分 (現物備蓄)	被災者の1日分相当量 (現物備蓄)																																													
市町域レベル		被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)																																													
広域レベル			被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)																																												
合計	3日分	2日分	1日分																																												
	県民による備蓄	行政による備蓄																																													
		市町	県																																												
コミュニティ域又は小中学校区レベル	1人3日分※ (現物備蓄)	被災者の1日分相当量 (現物備蓄)																																													
市町域レベル		被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)																																													
広域レベル			被災者の1日分相当量 (現物又は流通在庫備蓄)																																												
合計	3日分※	2日分	1日分																																												
60	<p>(2) 搬送等 ③ 県は、広域防災拠点等から各市町の拠点等への搬送にあたり、輸送協定を締結しているトラック協会に依頼することとし、あらかじめ投入可能台数を把握することとする。</p>	<p>62</p> <p>(2) 搬送等 ③ 県は、広域防災拠点等から各市町の拠点等への搬送にあたり、輸送協定を締結している兵庫県トラック協会に依頼することとし、あらかじめ投入可能台数を把握することとする。</p>	<p>南海トラフ地震防災対策推進基本計画にあわせた修正</p> <p>脱字</p>																																												

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																
61	<p>3 生活必需物資</p> <p>(1) 備蓄、調達</p> <p>③ 品目</p> <p>県及び近畿経済産業局があらかじめ、調達先及び在庫量の確認を行う品目は次のとおりである。このうち、…略</p> <table border="1" data-bbox="190 331 878 619"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>特に重要な品目例</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寝具</td> <td>毛布 ほか</td> <td rowspan="7">具材の品目 調達等については 資料編に掲載</td> </tr> <tr> <td>外衣・肌着</td> <td>下着 ほか</td> </tr> <tr> <td>身の回り品</td> <td>タオル ほか</td> </tr> <tr> <td>炊事道具・食器</td> <td>哺乳瓶 ほか</td> </tr> <tr> <td>日用品</td> <td>トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ ほか</td> </tr> <tr> <td>光熱料等</td> <td>エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ ほか</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 方法</p> <p>ウ 県は、市町で供給が困難な場合、…略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が現物備蓄している物資 毛布、ブルーシート、仮設トイレ、仮設風呂 ・県が流通在庫備蓄している物資 毛布、ポリタンク、トイレットペーパー、哺乳瓶等乳幼児製品、紙おむつ <p>エ 近畿経済産業局は、被災者に対する生活関連物資等の救援物資を供給するための受入体制・輸送の確保及び建設復興資材の供給体制の確保を行うこととする。</p> <p>4 応急給水</p> <p>(2) 目標数量</p> <p>市町（水道事業者）は、発災直後に断水世帯に対し、最小限必要量の1人1日3ℓを給水することを目安に、給水体制を整備することとする。</p>	区分	特に重要な品目例	備 考	寝具	毛布 ほか	具材の品目 調達等については 資料編に掲載	外衣・肌着	下着 ほか	身の回り品	タオル ほか	炊事道具・食器	哺乳瓶 ほか	日用品	トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ ほか	光熱料等	エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ ほか	63	<p>3 生活必需物資</p> <p>(1) 備蓄、調達</p> <p>③ 品目</p> <p>県があらかじめ、調達先及び在庫量の確認を行う品目は次のとおりである。このうち、…略</p> <table border="1" data-bbox="1086 331 1854 606"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>特に重要な品目例</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寝具</td> <td>毛布 ほか</td> <td rowspan="7">具体的な品目、調達先等については、資料編に掲載</td> </tr> <tr> <td>外衣・肌着</td> <td>下着 ほか</td> </tr> <tr> <td>身の回り品</td> <td>タオル ほか</td> </tr> <tr> <td>炊事道具・食器</td> <td>哺乳瓶 ほか</td> </tr> <tr> <td>日用品</td> <td>トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ、上のおうし袋、仮設トイレ、ブルーシート、ティッシュペーパー ほか</td> </tr> <tr> <td>光熱材料等</td> <td>小型エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ、製氷機 ほか</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 方法</p> <p>ウ 県は、市町で供給が困難な場合、…略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が現物備蓄している物資 毛布、ブルーシート、仮設トイレ、仮設風呂、<u>紙おむつ</u> ・県が流通在庫備蓄している物資 毛布、ポリタンク、トイレットペーパー、哺乳瓶等乳幼児製品、紙おむつ <p>エ 近畿経済産業局は、<u>生活必需品、復興資材の調達に関する情報収集及び伝達を行うこととする。</u></p> <p>4 応急給水</p> <p>(2) 目標数量</p> <p>市町（水道事業者）は、発災直後に断水世帯に対し、最小限必要量の1人1日3ℓを給水することを目安に、給水体制を整備することとする。</p>	区分	特に重要な品目例	備 考	寝具	毛布 ほか	具体的な品目、調達先等については、資料編に掲載	外衣・肌着	下着 ほか	身の回り品	タオル ほか	炊事道具・食器	哺乳瓶 ほか	日用品	トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ、上のおうし袋、仮設トイレ、ブルーシート、ティッシュペーパー ほか	光熱材料等	小型エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ、製氷機 ほか	<p>対応</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>脱字</p>
区分	特に重要な品目例	備 考																																		
寝具	毛布 ほか	具材の品目 調達等については 資料編に掲載																																		
外衣・肌着	下着 ほか																																			
身の回り品	タオル ほか																																			
炊事道具・食器	哺乳瓶 ほか																																			
日用品	トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ ほか																																			
光熱料等	エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ ほか																																			
区分	特に重要な品目例		備 考																																	
寝具	毛布 ほか	具体的な品目、調達先等については、資料編に掲載																																		
外衣・肌着	下着 ほか																																			
身の回り品	タオル ほか																																			
炊事道具・食器	哺乳瓶 ほか																																			
日用品	トイレットペーパー、ポリタンク、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ、上のおうし袋、仮設トイレ、ブルーシート、ティッシュペーパー ほか																																			
光熱材料等	小型エンジン発電機、卓上コンロ・ボンベ、製氷機 ほか																																			

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
63	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第13節 家屋被害認定士制度等の整備</p> <p>第1款 家屋被害認定士制度の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 目的</p> <p>災害時における多くの被災者支援制度において市町長が発行する罹災証明が用いられることに鑑み、今後発生する災害における被害調査の迅速化と統一化を担保し、被災者支援制度の円滑な実施に資するため、県及び市町は、十分な知識と技術をもって即時に被害調査に従事できる家屋被害認定士を育成するとともに、県内における住家被害調査の調査方法及び判定方法の統一化と住家被害調査に従事する調査員及び家屋被害認定士の市町間の相互応援体制の整備を図ることとする。</p> <p>2 家屋被害認定士制度要綱の策定</p> <p>県は、「兵庫県家屋被害認定士制度」要綱（平成18年1月27日制定）に基づき、家屋被害認定士の養成、認証、登録、管理を行うこととする。</p> <p>4 調査員及び家屋被害認定士の相互応援体制の整備</p> <p>県は、市町と協力して、被害調査に従事する調査員及び家屋被害認定士の市町間の相互応援体制の整備を図ることとする。</p>	65	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第13節 家屋被害認定士制度等の整備</p> <p>第1款 家屋被害認定士制度の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 目的</p> <p><u>災害対策基本法第90条の2で市町長は、災害発生時に、遅滞なく被害の程度を証明する書面を交付すると定められている。このため今後発生する災害における被害調査の迅速化と統一化を担保し、被災者支援制度の円滑な実施に資するため、県及び市町は、十分な知識と技術をもって即時に被害調査に従事できる家屋被害認定士を育成するとともに、県内における住家被害調査の調査方法及び判定方法の統一化と住家被害調査に従事する調査員及び家屋被害認定士の市町間の相互応援体制の整備を図ることとする。</u></p> <p>2 家屋被害認定士制度要綱の策定</p> <p>県は、「兵庫県家屋被害認定士制度」要綱（平成18年1月27日制定）に基づき、家屋被害認定士の養成、認証、登録、管理を行うとともに、<u>担当者のための研修機会の拡充等により、災害時の住家被害の調査の迅速化を図ることとする。</u></p> <p>4 調査員及び家屋被害認定士の相互応援体制の整備</p> <p>県は、<u>災害時に罹災証明書の交付が遅滞なく行われるよう、市町と協力して、被害調査に従事する調査員及び家屋被害認定士の市町間の相互応援体制の整備を図ることとする。</u></p> <p><u>市町は、住家被害の調査の担当者の育成、他の地方公共団体や民間団体との応援協定の締結等を計画的に進めるなど、罹災証明書の交付に必要な業務の実施体制の整備に努めることとする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
66	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第14節 廃棄物対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 災害廃棄物処理計画の策定 災害時の廃棄物処理を迅速に実施し、早期復旧に資するため、市町は、あらかじめ災害廃棄物の処理計画を定めておくとともに、平常時から仮置場候補地のリストアップ、仮置場における分別・処理の運営体制について検討しておくこととする。</p> <p>追加</p> <p>また、市町は、廃棄物処理施設等の耐震化・浸水対策等の防災対策を図るよう努めるとともに、災害廃棄物処理計画の策定にあたっては、水害ごみの分別については、少なくとも可燃、不燃、粗大、量、廃家電の5分別に努めることを明記することとする。</p> <p>表 ～略～</p> <p>追加</p> <p>3 市町地域防災計画に定めるべき事項</p>	68	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第14節 廃棄物対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 災害廃棄物処理計画の策定 災害時の廃棄物処理を迅速に実施し、早期復旧に資するため、市町は、あらかじめ仮置き場の配置や災害廃棄物の処理方法等について、具体的に示した災害廃棄物の処理計画を定めておくとともに、平常時から仮置場候補地のリストアップ、仮置場における分別・処理の運営体制について検討しておくこととする。また、<u>広域処理を行う地域単位で一定程度の余裕をもった処理施設の能力を維持し、災害廃棄物処理の多重化や代替性の確保を図ることとする。</u></p> <p>さらに、市町は、廃棄物処理施設等の耐震化・浸水対策等の防災対策を図るよう努めるとともに、災害廃棄物処理計画の策定にあたっては、水害ごみの分別については、少なくとも可燃、不燃、粗大、量、廃家電の5分別に努めることを明記することとする。</p> <p>表 ～略～</p> <p>3 その他 <u>廃棄物処理施設については、大規模災害発生時に電力供給や熱供給等の役割も期待できることから、始動用緊急電源のほか、電気・水・熱の供給設備を設置するよう努めることとする。</u></p> <p>4 市町地域防災計画に定めるべき事項</p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
67	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第15節 災害時要援護者支援対策の充実</p> <p>〔実施機関：県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、健康福祉部障害福祉局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県産業労働部国際局、県県土整備部土木局、市町〕</p> <p>第2 内容 1 災害時要援護者支援体制の整備 (2) 避難行動要支援者名簿の整備 市町は、平常時から自力での避難が困難な災害時要援護者（避難行動要支援者）の所在等を把握し、避難行動要支援者名簿を整備しておくこととする。</p>	70	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第15節 災害時要援護者支援対策の充実</p> <p>〔実施機関：県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、<u>県健康福祉部高齢社会局</u>、健康福祉部障害福祉局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県産業労働部国際局、県県土整備部土木局、市町〕</p> <p>第2 内容 1 災害時要援護者支援体制の整備 (2) <u>災害時要援護者の日常的把握と避難行動要支援者名簿の整備</u> 市町は、<u>防災担当部局と福祉担当部局との連携のもと、平常時から災害時要援護者に関する情報を把握するよう努める。このうち、少なくとも避難行動要支援者（自力での避難が困難な災害時要援護者）については、災害対策基本法に定める避難行動支援者名簿を整備しておくこととする。名簿は、地域における避難行動要支援者の居住状況や避難支援を必要とする事由を適切に反映したものとなるよう、定期的に更新することとする。</u> <u>なお、災害対策基本法による義務づけ前から「災害時要援護者名簿」等の名称で何らかの名簿を作成している市町については、当該名簿の内容が法に定める「避難行動要支援者名簿」の内容を包含もしくは実質的に相当している場合には、改めて避難行動要支援者名簿を作成する必要はない。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>法改正に伴う修正</p>

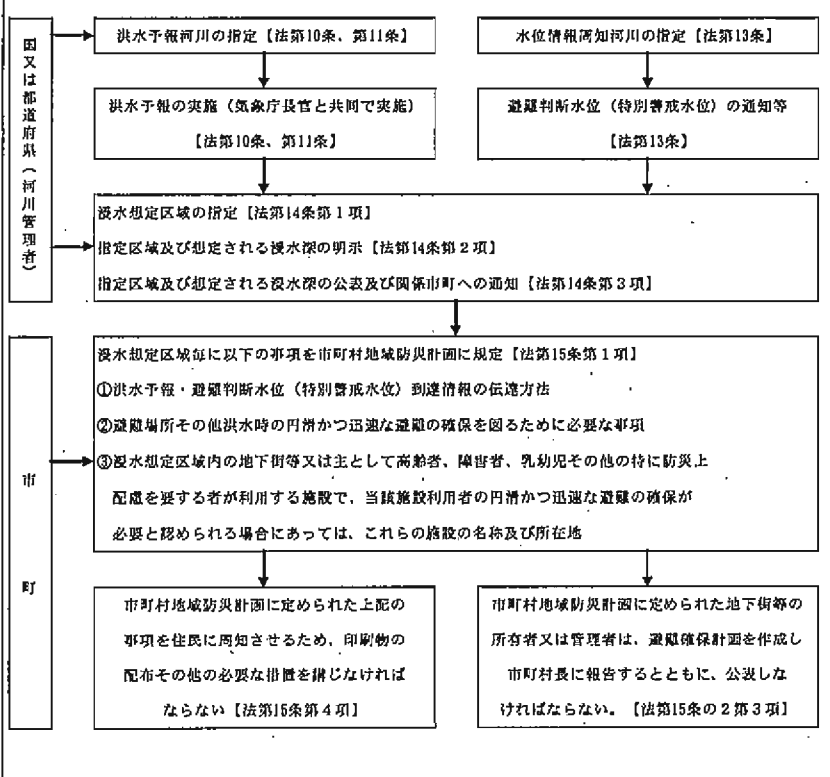
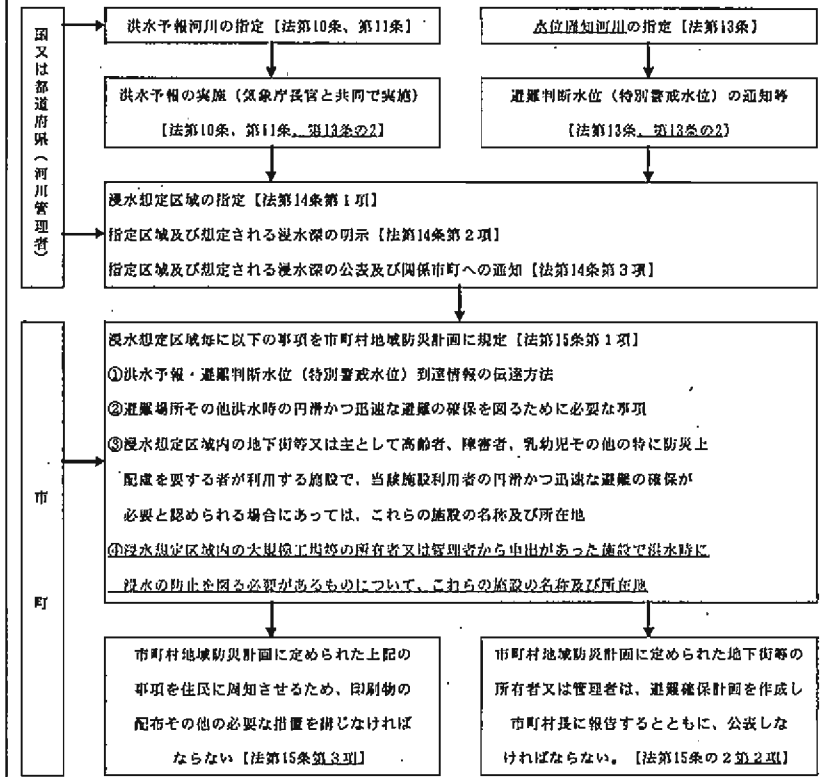
頁	現 行	頁	修 正 案	対応
67	<p>(3) 避難行動要支援者名簿の共有</p> <p>市町は、災害時の避難支援等に活用するため、避難行動要支援者名簿を庁内関係課と共有するとともに、本人の同意を得ることを基本に、避難行動要支援者名簿を民生委員・児童委員、自主防災組織、自治会等に提供しよう努めることとする。</p>	70	<p>(3) 避難行動要支援者名簿の共有</p> <p>市町は、避難支援等に携わる関係者として市町地域防災計画に定めた機関・団体等に対して、<u>避難行動要支援者本人の同意を得た上であらかじめ避難行動要支援者名簿を提供し、多様な主体の協力を得ながら、避難行動要支援者に対する情報伝達体制の整備、避難支援・安否確認体制の整備、避難訓練の実施等を一層図ることとする。その際、名簿情報の漏えいの防止等必要な措置を講じることとする。</u></p>	法改正に伴う修正
68	<p>6 災害時要援護者関連施設に係る総合的な土砂災害対策の実施</p> <p>県は、市町等の関係機関と十分な連携及び調整を図った上で、県土保全事業を推進するとともに、災害時要援護者関連施設に対して、土砂災害に関する情報の提供、防災体制整備の指導等、災害時要援護者関連施設に係る総合的な土砂災害対策を講じることとする。</p>	72	<p>6 災害時要援護者関連施設に係る総合的な土砂災害対策の実施</p> <p>県は、市町等の関係機関と十分な連携及び調整を図った上で、県土保全事業を推進するとともに、災害時要援護者関連施設に対して、<u>市町を通じての土砂災害に関する情報の提供、防災体制整備の指導等、災害時要援護者関連施設に係る総合的な土砂災害対策を講じることとする。</u></p>	所管課からの修正意見に基づく修正
69	<p>8 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 災害時要援護者の日常的把握</p> <p>(2) 災害時要援護者支援体制の整備</p> <p>(3) 災害時要援護者への情報伝達や避難誘導</p> <p>(4) 緊急通報システムの整備</p> <p>(5) 社会福祉施設等の整備</p> <p>(6) 災害時要援護者関連施設に係る土砂災害対策の実施</p> <p>(7) 土砂災害危険箇所、地区等に所在する災害時要援護者関連施設一覧</p> <p>(8) 外国語による防火防災対策の啓発</p> <p>(9) 福祉避難所の設置</p> <p>(10) その他必要な事項</p>		<p>8 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 災害時要援護者の日常的把握</p> <p>(2) <u>避難行動要支援者名簿の整備</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(2)の規定にあたり盛り込む項目</p> <p>① 名簿作成の対象範囲</p> <p>② 名簿の提供先、方法</p> <p>③ 名簿作成に必要な個人情報及びその入手方法</p> <p>④ 名簿の更新に関する事項</p> <p>⑤ 名簿の提供に際し、情報漏洩を防止するために求める措置及び講ずる措置</p> <p>⑥ 避難支援等関係者の安全確保</p> </div> <p>(3) 災害時要援護者への情報伝達や避難誘導</p> <p>(4) 緊急通報システムの整備</p> <p>(5) 社会福祉施設等の整備</p> <p>(6) 災害時要援護者関連施設に係る土砂災害対策の実施</p> <p>(7) 土砂災害警戒区域等に所在する災害時要援護者関連施設一覧</p> <p>(8) 外国語による防火防災対策の啓発</p> <p>(9) 福祉避難所の設置</p> <p>(10) その他必要な事項</p>	法改正に伴う修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
70	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第16節 災害ボランティア活動の支援体制の整備</p> <p>〔実施機関：県企画県民部県民文化局、県企画県民部防災企画局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 災害ボランティア活動の環境整備</p> <p>(3) ボランティア活動の支援拠点の整備</p> <p>県、市町は、平時における各種のボランティア活動が災害時にも生かされるとの考え方のもとに、社会福祉協議会、日本赤十字社その他のボランティア団体と連携を図りながら、県域、市町域単位で、ボランティア活動の支援拠点の整備に努めることとする。</p> <p>なお、県においては、県民ボランティア活動の全県的支援拠点であるひょうごボランティアプラザにおいて、地域支援拠点や中間支援組織に対する支援や情報ネットワークの基盤強化をコンセプトに、交流・ネットワーク、情報の提供、相談、人材育成等の支援事業を展開することとする。</p>	73	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第16節 災害ボランティア活動の支援体制の整備</p> <p>〔実施機関：県企画県民部、県企画県民部防災企画局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 災害ボランティア活動の環境整備</p> <p>(3) ボランティア活動の支援拠点の整備</p> <p>県、市町は、平時における各種のボランティア活動が災害時にも生かされるとの考え方のもとに、<u>ボランティアの自主性を尊重しつつ</u>、社会福祉協議会、日本赤十字社その他のボランティア団体と連携を図りながら、県域、市町域単位で、ボランティア活動の支援拠点の整備に努めることとする。</p> <p>なお、県においては、県民ボランティア活動の全県的支援拠点であるひょうごボランティアプラザにおいて、地域支援拠点や中間支援組織に対する支援や情報ネットワークの基盤強化をコンセプトに、交流・ネットワーク、情報の提供、相談、人材育成等の支援事業を展開することとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p>
71	<p>2 災害救援専門ボランティア制度の運営</p> <p>県は関係団体の協力を得て、県内外で大規模災害等が発生した際に救援活動に赴く<u>県災害救援専門ボランティア（ひょうご・フェニックス救援隊－「HEART－PHOENIX」）</u>の制度の運営を行うこととする。</p> <p>(1) 災害救援専門ボランティアの活動分野</p> <p>① 救急・救助</p> <p>② 医療（医師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、薬剤師、理学療法士、作業療法士）</p> <p>③ 介護</p> <p>④ 建物判定</p> <p>⑤ 情報・通信</p> <p>⑥ 手話通訳</p>		<p>削除</p>	<p>事業廃止に伴う修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
71	<p>⑦ ボランティアのコーディネート</p> <p>⑧ 輸送</p> <p><u>(2) 県の支援内容</u></p> <p>① 研修の実施</p> <p>② 災害に関する諸情報の提供</p> <p>③ 災害救援専門ボランティアをも含めた防災訓練の実施促進 等</p> <p><u>(3) 初動チームの派遣体制の整備</u></p> <p><u>災害救援専門ボランティアのより迅速かつ円滑な出動体制の整備を図るため、登録ボランティアの中から「初動チーム」を編成し、主に県外において大災害が発生した際、被災自治体の出動要請を待たずに、直ちに被災地へ赴き、被災状況、被災者のニーズの把握等情報収集や、被災地における災害ボランティア受け入れ組織等との連絡調整にあたる仕組みを構築することとする。</u></p>		<p>削除</p>	<p>事業廃止に伴う修正</p>
	<p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(3) 災害ボランティア等の確保</p> <p>① 被災地域におけるボランティアニーズの把握と、災害ボランティア確保のための災害ボランティアセンター、各ボランティア団体への情報提供などの各種支援</p> <p>② <u>県災害救援専門ボランティアとの協力</u></p>	74	<p>2 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(3) 災害ボランティア等の確保</p> <p>被災地域におけるボランティアニーズの把握と、災害ボランティア確保のための災害ボランティアセンター、各ボランティア団体への情報提供などの各種支援</p>	<p>事業廃止に伴う修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
72	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第17節 水防対策等の充実</p> <p>第2 内容 1 洪水 (1) 浸水想定区域の指定・公表等 水防法の改正（平成17年7月施行）により、国土交通大臣または知事は、洪水予報河川及び水位情報周知河川に係る河川の浸水想定区域の指定を行う。また、指定した浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を公表するとともに、関係市町に通知する。</p> <p>(2) 浸水想定区域における避難確保措置 市町は、浸水想定区域の指定があったときは、市町地域防災計画において、当該浸水想定区域ごとに、洪水予報及び避難判断水位（特別警戒水位）到達情報（以下、「洪水予報等」という。）の伝達方法、避難場所等円滑かつ迅速な避難確保を図るために必要な事項を定めることとする。</p> <p>なお、浸水想定区域内に地下街その他不特定かつ多数の者が利用する施設又は主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に防災上の配慮を要する者が利用する施設がある場合には、当該施設の名称及び所在地並びにそれらの利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保が図られるよう洪水予報等の伝達方法を定めることとする。</p> <p>浸水想定区域が指定されたその区域の市町は、市町地域防災計画において定められた洪水予報の伝達方法、避難場所その他避難確保のため必要な事項を住民へ周知することとする。</p>	75	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第17節 水防対策等の充実</p> <p>第2 内容 1 洪水 (1) 浸水想定区域の指定・公表等 国土交通大臣または知事は、洪水予報河川及び水位情報周知河川に係る河川の浸水想定区域の指定を行う。また、指定した浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を公表するとともに、関係市町に通知する。</p> <p>(2) 浸水想定区域における避難確保措置 市町は、浸水想定区域の指定があったときは、市町地域防災計画において、当該浸水想定区域ごとに、洪水予報及び避難判断水位（特別警戒水位）到達情報（以下、「洪水予報等」という。）の伝達方法、避難場所等円滑かつ迅速な避難確保を図るために必要な事項を定めることとする。</p> <p>また、浸水想定区域内に地下街等（地下街その他地下に設けられた不特定かつ多数の者が利用する施設）で洪水時に利用者の円滑かつ迅速な避難の確保及び浸水の防止を図ることが必要なもの、要配慮者利用施設（主として高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者が利用する施設をいう。以下同じ。）で洪水時に利用者の円滑かつ迅速な避難の確保が必要なもの又は大規模工場等（大規模な工場その他地域の社会経済活動に重大な影響が生じる施設として市町村が条例で定める用途及び規模に該当するもの）の所有者又は管理者から申出があった施設で洪水時に浸水の防止を図る必要があるものについて、これらの施設の名称及び所在地について定めることとする。名称及び所在地を定めたこれらの施設については、市町は、市町地域防災計画において、当該施設の所有者又は管理者及び自衛水防組織の構成員に対する洪水予報等の伝達方法を定めることとする。</p> <p>浸水想定区域が指定されたその区域の市町は、市町地域防災計画において定められた洪水予報の伝達方法、避難場所その他避難確保のため必要な事項を住民へ周知することとする。</p>	法改正に伴う修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
72	<p>(3) 地下街等の避難確保計画の作成</p> <p>市町地域防災計画にその名称及び所在地を定められた地下街等の所有者又は管理者は、単独で又は共同して、国土交通省令で定めるところにより、当該地下街等の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置に関する計画を作成し、これを市町長に報告するとともに、公表することとする。</p> <p>(5) その他の対策</p> <p>① 情報の収集・伝達・共有</p> <p>河川管理者は、水位計、雨量計、河川監視用カメラなど情報収集のための施設整備を推進することとする。また流域が大きく重要な河川については、流域全体を視野に入れ洪水危険情報通報システムを確立することとする。</p> <p>③ 水防活動の充実</p> <p>県は、平成16年水害の教訓を踏まえ、河川管理者としての水防活動の総点検と改善を行うこととする。また、水防団員（消防団員が兼務）及び関係機関職員の水防技術の習得を行うため、水防技術等の普及による水防訓練を充実させることとする。</p> <p>市町は、水防団に対する活動支援策や近隣団体との協力体制強化、NPO、民間等との連携等について検討を進めることとする。</p> <p>河川管理者、水防管理団体、水防団は、水防資材の備蓄状況の把握と補てん、あるいは近隣団体との連携について検討することとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項（浸水想定区域の指定がなされた市町）</p> <p>(1) 洪水予報の伝達方法</p> <p>(2) 避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項</p>	75	<p>(3) 地下街等の避難確保計画の作成と公表</p> <p>市町地域防災計画にその名称及び所在地を定められた地下街等の所有者又は管理者は、単独で又は共同して、国土交通省令で定めるところにより、当該地下街等の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置に関する計画を作成し、これを市町長に報告するとともに、公表することとする</p> <p><u>また、市町長は地下街利用者の避難と浸水防止を図るため必要であると認められるときは、連続する2以上の地下街の管理者に対し、前記の計画を共同して作成するよう勧告することとする。</u></p> <p>(5) その他の対策</p> <p>① 情報の収集・伝達・共有</p> <p>河川管理者は、水位計、雨量計、河川監視用カメラなど情報収集のため整備した施設を適切に管理する。また流域面積が大きく洪水により甚大な被害が生じる恐れがあるとして指定した洪水予報河川において、神戸地方気象台と共同して洪水予報を発表する。</p> <p>③ 水防活動の充実</p> <p>県は、河川管理者としての水防活動の総点検と改善を行うこととする。また、水防団員（消防団員が兼務）及び関係機関職員の水防技術の習得を行うため、水防技術等の普及による水防訓練を充実させることとする。</p> <p>市町は、水防団に対する活動支援策や近隣団体との協力体制強化、NPO、民間等との連携等について検討を進めることとする。</p> <p>河川管理者、水防管理団体、水防団は、水防資材の備蓄状況の把握と貸与や補てん、あるいは近隣団体との連携について検討することとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項（浸水想定区域の指定がなされた市町）</p> <p>(1) 洪水予報の伝達方法</p> <p>(2) 避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項</p>	<p>法改正に伴う修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
73	<p>③ 水防活動の充実</p> <p>県は、平成16年水害の教訓を踏まえ、河川管理者としての水防活動の総点検と改善を行うこととする。また、水防団員（消防団員が兼務）及び関係機関職員の水防技術の習得を行うため、水防技術等の普及による水防訓練を充実させることとする。</p> <p>市町は、水防団に対する活動支援策や近隣団体との協力体制強化、NPO、民間等との連携等について検討を進めることとする。</p> <p>河川管理者、水防管理団体、水防団は、水防資材の備蓄状況の把握と補てん、あるいは近隣団体との連携について検討することとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項（浸水想定区域の指定がなされた市町）</p> <p>(1) 洪水予報の伝達方法</p> <p>(2) 避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項</p>	76	<p>③ 水防活動の充実</p> <p>県は、河川管理者としての水防活動の総点検と改善を行うこととする。また、水防団員（消防団員が兼務）及び関係機関職員の水防技術の習得を行うため、水防技術等の普及による水防訓練を充実させることとする。</p> <p>市町は、水防団に対する活動支援策や近隣団体との協力体制強化、NPO、民間等との連携等について検討を進めることとする。</p> <p>河川管理者、水防管理団体、水防団は、水防資材の備蓄状況の把握と貸与や補てん、あるいは近隣団体との連携について検討することとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項（浸水想定区域の指定がなされた市町）</p> <p>(1) 洪水予報の伝達方法</p> <p>(2) 避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

	現 行	頁	修 正 案	対 応
73	<p>(3) 地下街等又は主として高齢者、障害者、乳幼児その他特に防災上の配慮を要する者が利用する施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保する必要がある場合にあつては、施設の名称及び所在地</p> <p>追加</p> <p>(4) (3) の施設における洪水予報等の伝達方法</p> <p>(5) 住民への周知（ハザードマップの配布）</p> <p>※ (1)～(4)については浸水想定区域ごとに定める。</p> <p>【参考】</p> <p>【水防法に基づく事務処理の流れ】</p> 	76	<p>(3) 浸水想定区域内の地下街等又は主として高齢者、障害者、乳幼児その他特に防災上の配慮を要する者が利用する施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保する必要がある場合にあつては、施設の名称及び所在地</p> <p>(4) 浸水想定区域内の大規模工場等の所有者又は管理者から申し出があつた施設で洪水時に浸水の防止を図る必要があるものについて、これらの施設の名称及び所在地</p> <p>(5) (3) (4) の施設における洪水予報等の伝達方法</p> <p>(6) 住民への周知（ハザードマップの配布）</p> <p>※ (1)～(5)については浸水想定区域ごとに定める。</p> <p>【参考】</p> <p>【水防法に基づく事務処理の流れ】</p> 	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
74	<p>国又は都道府県（河川管理者）</p> <p>市</p> <p>町</p>	77	<p>国又は都道府県（河川管理者）</p> <p>市</p> <p>町</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
75	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第18節 土砂災害対策の充実</p> <p>第2 内容 2 土砂災害警戒区域等の指定</p> <p>県は、土砂災害のおそれがある区域について、警戒避難体制の整備や一定の開発行為を制限するなどの目的のために、基礎調査を実施して、土砂災害により県民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地等の区域の把握を行ったうえ、政令で定める基準に該当するものを、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域として指定することができる。</p> <p>(1) 土砂災害警戒区域 土砂災害のおそれのある区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域</p> <p>(2) 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、県民等に著しい危害が生じるおそれがある区域</p> <p>4 市町の責務 (1) 住民への周知</p>	78	<p>第2編 災害予防計画 第2章 災害応急対策への備えの充実</p> <p>第18節 土砂災害対策の充実</p> <p>第2 内容 2 土砂災害警戒区域等の指定</p> <p>県は、土砂災害のおそれがある区域について、警戒避難体制の整備などを目的として、基礎調査を実施し、土砂災害により県民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地等の区域の把握を行ったうえ、政令で定める基準に該当するものを、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域として指定することができる。</p> <p>(1) 土砂災害警戒区域 ・ 土砂災害により県民等に危害が生じるおそれがある<u>土地</u>の区域 ・ 土砂災害を防止するために<u>市町</u>が警戒避難体制を整備</p> <p>(2) 土砂災害特別警戒区域 ・ 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、県民等に著しい危害が生じるおそれがある<u>土地</u>の区域</p> <p>4 市町の責務 (1) 住民への周知</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
76	<p>① 平常時からの防災意識の高揚を促すための周知 ア 土砂災害情報を記載した印刷物（ハザードマップ等）の作成・公表</p> <p>5 山地災害危険地区の周知 市町は、土砂災害警戒区域に関する印刷物を配布する場合は、山地災害危険地区に係る危険地情報や警戒避難態勢に関する事項についても記載することとする。</p>	79	<p>① 平常時からの防災意識の高揚を促すための周知 ア 土砂災害警戒区域等を記載した印刷物（ハザードマップ等）の作成・公表・配布</p> <p>削除 <5 (1) ①で記載></p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
76	<p>6 その他の対策</p> <p>(1) 土砂災害のおそれのある場所情報の提供</p> <p>① 土砂災害危険箇所の周知</p> <p>県は、土砂災害危険箇所図を市町に配布し、県民への周知に努めるとともに、県ホームページにおいても公開することとする。</p> <p>② 危険箇所の点検</p> <p>県は、防災担当者、防災ボランティア（防災エキスパート、砂防ボランティア、山地災害情報協力員）と地域の住民との合同巡視・点検を可能な限り実施することとする。</p>	79	<p>5 その他の対策</p> <p>(1) 土砂災害のおそれのある場所情報の提供</p> <p>① 土砂災害警戒区域等の周知</p> <p>市町は、ハザードマップを作成・配布することとする。また、土砂災害警戒区域に関する印刷物を配布する場合は、<u>山地災害危険地区にかかる危険地情報等に関する事項についても記載することとする。</u></p> <p>県は、<u>県ホームページ等により土砂災害警戒区域等の周知に努める。</u></p> <p>② 土砂災害警戒区域等の点検</p> <p>県は、<u>26年8月豪雨による丹波市及び広島市の土砂災害を契機に、全県の土砂災害警戒区域（未指定の危険箇所を含む）の総点検を、26年度から28年度の3年間で実施する。さらに、土木事務所や市町にヒアリングを行い、危険箇所以外についても土砂災害警戒区域の指定について検討する。</u></p> <p>また、県は、防災担当者、防災ボランティア（防災エキスパート、砂防ボランティア、山地災害情報協力員）と地域の住民との合同巡視・点検を可能な限り実施することとする。</p> <p>③ 山地災害危険地区の点検</p> <p>県は、<u>26年8月豪雨による丹波市及び広島市の土砂災害を契機に、山地災害危険地区（未指定の危険地区を含む）の総点検を、26年度から28年度の3年間で実施することとし、点検結果を市町へ連絡するとともに、県ホームページに反映させることとする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
77	<p>7 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(3) 土砂災害警戒区域の周知</p>	80	<p>6 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(3) 土砂災害警戒区域等の周知</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
81	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>第1節 防災に関する学習等の充実</p> <p>〔実施機関：県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、県教育委員会、防災関係機関〕</p> <p>第2 内容 5 一般県民に対する防災知識の普及 (1) 周知方法 ② インターネット（県は、平成17年8月から県のホームページで、洪水、土砂災害、高潮、津波による危険度等を示すCGハザードマップを公開している。http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/）、ビデオ、ラジオ、テレビ等による普及</p> <p>[CGハザードマップの内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報マップ（洪水、土砂災害、高潮、津波） <ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域、土砂災害危険箇所、高潮浸水想定区域、津波浸水予測図 ・避難所情報 ・雨量、水位のリアルタイム情報 ・主要地点における浸水状況の動画 ○ 防災学習 <ul style="list-style-type: none"> ・災害の恐ろしさ ・避難時の留意点 等 	85	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>第1節 防災に関する学習等の充実</p> <p>〔実施機関：県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、<u>県県土整備部</u>、<u>県教育委員会</u>、防災関係機関〕</p> <p>第2 内容 5 一般県民に対する防災知識の普及 (1) 周知方法 ② インターネット（県は、県のホームページで、洪水、土砂災害、高潮、津波、ため池による危険度等を示すCGハザードマップを公開している。）、ビデオ、ラジオ、テレビ等による普及</p> <p>[CGハザードマップの内容] http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>5つの自然災害（洪水、土砂災害、高潮、津波、ため池）の危険度（洪水・高潮・津波・ため池浸水想定区域図や土砂災害警戒区域等）や避難に必要な情報（避難所等）が確認できる。</u> ○ <u>雨量、河川水位、カメラ画像、土砂災害危険度等のリアルタイム情報が一元的に確認できる。</u> ○ <u>駅や主要地点における浸水イメージCGなどで災害の恐ろしさや、避難所の留意点等、防災学習ができる。</u> ○ <u>作図機能で地域の防災マップの作成ができる。</u> 	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
82	<p>(2) 周知内容 ③ 災害に対する平素の心得 追加</p>	86	<p>(2) 周知内容 ③ 災害に対する平素の心得 キ 食料、飲料水、物資の備蓄（最低でも3日間、可能な限り1週間分程度） シ <u>兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）への加入の必要性</u> ス <u>飼い主による家庭動物との同行避難や避難所での飼養についての準備 等</u></p>	<p>南海トラフ地震防災対策推進基本計画にあわせた修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
82	<p>6 一般県民に対する防災実践活動の促進</p> <p>県は、ひょうご安全の日推進県民会議と連携し、地域や家庭における実践活動を促進するため、県民グループ等（自主防災組織、自治会、婦人会、学校等）からの依頼に応じて、ひょうご防災特別推進員を派遣し、講義等を実施することとする。</p>	87	<p>6 一般県民に対する防災実践活動の促進</p> <p>県は、ひょうご安全の日推進県民会議と連携し、地域や家庭における実践活動を促進するため、県民グループ等（自主防災組織、自治会、婦人会、学校等）からの依頼に応じて、ひょうご防災特別推進員を派遣し、講義等を実施することとする。<u>また、防災士会等とも連携し、自主防災組織の活性化に取り組む組織からの依頼に応じて、ワークショップや避難訓練の企画・運営に関する助言・指導を行う。</u></p>	所管課からの修正意見に基づく修正
83	<p>〔主な講義内容〕</p> <p>家具等の転倒防止、住宅の耐震化、<u>住宅用火災警報器の設置</u>、県住宅再建共済制度への加入、防災訓練等</p> <p>7 ひょうご防災リーダー講座の開設</p> <p>(3) 開催場所</p> <p>県広域防災センター（三木総合防災公園内）及び地域別に開催</p>		<p>〔主な講義内容〕</p> <p>家具等の転倒防止、住宅の耐震化、<u>県住宅再建共済制度への加入</u>、防災訓練等</p> <p>7 ひょうご防災リーダー講座の開設</p> <p>(3) 開催場所</p> <p><u>県広域防災センター（三木総合防災公園内）</u></p>	地域別休止に伴う修正
	<p>8 学校における防災教育</p> <p>(1) 教育委員会の取り組み</p> <p>教育委員会は、学校における防災教育の推進を図るため、次の事項について進行管理を行うこととする。</p> <p>② 教職員の指導力を向上させるため、各種研修会、訓練等の充実を図る</p> <p>ア 一般教職員への研修会の実施</p> <p>・各教育事務所ごとに年2回実施</p> <p>(2) 各学校の取り組み</p> <p>各学校は「学校防災計画」に基づき、学校防災体制の整備充実を図るとともに、児童・生徒に対する防災教育を推進するため、次の事項について周知徹底に努めることとする。</p> <p>① 学校における防災教育の充実</p> <p>ア 緊急時にも適切に対応できる実践的態度や能力などを育成</p> <p>イ 助け合いやボランティア精神など「共生」の心を育み、人間としての在り方生き方を考えさせる防災教育の推進</p>		<p>8 学校における防災教育</p> <p>(1) 教育委員会の取り組み</p> <p>教育委員会は、学校における防災教育の推進を図る。</p> <p>② 教職員の指導力を向上させるため、各種研修会、訓練等の充実を図る。</p> <p>ア <u>教職員への研修会の実施</u></p> <p>・<u>教育事務所ごとに年2回実施</u></p> <p>(2) 各学校の取り組み</p> <p>各学校は「学校防災計画」に基づき、学校防災体制の整備充実を図るとともに、<u>児童生徒に対する防災教育を推進する。</u></p> <p>① 学校における防災教育の充実</p> <p>ア <u>様々な災害から自らの命を守るために、適切に判断し、主体的に行動する態度を育成</u></p> <p>イ 助け合いやボランティア精神など「共生」の心を育み、人間としての在り方生き方を考えさせる防災教育の推進</p>	所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
83	<p>ウ 地域の災害の特性や歴史などを踏まえた地域学習素材の開発などに努め、「総合的な学習の時間」などを活用した効果的な指導の展開</p> <p>エ 副読本や学習資料等を活用して、防災学習の効果的な指導方法の工夫・改善を進めるとともに、研修会を通じた実践的指導力の向上</p> <p>② 学校防災体制の充実</p> <p>ア 「災害対応マニュアル」の作成、見直し</p> <p>イ 学校が避難所となった場合を想定した、地域の人々や関係機関と連携した実践的な訓練等の実施</p> <p>ウ 震災・学校支援チーム（EARTH）を活用するなど、効果的な実施方法を工夫した実践的研修会や訓練の実施</p> <p>(3) 県立舞子高等学校の取り組み</p> <p>県は、県立舞子高等学校環境防災科（平成14年度設置）において、災害と自然環境や社会環境との関わりを原点に捉えた防災教育を実施することとする。</p>	88	<p>ウ 地域の災害の特性や歴史などを踏まえた地域学習素材を<u>活用</u>するなど、「総合的な学習の時間」等での効果的な指導の展開</p> <p>エ 副読本や学習資料等を活用して、防災学習の効果的な指導方法の工夫・改善を進めるとともに、研修会を通じた実践的指導力の向上</p> <p>② 学校防災体制の充実</p> <p>ア 「災害対応マニュアル」の<u>見直し</u></p> <p>イ <u>地域の災害特性を考慮した防災訓練や学校が避難所となった場合を想定したもの</u>など、地域の人々や関係機関と連携した実践的な訓練等の実施</p> <p>ウ 震災・学校支援チーム（EARTH）を活用するなど、効果的な実施方法を工夫した実践的研修会や訓練の実施</p> <p>(3) 県立舞子高等学校の取り組み</p> <p>県は、県立舞子高等学校環境防災科（平成14年度設置）において、災害と自然環境や社会環境との関わりを原点に捉えた防災教育を<u>実施する。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
86	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>第2節 自主防災組織の育成</p> <p>第1 趣旨 地域において、県民が自主的な防災活動を行うための組織である自主防災組織の育成強化に関する事項について定める。</p> <p>1 実施機関等 (1) 県は、市町の自主防災組織の育成の取組みを支援することとする。 (2) 市町は、災害対策基本法第5条第2項の規定に基づき、自主防災組織の充実を図ることとする。 その際、市町と消防機関等は、密接に連携、協力することとする。 (3) 県民は、災害対策基本法第7条第2項の規定に基づき、自主防災組織に積極的に参加し、防災に寄与するよう努めることとする。</p>	90	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>第2節 自主防災体制の整備</p> <p>第1 趣旨 地域において、<u>住民及び事業者の自主的な防災活動が、被害の拡大防止に果たす役割が大きいことを踏まえ、ボトムアップ型の地域コミュニティ活性化を促進するとともに、自主的な防災活動を行うための組織である自主防災組織の育成強化に関する事項について定める。</u></p> <p>第2 内容 1 地区防災計画の策定等 <u>市町内の一定の地区内の住民及び当該地区に事業所を有する事業者（以下、「地区居住者等」という。）は、当該地区における防災力の向上を図るため、共同して、防災訓練の実施、物資等の備蓄、高齢者等の避難支援体制の構築等、地区の特性に応じた自発的な防災活動の推進に努め、必要に応じて、当該地区における自発的な防災活動に関する計画を作成し、これを地区防災計画の素案として市町防災会議に提案することができる。</u> <u>市町防災会議は、市町地域防災計画に地区防災計画を位置付けるよう地区居住者等から提案を受け、必要があると認めるときは、市町地域防災計画に地区防災計画を定めることとする。</u></p> <p>2 自主防災組織の育成 (1) 実施機関等 ① 県は、市町の自主防災組織の育成の取組みを支援することとする。 ② 市町は、災害対策基本法第5条第2項の規定に基づき、自主防災組織の充実を図ることとする。 その際、市町と消防機関等は、密接に連携、協力することとする。 ③ 県民は、災害対策基本法第7条第3項の規定に基づき、<u>地域の防災訓練など自発的な防災活動に参加するよう努めることとする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
86	<p>2 重点地区</p> <p>3 自主防災組織</p> <p>(1) 防災計画（活動計画）の内容</p> <p>① 自主防災組織の編成と任務分担に関すること。（役割の明確化）</p> <p>② 防災知識の普及に関すること。（普及事項、方法等）</p> <p>③ 防災訓練に関すること。（訓練の種別、実施計画等）</p> <p>④ 情報の収集伝達に関すること。（収集伝達方法等）</p> <p>⑤ 出火防止・初期消火に関すること。（消火方法、体制等）</p> <p>⑥ 救出・救護に関すること。（活動内容、医療機関への連絡等）</p> <p>⑦ 避難誘導及び避難生活に関すること。（避難の指示の方法、災害時要援護者への対応、避難路・避難場所、避難所の運営協力等）</p> <p>⑧ 給食・給水に関すること。（食料・飲料水の確保、炊き出し等）</p> <p>⑨ 防災資機材等の備蓄・管理に関すること。（調達計画、保管場所、管理方法等）</p> <p>(2) 編成</p> <p>① 自主防災組織内の編成 情報班、消火班、救出・救護班、避難誘導班、給食・給水班等</p> <p>② 編成上の留意事項</p> <p>ア 女性や若者の参加と昼夜別々の組織編成の検討</p> <p>イ 水防班、がけ崩れの巡視班等地域の実情に応じた対応</p> <p>ウ 事業所の自衛消防組織や従業員の参加</p> <p>エ 地域的片寄りの防止と専門家や経験者の活用</p> <p>(3) 活動内容</p> <p>① 平時の活動</p> <p>ア 風水害等防災に関する知識の向上</p> <p>イ 防災関係機関・隣接の自主防災組織等との連絡</p> <p>ウ 地域における危険度の把握（山崩れ・がけ崩れ、危険物施設延焼拡大危険地域等）</p> <p>エ 地域における消防水利（消火栓、小川、井戸等）の確認</p> <p>オ 家庭における防火・防災等予防上の措置</p> <p>カ 地域における情報収集・伝達体制の確認</p> <p>キ 避難地・医療救護施設の確認</p> <p>ク 防災資機材の整備、管理</p>	90	<p>(2) 重点地区</p> <p>(3) 自主防災組織の活動</p> <p>① 防災計画（活動計画）の内容</p> <p>ア 自主防災組織の編成と任務分担に関すること。（役割の明確化）</p> <p>イ 防災知識の普及に関すること。（普及事項、方法等）</p> <p>ウ 防災訓練に関すること。（訓練の種別、実施計画等）</p> <p>エ 情報の収集伝達に関すること。（収集伝達方法等）</p> <p>オ 出火防止・初期消火に関すること。（消火方法、体制等）</p> <p>カ 救出・救護に関すること。（活動内容、医療機関への連絡等）</p> <p>キ 避難誘導及び避難生活に関すること。（避難の指示の方法、災害時要援護者への対応、避難路・避難場所、避難所の運営協力等）</p> <p>ク 給食・給水に関すること。（食料・飲料水の確保、炊き出し等）</p> <p>ケ 防災資機材等の備蓄・管理に関すること。（調達計画、保管場所、管理方法等）</p> <p>② 編成</p> <p>ア 自主防災組織内の編成 情報班、消火班、救出・救護班、避難誘導班、給食・給水班等</p> <p>イ 編成上の留意事項</p> <p>・ 女性や若者の参加と昼夜別々の組織編成の検討</p> <p>・ 水防班、がけ崩れの巡視班等地域の実情に応じた対応</p> <p>・ 事業所の自衛消防組織や従業員の参加</p> <p>・ 地域的片寄りの防止と専門家や経験者の活用</p> <p>③ 活動内容</p> <p>ア 平時の活動</p> <p>・ 風水害等防災に関する知識の向上</p> <p>・ 防災関係機関・隣接の自主防災組織・自治会等地域団体等との連絡</p> <p>・ 地域における危険度の把握（山崩れ・がけ崩れ、危険物施設延焼拡大危険地域等）</p> <p>・ 地域における消防水利（消火栓、小川、井戸等）の確認</p> <p>・ 家庭における防火・防災等予防上の措置</p> <p>・ 地域における情報収集・伝達体制の確認</p> <p>・ 避難地・医療救護施設の確認</p> <p>・ 防災資機材の整備、管理</p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>
87		91		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
87	<p>ケ 防災訓練の実施 等</p> <p>② 災害発生時の活動</p> <p>ア 出火防止と初期消火</p> <p>イ 負傷者の救助</p> <p>ウ 地域住民の安否確認</p> <p>エ 情報の収集・伝達</p> <p>オ 避難誘導、避難生活の指導</p> <p>カ 給食・給水</p> <p>キ 近隣地域への応援 等</p> <p>(4) その他</p> <p>3 育成強化対策</p> <p>県、市町は、県内全域における自主防災組織の結成を促進するとともに、その活動の活性化を支援することとする。その際、女性や若者の参画促進やリーダー育成に努めることとする。</p> <p>(1) 県の取り組み</p> <p>県は、広域的な観点から、組織の結成及び組織の活性化を支援するため、次の事業を推進することとする。</p> <p>① 地域防災活動推進大会の開催</p> <p>② 優良自主防災組織の表彰</p> <p>③ 啓発資料等の作成</p> <p>④ 防災情報通信員の設置</p> <p>⑤ ひょうご防災リーダー講座の開催</p> <p>(2) 市町の取り組み</p> <p>市町は、自主防災組織育成計画を作成し、自主防災組織に対する意識の高揚を図るとともに、その育成、指導を推進することとする。</p> <p>① 啓発資料の作成</p> <p>② 各種講演会、懇談会等の実施</p> <p>③ 情報の提供</p> <p>④ 各コミュニティへの個別指導・助言</p> <p>⑤ 各コミュニティごとの訓練、研修会の実施</p> <p>⑥ 顕彰制度の活用</p> <p>⑦ 活動拠点施設の整備</p>	91	<p>・ 防災訓練の実施 等</p> <p>イ 災害発生時の活動</p> <p>・ 出火防止と初期消火</p> <p>・ 負傷者の救助</p> <p>・ 地域住民の安否確認</p> <p>・ 情報の収集・伝達</p> <p>・ 避難誘導、避難生活の指導</p> <p>・ 給食・給水</p> <p>・ 近隣地域への応援 等</p> <p>④ その他</p> <p>(4) 育成強化対策</p> <p>① 県の取り組み</p> <p>県は、広域的な観点から、組織の結成及び組織の活性化を支援するため、次の事業を推進することとする。</p> <p>ア 優良自主防災組織の表彰</p> <p>イ 啓発資料等の作成</p> <p>ウ ひょうご防災リーダー講座の開催</p> <p>② 市町の取り組み</p> <p>市町は、自主防災組織育成計画等を作成し、自主防災組織に対する意識の高揚を図るとともに、その育成、指導を推進することとする。</p> <p>ア 啓発資料の作成</p> <p>イ 各種講演会、懇談会等の実施</p> <p>ウ 情報の提供</p> <p>エ 各コミュニティへの個別指導・助言</p> <p>オ 各コミュニティごとの訓練、研修会の実施</p> <p>カ 顕彰制度の活用</p> <p>キ 活動拠点施設の整備</p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>
		92		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
88	4 安全・安心コミュニティ・ファイル		削除	地区防災計画の制度 導入に伴う修正
5	市町地域防災計画で定めるべき事項	92	3 市町地域防災計画で定めるべき事項	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>追加</p>	93	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上</p> <p>第3節 消防団の充実強化</p> <p><u>[実施機関：県企画県民部防災企画局、企画県民部災害対策局、市町]</u></p> <p>第1 趣旨</p> <p><u>地域防災力の充実強化は、県民、自主防災組織、消防団、水防団、市町、県、国等の多様な主体が適切に役割分担しながら相互に連携協力して取り組むことが重要であり、災害発生直後に、地域で即時に対応することができる消防機関である消防団がその中核的な役割を果たすことを踏まえ、消防団の充実強化に関する事項について定める。</u></p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施機関等</p> <p>(1) 県は、市町の消防団の充実強化の取り組みを支援することとする。</p> <p>(2) 市町は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の規定に基づき、消防団の充実強化を図ることとする。</p> <p>(3) 県民は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の規定に基づき、地域における防災活動への積極的な参加に努めることとする。</p> <p>(4) 事業者は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の規定に基づき、従業員の消防団への加入及び消防団員としての活動が円滑に行われるよう、できる限り配慮することとする。</p> <p>(5) 大学等は、その学生の消防団への加入及び消防団員としての活動が円滑に行われるよう、協力を努めることとする。</p>	<p>法改正に伴う追加</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
追加		93	<p>2 充実強化対策</p> <p>(1) 県の取り組み</p> <p>県は、広域的な観点から、消防団の育成強化を支援するため、次の事業を推進することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消防団と自主防災組織等が連携して行う訓練、研修への支援 ② 消防団員に対する教育訓練の実施 ③ 女性消防団員の加入促進の支援 ④ 消防団協力事業所表示制度、機能別消防団員制度等の市町への普及啓発 ⑤ 消防団員に対する表彰 ⑥ 消防操法大会の開催 ⑦ パネル展の開催等による消防団加入の普及啓発 <p>(2) 市町の取り組み</p> <p>市町は、消防団の充実強化を図るため、次の事業を推進することとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 消防団と自主防災組織等が連携して行う訓練、研修の実施 ② 消防団員に対する教育訓練の実施 ③ 消防団活動の安全管理マニュアルの策定 ④ 消防団員の処遇の改善 ⑤ 消防団の装備の改善 ⑥ 消防団の活動拠点施設の整備 ⑦ 女性消防団員の加入促進 ⑧ 消防団協力事業所表示制度、機能別消防団員制度等による消防団員の確保 ⑨ 大学等の協力による消防団員の確保 ⑩ 住民等に対する広報啓発活動による消防団への加入促進 	法改正に伴う追加
		94	<p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 消防団への加入促進に関する事項 (2) 消防団の能力向上のための研修、訓練に関する事項 (3) 消防団活動の安全管理マニュアルの策定に関する事項 (4) 消防団の装備及び活動拠点施設の整備に関する事項 (5) その他消防団の充実強化に必要な事項 	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
89	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上 第3節 企業等の地域防災活動への参画促進</p> <p>第2 内容 2 企業等の平常時対策 (1) 企業等は、災害時に果たす役割を十分に認識し、次の対策を実施するなど、防災活動の推進に努めることとする。 追加</p> <p>追加 ⑧ 各計画の点検・見直し 等</p>	95	<p>第2編 災害予防計画 第3章 県民参加による地域防災力の向上 第4節 企業等の地域防災活動への参画促進</p> <p>第2 内容 2 企業等の平常時対策 (1) 企業等は、災害時に果たす役割を十分に認識し、次の対策を実施するなど、防災活動の推進に努めることとする。 また、<u>防災体制の整備、防災訓練の実施、予想被害からの復旧計画策定、各計画の点検・見直し、燃料・電力等の重要なライフラインの供給不足への対応、取引先とのサプライチェーンの確保等の事業継続上の取組を継続的に実施するなど事業継続マネジメント（BCM）の取り組みを通じて防災活動の推進に努めることとする。特に、食料、飲料水、生活必需品を提供する事業者など災害応急対策等に係る業務に従事する企業は、県等との協定の締結や防災訓練の実施等の防災施策の実施に協力するよう努めることとする。</u></p> <p>⑧ 物資の備蓄 ⑨ 各計画の点検・見直し 等</p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
91	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第1節 治山・治水対策の総合的推進</p> <p>第1 趣旨 平成16年台風第23号災害等を教訓に推進する、総合的な治山・治水対策について定める。</p> <p>第2 内容 県は、治山・治水対策を計画的に推進するため、「ひょうご治山・治水防災実施計画」を策定し、施設整備等を行うこととする。また、総合治水条例にもとづき、頻発する集中豪雨や局地的大雨等に対し、「河川下水道対策」に加えて、河川や水路への流出を抑制するための「流域対策」、河川等から溢れた場合でも被害を軽減するための「減災対策」を組み合わせた「総合治水」に、県民総意で取り組む。</p> <p>1 計画の方針 (1) 風水害などに対する減災対策をおこない、概ね10年後の地域の姿を示す。 (2) 森や、山、川、海の流域全体の視点で、自然環境や土地利用状況を踏まえた総合的な対策を示す。 (3) 過去の災害に加え、平成16年台風第23号など近年の災害から明らかになった新たな課題に的確に対応する。 (4) 整備目標とそれを達成するための整備の優先順位を明確にし、流域全体で効率的・効果的な対策を推進する。 (5) 構造物の整備などのハード対策だけでは災害に対して限界があることを全県民の共通認識とし、情報や知識の活用などのソフト対策と一体となった減災対策を打ち立てるべく、自助、共助、公助で立ち向かう兵庫独自の社会システム（災害文化）をみんなであつくりあげる行動規範とする。</p> <p>2 計画期間 平成17年度～平成30年度</p>	97	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第1節 治山・治水対策の総合的推進</p> <p>第1 趣旨 平成16年台風第23号災害や平成21年台風第9号災害等を教訓に推進する、総合的な治山・治水対策について定める。</p> <p>第2 内容 県は、頻発する記録的な集中豪雨等、想定を上回る自然災害に備えるため、都道府県で初となる条例に基づく総合的な治水対策、ため池の改修等の農地防災、山・谷筋・人里までを一体的に捉えた山地防災・土砂災害対策等について定める。</p> <p>1 頻発する風水害に備える総合的な治水対策 頻発する記録的な集中豪雨や局地的大雨による浸水被害を軽減するため、「総合治水条例」に基づき、従来の河川下水道対策に加え、雨水の一時的な貯留や浸透によって流出を抑制する流域対策、人命を守り被害を小さくする減災対策を組み合わせた「総合治水」を県、市町、県民の連携のもと、推進する。また、十分な強度と洪水調整能力を持つため池への改修や、井堰の流下能力の向上等、計画的・効率的に農地防災を推進する。さらに、台風等による高潮に備え、防潮堤の未整備箇所や水門・排水機場等の整備を推進する。</p> <p>(1) 地域総合治水推進計画の策定 県・市町・県民の連携のもと、河川下水道対策、流域対策、減災対策を組み合わせた総合治水を推進するため、県下11地域で「地域総合治水推進計画」を策定する。</p> <p>(2) 河川対策「ながす」の推進 緊急的に実施している再度災害防止対策をはじめ、災害を未然に防止するための河川改修やダムの整備等、水系毎の特性に応じた河川対策を計画的に推進する。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
91	<p>3 森や山の防災</p> <p>(1) 森林対策（ハード対策）</p> <p>整備目標：防災面での機能強化が必要な14,700haについて森林整備などを実施し、災害に強い森づくりを推進する。</p> <p>森林の有する公益的機能を維持・保全するため、「新ひょうごの森づくり」（計画期間：H14～23年度）として、市町と連携し公的支援により間伐を実施する「森林管理100%作戦」（全体計画：87,500ha）や県民が気軽に自然とふれあい活用できる「里山林の再生」（全体計画：7,400ha）に取り組んでいるが、平成18年度から森林の防災面や県土保全面での機能を強化する「災害に強い森づくり」を緊急かつ追加的に実施する。</p> <p>なお、平成24年度以降についても、「間伐」、「里山林の再生」などの必要な森林整備を継続実施する。</p> <p>① 緊急防災林整備（対象：森林管理100%作戦の実施森林（おおむね45年生以下のスギ、ヒノキ人工林）のうち、急傾斜地などの表土流出の危険性の大きい箇所）</p> <p>② 針葉樹林、広葉樹林の混交林整備（対象：おおむね30ha以上で、46年生以上の高齢人工林）</p> <p>③ 里山防災林整備（対象：集落背後の山地災害防止機能等を高める必要のある森林）</p> <p>(2) 土砂災害対策（ハード対策）</p> <p>整備目標：土砂災害危険箇所の被害想定区域内にある17,260戸を守るよう対策工事を推進する。</p> <p>土砂災害危険箇所への予防対策として、全ての危険箇所に対策工事を実施することが最終目標であるが、完成には膨大な時間を要することから、平成17年から25年を目途に次の①から⑤の順位で、これらが複合する1,700箇所を優先的に整備する。</p> <p>① 災害履歴がある箇所</p> <p>② 被害想定区域内に人家5戸以上がある箇所</p> <p>③ 被害想定区域内に災害時要援護者施設がある箇所</p> <p>④ 被害想定区域内に避難所がある箇所</p> <p>⑤ 被害想定区域内に高速道路、緊急輸送道路など地域の動脈である主要な道路がある場所</p>	97	<p>(3) 流域対策「ためる」の推進</p> <p>校庭・公園・ため池・水田等への雨水貯留浸透施設の整備、利水ダム・ため池の治水活用（事前放流の拡大）等の多様な流域対策を市町・県民とともに推進する。</p> <p>(4) ため池等の水害対策の推進（ため池整備5箇年計画）</p> <p>漏水の発生や堤体の侵食等、老朽化が見られるため池や、治水上不安定な井堰・樋門等の農業用河川工作物の整備を推進する。</p> <p>・受益面積0.5ha以上のため池（約11,000箇所）を対象に定期点検（漏水等の調査）を実施</p> <p>・定期点検の結果を踏まえ、「要改修」と判定されるため池について、堤防の直下流に人家や学校、病院、避難所等が存在するため池のうち、漏水が多く決壊の危険性が高いものから計画的に整備を実施</p> <p>(5) 高潮対策の推進</p> <p>人口資産が集積している県南部沿岸地域において、台風等による高潮被害に備え、未整備区間の防潮堤や水門、排水機場等の整備を推進する。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
		98	<p>2 山の管理の徹底・土砂災害対策</p> <p>近年記録的な豪雨が頻発している中、依然として、多くの未対策箇所が残っていることから、災害発生時に影響の大きい箇所を優先し、引き続き、治山ダムや砂防えん堤等の整備、山の管理の徹底による森林の防災機能を強化する。</p> <p>(1) 土砂災害対策の推進（第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画）</p> <p>〔人家等保全対策〕</p> <p>保全対象の人家が多い未対策箇所（概ね10戸以上）のうち、災害発生時に影響が大きい谷出口周辺等に人家がある箇所など緊急性が高い箇所等で、砂防えん堤等の整備を推進する。</p> <p>・550箇所（治山ダム350箇所、砂防えん堤等200箇所）を整備</p>	所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
92	<p>(3) ソフト対策</p> <p>① 土砂災害警戒情報の発信 土砂災害に対する避難を判断する情報として、土砂災害の危険が高まった市町を特定し、兵庫県と気象台が共同で発表する。</p> <p>② 地域別土砂災害危険度の発信 「土砂災害警戒情報」を補足する詳細な情報である「地域別土砂災害危険度」をフェニックス防災システムや、県ホームページ、携帯サイト、ケーブルテレビ等の伝達媒体を用いて市町及び住民に提供する。</p> <p>③ ハザードマップの作成支援 市町への土砂災害危険箇所図の提供など、ハザードマップの作成を支援する。また、過去の災害などを参考に地域独自の避難基準や避難所、避難経路などを確認した、住民の参画と協働によるハザードマップの作成を支援する。</p> <p>④ 土砂災害警戒区域等の指定 土砂災害の恐れのある土地などの区域を把握するため、基礎調査を実施し土砂災害警戒区域等の指定を進め、この指定により、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、住宅などの新規立地抑制を図る。</p> <p>⑤ 土砂災害危険箇所等の点検 行政、防災ボランティア（防災エキスパート、砂防ボランティア、山地災害情報協力員）、地域住民による危険箇所等の点検に努める。</p> <p>⑥ 施設の管理 地域・住民等と連携した施設管理（六甲山系グリーンベルトにおける森林管理）を行う。</p>	98	<p><u>〔流木・土砂流出防止対策〕</u> 流木等による下流への被害拡大を防止するため、谷筋にスギ、ヒノキが植林されている溪流等を対象に、緊急性の高い箇所から治山ダム<u>の整備を推進する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・130箇所を5年間で整備 <p><u>〔災害に強い森づくり〕</u> 人工林が大半を占める溪流勾配15度以上の地区で、災害緩衝林の<u>整備を推進する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・88箇所を5年間で整備 <p>3 自然災害に備える(ソフト対策)</p> <p><u>上限がない自然災害を踏まえ、防災施設の整備に合わせ、河川や防潮堤等の防衛性能を上回る災害発生時においても、「人命を守ること」を最優先に、災害発生時の被害を可能な限り軽減するため、県民が居住地等の自然災害リスクを正しく認知した上で、的確な避難判断など自発的な警戒避難行動に役立つ災害危険情報を提供するとともに、市町等の水防活動や避難勧告発令時期の判断等を支援する洪水予測等の防災活動支援情報を充実するなど、迅速・的確な情報発信に取り組む。</u></p> <p><u>また、県民防災意識を高揚し、自発的な避難判断・行動を喚起できるよう、防災知識の普及・啓発等に取り組む。</u></p> <p>(1) 減災のための情報発信</p> <p><u>〔県民への災害危険情報の提供〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下全684河川の洪水浸水想定区域図のCGハザードマップへの掲載等、最新の災害危険情報を提供 ・CGハザードマップなどの災害危険情報の認知度を向上するため、梅雨期や台風期に合わせ、様々な広報媒体を活用し、きめ細かでタイムリーな広報活動を推進 ・高齢者も災害危険情報を得やすいよう、テレビのデータ放送による河川水位や、ケーブルテレビによる河川監視カメラ画像、地域別土砂災害危険度等の情報配信を推進 <p><u>〔市町への防災活動支援情報の提供〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告の判断や重点パトロール箇所の絞り込みに活用するため、河川の区間単位の氾濫予測情報や土砂災害警戒区域毎の危険度予測情報などを提供 	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																							
92	<p>4 川の防災</p> <p>(1) 河川氾濫対策（ハード対策）</p> <p>① 河川改修</p> <p>整備目標：戦後最大洪水を安全に流下させるよう河川改修を推進する。 （ただし、事業規模が過大であったり、下流の流下能力とのバランスから実施困難な場合には、戦後2番目などに水準を下げる。）</p> <p>河川からの氾濫被害を防止するため、H16年災害で被災した箇所や浸水常襲箇所など緊急性の高い箇所の改修を優先して実施する。</p> <p>② 堤防の質的改良、</p> <p>破堤した場合に甚大な被害が予測される河川について、対策が必要な箇所の堤防強化を行う。</p> <p>③ 土地利用状況に応じた工法選択</p> <p>市街化が進み河道幅が困難な都市部や浸水の危険性が残る上流部の低地等において住宅などを洪水から安全に守るため、地域特性や土地利用実態を踏まえた治水対策（貯蓄施設による流出抑制、土地利用に応じた柔軟な治水安全度の設定など）を実施する。</p> <p>④ 河川管理施設の更新</p> <p>排水機場や水門の機能の信頼性が低下し、修繕等では、機能維持が困難な箇所について、計画的に施設更新する。</p>	98	<p>○災害危険情報等の情報発信</p> <table border="1" data-bbox="1048 177 1852 600"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>情報種別</th> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">川</td> <td>水位雨量</td> <td rowspan="4">県民</td> <td>災害時における洪水や河川のサーボマップ掲載箇所を契約HPで提供</td> </tr> <tr> <td>河川水質</td> <td>IPやビデオ放送で提供</td> </tr> <tr> <td>河川監視カメラ映像</td> <td>夜間監視カメラ映像を河川監視カメラ映像</td> </tr> <tr> <td>洪水警報</td> <td>全道域の洪水警報をHPで提供</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">山</td> <td>洪水警報</td> <td rowspan="3">市町</td> <td>主要3水系の川、武井川、千利川の予報気象と併せて、報道機関を通じて提供</td> </tr> <tr> <td>土砂災害危険情報</td> <td>県庁各課のHPで提供開始</td> </tr> <tr> <td>地盤陥没危険情報</td> <td>県のHPや携帯サイト等で提供</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海</td> <td>高潮警報</td> <td rowspan="2">県民</td> <td>IP、携帯サイト、ケータイなどで提供</td> </tr> <tr> <td>波浪警報</td> <td>安曇川河口で情報提供中、観測エリア拡大</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">道</td> <td>河川監視カメラ映像</td> <td rowspan="2">県民</td> <td>潮位、風向風速情報をHPで提供</td> </tr> <tr> <td>道路ガバガバ等の危険情報</td> <td>情報誌、尼崎駅等の電光掲示板で提供</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>マダバガバ等の危険情報を現場・HPで提供</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 住民防災意識の向上施策</p> <p>災害発生時に、「自分の命は自分で守る」意識を高揚し、県民が自発的に、的確な避難判断・避難行動ができるよう、防災知識の普及・啓発と県民参加による避難訓練等の実施を推進する。</p> <p>①防災知識の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼ロックでの防災学習コンテンツを用いた現地見学会の実施や総合治水の「ためる」「そなえる」の取り組みを広げる出前講座、水害に関する防災学習や防災知識の情報発信等 ・防災情報マップの確認や防災学習が可能な「CGハザードマップ」の普及・啓発等 ・模型実験装置の活用による防災教室や地域の防災リーダーなどを対象とした研修会の実施等 <p>②県民参加による避難訓練等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害、水害等に対する避難訓練の支援 ・高潮等に備えた樋門・陸閘等の閉鎖訓練 <p>③地域防災力を高める危険箇所等の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による集落裏山の危険箇所点検 ・ため池管理者等との合同点検 ・住民主体による地域版防災マップの作成 	区分	情報種別	対象	内容	川	水位雨量	県民	災害時における洪水や河川のサーボマップ掲載箇所を契約HPで提供	河川水質	IPやビデオ放送で提供	河川監視カメラ映像	夜間監視カメラ映像を河川監視カメラ映像	洪水警報	全道域の洪水警報をHPで提供	山	洪水警報	市町	主要3水系の川、武井川、千利川の予報気象と併せて、報道機関を通じて提供	土砂災害危険情報	県庁各課のHPで提供開始	地盤陥没危険情報	県のHPや携帯サイト等で提供	海	高潮警報	県民	IP、携帯サイト、ケータイなどで提供	波浪警報	安曇川河口で情報提供中、観測エリア拡大	道	河川監視カメラ映像	県民	潮位、風向風速情報をHPで提供	道路ガバガバ等の危険情報	情報誌、尼崎駅等の電光掲示板で提供				マダバガバ等の危険情報を現場・HPで提供		<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
区分	情報種別	対象	内容																																								
川	水位雨量	県民	災害時における洪水や河川のサーボマップ掲載箇所を契約HPで提供																																								
	河川水質		IPやビデオ放送で提供																																								
	河川監視カメラ映像		夜間監視カメラ映像を河川監視カメラ映像																																								
	洪水警報		全道域の洪水警報をHPで提供																																								
山	洪水警報	市町	主要3水系の川、武井川、千利川の予報気象と併せて、報道機関を通じて提供																																								
	土砂災害危険情報		県庁各課のHPで提供開始																																								
	地盤陥没危険情報		県のHPや携帯サイト等で提供																																								
海	高潮警報	県民	IP、携帯サイト、ケータイなどで提供																																								
	波浪警報		安曇川河口で情報提供中、観測エリア拡大																																								
道	河川監視カメラ映像	県民	潮位、風向風速情報をHPで提供																																								
	道路ガバガバ等の危険情報		情報誌、尼崎駅等の電光掲示板で提供																																								
			マダバガバ等の危険情報を現場・HPで提供																																								
93	<p>(2) 内水対策（下水道）（ハード対策）</p> <p>整備目標：社会資本整備重点計画対象区域について69%の達成を目標に浸水対策事業(1/5～1/10年)を推進する。</p> <p>地域の特性を踏まえた整備目標(①地下空間への浸水の防止②交通の支障となる幹線道路冠水の防止③浸水常襲地区での家屋の床上浸水の防止)を設定して、重点的・集中的な整備を進める。また、内水の排除対策に加え、貯留・浸透などの雨水流出抑制型の整備を推進する。</p>	99																																									

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
93	<p>(3) ため池対策（ハード対策）</p> <p>整備目標：540 箇所のため池を改修し、決壊させないため池整備を進める。</p> <p>全体で約 43,000 箇所のため池のうち、かんがい受益 0.5ha 以上の約 11,000 箇所を対象に、老朽化したため池を以下の基準により警戒ため池とし、次の①から⑥が複合する箇所から優先的に改修（全面改修、統廃合）する。</p> <p>① 漏水量が増加（1ヶ月間に10%以上）しているもの ② 漏水量が一定量（堤体延長100mあたり1ℓ/s）を越すもの ③ 洪水吐の断面が狭小、破損しているもの ④ 堤体が浸食され不安定となっているもの ⑤ 決壊により人家や重要公共施設に被害が想定されるもの ⑥ 流域で土砂崩壊のおそれがあり、ため池の決壊が想定されるもの</p> <p>(4) ソフト対策</p> <p>① 予測システムの確立 避難勧告・避難指示、水防活動の目安となるよう水位の状況を監視し、水位予測を行い、市町に情報を提供するため、県下の全ての一級、二級河川において氾濫予測システムを整備する。 また、数時間後の降雨予測に基づくため池の被災危険度予測を情報提供し、ため池管理者に対する事前放流の指導や早期の避難勧告などの発令に役立てるため、ため池防災情報管理システムを整備する。</p> <p>② 避難勧告・避難指示等に役立つ情報提供 県下155箇所を設置した水位観測所により、水位等の監視を行うとともに、避難等の参考となる避難判断水位（特別警戒水位）に到達した場合、市町や報道機関を通して住民に周知徹底する。 また、県有農業用ダムに係る防災管理に必要な観測計器などを整備し、関係行政機関や住民への防災情報を提供する。</p>			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
93	<p>③ 自主避難に役立つ情報配信 平成 16 年災害で甚大な被害を受けた箇所、河川改修に相当の時間がかかり、再度災害の恐れがある箇所に、サイレン・回転灯を設置する。 また、平成 21 年災害を契機に排水機場や樋門などの河川管理施設だけでなく、重要な河川の 124 箇所に設置した河川監視用カメラにより、リアルタイムで水位情報を市町や住民に配信する。</p> <p>④ 災害の危険度のわかりやすい提示 市町への河川浸水想定区域図の提供などハザードマップの作成を支援するとともに、水防活動を重点的に実施すべき箇所である重要水防箇所を図面情報により県ホームページなどに掲載する。</p> <p>⑤ 土地利用の規制・誘導 土地利用状況に応じて治水安全度を設定し、輪中堤、二線堤や宅地嵩上げなどの工法を検討する。その場合、治水対策に適合した土地利用の規制や誘導及び建築の規制について現地実態に即した方法を検討する。</p> <p>⑥ 水防体制等の充実強化 災害時の最前線の基地として水防活動などに重要な役割を果たす防災ステーションについて、国策定の整備要綱に基づき設置を検討する。 また、水防団の体制強化、水防資材の備蓄状況の把握と補充あるいは近隣団体との連携、水防技術等の普及による水防訓練の充実等を推進する。</p>			
94	<p>⑦ 地域・住民等と連携した施設管理 緊急時の地元住民による水門・樋門などの操作の円滑化を推進する。 また、流域全体も視野に入れてため池の適正な管理を推進するため、非農家も含めた集落全体による取り組み、複数の集落や都市住民、土地改良区も参画した管理体制の確立、さらには市町による公的管理、関与の取り組みを進める。</p> <p>⑧ 一級水系に係る国の機関と県の連携強化 一級水系を管理する国の機関と県は、定期的な連絡の場等を通じて情報伝達や施設管理に係る連携強化に努める。</p> <p>⑨ ため池の定期点検</p>			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
94	<p>ため池管理者の日常管理を補完するため、かんがい受益 0.5ha 以上のため池を対象に市町が実施する 5 年に 1 回の専門技術者による「ため池定期点検」について支援し、ため池の健全度に関する情報をため池管理者と県・市町で共有する。</p> <p>5 海の防災</p> <p>(1) 高潮対策（ハード対策）</p> <p>整備目標：計画高潮に耐えられるよう堤防、護岸の改良補強を進める。</p> <p>平成 24 年度に実施した防潮堤の健全度調査結果を踏まえて修繕等の対策を推進するとともに、現行の計画高潮を整備水準とし、高潮対策施設の機能維持と信頼性向上のための整備を進める。</p> <p>① 水門、陸閘などの修繕</p> <p>② 水門、陸閘などの遠隔監視化の整備</p> <p>③ 堤防、護岸の改良補強</p> <p>(2) ソフト対策</p> <p>① ハザードマップの作成支援（避難所・避難路の総点検等）</p> <p>高潮浸水予測区域図をはじめとする高潮防災に関する諸情報の活用方法を検討するなど、住民避難用のハザードマップづくりの促進を支援する。</p> <p>② 水防体制等の充実強化</p> <p>水門、陸閘などの閉鎖体制の強化や高潮防災訓練を推進する。</p> <p>6 森や山、川、海の総合的な対策</p> <p>(1) 県及び市町は、砂防事業や河川改修等と一体的に農地の整備を行うなど、災害防止と地域振興の視点から総合的な対策の推進に努めることとする。</p> <p>(2) 風倒木、林地崩壊、土砂流出の発生等が生じた流域については、下流の集落や道路等を保全するため、森林整備、治山、砂防事業の連携実施に努めることとする。</p> <p>7 CGハザードマップの作成及び普及啓発</p> <p>(1) 県が市町と協力して、危険度（浸水エリアや危険箇所図）や避難に必要な情報などを記載したCGハザードマップを作成し、県のホームページで公開しており、内容を充実させシステム改善を行って行く。</p> <p>(2) CGハザードマップの活用を推進するため、「住民説明」と「学校教育」の両面から普及啓発の推進を図る。</p>			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																																													
95	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第2節 水害の防止施設等の整備</p> <p>第1款 河川施設の整備</p> <p>第2 内容 1 事業計画 (1) 県(県土整備部)所管事業分</p> <table border="1" data-bbox="134 542 952 1061"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>23~</td><td>広域河川改修事業</td><td>16河川</td></tr> <tr><td></td><td>総合治水対策特定河川事業</td><td>2河川</td></tr> <tr><td></td><td>総合内水対策緊急事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>調整池整備事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>流域貯留浸透事業</td><td>2河川</td></tr> <tr><td></td><td>住宅市街地基盤整備事業</td><td>5河川</td></tr> <tr><td></td><td>床上浸水対策特別緊急事業</td><td>3河川</td></tr> <tr><td></td><td>総合流域防災事業</td><td>14河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害復旧助成事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害関連事業</td><td>4河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害復旧等関連緊急事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td>23~</td><td>河川総合開発事業 (管理ダム)</td><td>引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、 大日・牛内ダム(E,N,N)、大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)</td></tr> <tr><td></td><td>河川総合開発事業 (建設ダム)</td><td>金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)</td></tr> <tr><td colspan="3">※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ</td></tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	23~	広域河川改修事業	16河川		総合治水対策特定河川事業	2河川		総合内水対策緊急事業	1河川		調整池整備事業	1河川		流域貯留浸透事業	2河川		住宅市街地基盤整備事業	5河川		床上浸水対策特別緊急事業	3河川		総合流域防災事業	14河川		河川災害復旧助成事業	1河川		河川災害関連事業	4河川		河川災害復旧等関連緊急事業	1河川	23~	河川総合開発事業 (管理ダム)	引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、 大日・牛内ダム(E,N,N)、大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)		河川総合開発事業 (建設ダム)	金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)	※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ			100	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第2節 水害の防止施設等の整備</p> <p>第1款 河川施設の整備</p> <p>第2 内容 1 事業計画 (1) 県(県土整備部)所管事業分</p> <table border="1" data-bbox="1052 542 1848 1061"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>24~</td><td>広域河川改修事業</td><td>16河川</td></tr> <tr><td></td><td>総合治水対策特定河川事業</td><td>2河川</td></tr> <tr><td></td><td>地盤・高瀬対策河川事業</td><td>9河川</td></tr> <tr><td></td><td>流域治水対策河川事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>調整池整備事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>流域貯留浸透事業</td><td>2河川</td></tr> <tr><td></td><td>住宅市街地基盤整備事業</td><td>5河川</td></tr> <tr><td></td><td>床上浸水対策特別緊急事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>総合流域防災事業</td><td>10河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害復旧助成事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害関連事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td></td><td>河川災害復旧等関連緊急事業</td><td>1河川</td></tr> <tr><td>24~</td><td>河川総合開発事業 (管理ダム)</td><td>引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、大日・牛内ダム(E,N,N)、 大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)</td></tr> <tr><td></td><td>河川総合開発事業 (建設ダム)</td><td>金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)</td></tr> <tr><td colspan="3">※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ</td></tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	24~	広域河川改修事業	16河川		総合治水対策特定河川事業	2河川		地盤・高瀬対策河川事業	9河川		流域治水対策河川事業	1河川		調整池整備事業	1河川		流域貯留浸透事業	2河川		住宅市街地基盤整備事業	5河川		床上浸水対策特別緊急事業	1河川		総合流域防災事業	10河川		河川災害復旧助成事業	1河川		河川災害関連事業	1河川		河川災害復旧等関連緊急事業	1河川	24~	河川総合開発事業 (管理ダム)	引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、大日・牛内ダム(E,N,N)、 大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)		河川総合開発事業 (建設ダム)	金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)	※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ			<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
年度	事業名	事業内容																																																																																															
23~	広域河川改修事業	16河川																																																																																															
	総合治水対策特定河川事業	2河川																																																																																															
	総合内水対策緊急事業	1河川																																																																																															
	調整池整備事業	1河川																																																																																															
	流域貯留浸透事業	2河川																																																																																															
	住宅市街地基盤整備事業	5河川																																																																																															
	床上浸水対策特別緊急事業	3河川																																																																																															
	総合流域防災事業	14河川																																																																																															
	河川災害復旧助成事業	1河川																																																																																															
	河川災害関連事業	4河川																																																																																															
	河川災害復旧等関連緊急事業	1河川																																																																																															
23~	河川総合開発事業 (管理ダム)	引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、 大日・牛内ダム(E,N,N)、大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)																																																																																															
	河川総合開発事業 (建設ダム)	金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)																																																																																															
※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ																																																																																																	
年度	事業名	事業内容																																																																																															
24~	広域河川改修事業	16河川																																																																																															
	総合治水対策特定河川事業	2河川																																																																																															
	地盤・高瀬対策河川事業	9河川																																																																																															
	流域治水対策河川事業	1河川																																																																																															
	調整池整備事業	1河川																																																																																															
	流域貯留浸透事業	2河川																																																																																															
	住宅市街地基盤整備事業	5河川																																																																																															
	床上浸水対策特別緊急事業	1河川																																																																																															
	総合流域防災事業	10河川																																																																																															
	河川災害復旧助成事業	1河川																																																																																															
	河川災害関連事業	1河川																																																																																															
	河川災害復旧等関連緊急事業	1河川																																																																																															
24~	河川総合開発事業 (管理ダム)	引取ダム(E,N,I,P)、生野ダム(E,N,N,D)、論鶴羽ダム(E,N) 菅生ダム(E,N)、天王ダム(E)、安富ダム(E,N)、青野ダム(E,N,N)、 安富ダム(E,N,N)、長谷ダム(E,N)、三宝ダム(E,N,N)、大日・牛内ダム(E,N,N)、 大路ダム(E,N,N)、成相・北富士ダム(E,N,N)、 但東ダム(E,N,N)、石井ダム(E,N)																																																																																															
	河川総合開発事業 (建設ダム)	金田地ダム(E,N)、与布土ダム(E,N,N)、西紀ダム(E,N,N)																																																																																															
※F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電 R:リレーポンプ																																																																																																	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																						
97	<p>第2款 内水の排水対策の推進</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(1) 河川高潮対策事業 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24～</td> <td>高潮対策事業</td> <td>9河川</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 浸水対策下水道事業 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会資本総合整備事業</td> <td>管渠、排水ポンプ場 等</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3款 海岸施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(2) 県（農政環境部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(農村環境室所管分) 高潮対策事業</td> <td>福祿海岸（護岸補修 他）</td> </tr> <tr> <td>浸食対策事業</td> <td>慶野海岸（潜堤 他）</td> </tr> <tr> <td>(漁港課所管分) 高潮対策事業</td> <td>丸山漁港海岸（胸壁他）、家島漁港海岸（護岸（改良）他）</td> </tr> <tr> <td>浸食対策事業</td> <td>須井漁港海岸（離岸堤他）</td> </tr> <tr> <td>海岸環境整備事業</td> <td>香住漁港海岸（養浜他）</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	24～	高潮対策事業	9河川	事業名	事業内容	社会資本総合整備事業	管渠、排水ポンプ場 等	事業名	事業内容	(農村環境室所管分) 高潮対策事業	福祿海岸（護岸補修 他）	浸食対策事業	慶野海岸（潜堤 他）	(漁港課所管分) 高潮対策事業	丸山漁港海岸（胸壁他）、家島漁港海岸（護岸（改良）他）	浸食対策事業	須井漁港海岸（離岸堤他）	海岸環境整備事業	香住漁港海岸（養浜他）	102	<p>第2款 内水の排水対策の推進</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(1) 河川高潮対策事業 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">24～</td> <td>高潮対策事業</td> <td>排水施設他 計3河川</td> </tr> <tr> <td>広域河川改修事業</td> <td>排水施設他 1河川</td> </tr> </tbody> </table> <p>削除</p> <p>第3款 海岸施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(2) 県（農政環境部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(農村環境室所管分) 浸食対策事業</td> <td>慶野海岸（潜堤 他）</td> </tr> <tr> <td>(漁港課所管分) 高潮対策事業 浸食対策事業</td> <td>沼津漁港海岸（胸壁他） 香住漁港海岸（離岸堤）</td> </tr> <tr> <td>清波・高潮対策等対策事業</td> <td>丸山漁港海岸（護岸改良他）</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	24～	高潮対策事業	排水施設他 計3河川	広域河川改修事業	排水施設他 1河川	事業名	事業内容	(農村環境室所管分) 浸食対策事業	慶野海岸（潜堤 他）	(漁港課所管分) 高潮対策事業 浸食対策事業	沼津漁港海岸（胸壁他） 香住漁港海岸（離岸堤）	清波・高潮対策等対策事業	丸山漁港海岸（護岸改良他）	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
年度	事業名	事業内容																																								
24～	高潮対策事業	9河川																																								
事業名	事業内容																																									
社会資本総合整備事業	管渠、排水ポンプ場 等																																									
事業名	事業内容																																									
(農村環境室所管分) 高潮対策事業	福祿海岸（護岸補修 他）																																									
浸食対策事業	慶野海岸（潜堤 他）																																									
(漁港課所管分) 高潮対策事業	丸山漁港海岸（胸壁他）、家島漁港海岸（護岸（改良）他）																																									
浸食対策事業	須井漁港海岸（離岸堤他）																																									
海岸環境整備事業	香住漁港海岸（養浜他）																																									
年度	事業名	事業内容																																								
24～	高潮対策事業	排水施設他 計3河川																																								
	広域河川改修事業	排水施設他 1河川																																								
事業名	事業内容																																									
(農村環境室所管分) 浸食対策事業	慶野海岸（潜堤 他）																																									
(漁港課所管分) 高潮対策事業 浸食対策事業	沼津漁港海岸（胸壁他） 香住漁港海岸（離岸堤）																																									
清波・高潮対策等対策事業	丸山漁港海岸（護岸改良他）																																									
98		103		所管課からの修正意見に基づく修正																																						

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																						
100	<p>第4款 港湾の防災施設の整備</p> <p>第1 趣旨 風浪等による港湾施設の被害を防止し、緊急輸送路を確保するための対策について定める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23~27</td> <td>港湾改修事業</td> <td>尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	23~27	港湾改修事業	尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)	104	<p>第4款 港湾の防災施設の整備</p> <p>第1 趣旨 風浪等による港湾施設の被害を防止し、緊急輸送路及び船舶の避難のための泊地を確保するための対策について定める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23~27</td> <td>港湾改修事業</td> <td>尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	23~27	港湾改修事業	尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)	所管課からの修正意見に基づく修正										
年度	事業名	事業内容																								
23~27	港湾改修事業	尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)																								
年度	事業名	事業内容																								
23~27	港湾改修事業	尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区 (道路) 赤穂港 千鳥地区 (道路)																								
101	<p>第5款 漁港の防災施設の整備</p> <p>第2 内容 1 県（農政環境部）管事業分 漁港漁場整備長期計画に基づき計画的に実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">24</td> <td>水産流通基盤整備事業</td> <td>(2地区) 外かく施設、係留施設、輸送施設、用地</td> </tr> <tr> <td>漁港施設機能強化事業</td> <td>(3地区)</td> </tr> <tr> <td>漁港漁場機能高度化事業</td> <td>(5地区)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	24	水産流通基盤整備事業	(2地区) 外かく施設、係留施設、輸送施設、用地	漁港施設機能強化事業	(3地区)	漁港漁場機能高度化事業	(5地区)	105	<p>第5款 漁港の防災施設の整備</p> <p>第2 内容 1 県（農政環境部）管事業分 漁港漁場整備長期計画に基づき計画的に実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">26</td> <td>水産流通基盤整備事業</td> <td>(1地区)</td> </tr> <tr> <td>水産生産基盤整備事業</td> <td>(1地区)</td> </tr> <tr> <td>漁港漁場機能高度化事業</td> <td>(3地区)</td> </tr> <tr> <td>水産物供給基盤機能保全事業</td> <td>(4地区)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業名	事業内容	26	水産流通基盤整備事業	(1地区)	水産生産基盤整備事業	(1地区)	漁港漁場機能高度化事業	(3地区)	水産物供給基盤機能保全事業	(4地区)	所管課からの修正意見に基づく修正
年度	事業名	事業内容																								
24	水産流通基盤整備事業	(2地区) 外かく施設、係留施設、輸送施設、用地																								
	漁港施設機能強化事業	(3地区)																								
	漁港漁場機能高度化事業	(5地区)																								
年度	事業名	事業内容																								
26	水産流通基盤整備事業	(1地区)																								
	水産生産基盤整備事業	(1地区)																								
	漁港漁場機能高度化事業	(3地区)																								
	水産物供給基盤機能保全事業	(4地区)																								
102	<p>第6款 ため池施設の整備</p> <p>第2 内容 1 事業計画 県（農政環境部）所管事業分 追加</p> <p>2 周知及び広報 県は、ため池の破損、決壊による災害を…略</p>	106	<p>第6款 ため池施設の整備</p> <p>第2 内容 1 事業計画 県（農政環境部）所管事業分 「ため池整備5箇年計画」（平成26年2月策定）に基づき、改修が必要なため池のうち特に緊急性が高いものについて、平成27年度から5箇年で、計画的かつ着実に整備を進めることとする。</p> <p>2 周知及び広報 県は、ため池の破損、決壊による災害を…略 また、市町は決壊した場合に大きな被害をもたらすおそれのあるため池について、ハザードマップの作成等により適切な情報提供を図ることとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正																						

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応								
103	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第3節 地盤災害の防止施設等の整備</p> <p>第1款 砂防施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>3 土石流危険渓流等の把握と住民への周知</p> <p>県は、土石流危険渓流等に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で土砂災害危険箇所図として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p> <p>第2款 地すべり防止施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地すべり対策事業</td> <td>地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、特殊法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地すべり危険箇所の把握と住民への周知徹底</p> <p>県は、地すべり危険箇所に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で土砂災害危険箇所図として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p>	事業名	事業内容	地すべり対策事業	地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、特殊法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）	107	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第3節 地盤災害の防止施設等の整備</p> <p>第1款 砂防施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>3 土石流危険渓流等の把握と住民への周知</p> <p>県は、土石流危険渓流等に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で土砂災害警戒区域図等として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p> <p>第2款 地すべり防止施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>(1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地すべり対策事業</td> <td>地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地すべり危険箇所の把握と住民への周知徹底</p> <p>県は、地すべり危険箇所に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で土砂災害警戒区域図等として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p>	事業名	事業内容	地すべり対策事業	地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
事業名	事業内容											
地すべり対策事業	地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、特殊法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）											
事業名	事業内容											
地すべり対策事業	地すべり防止区域内における 抑止工（杭打工、法砕工、アンカー工等） 抑制工（集水井工、集水ボーリング工、水路工等）											

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応								
105	<p>第3款 急傾斜地崩壊防止施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1" data-bbox="145 335 947 399"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急傾斜地崩壊対策事業</td> <td>急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、特殊法枠工、アンカー工等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 急傾斜地崩壊危険箇所等の把握と住民への周知</p> <p>県は、急傾斜地崩壊危険箇所等に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で急傾斜地崩壊危険箇所等図として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p> <p>第6款 宅地造成等の規制</p> <p>第2 内容</p> <p>3 宅地保全相談所の設置</p> <p>県は、宅地造成等規制法の趣旨徹底を図るとともに、宅地造成工事規制区域内外における適正な宅地造成工事を指導し、また、既存宅地の保全についての県民の相談窓口を開設することとする。</p> <p>(1) 常設相談所</p> <p>県県土整備部建築指導課、各県民局（まちづくり建築課及び建築課（神戸県民局を除く。））</p> <p>(2) 現地巡回相談所</p> <p>梅雨及び台風時期の前に必要に応じて設置</p> <p>4 県下権限委任市への指導</p> <p>県下の宅地造成等規制法の権限を有する市にも、上記2～3に準じた措置を行うよう指導する。</p>	事業名	事業内容	急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、特殊法枠工、アンカー工等	109	<p>第3款 急傾斜地崩壊防止施設の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 事業計画</p> <p>県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1" data-bbox="1052 335 1854 399"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急傾斜地崩壊対策事業</td> <td>急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、<u>法枠工</u>、アンカー工等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 急傾斜地崩壊危険箇所等の把握と住民への周知</p> <p>県は、急傾斜地崩壊危険箇所等に対する警戒避難体制の整備に資するため、市町との連携の中で<u>土砂災害警戒区域図</u>等として住民の閲覧に供するとともに、県ホームページで公開し、県民への周知に努めることとする。</p> <p>第6款 宅地造成等の規制</p> <p>第2 内容</p> <p>3 宅地保全相談所の設置</p> <p>県は、宅地造成等規制法の趣旨徹底を図るとともに、宅地造成工事規制区域内外における適正な宅地造成工事を指導し、また、既存宅地の保全についての県民の相談窓口を開設することとする。</p> <p>(1) 常設相談所</p> <p>県県土整備部建築指導課、各県民局（<u>西播磨県民局を除く。</u>）及び<u>中播磨県民センターのまちづくり建築課。</u></p> <p>(2) 現地巡回相談所</p> <p>梅雨及び台風時期の前に必要に応じて設置</p> <p>4 宅地造成等規制法の権限を有する市との連携</p> <p><u>県内の宅地造成等規制法の権限を有する市と連携し、上記2・3について県内統一的な実施を図る。</u></p>	事業名	事業内容	急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、 <u>法枠工</u> 、アンカー工等	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
事業名	事業内容											
急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、特殊法枠工、アンカー工等											
事業名	事業内容											
急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊危険区域における擁壁工、 <u>法枠工</u> 、アンカー工等											
		113		<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>								

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
110	<p>第7款 災害危険区域対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 危険住宅の除却又は移転</p> <p>市町は、災害危険区域内に存する危険住宅の除却及び移転を行う者に補助することとし、国、県は、市町の補助額の3/4を負担することとする。</p> <p>(1) 危険住宅の除却等に要する経費</p> <p>限度額 780千円</p> <p>助成区分 国 1/2、県 1/4、市町 1/4</p> <p>(2) 危険住宅に代わる住宅の建設に要する経費</p> <p>限度額 4,060千円（土地を取得しない場合 3,100千円）</p> <p>年利8.5%を限度に金融機関からの借入利息について助成</p> <p>助成区分 国 1/2、県 1/4、市町 1/4</p> <p>（注）助成費の補助限度額は、平成23年度の額である。</p>	114	<p>第7款 災害危険区域対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 危険住宅の除却又は移転</p> <p>市町は、災害危険区域内に存する危険住宅の除却及び移転を行う者に補助することとし、国、県は、市町の補助額の3/4を負担することとする。</p> <p>(1) 危険住宅の除却等に要する経費</p> <p>限度額 <u>802千円</u></p> <p>助成区分 国 1/2、県 1/4、市町 1/4</p> <p>(2) 危険住宅に代わる住宅の建設に要する経費</p> <p>限度額 <u>4,150千円</u>（土地を取得しない場合 <u>3,190千円</u>）</p> <p>年利8.5%を限度に金融機関からの借入利息について助成</p> <p>助成区分 国 1/2、県 1/4、市町 1/4</p> <p>（注）助成費の補助限度額は、<u>平成26年度の額</u>である。</p>	現状にあわせた時点修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
113	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第4節 災害に強い森づくりの推進等</p> <p>第1 趣旨 「緑」の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして、平成18年度から導入された「県民緑税」を活用し、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める「災害に強い森づくり」等について定める。</p> <p>2 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備 市町、森林所有者、森林組合等は、スギ・ヒノキ等の高齢人工林の部分伐採を促進し、広葉樹等を植栽することにより、樹種、林齢が異なり、水土保持能力が高く、公益的機能を発揮する森林を整備することとする。</p> <p>3 里山防災林整備 倒木や崩壊の危険性が高く、住民の生命に影響を及ぼすおそれのある集落裏山の山腹崩壊危険箇所において、危険木伐採などの森林整備と併せて簡易防災施設を設置し、土砂災害の抑制を図る。</p> <p>追加</p>	117	<p>第2編 災害予防計画 第4章 治山・治水対策の推進</p> <p>第4節 災害に強い森づくりの推進等</p> <p>第1 趣旨 <u>森林の有する公益的機能を維持・保全するため、「新ひょうごの森づくり(第2期対策)」(計画期間：H24～33年度)を第1期対策(H14～23)に引き続き実施し、市町と連携し公的支援により間伐を実施する「森林管理100%作戦」(全体計画：67,800ha)や集落周辺の里山林において地域住民等が自ら行う「住民参画型里山林再生事業」(全体計画：4,000ha)に取り組むとともに、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める「災害に強い森づくり(第2期対策)」(計画期間：H23～29年度)を第1期対策(H18～24)に引き続き内容を拡充して計画的に推進する。</u></p> <p>2 里山防災林整備 県は、倒木や崩壊の危険性が高く、住民の生命に影響を及ぼすおそれのある集落裏山の山腹崩壊危険箇所において、危険木伐採などの森林整備と併せて簡易防災施設を設置し、土砂災害の抑制を図る。</p> <p>3 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備 市町、森林組合等は、スギ・ヒノキ等の高齢人工林の部分伐採を促進し、広葉樹等を植栽することにより、樹種、林齢が異なり、水土保持能力が高く、公益的機能を発揮する森林を整備することとする。</p> <p>4 住民参画型森林整備 <u>市町は、地域住民やボランティア等による自発的な集落周辺裏山の森林整備や簡易防災施設整備等に必要な資機材費及び危険木等の伐採に係る森林組合等への委託費の支援を実施することとする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																
115	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第1節 防災基盤・施設等の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 対象事業</p> <table border="1" data-bbox="147 408 954 632"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防防災施設整備事業</td> <td>防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等</td> </tr> <tr> <td>消防広域化対策事業</td> <td>市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等</td> </tr> <tr> <td>緊急消防援助隊施設整備事業</td> <td>緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 防災基盤整備事業計画</p> <p>(1) 市町は、事業の目的、効果、種類、事業量等を記載した防災基盤整備事業計画の策定に当たり、あらかじめ県に協議し、県は、所要の調整を図り、あらかじめ消防庁に協議することとする。</p> <p>(2) 県は、事業の目的、効果、種類、事業量等を記載した防災基盤整備事業計画の策定に当たり、あらかじめ消防庁に協議することとする。</p> <p>3 財政措置</p> <p>本事業には、防災対策事業債が充当され、その元利償還金の一部については、後年度、普通交付税の基準財政需要額に算入され、地方交付税措置が講じられる。</p> <p>4 事業の実施</p> <p>県、市町は、防災基盤整備事業計画に基づき、防災基盤整備事業の計画的執行に努めることとする。</p> <p>5 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 防災基盤整備事業計画の作成</p> <p>(2) その他必要な事項</p>	区 分	事 業 例	消防防災施設整備事業	防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等	消防広域化対策事業	市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等	緊急消防援助隊施設整備事業	緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等	119	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第1節 防災基盤・施設等の整備</p> <p>第2 内容</p> <p>1 対象事業</p> <table border="1" data-bbox="1055 408 1845 639"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防防災施設整備事業</td> <td>防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等</td> </tr> <tr> <td>消防広域化対策事業</td> <td>市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等</td> </tr> <tr> <td>緊急消防援助隊施設整備事業</td> <td>緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等 ※直轄消防法第15条第2項の規定により格付大田が規定する「緊急消防援助隊の編成及び施設整備に係る基干的な事項に關する社則」に基づき整備される緊急消防援助隊の編成に必要な施設の整備が対象</td> </tr> </tbody> </table> <p>削除</p> <p>2 財政措置</p> <p>本事業には、防災対策事業債が充当され、その元利償還金の一部については、後年度、普通交付税の基準財政需要額に算入され、地方交付税措置が講じられる。</p> <p>3 事業の実施</p> <p>県、市町は、<u>地域防災計画等</u>に基づき、防災基盤整備事業の計画的執行に努めることとする。</p> <p>4 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) <u>施設・設備の整備計画</u></p> <p>(2) その他必要な事項</p>	区 分	事 業 例	消防防災施設整備事業	防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等	消防広域化対策事業	市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等	緊急消防援助隊施設整備事業	緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等 ※直轄消防法第15条第2項の規定により格付大田が規定する「緊急消防援助隊の編成及び施設整備に係る基干的な事項に關する社則」に基づき整備される緊急消防援助隊の編成に必要な施設の整備が対象	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
区 分	事 業 例																			
消防防災施設整備事業	防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等																			
消防広域化対策事業	市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等																			
緊急消防援助隊施設整備事業	緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等																			
区 分	事 業 例																			
消防防災施設整備事業	防災拠点施設、初期消火資機材、消防団に整備される施設、消防本部又は消防署に整備される施設、防火情報通信施設等																			
消防広域化対策事業	市町の消防の広域化に伴い新・改築する消防庁舎と一体的に整備される自主防災組織等の訓練・研修施設等																			
緊急消防援助隊施設整備事業	緊急消防援助隊の編成に必要な車両・資機材等 ※直轄消防法第15条第2項の規定により格付大田が規定する「緊急消防援助隊の編成及び施設整備に係る基干的な事項に關する社則」に基づき整備される緊急消防援助隊の編成に必要な施設の整備が対象																			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
116	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第2節 都市の防災構造の強化</p> <p>第2 内容 1 安全・安心な都市づくりの推進</p> <p>(1) 県は、「防災都市計画マスタープラン」等を策定し、これまでの都市計画の思想と経験を継承しつつ、阪神・淡路大震災から得られた教訓を活かして、災害に強く、人々が安全で安心して暮らせる都市づくりを推進することとする。</p> <p>(2) 市町は、「防災都市計画マスタープラン」に十分配慮しつつ、都市計画区域内の市町については「市町都市計画マスタープラン」、また、都市計画区域外の町についてはこれに替わる計画と市街地の防災に関する事項に関して、市町地域防災計画と整合を図ることとする。</p>	120	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第2節 都市の防災構造の強化</p> <p>第2 内容 1 安全・安心な都市づくりの推進</p> <p>(1) 県は、「<u>防災に関する方針</u>」を「<u>都市計画区域マスタープラン</u>」に位置づけ、これまでの都市計画の思想と経験を継承しつつ、阪神・淡路大震災から得られた教訓を活かして、災害に強く、人々が安全で安心して暮らせる都市づくりを推進することとする。</p> <p>(2) 市町は、「<u>都市計画区域マスタープラン</u>」に位置づけられた「<u>防災に関する方針</u>」に十分配慮しつつ、都市計画区域内の市町については「<u>市町都市計画マスタープラン</u>」、また、都市計画区域外の町についてはこれに替わる計画と市街地の防災に関する事項に関して、市町地域防災計画と整合を図ることとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
118	<p>3 防災施設の整備方針</p> <p>(4) 避難地・避難路の周知</p> <p>市町は、避難活動が円滑かつ的確に行われるよう、平時から避難計画を策定しておくほか、避難誘導標識及び避難地等の案内板の設置、防災マップの配布や広報活動、訓練等を通じて避難地・避難路の周知徹底を図ることとする。</p>	122	<p>3 防災施設の整備方針</p> <p>(4) 避難地・避難路の周知</p> <p>市町は、避難活動が円滑かつ的確に行われるよう、平時から避難計画を策定しておくほか、避難誘導標識及び避難地等の案内板の設置、防災マップの配布や広報活動、訓練等を通じて避難地・避難路の周知徹底を図ることとする。</p> <p><u>なお、避難時の周囲の状況等により、屋内に留まっていた方が安全な場合等やむを得ないときは、屋内での待避等の安全確保措置を講ずべきことにも留意することとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対応												
118.	<p>5 その他の施設の整備</p> <p>施設の管理者は、災害の発生、発生後の対処等に配慮し、以下の施設整備に努めることとする。</p> <p>(1) 道路施設の整備</p> <p>各道路管理者は、緊急輸送路等、災害時に活用できる道路施設の整備に努めることとする。</p> <p>(2) 河川施設の整備</p> <p>河川管理者は、防災活動拠点等として利用できる河川施設の整備に努めることとする。</p> <p>(3) 港湾緑地の整備</p> <p>港湾管理者は、広域防災拠点等として活用する緑地整備を図るとともに、耐震強化岸壁の整備に併せて、周辺の既存緑地を防災拠点として活用するよう努めることとする。</p> <p>(4) 海岸施設の整備</p> <p>海岸管理者は、避難地としての機能を有する海岸施設の整備により、自然を保全しながら親水性と地域防災空間の機能を併せ持つ、海岸施設の整備に努めることとする。</p> <p>(5) 公園施設の整備</p> <p>公園管理者は、避難地として位置づけられた公園については、その機能を果すよう広場の確保または整備に努めることとする。</p> <p>(6) 学校施設の整備</p> <p>学校管理者は、災害時に地域住民の避難、救護の拠点として利用されることを考慮し、施設の耐震耐火性の向上に努めることとする。</p>	123	<p>5 その他の施設の整備</p> <p>施設の管理者は、災害の発生、発生後の対処等に配慮し、以下の施設整備に努めることとする。</p> <table border="1" data-bbox="1055 263 1848 582"> <tr> <td>道路施設</td> <td>各道路管理者は、緊急輸送路等、災害時に活用できる道路施設の整備に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td>河川施設</td> <td>河川管理者は、防災活動拠点等として利用できる河川施設の整備に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td>港湾緑地</td> <td>港湾管理者は、広域防災拠点等として活用する緑地整備を図るとともに、耐震強化岸壁の整備に併せて、周辺の既存緑地を防災拠点として活用するよう努めることとする。</td> </tr> <tr> <td>海岸施設</td> <td>海岸管理者は、避難地としての機能を有する海岸施設の整備により、自然を保全しながら親水性と地域防災空間の機能を併せ持つ、海岸施設の整備に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td>公園施設</td> <td>公園管理者は、避難地として位置づけられた公園については、その機能を果すよう広場の確保または整備に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td>学校施設</td> <td>学校管理者は、災害時に地域住民の避難、救護の拠点として利用されることを考慮し、施設の耐震耐火性の向上に努めることとする。</td> </tr> </table>	道路施設	各道路管理者は、緊急輸送路等、災害時に活用できる道路施設の整備に努めることとする。	河川施設	河川管理者は、防災活動拠点等として利用できる河川施設の整備に努めることとする。	港湾緑地	港湾管理者は、広域防災拠点等として活用する緑地整備を図るとともに、耐震強化岸壁の整備に併せて、周辺の既存緑地を防災拠点として活用するよう努めることとする。	海岸施設	海岸管理者は、避難地としての機能を有する海岸施設の整備により、自然を保全しながら親水性と地域防災空間の機能を併せ持つ、海岸施設の整備に努めることとする。	公園施設	公園管理者は、避難地として位置づけられた公園については、その機能を果すよう広場の確保または整備に努めることとする。	学校施設	学校管理者は、災害時に地域住民の避難、救護の拠点として利用されることを考慮し、施設の耐震耐火性の向上に努めることとする。	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
道路施設	各道路管理者は、緊急輸送路等、災害時に活用できる道路施設の整備に努めることとする。															
河川施設	河川管理者は、防災活動拠点等として利用できる河川施設の整備に努めることとする。															
港湾緑地	港湾管理者は、広域防災拠点等として活用する緑地整備を図るとともに、耐震強化岸壁の整備に併せて、周辺の既存緑地を防災拠点として活用するよう努めることとする。															
海岸施設	海岸管理者は、避難地としての機能を有する海岸施設の整備により、自然を保全しながら親水性と地域防災空間の機能を併せ持つ、海岸施設の整備に努めることとする。															
公園施設	公園管理者は、避難地として位置づけられた公園については、その機能を果すよう広場の確保または整備に努めることとする。															
学校施設	学校管理者は、災害時に地域住民の避難、救護の拠点として利用されることを考慮し、施設の耐震耐火性の向上に努めることとする。															

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																				
120	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第3節 交通関係施設の整備</p> <p>第1款 道路施設の整備</p> <p>第2 内容 2 緊急輸送道路等の整備 (1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路事業（一般国道、県道）</td> <td rowspan="3">緊急輸送道路の整備を実施する。</td> </tr> <tr> <td>街路事業</td> </tr> <tr> <td>特定交通安全施設等整備事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 落橋防止 (1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁補修事業</td> <td>耐震補強工事等の順次実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 道路情報の提供 県は、「道の駅」に道路情報提供装置を設置し、道路利用者の安全性や利便性向上のための各種情報を提供するとともに、緊急災害時には通行規制箇所等の情報提供を行うこととする。 さらに、各種の道路情報提供装置の統合管理を進め、他の道路管理者及び県警察本部とのネットワーク化を図ることにより、緊急時における迅速かつ的確な情報収集と発信に努めることとする。</p>	事業名	事業内容	道路事業（一般国道、県道）	緊急輸送道路の整備を実施する。	街路事業	特定交通安全施設等整備事業	事業名	事業内容	橋梁補修事業	耐震補強工事等の順次実施	124	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第3節 交通関係施設の整備</p> <p>第1款 道路施設の整備</p> <p>第2 内容 2 緊急輸送道路等の整備 (1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路事業</td> <td rowspan="3">緊急輸送道路等の整備を実施する。</td> </tr> <tr> <td>街路事業</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設等整備事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 落橋防止 (1) 県（県土整備部）所管事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁補修事業</td> <td>老朽化対策や耐震補強工事等の順次実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 道路情報の提供 「道の駅」には、道路情報提供装置を設置し、道路利用者の安全性や利便性向上のための各種情報の提供に加え、緊急災害時には通行規制箇所等の情報提供を行う。</p>	事業名	事業内容	道路事業	緊急輸送道路等の整備を実施する。	街路事業	交通安全施設等整備事業	事業名	事業内容	橋梁補修事業	老朽化対策や耐震補強工事等の順次実施	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
事業名	事業内容																							
道路事業（一般国道、県道）	緊急輸送道路の整備を実施する。																							
街路事業																								
特定交通安全施設等整備事業																								
事業名	事業内容																							
橋梁補修事業	耐震補強工事等の順次実施																							
事業名	事業内容																							
道路事業	緊急輸送道路等の整備を実施する。																							
街路事業																								
交通安全施設等整備事業																								
事業名	事業内容																							
橋梁補修事業	老朽化対策や耐震補強工事等の順次実施																							

頁	現 行			頁	修 正 案			対 応
122	○「道の駅」道路情報提供装置 設置箇所			126	○「道の駅」道路情報提供装置 設置箇所			所管課からの修正意見に基づく修正
	駅名	路線名	所在地	備考	駅名	路線名	所在地	
	しんぐう	国道 179号	たつの市新宮町平野99-2		しんぐう	国道 179号	たつの市新宮町平野99-2	
	あわじ	県道 福良江井岩屋線	淡路市岩屋1873-1		あわじ	県道 福良江井岩屋線	淡路市岩屋1873-1	
	宿場町ひらふく	国道 373号	佐用郡佐用町平福988-1		宿場町ひらふく	国道 373号	佐用郡佐用町平福988-1	
	とうじょう	県道 平木栗条線	加東市南山1-5-1		とうじょう	県道 平木栗山線	加東市南山1-5-1	
	あおがき	県道 青垣柏原線	丹波市青垣町西芦田540		あおがき	県道 青垣柏原線	丹波市青垣町西芦田540	
	あゆの里矢田川	県道 香住村岡線	美方郡香美町村岡区長瀬933-1		あゆの里矢田川	県道 香住村岡線	美方郡香美町村岡区長瀬933-1	
	R427かみ	国道427号	多可郡多可町加美区鷹羽733-1		R427かみ	国道 427号	多可郡多可町加美区鷹羽733-1	
	いながわ	県道 川西箕山線	川辺郡猪名川町万能竹添70-1		丹波おばあちゃんの里	国道 176号	丹波市春日野町七日市710	
	丹波おばあちゃんの里	国道175号	丹波市春日野町七日市710		みつ	国道 250号	たつの市御津町室津896-23	
	みつ	国道250号	たつの市御津町室津896-23		あまるべ	国道 178号	美方郡香美町香住区餘部1723-4	
	あまるべ	国道178号	美方郡香美町香住区餘部1723-4		提供情報：道路規制情報、渋滞情報、気象情報 等			

第2款 鉄道施設の整備

第2 内容

鉄道事業者は、次の内容により鉄道施設の整備等を推進することとする。

機関名	内 容	事業計画
西日本旅客鉄道㈱	新規構造物については、平成24年に改訂された「鉄道構造物等設計標準（耐震設計）」（以下、「耐震標準」という。）に基づいて設計する。 なお、経過措置として、平成25年度までは平成10年発出の耐震標準の使用が認められている。	駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸市交通局		駅舎・橋梁・法面・溝きよ等を計画的に改良強化
阪急電鉄㈱ 阪神電気鉄道㈱ 山陽電気鉄道㈱		駅舎・橋梁・法面・溝きよ等を計画的に改良強化
神戸電鉄㈱		駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸高速鉄道㈱		溝きよ・ずい道・換気孔・駅出入口の改良強化
六甲摩耶鉄道㈱		駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸すまいまちづくり公社		耐震設計の計算方法は従来は震度法、最近では修正震度法を採用している。

123

127

頁	現 行			頁	修 正 案			対 応
122	○「道の駅」道路情報提供装置 設置箇所			126	○「道の駅」道路情報提供装置 設置箇所			所管課からの修正意見に基づく修正
	駅名	路線名	所在地	備考	駅名	路線名	所在地	
	しんぐう	国道 179号	たつの市新宮町平野99-2		しんぐう	国道 179号	たつの市新宮町平野99-2	
	あわじ	県道 福良江井岩屋線	淡路市岩屋1873-1		あわじ	県道 福良江井岩屋線	淡路市岩屋1873-1	
	宿場町ひらふく	国道 373号	佐用郡佐用町平福988-1		宿場町ひらふく	国道 373号	佐用郡佐用町平福988-1	
	とうじょう	県道 平木栗条線	加東市南山1-5-1		とうじょう	県道 平木栗山線	加東市南山1-5-1	
	あおがき	県道 青垣柏原線	丹波市青垣町西芦田540		あおがき	県道 青垣柏原線	丹波市青垣町西芦田540	
	あゆの里矢田川	県道 香住村岡線	美方郡香美町村岡区長瀬933-1		あゆの里矢田川	県道 香住村岡線	美方郡香美町村岡区長瀬933-1	
	R427かみ	国道427号	多可郡多可町加美区鷹羽733-1		R427かみ	国道 427号	多可郡多可町加美区鷹羽733-1	
	いながわ	県道 川西箕山線	川辺郡猪名川町万能竹添70-1		丹波おばあちゃんの里	国道 176号	丹波市春日野町七日市710	
	丹波おばあちゃんの里	国道175号	丹波市春日野町七日市710		みつ	国道 250号	たつの市御津町室津896-23	
	みつ	国道250号	たつの市御津町室津896-23		あまるべ	国道 178号	美方郡香美町香住区餘部1723-4	
	あまるべ	国道178号	美方郡香美町香住区餘部1723-4		提供情報：道路規制情報、渋滞情報、気象情報 等			

第2款 鉄道施設の整備

第2 内容

鉄道事業者は、次の内容により鉄道施設の整備等を推進することとする。

機関名	内 容	事業計画
西日本旅客鉄道㈱	新規構造物については、平成24年に改訂された「鉄道構造物等設計標準（耐震設計）」（以下、「耐震標準」という。）に基づいて設計する。 なお、経過措置として、平成25年度までは平成10年発出の耐震標準の使用が認められている。	駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸市交通局		駅舎・橋梁・法面・溝きよ等を計画的に改良強化
阪急電鉄㈱ 阪神電気鉄道㈱ 山陽電気鉄道㈱		駅舎・橋梁・法面・溝きよ等を計画的に改良強化
神戸電鉄㈱		駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸高速鉄道㈱		溝きよ・ずい道・換気孔・駅出入口の改良強化
六甲山観光㈱		駅舎・橋梁・法面・電線路支持物等を計画的に改良強化
神戸すまいまちづくり公社		耐震設計の計算方法は従来は震度法、最近では修正震度法を採用している。

組織名変更による修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																												
124	<p>第3款 空港・ヘリポート対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 空港管理者等は、次の対策を実施することとする。 追加</p> <p>3. ヘリコプター臨時離着陸場適地の指定 (1) 県は、地理的、社会的要件を勘案のうえ、各市町にヘリコプター臨時離着陸場適地を指定する。</p> <p>○ ヘリコプター臨時離着陸場適地の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>神 戸</th> <th>阪神南</th> <th>阪神北</th> <th>東播磨</th> <th>北播磨</th> <th>中播磨</th> <th>西播磨</th> <th>但 馬</th> <th>丹 波</th> <th>淡 路</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箇所数</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>262</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 広域防災拠点におけるヘリポート等の整備 県は、広域防災拠点の建設にあたって、ヘリポート等の整備に努めることとする。 三木総合防災公園 三木防災ヘリポート（非公共） 平成 17 年 9 月 供用開始</p>	地 域	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	計	箇所数	30	14	24	18	27	24	38	41	21	25	262	128	<p>第3款 空港・ヘリポート対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 空港管理者の役割 ※空港管理者：空港管理事務所又は民間資金等の活用による公共施設等の整備等に関する事業の実施に関する法律及び民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律により運営権を設定されている場合は運営権者。</p> <p>3 ヘリコプター臨時離着陸場適地の指定 (1) 県は、地理的、社会的要件を勘案のうえ、各市町にヘリコプター臨時離着陸場適地を指定する。</p> <p>○ ヘリコプター臨時離着陸場適地の指定状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>神 戸</th> <th>阪神南</th> <th>阪神北</th> <th>東播磨</th> <th>北播磨</th> <th>中播磨</th> <th>西播磨</th> <th>但 馬</th> <th>丹 波</th> <th>淡 路</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箇所数</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>264</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 広域防災拠点におけるヘリポート等の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点名</th> <th>所在地</th> <th>名 称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三木総合防災公園</td> <td>三木市志保町御坂</td> <td>三木防災ヘリポート</td> <td>非公共</td> </tr> <tr> <td>西播磨広域防災拠点</td> <td>赤穂郡上郡町吹都</td> <td>播磨ヘリポート林地</td> <td>臨時離着陸場</td> </tr> <tr> <td>但馬広域防災拠点</td> <td>豊岡市豊井</td> <td>但馬空港</td> <td>空港</td> </tr> <tr> <td>淡路広域防災拠点</td> <td>南あわじ市広田広田</td> <td>淡路ふれあい公園芝生広場</td> <td>臨時離着陸場</td> </tr> <tr> <td>丹波広域防災拠点</td> <td>丹波市柏原町柏原</td> <td>丹波の森公園緑地目的グラウンド</td> <td>臨時離着陸場</td> </tr> <tr> <td>阪神南広域防災拠点</td> <td>西宮市甲子園緑地</td> <td>阪神南広域防災拠点臨時ヘリポート</td> <td>臨時離着陸場</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	計	箇所数	30	14	24	19	27	25	38	40	21	26	264	拠点名	所在地	名 称	種 別	三木総合防災公園	三木市志保町御坂	三木防災ヘリポート	非公共	西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町吹都	播磨ヘリポート林地	臨時離着陸場	但馬広域防災拠点	豊岡市豊井	但馬空港	空港	淡路広域防災拠点	南あわじ市広田広田	淡路ふれあい公園芝生広場	臨時離着陸場	丹波広域防災拠点	丹波市柏原町柏原	丹波の森公園緑地目的グラウンド	臨時離着陸場	阪神南広域防災拠点	西宮市甲子園緑地	阪神南広域防災拠点臨時ヘリポート	臨時離着陸場	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
地 域	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	計																																																																					
箇所数	30	14	24	18	27	24	38	41	21	25	262																																																																					
地 域	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	計																																																																					
箇所数	30	14	24	19	27	25	38	40	21	26	264																																																																					
拠点名	所在地	名 称	種 別																																																																													
三木総合防災公園	三木市志保町御坂	三木防災ヘリポート	非公共																																																																													
西播磨広域防災拠点	赤穂郡上郡町吹都	播磨ヘリポート林地	臨時離着陸場																																																																													
但馬広域防災拠点	豊岡市豊井	但馬空港	空港																																																																													
淡路広域防災拠点	南あわじ市広田広田	淡路ふれあい公園芝生広場	臨時離着陸場																																																																													
丹波広域防災拠点	丹波市柏原町柏原	丹波の森公園緑地目的グラウンド	臨時離着陸場																																																																													
阪神南広域防災拠点	西宮市甲子園緑地	阪神南広域防災拠点臨時ヘリポート	臨時離着陸場																																																																													
		129																																																																														

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
128	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第4節 ライフライン関係施設の整備</p> <p>第2款 ガス施設の整備等</p> <p>[実施機関：大阪ガス㈱、(一社)兵庫県エルピーガス協会]</p> <p>第2 内容 2 (一社)兵庫県エルピーガス協会の取組 (一社)兵庫県エルピーガス協会は、次の内容によりエルピーガス施設の防災体制の整備等を推進することとする。</p>	133	<p>第2編 災害予防計画 第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第4節 ライフライン関係施設の整備</p> <p>第2款 ガス施設の整備等</p> <p>[実施機関：大阪ガス㈱、(一社)兵庫県L Pガス協会]</p> <p>第2 内容 2 (一社)兵庫県L Pガス協会の取組 (一社)兵庫県L Pガス協会は、次の内容によりL Pガス施設の防災体制の整備等を推進することとする。</p>	組織名変更による修正
129	<p>(1) 防災システムの強化</p> <p>② 安全機器の取付促進 消費に係る安全機器（マイコンメーター、ヒューズコック、ガス漏れ警報器）の普及率は、ほぼ100%に達している。</p> <p>③ 地域防災事業所の設置 県下を12ブロックに分け、それぞれのブロックに、製造事業所、エルピーガススタンド、容器検査所で組織した防災事業所を設置し、24時間即応体制が整備されている。 各防災事業所には、緊急点検用の資機材並びに緊急対応のための単車及び自転車等を配備するほか、無線、災害時優先電話が整備されている。</p>	134	<p>(1) 防災システムの強化</p> <p>② 安全機器の取付促進 消費に係る安全機器（マイコンメーター、ヒューズコック、ガス漏れ警報器）の普及率は、ほぼ100%に達している。 また、災害時にL Pガス容器の流出及びガス漏洩を防ぐ放出防止型高圧ホースの普及に努める。</p> <p>③ 地域防災事業所の設置 県下を12ブロックに分け、それぞれのブロックに、<u>充てん所、L Pガススタンド</u>、容器検査所で組織した防災事業所を設置し、24時間即応体制が整備されている。 各防災事業所には、緊急点検用の資機材並びに緊急対応のための単車及び自転車等を配備するほか、無線、災害時優先電話が整備されている。</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正 関係機関からの修正意見に基づく修正

頁	現 行				頁	修 正 案				対 応
	○ 地域防災事業所組織図 (平成 25 年 4 月 1 日現在)					○ 地域防災事業所組織図 (平成 26 年 3 月 20 日現在)				
ブロック	地 域	防災事業所の種別・数			ブロック	地 域	防災事業所の種別・数			
		製造事業所	LPガススタンド	容器検査所			充てん所	LPガススタンド	容器検査所	
129	北摂	篠山市・宝塚市・川西市・川辺郡・西宮市の一部・尼崎市の一部	1	3	0	北摂	伊丹市・宝塚市・川西市・川辺郡・西宮市の一部・尼崎市の一部	1	3	0
	阪神	尼崎市・西宮市	2	3	1	阪神	尼崎市・西宮市・伊丹市の一部	2	3	1
	神戸	神戸市(垂水区、西区、北区除く)・芦屋市	1	7	0	神戸	神戸市(垂水区、西区、北区除く)・芦屋市	1	7	0
	摂丹	丹波市・篠山市・三田市・神戸市北区・西宮市山口町	5	4	0	摂丹	丹波市・篠山市・三田市・神戸市北区・西宮市山口町	5	4	0
	明石	明石市・神戸市垂水区・神戸市西区	5	3	1	明石	明石市・神戸市垂水区・神戸市西区	5	3	1
	東播	小野市・三木市・西脇市・加西市・多可郡	7	4	2	東播	小野市・三木市・西脇市・加西市・多可郡 加東市	6	4	2
	加印	加古川市・高砂市・加古郡・姫路市の一部	9	4	3	加印	加古川市・高砂市・加古郡・姫路市の一部	9	4	3
	姫路	姫路市・神崎郡	12	7	1	姫路	姫路市・神崎郡	12	7	1
	西播東	たつの市・宍粟市・揖保郡・姫路市林田町の一部	2	2	1	西播東	たつの市・宍粟市・揖保郡・姫路市林田町の一部	2	2	1
	西播西	相生市・赤穂市・赤穂郡・佐用郡	6	4	1	西播西	相生市・赤穂市・赤穂郡・佐用郡	6	4	1
	但馬	豊岡市・養父市・朝来市・英方郡	6	3	0	但馬	豊岡市・養父市・朝来市・英方郡	6	3	0
	淡路	淡路全城	8	6	2	淡路	淡路全城	8	6	2

(2) 防災体制の整備
追加

頁	現 行				頁	修 正 案				対 応
	○ 地域防災事業所組織図 (平成 25 年 4 月 1 日現在)					○ 地域防災事業所組織図 (平成 26 年 3 月 20 日現在)				
ブロック	地 域	防災事業所の種別・数			ブロック	地 域	防災事業所の種別・数			
		製造事業所	LPガススタンド	容器検査所			充てん所	LPガススタンド	容器検査所	
134	北摂	伊丹市・宝塚市・川西市・川辺郡・西宮市の一部・尼崎市の一部	1	3	0	北摂	伊丹市・宝塚市・川西市・川辺郡・西宮市の一部・尼崎市の一部	1	3	0
	阪神	尼崎市・西宮市	2	3	1	阪神	尼崎市・西宮市・伊丹市の一部	2	3	1
	神戸	神戸市(垂水区、西区、北区除く)・芦屋市	1	7	0	神戸	神戸市(垂水区、西区、北区除く)・芦屋市	1	7	0
	摂丹	丹波市・篠山市・三田市・神戸市北区・西宮市山口町	5	4	0	摂丹	丹波市・篠山市・三田市・神戸市北区・西宮市山口町	5	4	0
	明石	明石市・神戸市垂水区・神戸市西区	5	3	1	明石	明石市・神戸市垂水区・神戸市西区	5	3	1
	東播	小野市・三木市・西脇市・加西市・多可郡	7	4	2	東播	小野市・三木市・西脇市・加西市・多可郡 加東市	6	4	2
	加印	加古川市・高砂市・加古郡・姫路市の一部	9	4	3	加印	加古川市・高砂市・加古郡・姫路市の一部	9	4	3
	姫路	姫路市・神崎郡	12	7	1	姫路	姫路市・神崎郡	12	7	1
	西播東	たつの市・宍粟市・揖保郡・姫路市林田町の一部	2	2	1	西播東	たつの市・宍粟市・揖保郡・姫路市林田町の一部	2	2	1
	西播西	相生市・赤穂市・赤穂郡・佐用郡	6	4	1	西播西	相生市・赤穂市・赤穂郡・佐用郡	6	4	1
	但馬	豊岡市・養父市・朝来市・英方郡	6	3	0	但馬	豊岡市・養父市・朝来市・英方郡	6	3	0
	淡路	淡路全城	8	6	2	淡路	淡路全城	8	6	2

(2) 防災体制の整備

② 中核充てん所の設置

大規模災害時に特定の地域にLPガスの供給が不足する事態にも安定的にLPガスの供給を確保できるよう、県下12か所に中核充てん所(改正石油備蓄法第14条第1項により指定)を設置し、以下を実施する。

ア 災害時石油供給連携計画を策定する。

イ LPガス輸入業者及び近隣の他府県協会と共同で連携訓練を実施する。

ウ LPガス自家発電機を配備する。

エ 衛星携帯電話を配備する。

現状にあわせた時点
修正

関係機関からの修正
意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
129	<p>② 相互協力体制の確立</p> <p>ア (一社)兵庫県エルピーガス協会、(一社)大阪府LPガス協会、(一社)奈良県LPガス協会、(一社)京都府LPガス協会、(一社)和歌山県LPガス協会、(一社)滋賀県エルピーガス協会、(一社)福井県LPガス協会で組織する「近畿LPガス連合会」の相互支援協定により、大規模災害時の相互支援体制を整備している。</p> <p>イ ウ 略</p>	135	<p>③ 相互協力体制の確立</p> <p>ア (一社)兵庫県LPガス協会、(一社)大阪府LPガス協会、(一社)奈良県LPガス協会、(一社)京都府LPガス協会、(一社)和歌山県LPガス協会、(一社)滋賀県LPガス協会、(一社)福井県LPガス協会で組織する「近畿LPガス連合会」の相互支援協定により大規模災害時の相互支援体制を整備している。</p> <p>イ ウ 略</p>	組織名変更による修正
130	<p>③ 防災訓練等の実施と参加</p> <p>～ 略 ～</p> <p>(3) 災害防止のための普及・啓発活動の実施</p> <p>① 年間を通じ、県下各地でエルピーガス使用家庭の主婦を対象とした消費者安全教室を開催し、災害時における緊急対策の周知を図ることとする。</p> <p>② 兵庫県内で一定の被害が想定される場合、及び緊急対策放送が必要な場合等に、「災害時におけるLPガスの二次災害を防止するための放送協定」に基づき、容器バルブの閉止等を周知する放送を(株)ラジオ関西が自動的に可能な限り反復して放送することにより、早期にエルピーガスの対応について周知を図る。</p> <p>③ 各防災事業所は、消費者に対し、災害時におけるエルピーガスの緊急対応について周知を図ることとする。</p> <p>④ 兵庫県並びに県下の市区町村に対し、大規模な災害発生時に都市部でのガス供給がストップした場合に備え、①防災協定の締結に努める、②避難所となる学校や病院などの公共施設に災害対応用バルブ等のLPガスシステムを導入するよう要請に努める。</p>		<p>④ 防災訓練等の実施</p> <p>～ 略 ～</p> <p>(3) 災害防止のための普及・啓発活動の実施</p> <p>① 年間を通じ、県下各地でLPガス使用家庭の主婦を対象とした消費者安全教室を開催し、災害時における緊急対策の周知を図ることとする。</p> <p>② 兵庫県内で一定の被害が想定される場合、及び緊急対策放送が必要な場合等に、「災害時におけるLPガスの二次災害を防止するための放送協定」に基づき、容器バルブの閉止等を周知する放送を(株)ラジオ関西が自動的に可能な限り反復して放送することにより、早期にLPガスの対応について周知を図る。</p> <p>③ 各防災事業所は、消費者に対し、災害時におけるLPガスの緊急対応について周知を図ることとする。</p> <p>④ 兵庫県並びに県下の市区町村に対し、大規模な災害発生時に都市部でのガス供給がストップした場合に備える。</p> <p>ア 災害支援協定の締結に努める。</p> <p>イ 兵庫県内の避難所に指定されている小中高等学校に対し、災害発生時に炊き出しや発電等に利用可能な非常用燃料として、LPガスを備蓄できる災害対応用バルブシステムの普及に努める。</p> <p>ウ 各自治体が開催する各種のイベントに積極的に参加し、一般の消費者に対して、災害時に燃料の確保が容易なLPガス自動車とLPガス発電機の普及啓発に努める。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
131	<p>第3款 電気通信施設の整備等</p> <p>(実施機関：西日本電信電話株、株エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株、KDDI株)</p> <p>第2 内容</p> <p>1 西日本電信電話株、株エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株の取組</p> <p>西日本電信電話株、株エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株各社は、連携を図りながら、次の内容により電気通信施設の整備等を推進することとする。</p> <p>追加</p>	136	<p>第3款 電気通信施設の整備等</p> <p>(実施機関：西日本電信電話株、株NTTドコモ関西支社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株、KDDI株、ソフトバンクテレコム株、ソフトバンクモバイル株)</p> <p>第2 内容</p> <p>1 西日本電信電話株、株NTTドコモ関西支社及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株の取組</p> <p>西日本電信電話株、株NTTドコモ関西支社及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株各社は、連携を図りながら、次の内容により電気通信施設の整備等を推進することとする。</p> <p>3 ソフトバンクテレコム株及び、ソフトバンクモバイル株の取組</p> <p><u>ソフトバンクテレコム、ソフトバンクモバイルは、次の内容により電気通信施設の整備等を推進することとする。</u></p> <p>(1) <u>電気通信設備の現況</u></p> <p><u>大規模災害発生に備え、通信サービスの確保ができるように、防災体制を整えるとともに、関係機関との緊密な連携を図り、災害に備えた対策と指針づくりを実施することとする。</u></p> <p>① <u>停電対策</u></p> <p><u>基地局やネットワークセンターには、停電時も安定した通信を確保できるよう、予備電源や非常用発電設備を設置。また、重要拠点については燃料タンクを設置、さらに燃料優先給油契約により円滑な燃料供給体制をとることとする。</u></p> <p>② <u>伝送路対策</u></p> <p><u>ネットワークセンター間および複数の基地局の通信を通す基幹伝送路は、線路の冗長化や迂回路を用意して、通信が確保されるような対策を実施することとする。</u></p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>指定公共機関追加に伴う修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>指定公共機関追加に伴う修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	<p>追加</p> <p>第4款 水道施設の整備等</p> <p>第2 内容</p>	137	<p>(2) <u>自主保安体制の構築</u></p> <p>① <u>対応マニュアルの徹底</u> 速やかなサービス復旧が実現できるよう、対策（災害対応マニュアルの策定、緊急連絡網の整備など）を確立することとする。</p> <p>② <u>非常時体制の編成と連絡網の整備</u> 災害発生時に、ネットワーク障害に即応できる体制を編成して万が一に備えることとする。</p> <p>③ <u>災害対策用設備および防災備蓄品の配備</u> 災害時に通信サービスの早期復旧を図るため、各地に災害対策用設備、復旧資材および予備品などを確保することとする。</p> <p>(3) <u>防災訓練の実施</u> 実際の災害を想定した訓練を実施し、訓練結果をネットワークの運用保守体制の見直しおよび改善に反映し、協力会社との合同訓練も実施し、災害発生時には通信サービスの早期復旧を図れるよう訓練することとする。</p> <p>第4款 水道施設の整備等</p> <p>第2 内容</p>	<p>指定公共機関追加に伴う修正</p>
133	<p>6 「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」等に基づく相互応援協定 県内の各市町及び各水道事業体において、締結された「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」をはじめ「災害発生時における日本水道協会関西支部内の相互応援に関する協定」「近畿2府7県危機発生等の相互応援に関する基本協定」及び「近畿2府5県の府県営及び大規模水用水供給業務の震災時等の相互応援に関する覚書」等に基づき、災害対策資機材の備蓄状況などの災害対策に関する情報交換や連絡方法等必要な事項の協議及び調整を行い、災害時における相互応援活動が円滑に行われるよう努めることとする。</p>	138	<p>6 「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」等に基づく相互応援協定 県内の各市町及び各水道事業体において、締結された「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」をはじめ「災害発生時における日本水道協会関西支部内の相互応援に関する協定」「近畿圏危機発生等の相互応援に関する基本協定」及び「近畿2府5県の府県営及び大規模水用水供給業務の震災時等の相互応援に関する覚書」等に基づき、災害対策資機材の備蓄状況などの災害対策に関する情報交換や連絡方法等必要な事項の協議及び調整を行い、災害時における相互応援活動が円滑に行われるよう努めることとする。</p>	<p>名称変更に伴う修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																								
140	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第5節 地下街等の防災体制の整備</p> <p>第1 趣旨</p> <p>地下街は構造上の特殊性により災害時の対応が制約されることから、地下街における避難対策など、その防災体制の整備について定める。</p> <p>第2 内容</p> <p>1 関係機関の業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務等</th> <th colspan="2">業務概要</th> </tr> <tr> <th>災害予防</th> <th>災害防御</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)</td> <td> 1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備 </td> <td> 1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施 </td> </tr> <tr> <td>消防本部</td> <td> 1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導 </td> <td> 1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報 </td> </tr> <tr> <td>県警察本部</td> <td></td> <td> 1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導 </td> </tr> <tr> <td>関西電力株式会社</td> <td> 1 電力供給施設の調査点検 </td> <td> 1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制 </td> </tr> <tr> <td>大阪ガス株式会社</td> <td> 1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知 </td> <td> 1 ガス供給施設の応急対策 </td> </tr> </tbody> </table>	業務等	業務概要		災害予防	災害防御	地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)	1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備	1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施	消防本部	1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導	1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報	県警察本部		1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導	関西電力株式会社	1 電力供給施設の調査点検	1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制	大阪ガス株式会社	1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知	1 ガス供給施設の応急対策	145	<p>第2編 災害予防計画</p> <p>第5章 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備</p> <p>第5節 地下街等の防災体制の整備</p> <p>第1 趣旨</p> <p>地下街は構造上の特殊性により災害時の対応が制約されることから、<u>地下街等における利用者の円滑で迅速な避難確保及び洪水時の浸水防止（以下、「地下街利用者の避難と浸水防止」という。）</u>対策など、その防災体制の整備について定める。</p> <p>第2 内容</p> <p>1 関係機関の業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務等</th> <th colspan="2">業務概要</th> </tr> <tr> <th>災害予防</th> <th>災害防御</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)</td> <td> 1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備 6 避難経路計画の作成と公表 7 自衛消防組織の設置 8 地下街等の自衛消防組織による浸水防止訓練 </td> <td> 1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施 3 地下街等の自衛消防組織による浸水防止活動の実施 4 地下街等の利用者の円滑かつ迅速な避難の確保 </td> </tr> <tr> <td>消防本部</td> <td> 1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導 </td> <td> 1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報 </td> </tr> <tr> <td>県警察本部</td> <td></td> <td> 1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導 </td> </tr> <tr> <td>関西電力株式会社</td> <td> 1 電力供給施設の調査点検 </td> <td> 1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制 </td> </tr> <tr> <td>大阪ガス株式会社</td> <td> 1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知 </td> <td> 1 ガス供給施設の応急対策 </td> </tr> </tbody> </table>	業務等	業務概要		災害予防	災害防御	地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)	1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備 6 避難経路計画の作成と公表 7 自衛消防組織の設置 8 地下街等の自衛消防組織による浸水防止訓練	1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施 3 地下街等の自衛消防組織による浸水防止活動の実施 4 地下街等の利用者の円滑かつ迅速な避難の確保	消防本部	1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導	1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報	県警察本部		1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導	関西電力株式会社	1 電力供給施設の調査点検	1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制	大阪ガス株式会社	1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知	1 ガス供給施設の応急対策	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
業務等	業務概要																																											
	災害予防	災害防御																																										
地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)	1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備	1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施																																										
消防本部	1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導	1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報																																										
県警察本部		1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導																																										
関西電力株式会社	1 電力供給施設の調査点検	1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制																																										
大阪ガス株式会社	1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知	1 ガス供給施設の応急対策																																										
業務等	業務概要																																											
	災害予防	災害防御																																										
地下街等関係者 (地下街等利用者 地下街等事業者)	1 地下街の防災管理体制の整備 2 従業員に対する教育訓練 3 施設の点検管理と改善措置 4 防火防災用資機材の整備と効率的配置 5 隣街地下街等の相互連絡体制の整備 6 避難経路計画の作成と公表 7 自衛消防組織の設置 8 地下街等の自衛消防組織による浸水防止訓練	1 防災センター（防災設備の情報を集中管理する場所）を通して消防機関への連絡 2 地下街等自衛消防隊による防衛活動の実施 3 地下街等の自衛消防組織による浸水防止活動の実施 4 地下街等の利用者の円滑かつ迅速な避難の確保																																										
消防本部	1 消防用設備等の設置維持に関する指導 2 防火管理に関する指導 3 防火防災体制の整備充実に関する指導	1 災害による被害の軽減 2 人命救助及び避難指導 3 災害情報の広報																																										
県警察本部		1 情報収集 2 救急搬送及び避難指導																																										
関西電力株式会社	1 電力供給施設の調査点検	1 電力供給施設の応急対策 2 消防・警察機関に対する支援体制																																										
大阪ガス株式会社	1 ガス供給施設の調査点検 2 ガスの安全使用に関する周知	1 ガス供給施設の応急対策																																										

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
140	<p>2 地下空間における浸水対策の実施</p> <p>豪雨や洪水により短時間で地下空間に浸水した場合には、通常の地上での水害の実態と大きく異なり、電気設備の浸水による停電や地下空間の天井までの冠水など大きな被害を受けるおそれがあることから、以下の対策を実施することとする。</p> <p>(1) 豪雨及び洪水時における地下空間での危険性の事前の周知・啓発</p> <p>県、市町は、豪雨時における建築物の地下階への水の急激な流入、水圧によるドアの開閉障害等の危険性について、地下空間の管理者及び利用者への周知・啓発を図ることとする。また、地下空間の浸水被害の実績や浸水予測地域等の公表・周知に努めることとする。</p>	145	<p>2 地下街利用者の避難と浸水対策の実施</p> <p>豪雨や洪水により短時間で地下街等に浸水した場合には、通常の地上での水害の実態と大きく異なり、電気設備の浸水による停電や地下街等の天井までの冠水など大きな被害を受けるおそれがあり、地下街利用者の円滑で迅速な避難確保のためには、適切な誘導や洪水時の浸水防止対策が必要となることから、以下の対策を実施することとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
141	<p>(2) 豪雨及び洪水時における地下空間管理者への洪水情報等の的確かつ迅速な伝達</p> <p>豪雨及び洪水時には地下空間の管理者が適切な対応をとることが必要であることから、市町長あるいは水防管理者は、地下空間の管理者に対する水防警報等の伝達体制を整備するよう努めることとする。また、河川管理者は、洪水時において水防警報等を鉄道管理者に対して直接伝達するルートについて整備することとする。</p> <p>(3) 避難体制の確立</p> <p>市町長又は知事若しくは水防管理者は、河川管理者からの水防警報等に基づく避難のための立退きの指示等を、防災無線の活用や自治会などの協力等の方策により行うことを検討するとともに、マスメディア等を通じた情報伝達についても充実させることとする。</p> <p>また、地下街等の不特定多数の利用者がいる施設の管理者は、円滑な避難誘導等について検討することとし、地下鉄、地下街、個別ビル一体となった地下空間においては、各組織の連携方策について検討することとする。</p> <p>さらに、県、市町及び地下空間の管理者が共同して、浸水被害の発生を想定した訓練の実施内容について検討することとする。</p> <p>(4) 地下施設への流入防止等浸水被害軽減対策の促進</p> <p>県、市町は、地下街等の管理者が、地下空間の浸水防止施設（防水壁等）設置を推進できるよう、施設の具体的事例等の必要な情報提供に努めることとする。</p> <p>(5) 地下施設管理者との連携強化方策の検討</p> <p>地下空間が高度に発達した地域について、県と市町が共同で、「地下街、地下駐車場対策」について検討するなど、地下空間の管理者との連携強化方策について検討することとする。</p>	146	<p>(1) 豪雨及び洪水時における地下街等での危険性の事前の周知・啓発</p> <p>県、市町は、豪雨時等における建築物の地下階への水の急激な流入、水圧によるドアの開閉障害等の危険性について、地下街等の所有者又は管理者及び利用者への周知・啓発を図ることとする。また、地下街等の浸水被害の実績や浸水想定区域等の公表・周知に努めることとする。</p> <p>(2) 豪雨及び洪水時における地下街等の所有者又は管理者（以下、「地下街等の管理者」という。）への洪水情報等の的確かつ迅速な伝達</p> <p>豪雨及び洪水時には地下街等の管理者が適切な対応をとることが必要であることから、市町長あるいは水防管理者は、地下街等の管理者に対する洪水予報等の伝達体制を整備することとする。</p> <p>(3) 避難体制の確立</p> <p>地下街等の管理者は、円滑かつ迅速な避難の確保等について計画することとし、地下鉄、地下街、個別ビルが連続して一体となった地下街等においては、各組織の連携方策について検討することとする。</p> <p>(4) 地下街等への流入防止等浸水被害軽減対策の促進</p> <p>県、市町は、地下街等の管理者が、地下街等の浸水防止施設（防水壁等）設置を推進できるよう、施設の具体的事例等の必要な情報提供に努めることとする。</p> <p>(5) 地下街等の管理者との連携強化方策の検討</p> <p>地下街等が高度に発達した地域について、県と市町が共同で、「地下街、地下駐車場対策」について検討するなど、地下街等の管理者との連携強化方策について検討することとする。</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
143	<p>第2編 災害予防計画 第6章 調査研究体制等の強化</p> <p>第1節 気象観測態勢の整備</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、神戸海洋気象台、県県土整備部土木局〕</p> <p>第2 内容 現在、次のような気象観測を行っており、今後ともその体制の強化に努めることとする。</p> <p>1 神戸海洋気象台 神戸海洋気象台のほか、県内各地に雨量観測施設（6箇所）や地域気象観測所（四要素〔気温、雨量、風向・風速、日照〕、1.5箇所と三要素〔気温、雨量、風向・風速〕、1箇所）、特別地域気象観測所（〔観測種目：気圧（現地・海面）、気温、蒸気圧、露点温度、相対湿度、風向、風速、降水量、日照時間、視程、大気現象〕、3箇所〔姫路、洲本、豊岡〕）等を設置し、観測を行っている。</p>	147	<p>第2編 災害予防計画 第6章 調査研究体制等の強化</p> <p>第1節 気象観測態勢の整備</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、<u>神戸地方気象台</u>、県県土整備部土木局〕</p> <p>第2 内容 現在、次のような気象観測を行っており、今後ともその体制の強化に努めることとする。</p> <p>1 <u>神戸地方気象台</u> <u>神戸地方気象台</u>のほか、県内各地に雨量観測施設（6箇所）や地域気象観測所（四要素〔気温、雨量、風向・風速、日照〕、1.5箇所と三要素〔気温、雨量、風向・風速〕、1箇所）、特別地域気象観測所（〔観測種目：気圧（現地・海面）、気温、蒸気圧、露点温度、相対湿度、風向、風速、降水量、日照時間、視程、大気現象〕、3箇所〔姫路、洲本、豊岡〕）等を設置し、観測を行っている。</p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
144	<p>第2編 災害予防計画 第6章 調査研究体制等の強化</p> <p>第2節 風水害等に関する調査研究の推進</p> <p>第2 内容 4 研究成果の活用 防災関係機関は、風水害等に関する研究成果等を十分活用し、災害対策が合理的かつ効果的に実施できるよう努めることとする。 <u>また、県は、米国カリフォルニア州並びにワシントン州との間で締結している防災に関する合意書に基づき、防災対策に関する人材交流、情報交流等を推進し、その成果を本県防災体制の充実に活用することとする。</u></p> <p>5 防災関係機関による調査研究 (2) 国際連合人道問題調整事務所 (OCHA) 神戸 自然災害や緊急事態における各国、関係機関の支援の調整を実施する。 このため、24時間体制で国内外の災害情報を収集・発信するとともに、平成14年度からは、国連災害評価・調整チーム (UNDAC) 要員を養成している。 平成12年2月 神戸東部新都心にアジアユニット開設。 平成13年8月 リリーフウェブ開設。 平成15年4月 「人と防災未来センター東館」に移転。</p> <p>追加</p>	148	<p>第2編 災害予防計画 第6章 調査研究体制等の強化</p> <p>第2節 風水害等に関する調査研究の推進</p> <p>第2 内容 4 研究成果の活用 防災関係機関は、風水害等に関する研究成果等を十分活用し、災害対策が合理的かつ効果的に実施できるよう努めることとする。</p> <p>5 防災関係機関による調査研究 (2) 国際連合人道問題調整事務所 (UNOCHA) 神戸事務所 自然災害や緊急事態における各国、関係機関の支援の調整を実施する。 このため、24時間体制で国内外の災害情報を収集・発信するとともに、平成14年度からは、国連災害評価・調整チーム (UNDAC) 要員を養成している。 平成12年2月 神戸東部新都心にアジアユニット開設。 平成13年8月 リリーフウェブ開設。 平成15年4月 「人と防災未来センター東館」に移転。 平成24年1月 神戸事務所長 (駐日代表) 着任。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
145	<p>(3) 国際防災復興協力機構 (IRP)</p> <p>(4) 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」</p>	149	<p>(3) 国連国際防災戦略 (UNISDR) 兵庫事務所 災害予防に関する国際戦略の策定・普及を担う国連機関で、2005年1月の第2回国連防災世界会議において世界的な防災指針として採択された「兵庫行動枠組」の実施を推進している。 平成19年10月 神戸東部新都心に開設 (「人と防災未来センター東館」内)。</p> <p>(4) 国際防災復興協力機構 (IRP)</p> <p>(5) 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

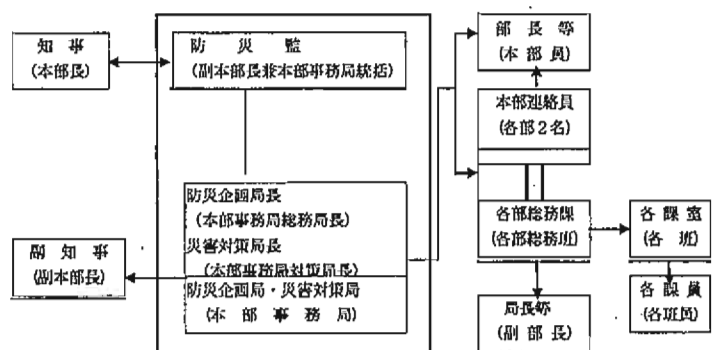
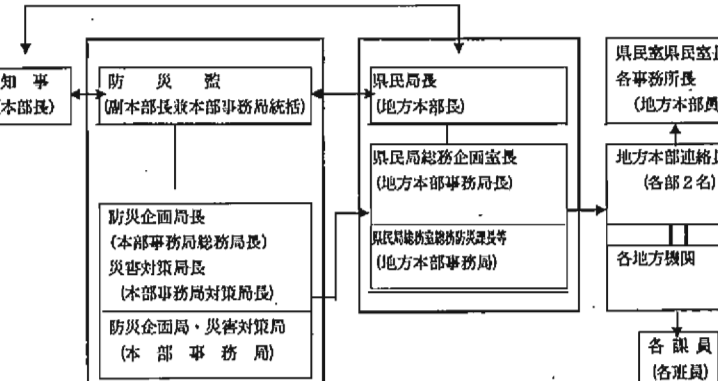
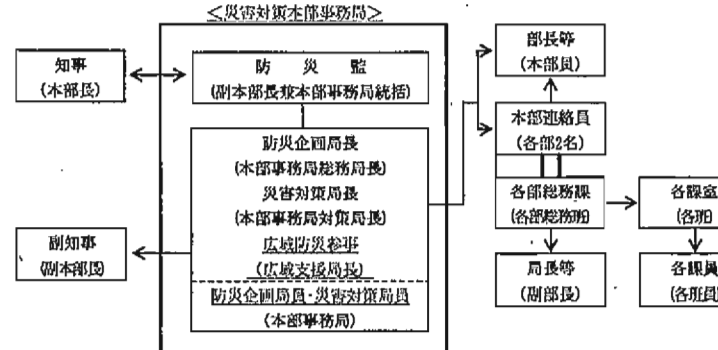
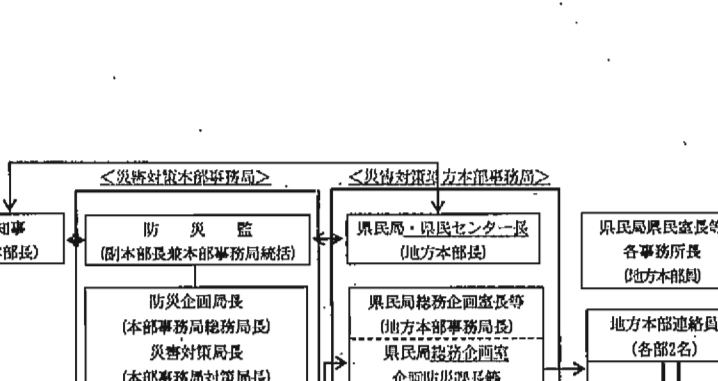
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	149	<p><u>(5) WHO 健康開発総合研究センター (WHO 神戸センター)</u> <u>社会、経済、及び環境の変化が及ぼす健康への影響、またそれらの保健政策への反映についての応用研究や大災害からの健康・保健関連の回復に関する支援活動を行う。</u> <u>平成8年8月に開所。平成10年4月に神戸東部新都心に移転。</u></p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
147	<p>第2編 災害予防計画 第7章 その他の災害の予防対策の推進</p> <p>第1節 雪害の予防対策の推進</p> <p>第2 内容 2 雪崩対策 (1) 県 県は、雪崩危険箇所において、雪崩対策工事を実施することとする。 (2) 市町 市町は、雪崩に対し円滑な災害応急対策が行えるよう、必要に応じて活動体制の整備、避難体制の整備に努めることとする。</p> <p>追加</p>	151	<p>第2編 災害予防計画 第7章 その他の災害の予防対策の推進</p> <p>第1節 雪害の予防対策の推進</p> <p>第2 内容 2 雪崩対策 (1) 県 県は、雪崩危険箇所において、雪崩対策工事の実施に努めることとする。 (2) 市町 市町は、雪崩に対し円滑な災害応急対策が行えるよう、必要に応じて活動体制の整備、避難体制の整備に努めることとする。</p> <p>3 雪害対策会議の開催 県は、各関係機関の相互の連携を密にし、雪害の防止に万全を期すため、雪害対策会議を開催することとする。 ・関係機関：県（災害対策課、道路保全課、教育委員会体育保健課等）、県警察本部、神戸地方気象台、自衛隊、日本赤十字社、西日本旅客鉄道株、西日本電信電話株、関西電力株、全但バス株等</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
150	第2編 災害予防計画 第7章 その他の災害の予防対策の推進 第2節 危険物等の事故の予防対策の推進 第2款 高圧ガスの保安対策の実施 [実施機関：県産業労働部産業振興局、消防機関、高圧ガス関係事業者]	154	第2編 災害予防計画 第7章 その他の災害の予防対策の推進 第2節 危険物等の事故の予防対策の推進 第2款 高圧ガスの保安対策の実施 [実施機関：県企画県民部災害対策局、消防機関、高圧ガス関係事業者]	県の組織改編に基づ く修正
152	第3款 火薬類の保安対策の実施 [実施機関：県産業労働部産業振興局、消防機関、高圧ガス関係事業者]	156	第3款 火薬類の保安対策の実施 [実施機関：県企画県民部災害対策局、消防機関、高圧ガス関係事業者]	県の組織改編に基づ く修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																							
157	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第1節 組織の設置</p> <p>〔実施機関：指定地方公共機関、県企画県民部災害対策局、市町、指定公共機関、指定地方公共機関〕</p> <p>第2 内容 1 県の組織 (1) 兵庫県災害対策本部及び兵庫県災害対策地方本部 ① 組織の概要</p> <table border="1" data-bbox="147 616 954 1023"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>兵庫県災害対策本部</th> <th>兵庫県災害対策地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置者</td> <td>知事</td> <td>災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。</td> </tr> <tr> <td>本部長</td> <td>知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする</td> <td>各県民局長</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>災害対策センター</td> <td>各県民局</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部	設置者	知事	災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。	本部長	知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする	各県民局長	設置場所	災害対策センター	各県民局	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第1節 組織の設置</p> <p>〔実施機関：指定地方行政機関、県企画県民部災害対策局、市町、指定公共機関、指定地方公共機関〕</p> <p>第2 内容 1 県の組織 (1) 兵庫県災害対策本部及び兵庫県災害対策地方本部 ① 組織の概要</p> <table border="1" data-bbox="1070 616 1854 1031"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>兵庫県災害対策本部</th> <th>兵庫県災害対策地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置者</td> <td>知事</td> <td>災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長・県民センター長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長・県民センター長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。</td> </tr> <tr> <td>本部長</td> <td>知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする</td> <td>各県民局長・県民センター長</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>災害対策センター</td> <td>各県民局・県民センター</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部	設置者	知事	災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長・県民センター長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長・県民センター長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。	本部長	知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする	各県民局長・県民センター長	設置場所	災害対策センター	各県民局・県民センター	<p>誤字修正</p> <p>県の組織改編に基づく修正</p>
名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部																									
設置者	知事	災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。																									
本部長	知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする	各県民局長																									
設置場所	災害対策センター	各県民局																									
名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部																									
設置者	知事	災害対策本部長（知事） ただし、緊急を要する場合、県民局長・県民センター長は、災害対策本部長に代わり災害対策地方本部を設置することができることとする。 県民局長・県民センター長は、緊急的に災害対策地方本部を設置した場合、その旨を速やかに災害対策本部長に報告することとする。																									
本部長	知事 知事に事故があるときは、副知事、防災監の順で、その職務を代理することとする	各県民局長・県民センター長																									
設置場所	災害対策センター	各県民局・県民センター																									

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																		
158	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="161 167 273 199">名 称</th> <th data-bbox="273 167 600 199">兵庫県災害対策本部</th> <th data-bbox="600 167 945 199">兵庫県災害対策地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="161 199 273 279">組織・運営</td> <td data-bbox="273 199 600 279">災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。</td> <td data-bbox="600 199 945 279">兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長の決定するところによる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="161 279 273 1252">そ の 他</td> <td data-bbox="273 279 600 1252"> <p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（2人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸海洋气象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p> </td> <td data-bbox="600 279 945 1252"> <p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部	組織・運営	災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長の決定するところによる。	そ の 他	<p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（2人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸海洋气象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p>	<p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p>	162	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1070 167 1182 199">名 称</th> <th data-bbox="1182 167 1509 199">兵庫県災害対策本部</th> <th data-bbox="1509 167 1854 199">兵庫県災害対策地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1070 199 1182 279">組織・運営</td> <td data-bbox="1182 199 1509 279">災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。</td> <td data-bbox="1509 199 1854 279">兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長・県民センター長の決定するところによる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1070 279 1182 1252">そ の 他</td> <td data-bbox="1182 279 1509 1252"> <p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（1人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸地方気象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p> </td> <td data-bbox="1509 279 1854 1252"> <p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部	組織・運営	災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長・県民センター長の決定するところによる。	そ の 他	<p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（1人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸地方気象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p>	<p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>組織名変更による修正</p>
名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部																				
組織・運営	災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長の決定するところによる。																				
そ の 他	<p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（2人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸海洋气象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p>	<p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p>																				
名 称	兵庫県災害対策本部	兵庫県災害対策地方本部																				
組織・運営	災害対策基本法、兵庫県災害対策本部条例、兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害対策本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、県民局長・県民センター長の決定するところによる。																				
そ の 他	<p>1 災害対策本部が設置されたときは、兵庫県水防本部、兵庫県警察災害警備本部（又は兵庫県警察災害警備連絡本部）、兵庫県災害対策本部を、それぞれ災害対策本部の水防部、警察部、教育部とし、組織の一元化を図ることとする。</p> <p>2 災害対策本部の機動性を確保するため指令部を設置し、間断のない災害予防（被害の拡大防止）、応急対応指令機能を果たすこととする。 (構成) 指令本部長：知事 指令副本部長：副知事（2人） 防災監 指令本部長：会計管理者 理事（1人）</p> <p>3 本部長は、災害予防（被害の拡大防止）及び災害応急対策等に係る情報連絡及び助言のため、必要に応じて、本部会議に参与として、防災関係機関の職員等の出席を求めることとする。参与の出席を求める防災関係機関として、あらかじめ定めるものは次のとおりとする。 神戸地方気象台、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、第五管区海上保安本部、関西電力、大阪ガス、西日本電信電話、日本赤十字社兵庫県支部</p> <p>4 災害対策本部の運営に当たっては、災害の規模、態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p> <p>5 国の非常災害現地対策本部又は緊急災害現地対策本部が置かれたときは、現地災害対策本部を設置するなどして、これと緊密な連絡調整を図ることとする。</p> <p>6 災害対策本部を設置又は廃止したときは、直ちに告示するとともに、関係市町その他の防災関係機関及び報道機関に周知することとする。</p>	<p>災害対策地方本部の運営にあたっては、災害の規模や態様に応じた特別班の設置や、時間の経過とともに変化する対策に即応した体制の整備など、機動的な対応を図ることとする。</p>																				

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
159	<p>② 伝達方法</p> <p>ア 災害対策本部</p> <p>災害対策本部の設置その他の事項は、次のとおり伝達することとする。</p>  <p>イ 災害対策地方本部</p> <p>災害対策地方本部の設置その他の事項は、次のとおり伝達することとする。</p> 	163	<p>② 伝達方法</p> <p>ア 災害対策本部</p> <p>災害対策本部の設置その他の事項は、次のとおり伝達することとする。</p>  <p>イ 災害対策地方本部</p> <p>災害対策地方本部の設置その他の事項は、次のとおり伝達することとする。</p> 	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁 161	現 行	頁 165	修 正 案	対 応																																															
(3) 兵庫県災害警戒本部及び兵庫県災害警戒地方本部		(3) 兵庫県災害警戒本部及び兵庫県災害警戒地方本部		県の組織改編に基づく修正 所管課からの修正意見に基づく修正																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>兵庫県災害警戒本部</th> <th>兵庫県災害警戒地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 置 者</td> <td>防災監</td> <td>各県民局長 県民局長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。</td> </tr> <tr> <td>本 部 長</td> <td>防災監</td> <td>各県民局長</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>災害対策センター</td> <td>各県民局</td> </tr> <tr> <td>設置基準</td> <td> 1 県内に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。 </td> <td> 1 当該地域に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。 </td> </tr> <tr> <td>廃止基準</td> <td> 1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき </td> <td> 1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。 </td> </tr> <tr> <td>業務</td> <td>災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。</td> <td>災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。</td> </tr> <tr> <td>組織・運営</td> <td>兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。</td> <td>兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、各県民局長の決定するところによる。</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	兵庫県災害警戒本部		兵庫県災害警戒地方本部	設 置 者	防災監	各県民局長 県民局長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。	本 部 長	防災監	各県民局長	設置場所	災害対策センター	各県民局	設置基準	1 県内に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。	1 当該地域に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。	廃止基準	1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき	1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。	業務	災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	組織・運営	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、各県民局長の決定するところによる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>兵庫県災害警戒本部</th> <th>兵庫県災害警戒地方本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 置 者</td> <td>防災監</td> <td>各県民局長・県民センター長 県民局長・県民センター長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。</td> </tr> <tr> <td>本 部 長</td> <td>防災監</td> <td>各県民局長・県民センター長</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>災害対策センター</td> <td>各県民局・県民センター</td> </tr> <tr> <td>設置基準</td> <td> 1 県内に大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。 </td> <td> 1 大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。 </td> </tr> <tr> <td>廃止基準</td> <td> 1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき </td> <td> 1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。 </td> </tr> <tr> <td>業務</td> <td>災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。</td> <td>災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。</td> </tr> <tr> <td>組織・運営</td> <td>兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。</td> <td>兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、各県民局長・県民センター長の決定するところによる。</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	兵庫県災害警戒本部	兵庫県災害警戒地方本部	設 置 者	防災監	各県民局長・県民センター長 県民局長・県民センター長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。	本 部 長	防災監	各県民局長・県民センター長	設置場所	災害対策センター	各県民局・県民センター	設置基準	1 県内に大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。	1 大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。	廃止基準	1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき	1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。	業務	災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	組織・運営	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。
名 称	兵庫県災害警戒本部	兵庫県災害警戒地方本部																																																	
設 置 者	防災監	各県民局長 県民局長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。																																																	
本 部 長	防災監	各県民局長																																																	
設置場所	災害対策センター	各県民局																																																	
設置基準	1 県内に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。	1 当該地域に大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。																																																	
廃止基準	1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき	1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。																																																	
業務	災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。																																																	
組織・運営	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、各県民局長の決定するところによる。																																																	
名 称	兵庫県災害警戒本部	兵庫県災害警戒地方本部																																																	
設 置 者	防災監	各県民局長・県民センター長 県民局長・県民センター長は、警戒地方本部を設置したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。																																																	
本 部 長	防災監	各県民局長・県民センター長																																																	
設置場所	災害対策センター	各県民局・県民センター																																																	
設置基準	1 県内に大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 県内に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、被害の生ずるおそれがあるとき。	1 大雨、大雪、高潮の特別警報または大雨、大雪、洪水、高潮の警報のいずれかが発表され、被害の生ずるおそれがあるとき。 2 当該地域に大雨注意報、大雪注意報、洪水注意報、高潮注意報のいずれかが発表されるとともに、水防指令第2号が発令され被害の生ずるおそれがあるとき。 3 その他大規模火災、突発重大事故等の発生など、当該地域に被害の生ずるおそれがあるとき。 なお、防災監は、必要と認めるときは、警戒地方本部の設置を指示することができる。																																																	
廃止基準	1 風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策本部が設置されたとき	1 当該地域において風水害等の警戒にあたる必要がなくなったと認められるとき 2 災害対策地方本部が設置されたとき 3 なお、地方本部長は、警戒地方本部を廃止したときは、その旨速やかに防災監に報告することとする。																																																	
業務	災害警戒本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。	災害警戒地方本部は、風水害等に備えるため、動員の実施、事前対策の検討、気象情報や災害情報の収集・伝達、防災関係機関等との連絡・調整及び応急対応にかかる業務を重点的に行うこととする。																																																	
組織・運営	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画の定めるところによる。	兵庫県災害警戒本部設置要綱及びこの計画に定めるところによる他、各県民局長・県民センター長の決定するところによる。																																																	
(4) 応援体制 被害が軽微な又は被害が生じていない地域の県民局その他の地方機関は、災害対策本部の指示に基づき、災害対策本部又は他の県民局（災害対策地方本部）に対する応援活動に当たることとする。		(4) 応援体制 被害が軽微な又は被害が生じていない地域の県民局・県民センターその他の地方機関は、災害対策本部の指示に基づき、災害対策本部又は他の県民局・県民センター等（災害対策地方本部）に対する応援活動に当たることとする。		県の組織改編に基づく修正																																															

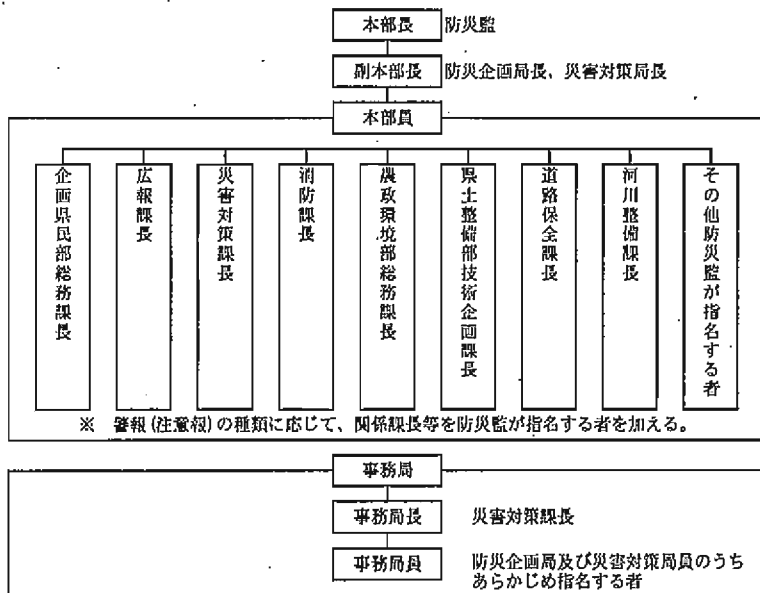
頁	現 行	修 正 案	対 応
163	<p>別図 第1 災害対策本部組織図</p>	<p>別図 第1 災害対策本部組織図</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
164	<p>別図 第2 災害対策地方本部組織図</p>	<p>168 別図 第2 災害対策地方本部組織図</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>	

頁

現 行

165 別図 第3 警戒本部組織図



※ 警報(注意報)の種類に応じて、関係課長等を防災監が指名する者を加える。

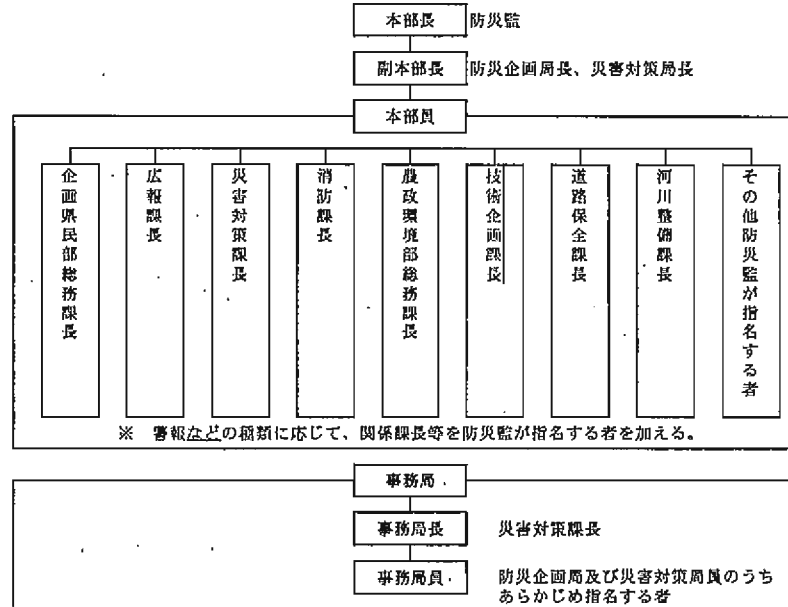
※ その他防災監が指名する警戒本部員の一般的な基準

	大雨警報 (注意報)	大雪警報 (注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮警報 (注意報)
農村環境室長	○	○	○	
治山課長	○	○	○	
漁港課長				○
砂防課長	○	○	○	
港湾課長				○
建築指導課長	○	○	○	

頁

修 正 案

169 別図 第3 警戒本部組織図



※ 警報などの種類に応じて、関係課長等を防災監が指名する者を加える。

※ その他防災監が指名する警戒本部員の一般的な基準

	大雨特別警報 (警報・注意報)	大雪特別警報 (警報・注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮特別警報 (警報・注意報)
農村環境室長	○	○	○	○
治山課長	○	○	○	
漁港課長				○
砂防課長	○	○	○	
港湾課長				○
建築指導課長	○	○	○	

所管課からの修正意見に基づく修正

所管課からの修正意見に基づく修正

頁 166	現 行																																													
別図 第4 警戒地方本部組織図																																														
<p>※ 県民局長が指名する地方本部員の一般的な基準</p>																																														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大雨警報 (注意報)</th> <th>大雪警報 (注意報)</th> <th>洪水警報 (注意報)</th> <th>高潮警報 (注意報)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務企画室長 等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>農林水産振興事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>農林振興事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地改良事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>港湾管理事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>但馬空港管理事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			大雨警報 (注意報)	大雪警報 (注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮警報 (注意報)	総務企画室長 等	○	○	○	○	農林水産振興事務所長	○	○	○	○	農林振興事務所長	○	○	○		土地改良事務所長	○	○	○	○	土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)	○	○	○	○	土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)	○	○	○		港湾管理事務所長	○	○	○	○	但馬空港管理事務所長	○	○	○	
	大雨警報 (注意報)	大雪警報 (注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮警報 (注意報)																																										
総務企画室長 等	○	○	○	○																																										
農林水産振興事務所長	○	○	○	○																																										
農林振興事務所長	○	○	○																																											
土地改良事務所長	○	○	○	○																																										
土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)	○	○	○	○																																										
土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)	○	○	○																																											
港湾管理事務所長	○	○	○	○																																										
但馬空港管理事務所長	○	○	○																																											

頁 170	修 正 案	対応																																																		
別図 第4 警戒地方本部組織図																																																				
		<p>県の組織改編に基づく修正</p>																																																		
<p>※ 県民局長・県民センター長が指名する地方本部員の一般的な基準</p>																																																				
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大雨特別警報 (警報・注意報)</th> <th>大雪特別警報 (警報・注意報)</th> <th>洪水警報 (注意報)</th> <th>高潮特別警報 (警報・注意報)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務企画室長 等</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>農林水産振興事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>農林振興事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地改良事務所長等 (光都、洲本)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土地改良事務所長等 (神戸、加古川、姫路、 豊岡、明来、龍山)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>港湾管理事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>但馬空港管理事務所長</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			大雨特別警報 (警報・注意報)	大雪特別警報 (警報・注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮特別警報 (警報・注意報)	総務企画室長 等	○	○	○	○	農林水産振興事務所長	○	○	○	○	農林振興事務所長	○	○	○		土地改良事務所長等 (光都、洲本)	○	○	○	○	土地改良事務所長等 (神戸、加古川、姫路、 豊岡、明来、龍山)	○	○	○		土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)	○	○	○	○	土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)	○	○	○		港湾管理事務所長	○	○	○	○	但馬空港管理事務所長	○	○	○		<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
	大雨特別警報 (警報・注意報)	大雪特別警報 (警報・注意報)	洪水警報 (注意報)	高潮特別警報 (警報・注意報)																																																
総務企画室長 等	○	○	○	○																																																
農林水産振興事務所長	○	○	○	○																																																
農林振興事務所長	○	○	○																																																	
土地改良事務所長等 (光都、洲本)	○	○	○	○																																																
土地改良事務所長等 (神戸、加古川、姫路、 豊岡、明来、龍山)	○	○	○																																																	
土木事務所長 (神戸、西宮、加古川、姫路、光都、 龍野、豊岡、新温泉、洲本)	○	○	○	○																																																
土木事務所長 (宝塚、加東、養父、丹波)	○	○	○																																																	
港湾管理事務所長	○	○	○	○																																																
但馬空港管理事務所長	○	○	○																																																	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																
167	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第2節 動員の実施</p> <p>第2 内容 1 県の動員体制 (1) 本庁の動員体制 本庁職員の動員体制は、次のとおりとする。 ただし、県災害対策本部の各部のうち、公営企業部については公営企業管理者が、水防部については水防計画で、教育部については教育長が、警察部については警察本部長が、それぞれ地域防災計画の内容を踏まえ、別途定めることとする。</p> <p>① 災害対策本部又は災害警戒本部が未設置で、以下の場合 県内に大雨警報（注意報）、大雪警報（注意報）、洪水警報（注意報）、高潮警報（注意報）のいずれかが発表され、災害対策本部及び災害警戒本部の設置判断を行うために情報収集等が必要なとき</p>	171	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第2節 動員の実施</p> <p>第2 内容 1 県の動員体制 (1) 本庁の動員体制 本庁職員の動員体制は、次のとおりとする。 ただし、県災害対策本部の各部のうち、公営企業部については公営企業管理者が、水防部については水防計画で、<u>病院事業部においては病院事業管理者が</u>、教育部については教育長が、警察部については警察本部長が、それぞれ地域防災計画の内容を踏まえ、別途定めることとする。</p> <p>① 災害対策本部又は災害警戒本部が未設置で、以下の場合 県内に<u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u>のいずれかが発表され、災害対策本部及び災害警戒本部の設置判断を行うために情報収集等が必要なとき</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>																
168	<p>③ 災害対策本部が設置されたとき</p> <table border="1" data-bbox="156 901 940 1380"> <thead> <tr> <th>災害の状況</th> <th>配備体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第2号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第3号 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき</td> <td>原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制</td> </tr> </tbody> </table>	災害の状況	配備体制	第1号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制	第2号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制	第3号 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制	172	<p>③ 災害対策本部が設置されたとき</p> <table border="1" data-bbox="1064 901 1848 1348"> <thead> <tr> <th>災害の状況</th> <th>配備体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号配備 ① 県内に<u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u>のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第2号配備 ① 県内に<u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u>のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第3号配備 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき</td> <td>原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制</td> </tr> </tbody> </table>	災害の状況	配備体制	第1号配備 ① 県内に <u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u> のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制	第2号配備 ① 県内に <u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u> のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制	第3号配備 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
災害の状況	配備体制																			
第1号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制																			
第2号 ① 県内に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制																			
第3号 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制																			
災害の状況	配備体制																			
第1号配備 ① 県内に <u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u> のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数（概ね2割以内）の人員を配備し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制																			
第2号配備 ① 県内に <u>暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮の特別警報または暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水、高潮の警報</u> のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配備し、災害対策に当たる体制																			
第3号配備 ① 県内に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は県内の広範囲にわたり水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配備し、災害応急対策に万全を期して当たる体制																			

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応															
168	<p>(2) 地方機関の動員体制 地方機関職員の動員体制は、次のとおりとする。</p> <p>① 災害対策地方本部又は災害警戒地方本部が未設置で、以下の場合当該地域に、大雨警報(注意報)、大雪警報(注意報)、洪水警報(注意報)、高潮警報(注意報)のいずれかが発表され、災害対策地方本部及び災害警戒地方本部の設置判断を行うために情報収集等が必要なとき</p>	172	<p>(2) 地方機関の動員体制 地方機関職員の動員体制は、次のとおりとする。</p> <p>① 災害対策地方本部又は災害警戒地方本部が未設置で、以下の場合当該地域に、<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>高潮</u>の特別警報または<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>洪水</u>、<u>高潮</u>の警報のいずれかが発表され、災害対策地方本部及び災害警戒地方本部の設置判断を行うために情報収集等が必要なとき</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>															
169	<p>② 災害警戒地方本部が設置されたとき ア 災害警戒地方本部長(県民局長)、副本部長(副局長)、事務局長(総務企画室長)、地方本部員、県民局その他応急対策主管事務所のあらかじめ定めた職員は、直ちに参集し、情報の収集・伝達等に当たり、状況により、必要な災害応急対策を実施することとする。</p> <p>③ 災害対策地方本部が設置されたとき イ 上記以外の職員については、原則として、次のいずれかの配備体制をとることとする。 配備は原則として、災害対策地方本部長(県民局長)が、災害対策本部長(知事)と協議して決定することとする。</p>	173	<p>② 災害警戒地方本部が設置されたとき ア 災害警戒地方本部長(県民局長・<u>県民センター長</u>)、副本部長(副局長)、事務局長(総務企画室長)、地方本部員、県民局その他応急対策主管事務所のあらかじめ定めた職員は、直ちに参集し、情報の収集・伝達等に当たり、状況により、必要な災害応急対策を実施することとする。</p> <p>③ 災害対策地方本部が設置されたとき イ 上記以外の職員については、原則として、次のいずれかの配備体制をとることとする。 配備は原則として、災害対策地方本部長(県民局長・<u>県民センター長</u>)が、災害対策本部長(知事)と協議して決定することとする。</p>		<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>県の組織改編に基づく修正</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害の状況</th> <th>配備体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第2号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第3号 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき</td> <td>原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制</td> </tr> </tbody> </table>	災害の状況	配備体制	第1号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制	第2号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制	第3号 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制	<table border="1"> <thead> <tr> <th>災害の状況</th> <th>配備体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1号配備 ① 当該地域に<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>高潮</u>の特別警報または<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>洪水</u>、<u>高潮</u>の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第2号配備 ① 当該地域に<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>高潮</u>の特別警報または<u>暴風</u>、<u>暴風雪</u>、<u>大雨</u>、<u>大雪</u>、<u>洪水</u>、<u>高潮</u>の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき</td> <td>所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制</td> </tr> <tr> <td>第3号配備 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき</td> <td>原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制</td> </tr> </tbody> </table>	災害の状況	配備体制	第1号配備 ① 当該地域に <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>高潮</u> の特別警報または <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>洪水</u> 、 <u>高潮</u> の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制	第2号配備 ① 当該地域に <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>高潮</u> の特別警報または <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>洪水</u> 、 <u>高潮</u> の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制	第3号配備 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
災害の状況	配備体制																		
第1号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制																		
第2号 ① 当該地域に暴風警報、暴風雪警報、大雨警報、大雪警報、洪水警報、高潮警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制																		
第3号 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制																		
災害の状況	配備体制																		
第1号配備 ① 当該地域に <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>高潮</u> の特別警報または <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>洪水</u> 、 <u>高潮</u> の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第1号若しくは第2号が発令され、小規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により小規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた少数(概ね2割以内)の人員を配置し、主として情報の収集・伝達等に当たる体制																		
第2号配備 ① 当該地域に <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>高潮</u> の特別警報または <u>暴風</u> 、 <u>暴風雪</u> 、 <u>大雨</u> 、 <u>大雪</u> 、 <u>洪水</u> 、 <u>高潮</u> の警報のいずれかが発表され、又は水防指令第3号が発令され、中規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により中規模の被害が生じたとき	所属人員のうちあらかじめ定めた概ね5割以内の人員を配置し、災害対策に当たる体制																		
第3号配備 ① 当該地域に大規模な被害が予想される気象情報が発表され、又は水防指令第3号が発令され、大規模の被害が生じるおそれがあるとき ② 当該地域において、風水害等により大規模の被害が生じたとき	原則として所属人員全員を配置し、災害応急対策に万全を期して当たる体制																		

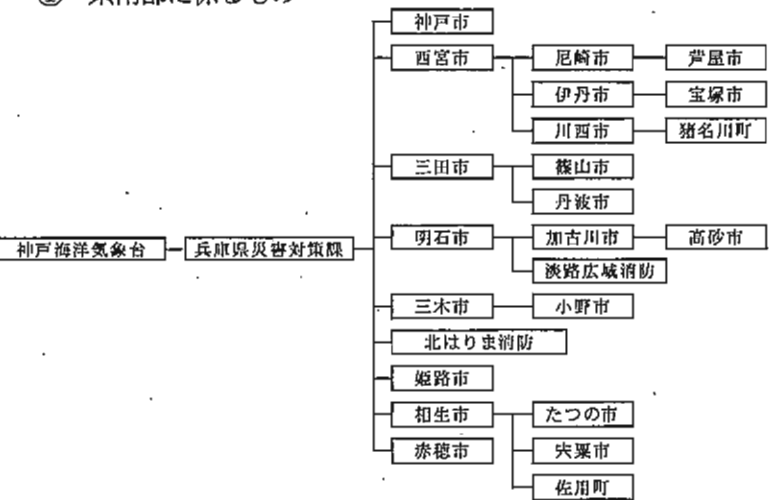
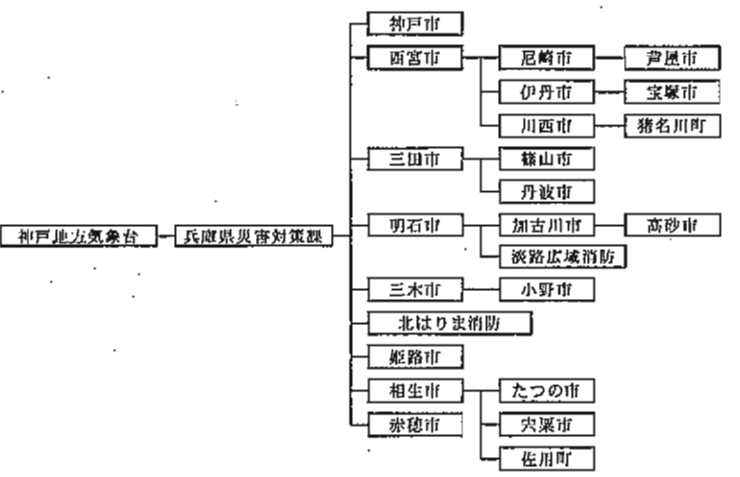
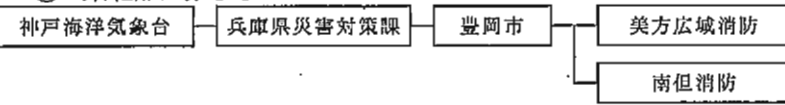
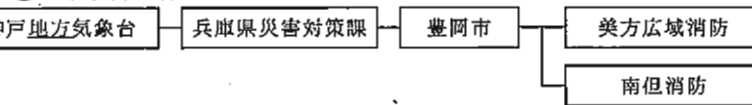
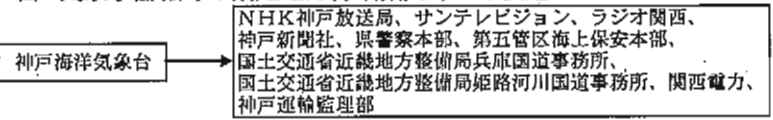
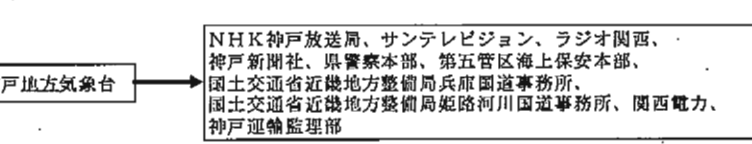
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																														
171	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第3節 情報の収集・伝達</p> <p>第1款 気象予警報等の発表</p> <p>〔実施機関：神戸海洋気象台、県企画県民部災害対策局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 気象予警報</p> <p>(1) 気象注意報・気象警報等の種類 追加</p> <p>① 警報 ② 注意報</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>一次細分区域</th> <th>市町村をまとめた地域</th> <th>担当気象官署</th> <th>二次細分区域(市町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">兵 庫 県 北 部</td> <td>但馬北部</td> <td rowspan="8">神戸海洋気象台</td> <td>豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)</td> </tr> <tr> <td>但馬南部</td> <td>養父市、朝来市</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">南 部</td> <td>北播丹波</td> <td>西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)</td> </tr> <tr> <td>播磨北西部</td> <td>宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)</td> </tr> <tr> <td>阪 神</td> <td>神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)</td> </tr> <tr> <td>播磨南東部</td> <td>明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)</td> </tr> <tr> <td>播磨南西部</td> <td>姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)</td> </tr> <tr> <td>淡路島</td> <td>洲本市、南あわじ市、淡路市</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 警報・注意報基準 警報・注意報の基準は次に示すとおりである。</p>	一次細分区域	市町村をまとめた地域	担当気象官署	二次細分区域(市町)	兵 庫 県 北 部	但馬北部	神戸海洋気象台	豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)	但馬南部	養父市、朝来市	南 部	北播丹波	西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)	播磨北西部	宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)	播磨南西部	姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)	淡路島	洲本市、南あわじ市、淡路市	175	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第3節 情報の収集・伝達</p> <p>第1款 気象予警報等の発表</p> <p>〔実施機関：神戸地方気象台、県企画県民部災害対策局、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 気象予警報</p> <p>(1) 気象注意報・気象警報等の種類</p> <p>① 特別警報 気象などにより重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合、その旨を警告して行う予報で、神戸地方気象台が発表する。</p> <p>② 警報 ③ 注意報</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>一次細分区域</th> <th>市町村をまとめた地域</th> <th>担当気象官署</th> <th>二次細分区域(市町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">兵 庫 県 北 部</td> <td>但馬北部</td> <td rowspan="8">神戸地方気象台</td> <td>豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)</td> </tr> <tr> <td>但馬南部</td> <td>養父市、朝来市</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">南 部</td> <td>北播丹波</td> <td>西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)</td> </tr> <tr> <td>播磨北西部</td> <td>宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)</td> </tr> <tr> <td>阪 神</td> <td>神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)</td> </tr> <tr> <td>播磨南東部</td> <td>明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)</td> </tr> <tr> <td>播磨南西部</td> <td>姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)</td> </tr> <tr> <td>淡路島</td> <td>洲本市、南あわじ市、淡路市</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 特別警報・警報・注意報基準 特別警報・警報・注意報の基準は次に示すとおりである。</p>	一次細分区域	市町村をまとめた地域	担当気象官署	二次細分区域(市町)	兵 庫 県 北 部	但馬北部	神戸地方気象台	豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)	但馬南部	養父市、朝来市	南 部	北播丹波	西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)	播磨北西部	宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)	阪 神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)	播磨南西部	姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)	淡路島	洲本市、南あわじ市、淡路市	<p>組織名変更による修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
一次細分区域	市町村をまとめた地域	担当気象官署	二次細分区域(市町)																																															
兵 庫 県 北 部	但馬北部	神戸海洋気象台	豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)																																															
	但馬南部		養父市、朝来市																																															
南 部	北播丹波		西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)																																															
	播磨北西部		宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)																																															
	阪 神		神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)																																															
	播磨南東部		明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)																																															
	播磨南西部		姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)																																															
	淡路島		洲本市、南あわじ市、淡路市																																															
一次細分区域	市町村をまとめた地域	担当気象官署	二次細分区域(市町)																																															
兵 庫 県 北 部	但馬北部	神戸地方気象台	豊岡市、美方郡(香美町、新温泉町)																																															
	但馬南部		養父市、朝来市																																															
南 部	北播丹波		西脇市、篠山市、丹波市、多可郡(多可町)																																															
	播磨北西部		宍粟市、神崎郡(神河町、市川町、福崎町)、佐用郡(佐用町)																																															
	阪 神		神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)																																															
	播磨南東部		明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、加古郡(稲美町、播磨町)																																															
	播磨南西部		姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)																																															
	淡路島		洲本市、南あわじ市、淡路市																																															

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
175	<p>平成 25 年 3 月 4 日 13 時実施の警報・注意報基準一覧表</p> <p>注) (1) 基準の数値は、兵庫県内における過去の災害と気象等の条件を調査して定めた、気象等の要素によって災害を予想する際の概ねの目安である。</p> <p>(2) 警報・注意報の「発表」、「切替」、「解除」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表：全ての警報・注意報がない状況から、新たに警報・注意報を行うことをいう。 ・切替：警報又は注意報を継続中に、新たな予想の追加もしくは本文の内容を更新することをいう。 従って、「切替」になってもそれ以前の警報・注意報の標題が変わらない場合がある。 また、複数の警報又は注意報を継続中に一部の項目のみを解除したときにも「切替」となる。 ・解除：全ての警報・注意報の必要がなくなったときをいう。 <p>2 気象情報</p> <p>気象の予報などについて一般及び関係機関に対して発表する情報で大雨に関する情報、記録的短時間大雨情報、台風に関する情報などがある。</p> <p>県南部・県北部とも神戸海洋気象台が発表する。</p> <p>3 火災警報</p> <p>神戸海洋気象台は、気象状況が以下の基準に達した場合、消防法第 22 条第 1 項に基づき知事に対して火災気象通報を行うこととする。</p> <p>ア 実効湿度が兵庫県南部 60%、北部 70%以下で、最小相対湿度が 40%以下となり、最大風速 10m/s 以上の風が吹く見込みのとき。</p> <p>イ 平均風速 10m/s 以上の風が 1 時間以上連続して吹く見込みのとき。ただし、降雨、降雪中は通報しないこともある。</p> <p>知事は、火災気象通報を受けたときは、直ちに市町長に通報することとする。</p> <p>市町長は、神戸海洋気象台が発表する火災気象通報を知事から受けたとき、又は気象の状況が火災の予防上危険であると認められるときは、火災警報を発することとする。</p>	179	<p>平成 25 年 3 月 4 日 13 時実施の警報・注意報基準一覧表</p> <p>注) (1) 基準の数値は、兵庫県内における過去の災害と気象等の条件を調査して定めた、気象等の要素によって災害を予想する際の概ねの目安である。</p> <p>(2) 特別警報・警報・注意報の「発表」、「切替」、「解除」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表：特別警報・警報・注意報がない状況から、新たに特別警報・警報・注意報を行うことをいう。 ・切替：特別警報・警報又は注意報を継続中に、新たな予想の追加もしくは本文の内容を更新することをいう。 従って、「切替」になってもそれ以前の特別警報・警報・注意報の標題が変わらない場合がある。 また、複数の特別警報・警報又は注意報を継続中に一部の項目のみを解除したときにも「切替」となる。 ・解除：全ての特別警報・警報・注意報の必要がなくなったときをいう。 <p>2 気象情報</p> <p>気象の予報などについて一般及び関係機関に対して発表する情報で大雨に関する情報、記録的短時間大雨情報、台風に関する情報などがある。</p> <p>県南部・県北部とも神戸地方気象台が発表する。</p> <p>3 火災警報</p> <p>神戸地方気象台は、気象状況が以下の基準に達した場合、消防法第 22 条第 1 項に基づき知事に対して火災気象通報を行うこととする。</p> <p>ア 実効湿度が兵庫県南部 60%、北部 70%以下で、最小相対湿度が 40%以下となり、最大風速 10m/s 以上の風が吹く見込みのとき。</p> <p>イ 平均風速 10m/s 以上の風が 1 時間以上連続して吹く見込みのとき。ただし、降雨、降雪中は通報しないこともある。</p> <p>知事は、火災気象通報を受けたときは、直ちに市町長に通報することとする。</p> <p>市町長は、神戸地方気象台が発表する火災気象通報を知事から受けたとき、又は気象の状況が火災の予防上危険であると認められるときは、火災警報を発することとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
176	<p>第2款 避難勧告等の判断材料となる情報の提供</p> <p>〔実施機関：神戸海洋気象台、近畿地方整備局、県企画県民部災害対策局、県県土整備部土木局〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 避難勧告等の判断材料となる情報の提供 神戸海洋気象台、近畿地方整備局、県は、フェニックス防災システム等により、河川水位等、避難勧告等の判断に際して参照すべき情報を市町に提供する。</p> <p>2 水害に関する情報</p> <p>(1) 流域雨量指数・規格化版流域雨量指数 神戸海洋気象台は、防災情報提供システムによって流域雨量指数及び規格化版流域雨量指数を提供する。</p> <p>(2) 河川水位 県は、一定規模以上の水系の主要な河川において、洪水時に水位局(98箇所)における水位及び3時間後までの水位予測を提供する。</p> <p>(3) 洪水予報</p> <p>① 国の機関が行う洪水予報 国土交通大臣は、大雨等による洪水で国民経済上重大な損害を生じるおそれがある場合に、気象庁長官と共同して洪水予報を行う。</p> <p>② 知事が行う洪水予報 知事は、大雨等による洪水で相当な損害を生じるおそれがある場合に、気象庁長官と共同して洪水予報を行う。</p>	180	<p>第2款 避難勧告等の判断材料となる情報の提供</p> <p>〔実施機関：神戸地方気象台、近畿地方整備局、県企画県民部災害対策局、県県土整備部土木局〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 避難勧告等の判断材料となる情報の提供 神戸地方気象台、近畿地方整備局、県は、フェニックス防災システム等により、河川水位等、避難勧告等の判断に際して参照すべき情報を市町に提供する。</p> <p>2 水害に関する情報</p> <p>(1) 流域雨量指数・規格化版流域雨量指数 神戸地方気象台は、防災情報提供システムによって流域雨量指数及び規格化版流域雨量指数を提供する。</p> <p>(2) 河川水位 <u>河川管理者である国及び県は、水位観測所等による水位等の監視を行い、水防警報の発令や避難判断水位(特別警戒水位)到達情報の通知及び周知等を行う。</u></p> <p>(3) 洪水予報</p> <p>① 国の機関が行う洪水予報 国土交通大臣は、大雨等による洪水で国民経済上重大な損害を生じるおそれがある場合に、気象庁長官と共同して洪水予報を行う<u>とともに、関係市町長に通知する。</u></p> <p>② 知事が行う洪水予報 知事は、大雨等による洪水で相当な損害を生じるおそれがある場合に、気象庁長官と共同して洪水予報を行う<u>とともに、関係市町長に通知する。</u></p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																							
177	<p>③ 洪水予報の種類</p> <table border="1" data-bbox="161 191 952 359"> <tr> <td>洪水注意報</td> <td>水位観測点の水位がはん濫注意水位（警戒水位）に達し、さらに上昇するおそれがあるとき、又は、はん濫注意水位（警戒水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。</td> </tr> <tr> <td>洪水警報</td> <td>水位観測点の水位がはん濫危険水位（危険水位）程度もしくははん濫危険水位（危険水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。</td> </tr> </table>	洪水注意報	水位観測点の水位がはん濫注意水位（警戒水位）に達し、さらに上昇するおそれがあるとき、又は、はん濫注意水位（警戒水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。	洪水警報	水位観測点の水位がはん濫危険水位（危険水位）程度もしくははん濫危険水位（危険水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。	181	<p>③洪水予報の種類等と発表基準</p> <table border="1" data-bbox="1070 191 1854 829"> <thead> <tr> <th>細 則</th> <th>情報名</th> <th>発表基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「洪水警報（発表）」又は「洪水警報」</td> <td>「はん濫危険水位報」</td> <td>・はん濫が発生したとき ・はん濫が継続しているとき</td> </tr> <tr> <td>「はん濫危険情報」</td> <td>・はん濫危険水位に到達したとき ・はん濫危険水位以上の状態が継続しているとき</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">「洪水警報（警戒）」又は「洪水警戒報」</td> <td>「はん濫警戒情報」</td> <td>・はん濫危険水位に達すると見込まれるとき ・避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき（一時的な水位の上昇、下降に関わらず、水位の上昇の可能性があるとき） ・はん濫危険情報を発表中にはん濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く）</td> </tr> <tr> <td>「はん濫注意情報」</td> <td>・はん濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・はん濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき ・避難判断水位に達したが、水位の上昇が見込まれないとき</td> </tr> <tr> <td>「洪水注意報（警戒解除）」</td> <td>「はん濫注意情報（警戒情報解除）」</td> <td>・はん濫危険情報又ははん濫警戒情報を発表中に、避難判断水位を下回った場合（はん濫注意水位を下回った場合を除く） ・はん濫警戒情報発表中に水位の上昇が見込まれなくなったとき（はん濫危険水位に達した場合を除く）</td> </tr> <tr> <td>「洪水注意報解除」</td> <td>「はん濫注意情報解除」</td> <td>・はん濫危険情報、はん濫警戒情報又ははん濫注意情報を発表中に、はん濫注意水位を下回り、はん濫のおそれがなくなったとき</td> </tr> </tbody> </table>	細 則	情報名	発表基準	「洪水警報（発表）」又は「洪水警報」	「はん濫危険水位報」	・はん濫が発生したとき ・はん濫が継続しているとき	「はん濫危険情報」	・はん濫危険水位に到達したとき ・はん濫危険水位以上の状態が継続しているとき	「洪水警報（警戒）」又は「洪水警戒報」	「はん濫警戒情報」	・はん濫危険水位に達すると見込まれるとき ・避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき（一時的な水位の上昇、下降に関わらず、水位の上昇の可能性があるとき） ・はん濫危険情報を発表中にはん濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く）	「はん濫注意情報」	・はん濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・はん濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき ・避難判断水位に達したが、水位の上昇が見込まれないとき	「洪水注意報（警戒解除）」	「はん濫注意情報（警戒情報解除）」	・はん濫危険情報又ははん濫警戒情報を発表中に、避難判断水位を下回った場合（はん濫注意水位を下回った場合を除く） ・はん濫警戒情報発表中に水位の上昇が見込まれなくなったとき（はん濫危険水位に達した場合を除く）	「洪水注意報解除」	「はん濫注意情報解除」	・はん濫危険情報、はん濫警戒情報又ははん濫注意情報を発表中に、はん濫注意水位を下回り、はん濫のおそれがなくなったとき	所管課からの修正意見に基づく修正
洪水注意報	水位観測点の水位がはん濫注意水位（警戒水位）に達し、さらに上昇するおそれがあるとき、又は、はん濫注意水位（警戒水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。																										
洪水警報	水位観測点の水位がはん濫危険水位（危険水位）程度もしくははん濫危険水位（危険水位）を超える洪水となることが予想されるときに発表される。																										
細 則	情報名	発表基準																									
「洪水警報（発表）」又は「洪水警報」	「はん濫危険水位報」	・はん濫が発生したとき ・はん濫が継続しているとき																									
	「はん濫危険情報」	・はん濫危険水位に到達したとき ・はん濫危険水位以上の状態が継続しているとき																									
「洪水警報（警戒）」又は「洪水警戒報」	「はん濫警戒情報」	・はん濫危険水位に達すると見込まれるとき ・避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき（一時的な水位の上昇、下降に関わらず、水位の上昇の可能性があるとき） ・はん濫危険情報を発表中にはん濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く）																									
	「はん濫注意情報」	・はん濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき ・はん濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき ・避難判断水位に達したが、水位の上昇が見込まれないとき																									
「洪水注意報（警戒解除）」	「はん濫注意情報（警戒情報解除）」	・はん濫危険情報又ははん濫警戒情報を発表中に、避難判断水位を下回った場合（はん濫注意水位を下回った場合を除く） ・はん濫警戒情報発表中に水位の上昇が見込まれなくなったとき（はん濫危険水位に達した場合を除く）																									
「洪水注意報解除」	「はん濫注意情報解除」	・はん濫危険情報、はん濫警戒情報又ははん濫注意情報を発表中に、はん濫注意水位を下回り、はん濫のおそれがなくなったとき																									
	<p>(5) 国の機関が行う水位情報の通知及び周知</p> <p>国土交通大臣は、洪水により国民経済上重大な損害を生じるおそれがある場合で水防法第 13 条に基づき指定した河川の水位が特別警戒水位に到達したときは、特別警戒水位到達情報を知事に通知するとともに、報道機関の協力を求めて一般に周知する。</p> <p>3 土砂災害に関する情報</p> <p>(1) 土砂災害警戒情報</p> <p>兵庫県と神戸海洋気象台は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、土砂災害警戒情報を共同で発表する。</p>	182	<p>(5) 国の機関が行う水位情報の通知及び周知</p> <p>国土交通大臣は、洪水により国民経済上重大な損害を生じるおそれがある場合で水防法第 13 条第 1 項及び第 13 条の 2 に基づき指定した河川の水位が避難判断水位（特別警戒水位）に到達したときは、避難判断水位（特別警戒水位）到達情報を知事及び関係市町長に通知するとともに、報道機関の協力を求めて一般に周知する。</p> <p>3 土砂災害に関する情報</p> <p>(1) 土砂災害警戒情報</p> <p>兵庫県と神戸地方気象台は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、土砂災害警戒情報を共同で発表する。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正 組織名変更による修正																							

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
178	<p>(3) 注意警戒時系列 神戸海洋気象台は、防災情報提供システムによって注意警戒時系列を提供する。</p> <p>注意警戒時系列は、市町単位で、警報・注意報の種別ごとに注意警戒期間を3時間を1コマとして現在の発表状況、24時間先までの予想を時系列で示している。現象ピーク時間の予想や量的予測についても表示する。</p>	182	<p>(3) 注意警戒時系列 <u>神戸地方気象台</u>は、防災情報提供システムによって注意警戒時系列を提供する。</p> <p>注意警戒時系列は、市町単位で、<u>特別警報・警報・注意報</u>の種別ごとに注意警戒期間を3時間を1コマとして現在の発表状況、24時間先までの予想を時系列で示している。現象ピーク時間の予想や量的予測についても表示する。</p>	組織名変更による修正
179	<p>第3款 気象情報等の伝達系統 〔実施機関：神戸海洋気象台、近畿地方整備局、海上保安本部、県企画県民部、県企画県民部県民文化局、県企画県民部災害対策局、県企画県民部管理局、県企画県民部教育情報局、県健康福祉部生活消費局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県健康福祉部社会福祉局、県産業労働部政策労働局、県産業労働部産業振興局、県産業労働部国際局、県農政環境部農政企画局、県農政環境部農林水産局、県農政環境部環境管理局、県県土整備部土木局、県企業庁、県教育委員会、県警察本部、日本放送協会、西日本電信電話(株)〕</p>	183	<p>第3款 気象情報等の伝達系統 〔実施機関：<u>神戸地方気象台</u>、近畿地方整備局、海上保安本部、県企画県民部、県企画県民部災害対策局、県企画県民部管理局、<u>県健康福祉部社会福祉局、県健康福祉部高齢社会局、県健康福祉部障害福祉局</u>、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県産業労働部政策労働局、県産業労働部産業振興局、県産業労働部国際局、県農政環境部農政企画局、県農政環境部農林水産局、県農政環境部環境管理局、<u>県県土整備部土木局</u>、県企業庁、県教育委員会、県警察本部、日本放送協会、西日本電信電話(株)〕</p>	組織名変更による修正 県の組織改編に基づく修正

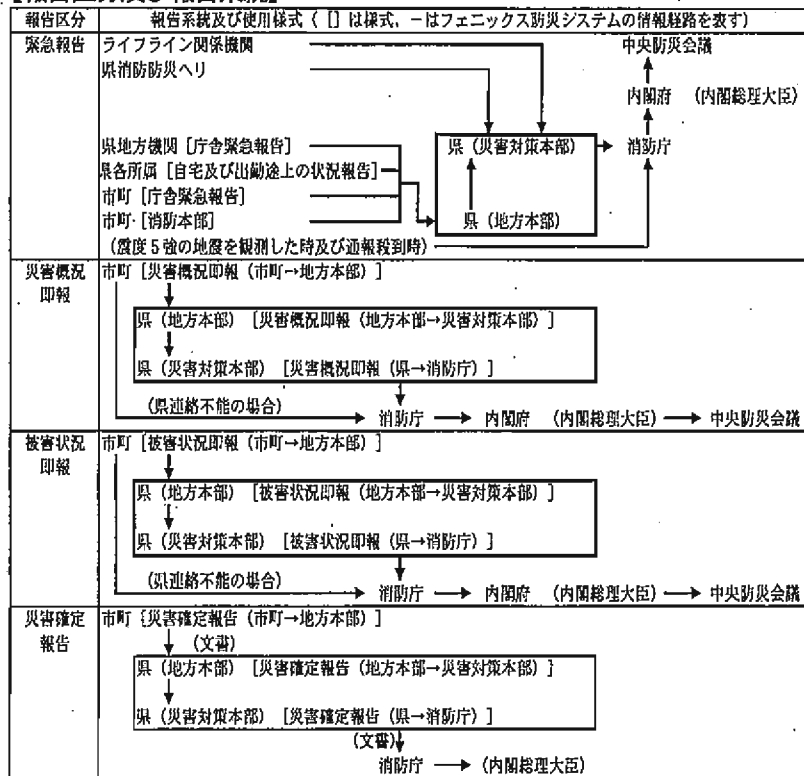
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
179	<p>第2 内容</p> <p>1 関係機関への伝達</p> <p>(1) 気象予警報等の市町への伝達</p> <p>① 県南部に係るもの</p>  <p>神戸海洋気象台 → 兵庫県災害対策課</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸市 西宮市 <ul style="list-style-type: none"> 尼崎市 伊丹市 川西市 芦屋市 宝塚市 猪名川町 三田市 <ul style="list-style-type: none"> 篠山市 丹波市 明石市 <ul style="list-style-type: none"> 加古川市 淡路広域消防 高砂市 三木市 <ul style="list-style-type: none"> 小野市 北はりま消防 姫路市 相生市 <ul style="list-style-type: none"> たつの市 赤穂市 <ul style="list-style-type: none"> 穴栗市 佐用町 	<p>第2 内容</p> <p>1 関係機関への伝達</p> <p>(1) 気象予警報等の市町への伝達</p> <p>① 県南部に係るもの</p>  <p>神戸地方気象台 → 兵庫県災害対策課</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸市 西宮市 <ul style="list-style-type: none"> 尼崎市 伊丹市 川西市 芦屋市 宝塚市 猪名川町 三田市 <ul style="list-style-type: none"> 篠山市 丹波市 明石市 <ul style="list-style-type: none"> 加古川市 淡路広域消防 高砂市 三木市 <ul style="list-style-type: none"> 小野市 北はりま消防 姫路市 相生市 <ul style="list-style-type: none"> たつの市 赤穂市 <ul style="list-style-type: none"> 穴栗市 佐用町 	組織名変更による修正	
180	<p>② 県北部に係るもの</p>  <p>神戸海洋気象台 → 兵庫県災害対策課 → 豊岡市</p> <ul style="list-style-type: none"> 美方広域消防 南但消防 	<p>② 県北部に係るもの</p>  <p>神戸地方気象台 → 兵庫県災害対策課 → 豊岡市</p> <ul style="list-style-type: none"> 美方広域消防 南但消防 	組織名変更による修正	
	<p>(2) 気象予警報等の指定地方行政機関等への伝達</p>  <p>神戸海洋気象台 →</p> <p>NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、県警察本部、第五管区海上保安本部、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所、国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所、関西電力、神戸運輸監理部</p>	<p>(2) 気象予警報等の指定地方行政機関等への伝達</p>  <p>神戸地方気象台 →</p> <p>NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、県警察本部、第五管区海上保安本部、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所、国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所、関西電力、神戸運輸監理部</p>	組織名変更による修正	

頁	現 行	頁	修 正 案	対応																								
180	<p>(5) (国土交通大臣と気象庁長官が共同して行う) 指定河川予警報の県等への伝達</p> <p>① 円山川・出石川</p> <table border="1" data-bbox="145 247 958 351"> <tr> <td>神戸海洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、北近畿タンゴ鉄道、全但バス</td> </tr> <tr> <td>豊岡河川国道事務所</td> </tr> </table> <p>② 加古川・揖保川・中川・元川</p> <table border="1" data-bbox="145 406 958 550"> <tr> <td>神戸海洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、山陽電気鉄道、神戸電鉄、神姫バス</td> </tr> <tr> <td>姫路河川国道事務所</td> </tr> </table> <p>※ 下線の機関については加古川のみ</p> <p>③ 猪名川・藻川</p> <table border="1" data-bbox="145 598 958 710"> <tr> <td>大阪管区洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、近畿地方整備局兵庫国道事務所</td> </tr> <tr> <td>猪名川河川事務所</td> </tr> </table> <p>(6) (兵庫県と気象庁長官が共同して行う) 指定河川の洪水予報の県等への伝達</p> <p>① 市川</p> <table border="1" data-bbox="145 869 958 965"> <tr> <td>神戸海洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部</td> </tr> <tr> <td>姫路土木事務所</td> </tr> </table> <p>② 武庫川</p> <table border="1" data-bbox="145 1021 958 1125"> <tr> <td>神戸海洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部</td> </tr> <tr> <td>西宮土木事務所</td> </tr> </table> <p>③ 千種川</p> <table border="1" data-bbox="145 1181 958 1284"> <tr> <td>神戸海洋気象台</td> <td rowspan="2">→</td> <td rowspan="2">県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部</td> </tr> <tr> <td>光都土木事務所</td> </tr> </table>	神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、北近畿タンゴ鉄道、全但バス	豊岡河川国道事務所	神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、山陽電気鉄道、神戸電鉄、神姫バス	姫路河川国道事務所	大阪管区洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、近畿地方整備局兵庫国道事務所	猪名川河川事務所	神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部	姫路土木事務所	神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部	西宮土木事務所	神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部	光都土木事務所	184	<p>(5) (国土交通大臣と気象庁長官が共同して行う) 指定河川予警報の県等への伝達</p> <p><u>兵庫県水防計画に定めるところによることとする。</u></p> <p>(6) (兵庫県と気象庁長官が共同して行う) 指定河川の洪水予報の県等への伝達</p> <p><u>兵庫県水防計画に定めるところによることとする。</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、北近畿タンゴ鉄道、全但バス																										
豊岡河川国道事務所																												
神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、山陽電気鉄道、神戸電鉄、神姫バス																										
姫路河川国道事務所																												
大阪管区洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、JR西日本、関西電力、近畿地方整備局兵庫国道事務所																										
猪名川河川事務所																												
神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部																										
姫路土木事務所																												
神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部																										
西宮土木事務所																												
神戸海洋気象台	→	県、県警察本部、NTT西日本兵庫支店(警報のみ)、NHK神戸放送局、サテテレビジョン、ラジオ関西、神戸新聞社、関西電力、神戸運輸監理部																										
光都土木事務所																												

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
182	<p>第4款 災害情報の収集・報告</p> <p>〔実施機関：神戸海洋気象台、近畿地方整備局、海上保安本部、県企画県民部、県企画県民部県民文化局、県企画県民部管理局、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部生活消費局、県健康福祉部健康局、県産業労働部政策労働局、県産業労働部産業振興局、県産業労働部国際局、県農政環境部農政企画局、県農政環境部農林水産局、県農政環境部環境管理局、県県土整備部県土企画局、県県土整備部土木局、県県土整備部まちづくり局、県県土整備部住宅建築局、県企業庁、県教育委員会、県警察本部、日本放送協会、西日本電信電話(株)〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(2) 指定公共機関、指定行政機関</p> <p>指定公共機関、指定行政機関は、災害情報を収集することとする。</p> <p>その際、当該災害が、非常災害(国が総合的な災害応急対策を実施する必要がある程度の大規模災害)であると認められるときは、特にその規模の把握のため必要な情報の収集に意を用いることとする。</p>	<p>186</p> <p>〔実施機関：神戸地方気象台、近畿地方整備局、海上保安本部、県企画県民部、県企画県民部管理局、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、<u>県健康福祉部高齢社会局</u>、<u>県健康福祉部障害福祉局</u>、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県産業労働部政策労働局、県産業労働部産業振興局、県産業労働部国際局、県農政環境部農政企画局、県農政環境部農林水産局、県農政環境部環境管理局、<u>県県土整備部県土企画局</u>、<u>県県土整備部土木局</u>、<u>県県土整備部まちづくり局</u>、<u>県県土整備部住宅建築局</u>、県企業庁、県教育委員会、県警察本部、日本放送協会、西日本電信電話(株)〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(2) 指定公共機関、指定行政機関</p> <p>指定公共機関、指定行政機関は、災害情報を収集することとする。</p> <p>その際、当該災害が、非常災害(国が総合的な災害応急対策を実施する必要がある程度の大規模災害)であると認められるときは、特にその規模の把握のため必要な情報の収集に意を用いることとする。</p> <p><u>また、通信手段の途絶等により県による被害情報の報告が十分なされていないと判断する場合等にあつては、調査のための職員派遣、ヘリコプター等の機材や各種通信手段の効果的活用等により、あらゆる手段を尽くしてその所掌事務にかかる被害情報の把握に努めることとする。</u></p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>県の組織改編に基づく修正</p>	
183	<p>3 報告内容</p> <p>(1) 緊急報告</p> <p>① 県(地方機関)、市町は、事務所の周辺の状況を〔庁舎緊急報告〕の様式により県(災害対策本部、地方本部経由)へ、衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で報告することとする。</p> <p>また、防災端末設置機関は、原則として防災端末(事務所被害報告の機能を活用)により報告することとする。</p>	<p>187</p> <p>3 報告内容</p> <p>(1) 緊急報告</p> <p>① 県(地方機関)、市町は、事務所の周辺の状況を〔庁舎緊急報告〕の様式により県(災害対策本部、地方本部経由)へ、衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で報告することとする。</p> <p>また、<u>フェニックス防災端末設置機関は、原則としてフェニックス防災端末(事務所被害報告の機能を活用)により報告することとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
183	<p>② 県（各所属）の職員は、…略 また、防災端末設置機関は、原則として防災端末（災害速報の機能を活用）により報告することとする。</p> <p>④ 市町は、火災が同時多発あるいは…略 報告内容は必ずしも具体的な被害状況を含んでいる必要はなく、通報受信状況の概要で足りることとし、把握できている異常事象に係る情報があれば適宜補足することとする。報告は様式にこだわらず、原則として防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で行うこととする。</p> <p>(2) 災害概況即報（災害の具体的な状況、個別の災害現場の概況等を報告する場合、災害の当初の段階で被害状況が十分に把握できていない場合）</p>	187	<p>② 県（各所属）の職員は、…略 また、<u>フェニックス</u>防災端末設置機関は、原則として<u>フェニックス</u>防災端末（災害速報の機能を活用）により報告することとする。</p> <p>④ 市町は、火災が同時多発あるいは…略 報告内容は必ずしも具体的な被害状況を含んでいる必要はなく、通報受信状況の概要で足りることとし、把握できている異常事象に係る情報があれば適宜補足することとする。報告は様式にこだわらず、原則として<u>フェニックス</u>防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で行うこととする。</p> <p>(2) 災害概況即報（災害の具体的な状況、個別の災害現場の概況等を報告する場合、災害の当初の段階で被害状況が十分に把握できていない場合）</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
184	<p>① 市町は、報告すべき災害を覚知したとき…略 災害規模に関する情報は必ずしも具体的な被害状況を含んでいる必要はなく、災害規模を推定できるなんらかの情報で足りることとする。至急の報告は様式にこだわらず、原則として防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で行うこととする。</p> <p>(3) 被害状況即報 ① 市町は、被害状況に関する情報を収集し、原則として防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星通信やファクシミリ等最も迅速な方法で、〔被害状況即報〕の様式により、県（災害対策本部、地方本部経由）に報告することとする。</p>	188	<p>① 市町は、報告すべき災害を覚知したとき…略 災害規模に関する情報は必ずしも具体的な被害状況を含んでいる必要はなく、災害規模を推定できるなんらかの情報で足りることとする。至急の報告は様式にこだわらず、原則として<u>フェニックス</u>防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星電話やファクシミリ等最も迅速な方法で行うこととする。</p> <p>(3) 被害状況即報 ① 市町は、被害状況に関する情報を収集し、原則として<u>フェニックス</u>防災端末、又はそれによりがたい場合は衛星通信やファクシミリ等最も迅速な方法で、〔被害状況即報〕の様式により、県（災害対策本部、地方本部経由）に報告することとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正

【報告区分及び報告系統】

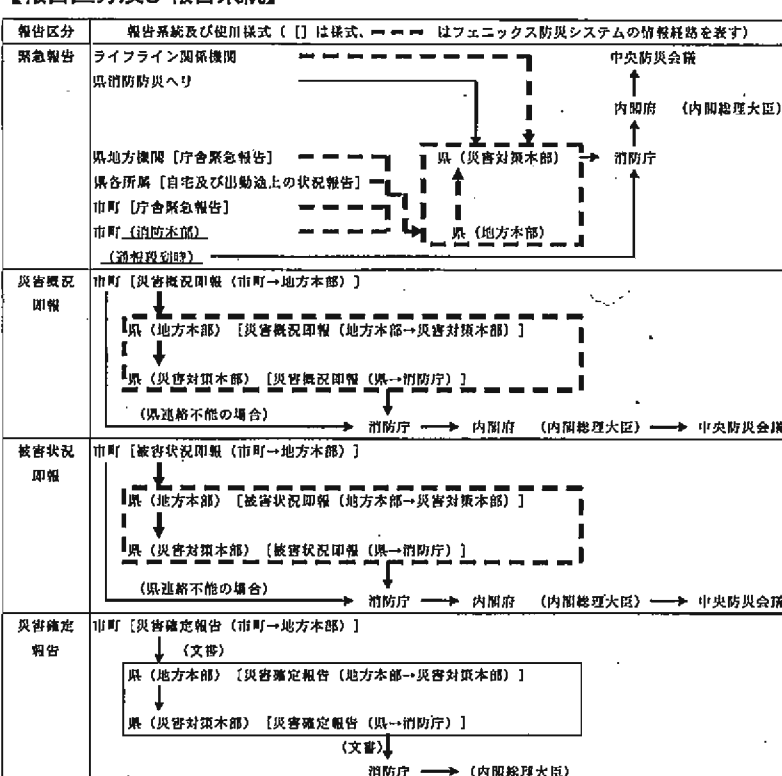


(注) 3 報告は、原則として防災端末とするが、それによりがたい場合は、衛星電話・ファクシミリ等、最も迅速な方法で行うこととする。

5 災害情報の伝達手段

- (1) 災害情報の報告を行う機関は、災害の発生を覚知したときは、速やかに防災端末に情報を入力することとする。
- (2) 市町は、あらかじめ県が指定する時間ごとに市町域の災害情報をとりまとめ、防災端末に入力することとする。

【報告区分及び報告系統】



(注) 3 報告は、原則としてフェニックス防災端末とするが、それによりがたい場合は、衛星電話・ファクシミリ等、最も迅速な方法で行うこととする。

5 災害情報の伝達手段

- (1) 災害情報の報告を行う機関は、災害の発生を覚知したときは、速やかにフェニックス防災端末に情報を入力することとする。
- (2) 市町は、あらかじめ県が指定する時間ごとに市町域の災害情報をとりまとめ、フェニックス防災端末に入力することとする。

所管課からの修正意見に基づく修正

所管課からの修正意見に基づく修正

所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
187	<p>10 災害が発生するおそれのある異常現象発見時の通報</p> <p>○ 異常現象通報系統図</p>	<p>10 災害が発生するおそれのある異常現象発見時の通報</p> <p>○ 異常現象通報系統図</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																					
189	<p>○ 各部等における調査事項及び調査（報告）系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査（報告）系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害対策本部 事務局</td> <td>災害即報 (災害の全般的な状況)</td> <td>事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況</td> <td>事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県エルピーガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況</td> <td>事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町</td> </tr> <tr> <td></td> <td>危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況</td> <td>事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者</td> </tr> <tr> <td>各 部 共 通</td> <td>公有財産の被害</td> <td>各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]</td> </tr> <tr> <td>企 画 県 民 部</td> <td>ボランティア活動状況</td> <td>総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本庁舎、総合・ 集合庁舎被害</td> <td>総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県立大学及び私立 学校の被害状況</td> <td>総務課 ← 教育課 ← 私立学校 ← 大学室 ← 県立大学</td> </tr> <tr> <td>健 康 福 祉 部</td> <td>社会福祉施設等の 被害</td> <td>総務課 ← 社会援護課 ← 健康福祉 ← 福祉法人課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 高齢社会課 ← 県立施設 ← 人権推進課 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火葬施設の被害</td> <td>総務課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市</td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査（報告）系統	災害対策本部 事務局	災害即報 (災害の全般的な状況)	事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部		各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況	事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県エルピーガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]		人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町		危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者	各 部 共 通	公有財産の被害	各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]	企 画 県 民 部	ボランティア活動状況	総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター		本庁舎、総合・ 集合庁舎被害	総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎		県立大学及び私立 学校の被害状況	総務課 ← 教育課 ← 私立学校 ← 大学室 ← 県立大学	健 康 福 祉 部	社会福祉施設等の 被害	総務課 ← 社会援護課 ← 健康福祉 ← 福祉法人課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 高齢社会課 ← 県立施設 ← 人権推進課 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課		火葬施設の被害	総務課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市	193	<p>○ 各部等における調査事項及び調査（報告）系統</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査（報告）系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害対策本部 事務局</td> <td>災害即報 (災害の全般的な状況)</td> <td>事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況</td> <td>事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 各担当施設事業者 [携帯電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県LPガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況</td> <td>事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町</td> </tr> <tr> <td></td> <td>危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況</td> <td>事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者</td> </tr> <tr> <td>各 部 共 通</td> <td>公有財産の被害</td> <td>各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]</td> </tr> <tr> <td>企 画 県 民 部</td> <td>ボランティア活動状況</td> <td>総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター</td> </tr> <tr> <td></td> <td>本庁舎、総合・ 集合庁舎被害</td> <td>総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>私立学校の被害状況</td> <td>総務課 ← 私学教育課 ← 私立学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県立大学の被害状況</td> <td>総務課 ← 大学課 ← 県立大学</td> </tr> <tr> <td>健 康 福 祉 部</td> <td>社会福祉施設等の 被害</td> <td>社会福祉課 ← 生活支援課 ← 健康福祉 ← 人権推進課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 介護保険課 ← 県立施設 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課 ← 男女家庭課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>火葬施設の被害</td> <td>社会福祉課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市</td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査（報告）系統	災害対策本部 事務局	災害即報 (災害の全般的な状況)	事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部		各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況	事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 各担当施設事業者 [携帯電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県LPガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]		人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町		危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者	各 部 共 通	公有財産の被害	各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]	企 画 県 民 部	ボランティア活動状況	総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター		本庁舎、総合・ 集合庁舎被害	総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎		私立学校の被害状況	総務課 ← 私学教育課 ← 私立学校		県立大学の被害状況	総務課 ← 大学課 ← 県立大学	健 康 福 祉 部	社会福祉施設等の 被害	社会福祉課 ← 生活支援課 ← 健康福祉 ← 人権推進課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 介護保険課 ← 県立施設 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課 ← 男女家庭課		火葬施設の被害	社会福祉課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市	<p>関係機関からの修正 意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正 意見に基づく修正</p> <p>県の組織改編に基づ く修正</p>
部	調査事項	調査（報告）系統																																																																							
災害対策本部 事務局	災害即報 (災害の全般的な状況)	事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部																																																																							
	各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況	事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県エルピーガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]																																																																							
	人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町																																																																							
	危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者																																																																							
各 部 共 通	公有財産の被害	各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]																																																																							
企 画 県 民 部	ボランティア活動状況	総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター																																																																							
	本庁舎、総合・ 集合庁舎被害	総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎																																																																							
	県立大学及び私立 学校の被害状況	総務課 ← 教育課 ← 私立学校 ← 大学室 ← 県立大学																																																																							
健 康 福 祉 部	社会福祉施設等の 被害	総務課 ← 社会援護課 ← 健康福祉 ← 福祉法人課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 高齢社会課 ← 県立施設 ← 人権推進課 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課																																																																							
	火葬施設の被害	総務課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市																																																																							
部	調査事項	調査（報告）系統																																																																							
災害対策本部 事務局	災害即報 (災害の全般的な状況)	事務局 ← 各部・各所属 ← 地方本部事務局 市町 ← 市町 [緊急を要する即報] ← 消防本部																																																																							
	各部署が把握した被害 の状況 ライフライン被害・ 復旧状況	事務局 ← 各部署総務課等 事務局 ← NTT西日本 [電話] ← 各担当施設事業者 [携帯電話] ← 関西電力 [電気] ← 大阪ガス [都市ガス] ← (一社)兵庫県LPガス協会 [LPガス] ← 健康福祉部生活衛生課 [水道] ← 産業労働部工業振興課 [工業用水道]																																																																							
	人、住家等の被害 火災による被害 避難所開設状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町																																																																							
	危険物施設等 被害状況 高圧ガス・ 火薬類被害状況	事務局 ← 地方本部事務局 ← 市町 ← 消防本部 (重大事案のみ) 事務局 ← 各事業者																																																																							
各 部 共 通	公有財産の被害	各部署総務課 ← 各部署各課室 [それぞれの部の調査(報告)系統図に記載されていない公有財産]																																																																							
企 画 県 民 部	ボランティア活動状況	総務課 ← 協働推進室 ← コミュニティプラザ ← 市町社会福祉協議会 ← (兵庫県社会福祉協議会) ボランティアセンター																																																																							
	本庁舎、総合・ 集合庁舎被害	総務課 ← 管財課 ← 本庁舎 ← 総合・集合庁舎																																																																							
	私立学校の被害状況	総務課 ← 私学教育課 ← 私立学校																																																																							
	県立大学の被害状況	総務課 ← 大学課 ← 県立大学																																																																							
健 康 福 祉 部	社会福祉施設等の 被害	社会福祉課 ← 生活支援課 ← 健康福祉 ← 人権推進課 ← 事務所 (保健所) ← 市町 ← 介護保険課 ← 県立施設 ← 障害福祉課 ← 障害者支援課 ← 少子対策課 ← 児童課 ← 男女家庭課																																																																							
	火葬施設の被害	社会福祉課 ← 生活衛生課 ← 健康福祉部生活衛生課 (保健所) ← 市町、事務組合 ← 各保健所設置市																																																																							

頁	現 行		
190	部	調査事項	調査(報告)系統
	健康福祉部	医療施設・感染症施設の被害	
		水道施設の被害 復旧状況	
	産業労働部	産業・雇用関係被害状況	
健康福祉部	廃棄物処理施設の被害	総務課 ← 環境整備課 ← 各市町・事務組合	
	農林水産業被害	総務課 ← 農林(水産)振興事務所・但馬水産事務所 ← 市町	
	農地・農薬用施設被害	総務課 ← 農村環境室 ← 土地改良事務所等 ← 市町	
	漁港関係施設被害	総務課 ← 漁港課 ← 農林水産振興事務所(県管理) ← 市町(市町管理)	
	治山・林道施設被害	総務課 ← 治山課 ← 農林(水産)振興事務所(管内県管理施設) ↑ 市町(市町管理施設)	

頁	修 正 案			対応
194	部	調査事項	調査(報告)系統	県の組織改編に基づく修正
	健康福祉部	医療施設・感染症施設の被害		
		水道施設の被害 復旧状況		
	産業労働部	産業・雇用関係被害状況		
健康福祉部	廃棄物処理施設の被害	総務課 ← 環境整備課 ← 各市町・事務組合		
	農林水産業被害	総務課 ← 農林(水産)振興事務所・但馬水産事務所 ← 市町		
	農地・農薬用施設被害	総務課 ← 農村環境室 ← 土地改良事務所等 ← 市町		
	漁港関係施設被害	総務課 ← 漁港課 ← 農林水産振興事務所(県管理) ← 市町(市町管理)		
	治山・林道施設被害	総務課 ← 治山課 ← 農林(水産)振興事務所(管内県管理施設) ↑ 市町(市町管理施設)		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																																																
191	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査(報告)系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">県土整備部</td> <td rowspan="6">公共土木施設等の被害</td> <td>技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]</td> </tr> <tr> <td>↓ 砂防課 [砂防施設等]</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]</td> </tr> <tr> <td>道路の不通行状況</td> <td>道路街路課 ← 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市 [神戸市管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 西日本高速道路(株)</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]</td> </tr> <tr> <td>↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]</td> </tr> <tr> <td>↓ 兵庫県道路公社</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市道路公社</td> </tr> <tr> <td>↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]</td> </tr> <tr> <td>鉄道の不通行状況</td> <td>技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本</td> </tr> <tr> <td>↓ 私鉄等各社</td> </tr> <tr> <td>市街地整備事業被害</td> <td>技術企画課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者</td> </tr> <tr> <td>公営住宅関係被害</td> <td>技術企画課 ← 住宅管理課 [県営住宅]</td> </tr> <tr> <td>↓ 公営住宅課</td> </tr> <tr> <td>↓ 土木事務所等</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町営住宅]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市 [市営住宅]</td> </tr> <tr> <td>その他建築関係被害</td> <td>技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市・姫路市及び委任市</td> </tr> <tr> <td>その他建築関係被害</td> <td>技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市ほか事務処理市</td> </tr> <tr> <td>その他建築関係被害</td> <td>技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町</td> </tr> <tr> <td>↓ 特定行政庁</td> </tr> <tr> <td>都市公園被害</td> <td>技術企画課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>市街地の被害</td> <td>技術企画課 ← 土地対策室</td> </tr> <tr> <td>↓ 都市計画課</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町</td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査(報告)系統	県土整備部	公共土木施設等の被害	技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]	↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]	↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]	↓ 砂防課 [砂防施設等]	↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]	↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]	道路の不通行状況	道路街路課 ← 市町 [市町管理]	技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]	↓ 市町 [市町管理]	↓ 神戸市 [神戸市管理]	↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]	↓ 西日本高速道路(株)	↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]	↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]	↓ 兵庫県道路公社	↓ 神戸市道路公社	↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]	鉄道の不通行状況	技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本	↓ 私鉄等各社	市街地整備事業被害	技術企画課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者	公営住宅関係被害	技術企画課 ← 住宅管理課 [県営住宅]	↓ 公営住宅課	↓ 土木事務所等	↓ 市町 [市町営住宅]	↓ 神戸市 [市営住宅]	その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]	↓ 神戸市・姫路市及び委任市	その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]	↓ 神戸市ほか事務処理市	その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町	↓ 特定行政庁	都市公園被害	技術企画課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等	↓ 市町 [市町管理]	市街地の被害	技術企画課 ← 土地対策室	↓ 都市計画課	↓ 市町	195	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査(報告)系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">県土整備部</td> <td rowspan="6">公共土木施設等の被害</td> <td>技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]</td> </tr> <tr> <td>↓ 空港政策課 [空港]</td> </tr> <tr> <td>↓ 砂防課 [砂防施設等]</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]</td> </tr> <tr> <td>↓ 公園緑地課 [公園]</td> </tr> <tr> <td>道路の不通行状況</td> <td>道路街路課 ← 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市 [神戸市管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]</td> </tr> <tr> <td>↓ 西日本高速道路(株)</td> </tr> <tr> <td>↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]</td> </tr> <tr> <td>↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]</td> </tr> <tr> <td>↓ 兵庫県道路公社</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市道路公社</td> </tr> <tr> <td>↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]</td> </tr> <tr> <td>鉄道の不通行状況</td> <td>技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本</td> </tr> <tr> <td>↓ 私鉄等各社</td> </tr> <tr> <td>市街地整備事業被害</td> <td>総務課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者</td> </tr> <tr> <td>公営住宅関係被害</td> <td>総務課 ← 住宅管理課 [県営住宅]</td> </tr> <tr> <td>↓ 公営住宅課</td> </tr> <tr> <td>↓ 土木事務所等</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町営住宅]</td> </tr> <tr> <td>↓ 神戸市 [市営住宅]</td> </tr> <tr> <td>その他建築関係被害</td> <td>総務課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町</td> </tr> <tr> <td>↓ 特定行政庁</td> </tr> <tr> <td>都市公園被害</td> <td>総務課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町 [市町管理]</td> </tr> <tr> <td>市街地の被害</td> <td>総務課 ← 土地対策室</td> </tr> <tr> <td>↓ 都市計画課</td> </tr> <tr> <td>↓ 市町</td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査(報告)系統	県土整備部	公共土木施設等の被害	技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]	↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]	↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]	↓ 空港政策課 [空港]	↓ 砂防課 [砂防施設等]	↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]	↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]	↓ 公園緑地課 [公園]	道路の不通行状況	道路街路課 ← 市町 [市町管理]	技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]	↓ 市町 [市町管理]	↓ 神戸市 [神戸市管理]	↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]	↓ 西日本高速道路(株)	↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]	↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]	↓ 兵庫県道路公社	↓ 神戸市道路公社	↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]	鉄道の不通行状況	技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本	↓ 私鉄等各社	市街地整備事業被害	総務課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者	公営住宅関係被害	総務課 ← 住宅管理課 [県営住宅]	↓ 公営住宅課	↓ 土木事務所等	↓ 市町 [市町営住宅]	↓ 神戸市 [市営住宅]	その他建築関係被害	総務課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町	↓ 特定行政庁	都市公園被害	総務課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等	↓ 市町 [市町管理]	市街地の被害	総務課 ← 土地対策室	↓ 都市計画課	↓ 市町	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
部	調査事項	調査(報告)系統																																																																																																		
県土整備部	公共土木施設等の被害	技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]																																																																																																		
		↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]																																																																																																		
		↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]																																																																																																		
		↓ 砂防課 [砂防施設等]																																																																																																		
		↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]																																																																																																		
		↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]																																																																																																		
	道路の不通行状況	道路街路課 ← 市町 [市町管理]																																																																																																		
	技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]																																																																																																			
	↓ 市町 [市町管理]																																																																																																			
	↓ 神戸市 [神戸市管理]																																																																																																			
↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]																																																																																																				
↓ 西日本高速道路(株)																																																																																																				
↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]																																																																																																				
↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]																																																																																																				
↓ 兵庫県道路公社																																																																																																				
↓ 神戸市道路公社																																																																																																				
↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]																																																																																																				
鉄道の不通行状況	技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本																																																																																																			
↓ 私鉄等各社																																																																																																				
市街地整備事業被害	技術企画課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者																																																																																																			
公営住宅関係被害	技術企画課 ← 住宅管理課 [県営住宅]																																																																																																			
↓ 公営住宅課																																																																																																				
↓ 土木事務所等																																																																																																				
↓ 市町 [市町営住宅]																																																																																																				
↓ 神戸市 [市営住宅]																																																																																																				
その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]																																																																																																			
↓ 神戸市・姫路市及び委任市																																																																																																				
その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町 [民間地籍]																																																																																																			
↓ 神戸市ほか事務処理市																																																																																																				
その他建築関係被害	技術企画課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町																																																																																																			
↓ 特定行政庁																																																																																																				
都市公園被害	技術企画課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等																																																																																																			
↓ 市町 [市町管理]																																																																																																				
市街地の被害	技術企画課 ← 土地対策室																																																																																																			
↓ 都市計画課																																																																																																				
↓ 市町																																																																																																				
部	調査事項	調査(報告)系統																																																																																																		
県土整備部	公共土木施設等の被害	技術企画課 ← 河川整備課 [河川・ダム] ← 土木事務所等 [県工事]																																																																																																		
		↓ 下水道課 [下水道施設] ← 市町 [市町工事]																																																																																																		
		↓ 港湾課 [港湾施設・海岸]																																																																																																		
		↓ 空港政策課 [空港]																																																																																																		
		↓ 砂防課 [砂防施設等]																																																																																																		
		↓ 道路保全課 [道路] ← 国土交通省近畿地方整備局 [直轄工事]																																																																																																		
	↓ 道路街路課 [道路] ← 事務所 [直轄工事]																																																																																																			
	↓ 公園緑地課 [公園]																																																																																																			
	道路の不通行状況	道路街路課 ← 市町 [市町管理]																																																																																																		
	技術企画課 ← 道路保全課 ← 土木事務所等 [県管理]																																																																																																			
↓ 市町 [市町管理]																																																																																																				
↓ 神戸市 [神戸市管理]																																																																																																				
↓ 国土交通省近畿地方整備局 [国管理]																																																																																																				
↓ 西日本高速道路(株)																																																																																																				
↓ 道路企画課 ← [高速自動車国道・有料道路]																																																																																																				
↓ 本州四国連絡高速道路(株) [本四道路]																																																																																																				
↓ 兵庫県道路公社																																																																																																				
↓ 神戸市道路公社																																																																																																				
↓ 阪神高速道路(株) [阪神高速道路]																																																																																																				
鉄道の不通行状況	技術企画課 ← 交通政策課 ← JR西日本																																																																																																			
↓ 私鉄等各社																																																																																																				
市街地整備事業被害	総務課 ← 市街地整備課 ← 市町 ← 施行者																																																																																																			
公営住宅関係被害	総務課 ← 住宅管理課 [県営住宅]																																																																																																			
↓ 公営住宅課																																																																																																				
↓ 土木事務所等																																																																																																				
↓ 市町 [市町営住宅]																																																																																																				
↓ 神戸市 [市営住宅]																																																																																																				
その他建築関係被害	総務課 ← 建築指導課 ← 県民局 ← 市町																																																																																																			
↓ 特定行政庁																																																																																																				
都市公園被害	総務課 ← 公園緑地課 ← 土木事務所等																																																																																																			
↓ 市町 [市町管理]																																																																																																				
市街地の被害	総務課 ← 土地対策室																																																																																																			
↓ 都市計画課																																																																																																				
↓ 市町																																																																																																				

頁	現 行			頁	修 正 案			対応																										
192	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査(報告)系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業庁</td> <td>企業庁関連施設被害</td> <td> 総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 公園都市整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 臨海整備課 ← 阪神・淡路臨海建設事務所 </td> </tr> <tr> <td>水防本部</td> <td>水防関係の情報</td> <td> 水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム </td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]</td> <td> 総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校 </td> </tr> <tr> <td>警察本部</td> <td>災害全般の被害調査</td> <td> 災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所 </td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査(報告)系統	企業庁	企業庁関連施設被害	総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 公園都市整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 臨海整備課 ← 阪神・淡路臨海建設事務所	水防本部	水防関係の情報	水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム	教育委員会	教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]	総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校	警察本部	災害全般の被害調査	災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所	196	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>調査事項</th> <th>調査(報告)系統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業庁</td> <td>企業庁関連施設被害</td> <td> 総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 広域整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 阪神・淡路臨海建設事務所 </td> </tr> <tr> <td>水防本部</td> <td>水防関係の情報</td> <td> 水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム </td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]</td> <td> 総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校 </td> </tr> <tr> <td>警察本部</td> <td>災害全般の被害調査</td> <td> 災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所 </td> </tr> </tbody> </table>	部	調査事項	調査(報告)系統	企業庁	企業庁関連施設被害	総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 広域整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 阪神・淡路臨海建設事務所	水防本部	水防関係の情報	水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム	教育委員会	教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]	総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校	警察本部	災害全般の被害調査	災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
部	調査事項	調査(報告)系統																																
企業庁	企業庁関連施設被害	総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 公園都市整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 臨海整備課 ← 阪神・淡路臨海建設事務所																																
水防本部	水防関係の情報	水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム																																
教育委員会	教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]	総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校																																
警察本部	災害全般の被害調査	災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所																																
部	調査事項	調査(報告)系統																																
企業庁	企業庁関連施設被害	総務課 ← 水道課 ← 播磨広域水道事務所等 ← 広域整備課 ← 播磨科学公園都市まちづくり事務所 ← 情報公園都市建設事務所 ← 阪神・淡路臨海建設事務所																																
水防本部	水防関係の情報	水防本部 ← 土木事務所・土地改良事務所等 ← 水防管理団体(市町) ← 河川管理施設ダム・利水ダム																																
教育委員会	教育関係の情報 [県市町立学校 国・県・市町指定文化財 県市町立教育施設]	総務課 ← 県教育事務所 ← 市町組合教育委員会 ← 県立教育機関 ← 県立学校																																
警察本部	災害全般の被害調査	災害対策課 ← 警察署 ← 交番・駐在所																																

頁	現 行		頁	修 正 案		対 応
195	○ 市町からの主な緊急対策支援要請		199	○ 市町からの主な緊急対策支援要請		所管課からの修正意見に基づく修正 組織名変更による修正
	部	調査事項	部	調査事項	調査(報告)系統	
	健康福祉部	ヘリによる患者搬送	健康福祉部	ヘリによる患者搬送	調査(報告)系統	
		神戸市 ← 消防機関 ← 各医療機関 消防庁(他都道府県) ← 事務局 自衛隊 海上保安本部		民生労働省(船橋消防局) ← ドクターヘリ基地消防 神戸市 ← 消防機関 ← 各医療機関 消防庁(他都道府県) ← 事務局 自衛隊 海上保安本部		
		船艇による患者搬送		船艇による患者搬送	調査(報告)系統	
		自衛隊 ← 事務局 ← 各医療機関 海上保安本部 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関		自衛隊 ← 事務局 ← 各医療機関 海上保安本部 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関		
		ライフラインの優先復旧(医療機関関係)		ライフラインの優先復旧(医療機関関係)	調査(報告)系統	
		NIT西日本 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関 水道事業者 ← 企業庁水道課(生活衛生課) 関西電力 大阪ガス (一社)兵庫県LPGガス協会		NIT西日本 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関 水道事業者 ← 企業庁水道課(生活衛生課) 関西電力 大阪ガス (一社)兵庫県LPGガス協会		
		入院患者に対する食事の提供		入院患者に対する食事の提供	調査(報告)系統	
		給食事業者等 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関		給食事業者等 ← 医務課 ← 地域医療情報センター ← 各医療機関		
		医薬品の供給		医薬品の供給	調査(報告)系統	
		厚生労働省 ← 薬務課 ← 市町 ← 各医療機関 薬事協会 医薬品卸業協会		厚生労働省 ← 薬務課 ← 市町 ← 各医療機関 薬事協会 医薬品卸業協会		
		血液の安定供給		血液の安定供給	調査(報告)系統	
		赤十字血液センター ← 薬務課 ← 市町 ← 各医療機関		赤十字血液センター ← 薬務課 ← 市町 ← 各医療機関		
		感染症対策薬剤等の供給		感染症対策薬剤等の供給	調査(報告)系統	
		県内市町 ← 疾病対策課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町		県内市町 ← 疾病対策課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町		
		遺体安置・埋葬等(広域火葬、トライアイス棺等の確保、あっせん遺体の搬送等)		遺体安置・埋葬等(広域火葬、トライアイス棺等の確保、あっせん遺体の搬送等)	調査(報告)系統	
		厚生労働省 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 近隣府県 民間事業者等		厚生労働省 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 近隣府県 民間事業者等		
		風呂対策支援		風呂対策支援	調査(報告)系統	
		関係団体等 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 自衛隊 ← 事務局		関係団体等 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 自衛隊 ← 事務局		
		愛玩動物の保護・収容		愛玩動物の保護・収容	調査(報告)系統	
		県獣医師会 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 神戸市獣医師会 関係団体		県獣医師会 ← 生活衛生課 ← 健康福祉事務所(保健所) ← 市町 神戸市獣医師会 関係団体		
	産業労働部	大規模店舗等の早期営業要請	産業労働部	大規模店舗等の早期営業要請	調査(報告)系統	
		百貨店 ← 経営商業課 ← 県民局商工労政担当課 ← 市町 ファースト各社 石油商業組合等		百貨店 ← 経営商業課 ← 県民局商工労政担当課 ← 市町 ファースト各社 石油商業組合等		

頁

現 行

頁

修 正 案

対 応

196

部	調査事項	調査(報告)系統
農 政 環 境 部	非常災害用木材の調達・あっせん	木材業協同組合連合会等 ← 林務課 ← 県民局地域振興部 ← 市町
	ガレキ処理対策	県内市町 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	ごみ処理対策	関係団体 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	し尿処理対策	関係省庁 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	(仮設トイレ幹旋等)	他府県 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
県 土 産 備 部	建設資機材等のあっせん	建設業協会 ← 契約・建設業室 ← 事務局 ← 市町
	被災宅地危険度判定士の派遣	国土交通省 ← 近畿協議会 ← 建築指導課 ← 市町
	応急仮設住宅の建設支援	プレハブ建築協会 ← 公営住宅課 ← 市町
	公営住宅への一時入居	各市町 ← 住宅管理課 ← 県民局土木事務所 ← 市町
		他府県 ← 住宅管理課 ← 県民局土木事務所 ← 市町
		警察本部 ← 住宅管理課 ← 県民局土木事務所 ← 市町
企 業 庁	飲料水の供給	隣接市町 ← 水道課 ← ブロック代表団体
	給水車の派遣	厚生労働省 ← 陸奥福祉部生活衛生課 ← 各市町・事務組合 広域水道事業者
	水道復旧工事に関する人材派遣	自衛隊 ← 災害対策本部事務局
	医療用水の確保	水道事業者 ← 水道課 ← 医務課 ← 地域医療情報センター 各医療機関
		(陸奥福祉部生活衛生課)
警 察 本 部	警察官の協力要請	警察署 ← 市町
	交通誘導の実施	警備業協会 ← 警察本部
	他府県警察官の派遣要請	警察庁又は他の都道府県警察 ← 県公安委員会
	他府県警察への派遣要請	警察庁又は他の都道府県警察 ← 県公安委員会
		警察署 ← 市町
	救助用建設資機材	建設業協会 ← 県事務局 ← 市町 ← 警察署

- (注) 1 県民局において所管部・担当名が異なる場合は、事務を所管する担当に読み替えることとする。
- 2 各県民局内における調査状況及び支援要請状況に関する連絡体制については、各県民局の実態に応じて別途定めることとする。

200

部	調査事項	調査(報告)系統
農 政 環 境 部	非常災害用木材の調達・あっせん	木材業協同組合連合会等 ← 林務課 ← 県民局整 ← 市町
	ガレキ処理対策	県内市町 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	ごみ処理対策	関係団体 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	し尿処理対策	関係省庁 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
	(仮設トイレ幹旋等)	他府県 ← 環境整備課 ← 県民局県民整 ← 市町
県 土 産 備 部	建設資機材等のあっせん	建設業協会 ← 建設室 ← 事務局 ← 市町
	被災宅地危険度判定士の派遣	国土交通省 ← 近畿協議会 ← 建築指導課 ← 市町
	応急仮設住宅の建設支援	プレハブ建築協会 ← 公営住宅課 ← 市町
	公営住宅への一時入居	各市町 ← 住宅管理課 ← 市町
		他府県 ← 住宅管理課 ← 市町
		警察本部 ← 住宅管理課 ← 市町
企 業 庁	飲料水の供給	隣接市町 ← 水道課 ← ブロック代表団体
	給水車の派遣	厚生労働省 ← 陸奥福祉部生活衛生課 ← 各市町・事務組合 広域水道事業者
	水道復旧工事に関する人材派遣	自衛隊 ← 災害対策本部事務局
	医療用水の確保	水道事業者 ← 水道課 ← 医務課 ← 地域医療情報センター 各医療機関
		(陸奥福祉部生活衛生課)
警 察 本 部	警察官の協力要請	警察署 ← 市町
	交通誘導の実施	警備業協会 ← 警察本部
	他府県警察官の派遣要請	警察庁又は他の都道府県警察 ← 県公安委員会
	他府県警察への派遣要請	警察庁又は他の都道府県警察 ← 県公安委員会
		警察署 ← 市町
	救助用建設資機材	建設業協会 ← 県事務局 ← 市町 ← 警察署

- (注) 1 県民局等において所管部・担当名が異なる場合は、事務を所管する担当に読み替えることとする。
- 2 各県民局等内における調査状況及び支援要請状況に関する連絡体制については、各県民局等の実態に応じて別途定めることとする。

所管課からの修正意見に基づく修正

所管課からの修正意見に基づく修正

県の組織改編に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
197	<p>第5款 通信手段の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 フェニックス防災システム</p> <p>フェニックス防災システムは、主な県関係機関及び市町・消防本部との間を兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN等の専用回線で結んでいるほか、ISDNで二重化するなどの対策を講じていることから、災害報告、支援要請等の連絡に活用することとする。</p> <p>(1) 防災端末設置数</p> <p>319台（本庁関係課室、各県民局、関係地方機関、市町、消防本部、県警察本部、警察署、自衛隊、国（消防庁等）、ライフライン事業者等）</p> <p>2 兵庫県防災行政無線</p> <p>(1) 衛星系（兵庫衛星通信ネットワーク）</p> <p>県、市町等は、被災、輻輳等により公衆回線網・専用線が使用できない場合だけでなく平素から、衛星系を使用して市町、消防等の関係機関との通信を確保することとする。</p> <p>① 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計 104 局 ・県庁局 1 局、単独庁舎局 1 局、市町・消防本部 90 局、防災関係機関局 10 局、平面可搬局 2 局 ・地域衛星通信ネットワークの一翼を担うことにより、消防庁、東京事務所、各都道府県等との通話が可能 <p>② 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 音声、ファクシミリ イ 映像情報伝送 	201	<p>第5款 通信手段の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 フェニックス防災システム</p> <p>フェニックス防災システムは、<u>防災関係機関の間を兵庫情報ハイウェイ、県庁WAN等の専用回線で結んでいるほか、ISDNで二重化するなどの対策を講じていることから、災害報告、支援要請等の連絡に活用することとする。</u></p> <p>(1) <u>フェニックス防災端末設置数</u></p> <p><u>316台（本庁関係課室、各県民局・県民センター、関係地方機関、市町、消防本部、県警察本部、警察署、自衛隊、第五管区海上保安本部、国（消防庁等）、ライフライン事業者等）</u></p> <p>2 兵庫県防災行政無線</p> <p>(1) <u>衛星系（兵庫衛星通信ネットワーク）</u></p> <p>県、市町等は、被災、輻輳等により公衆回線網・専用線が使用できない場合だけでなく平素から、衛星系を使用して市町、消防等の関係機関との通信を確保することとする。</p> <p>① 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計 <u>102 局</u> ・県庁局 1 局、<u>広域防災センター局 1 局</u>、市町・消防本部局 <u>88 局</u>（うち併設局 6 局）、防災関係機関局 10 局、平面可搬局 2 局 ・地域衛星通信ネットワークの一翼を担うことにより、消防庁、東京事務所、各都道府県等との通話が可能 <p>② 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ア <u>一斉FAX、個別音声通話、個別FAX</u> イ 映像情報伝送 	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>現状にあわせた時点修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
198	<p>(2) 地上系</p> <p>県庁、県民局、県土木事務所等は、被災、輻輳等により公衆回線網・専用線が使用できない場合だけでなく平素から、山上中継局、県庁及び各事務所に設置された地上系多重回線（県防災行政無線多重回線）を使用して、県庁と土木事務所等（41 局）の通信を確保することとする。</p>	202	<p>(2) 地上系</p> <p>県庁、<u>県民局・県民センター</u>、県土木事務所等は、被災、輻輳等により公衆回線網・専用線が使用できない場合だけでなく平素から、山上中継局、県庁及び各事務所に設置された地上系多重回線（<u>県防災行政無線多重回線</u>）を使用して、<u>県庁と土木事務所等（41 局）の通信を確保することとする。</u></p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
199	<p>4 無線系通信</p> <p>(1) 消防防災無線及び水防無線等 災害時に公衆回線網等が使用できない場合は、マイクロ回線等により、国との連絡手段を確保することとする。 現在の通信ルートは以下のとおりである。 県（災害対策課）－ 消防庁（消防防災無線） 県（災害対策課）－ 内閣府（中央防災無線（緊急連絡用）） 県（河川整備課）－ 国土交通省（水防無線） 県（警察本部）－ 警察庁（警察無線）</p> <p>5 非常通信経路計画</p> <p>(1) 内容 県は、近畿地方非常通信協議会の活動を…略 非常時に、電波法第 52 条、災害対策基本法第 57 条及び第 79 条、災害救助法第 28 条及び水防法第 27 条の規定により、設置者の協力を求めて使用することができる通信設備で県下の主要なものは次のとおりであり、これらの通信設備を利用して各市町から神戸市、神戸市から大阪市・東京都等への非常通信経路も確保することとする。</p> <p>1 警察通信設備 2 海上保安庁通信設備 3 国土交通省通信設備 4 気象庁通信設備 5 法務省無線通信設備 6 NTT無線通信設備 7 JR通信設備 8 県無線通信設備 9 市町無線通信設備（消防無線を含む） 10 西日本高速道路株無線通信設備 11 関西電力通信設備 12 大阪ガス無線通信設備 13 各私鉄通信設備 14 KDDI無線通信設備 15 日本通運無線通信設備 16 各漁業無線 17 アマチュア無線局 18 NHK、各民放、新聞社の無線通信設備 19 各タクシー会社の無線通信設備</p>	203	<p>4 無線系通信</p> <p>(1) 消防防災無線及び水防無線等 災害時に公衆回線網等が使用できない場合は、マイクロ回線等により、国との連絡手段を確保することとする。 現在の通信ルートは以下のとおりである。 県（災害対策課）－ 消防庁（消防防災無線） 県（災害対策課）－ 内閣府（中央防災無線（緊急連絡用）） 県（河川整備課）－ 国土交通省（<u>マイクロ電話</u>） 県（警察本部）－ 警察庁（警察無線）</p> <p>5 非常通信経路計画</p> <p>(1) 内容 県は、近畿地方非常通信協議会の活動を…略 非常時に、電波法第 52 条及び<u>第 74 条</u>、災害対策基本法第 57 条及び第 79 条、水防法第 27 条の規定により、設置者の協力を求めて使用することができる通信設備で県下の主要なものは次のとおりであり、これらの通信設備を利用して各市町から神戸市、神戸市から大阪市・東京都等への非常通信経路も確保することとする。</p> <p>1 警察通信設備 2 海上保安庁通信設備 3 国土交通省通信設備 4 気象庁通信設備 5 法務省無線通信設備 6 NTT無線通信設備 7 JR通信設備 8 県無線通信設備 9 市町無線通信設備（消防無線を含む） 10 西日本高速道路株無線通信設備 11 関西電力通信設備 12 大阪ガス無線通信設備 13 各私鉄通信設備 14 KDDI無線通信設備 15 <u>SBM無線通信設備</u> 16 <u>日本通運無線通信設備</u> 17 各漁業無線 18 <u>アマチュア無線局</u> 19 NHK、各民放、新聞社の無線通信設備 20 各タクシー会社の無線通信設備</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>法改正に伴う修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
追加		206	<p><u>第6款 被災者支援のための情報の収集・活用</u></p> <p><u>[実施機関：市町]</u></p> <p><u>第1 趣旨</u> <u>円滑な被災者支援のための情報の収集及び活用について定める。</u></p> <p><u>第2 内容</u></p> <p><u>1 住民からの問い合わせに対する回答</u> <u>県及び市町は、必要に応じ、発災後速やかに住民等からの問合せに対応する専用電話を備えた窓口の設置、人員の配置等体制の整備を図るものとする。また、情報のニーズを見極めた上で、情報収集・整理・発信を行うこととする。</u> <u>また、被災者の安否について住民等から照会があったときは、被災者等の権利利益を不当に侵害することのないよう配慮しつつ、消防、救助等人命に関わるような災害発生直後の緊急性の高い応急措置に支障を及ぼさない範囲で、可能な限り安否情報を回答するよう努めるものとする。この場合において市町は、安否情報の適切な提供のために必要と認めるときは、警察等と協力して、被災者に関する情報の収集に努めることとする。</u> <u>なお、被災者の中に配偶者からの暴力等を受け加害者から追跡されて危害を受ける恐れがある者等が含まれる場合は、その加害者等に居所が知られることのないよう当該被災者の個人情報の管理を徹底するよう努めることとする。</u></p> <p><u>2 被災者台帳の作成</u> <u>市町村は、必要に応じて、個々の被災者の被害の状況や各種の支援措置の実施状況、配慮を要する事項等を一元的に集約した被災者台帳を作成し、被災者の援護の総合的かつ効率的な実施に努めるものとする。</u> <u>県は、災害救助法に基づき被災者の救助を行ったときは、被災者台帳を作成する市町村からの要請に応じて、被災者に関する情報を提供することとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあ わせた追加</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
		206	<p>(被災者台帳に記載する事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>氏名</u> ・<u>生年月日</u> ・<u>性別</u> ・<u>住所又は居所</u> ・<u>住家の被害その他市町村長が定める種類の被害の状況</u> ・<u>援護の実施の状況</u> ・<u>要配慮者であるときは、その旨及び要配慮者に該当する事由</u> ・<u>電話番号その他の連絡先</u> ・<u>世帯の構成</u> ・<u>罹災証明書の交付の状況</u> ・<u>市町村長が台帳情報を当該市町村以外の者に提供することに被災者本人が同意している場合には、その提供先</u> ・<u>前号に定める提供先に台帳情報を提供した場合には、その旨及びその日時</u> ・<u>その他被災者の援護の実施に関し市町村長が必要と認める事項</u> 	国防災基本計画にあわせた追加
		207	<p>3 罹災証明書の交付</p> <p><u>市町は、災害の状況を迅速かつ的確に把握するとともに、各種の支援措置を早期に実施するため、災害による住家等の被害の程度の調査や罹災証明書の交付の体制を確立し、遅滞なく住家等の被害の程度を調査し、被災者に罹災証明書を交付することとする。</u></p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
202	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第4節 防災関係機関等との連携促進</p> <p>第1款 自衛隊への派遣要請</p> <p>第2 内容</p> <p>1 知事が行う場合（自衛隊法第83条第1項）</p> <p>(1) 災害派遣要請の方法</p> <p>① 市町長 → 知事 → 自衛隊</p> <p>ア 市町長は、災害時、人命又は財産の保護のため、自衛隊の災害派遣を要請する必要があると認める場合、県民局長、管轄の警察署長等と十分連絡をとり、次の事項を明らかにして、知事に対し、自衛隊の派遣要請をするよう求めることができる。</p>	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第4節 防災関係機関等との連携促進</p> <p>第1款 自衛隊への派遣要請</p> <p>第2 内容</p> <p>1 知事が行う場合（自衛隊法第83条第1項）</p> <p>(1) 災害派遣要請の方法</p> <p>① 市町長 → 知事 → 自衛隊</p> <p>ア 市町長は、災害時、人命又は財産の保護のため、自衛隊の災害派遣を要請する必要があると認め場合、<u>県民局長・県民センター長</u>、管轄の警察署長等と十分連絡をとり、次の事項を明らかにして、知事に対し、自衛隊の派遣要請をするよう求めることができる。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>	
203	<p>○ 派遣及び撤収要請手続経路</p>	<p>○ 派遣及び撤収要請手続経路</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>	

頁	現 行			
	区 分	電 話 番 号		
		勤務時間内	勤務時間外	
204	県	(災害対策本部設置時) 災害対策本部事務局	(078) 362-9900 (時間内外とも) FAX (078) 362-9911~9912 (時間内外とも)	
		(災害対策本部未設置時) 災害対策課 (防災係)	(078) 362-9988 FAX (078) 362-9911~9912	(078) 362-9900 FAX (078) 362-9911~9912
	自衛隊	第3師団 (第3部防衛班)	(072) 781-0021 内線 424, 333 FAX 233	(072) 781-0021 内線 301 (司令部当直) FAX 233
		第3特科隊 (第3科)	(0792) 22-4001 内線 235, 238 FAX 239	(0792) 22-4001 内線 302 (当直司令) FAX 398
	隊	第3 6普通科連隊 (第3科)	(072) 782-0001 内線 4031, 4032 FAX 4034	(072) 782-0001 内線 4004 (当直司令) FAX 4034
		阪神基地隊 (警備科)	(078) 441-1001 内線 230 FAX 239	(078) 441-1001 内線 220 (当直幹部) FAX 389

2 (2) 海上保安本部長が行う場合
災害派遣要請系統は、次のとおりである。

(1) 兵庫県南部沿岸への自衛隊の派遣要請は、第五管区海上保安本部長が行う。

```

    graph LR
      A[第五管区海上保安本部長] --> B[海上自衛隊阪神基地隊司令]
      A --> C[海上自衛隊24航空隊司令]
    
```

(2) 兵庫県北部沿岸への自衛隊の派遣要請は、第八管区海上保安本部長が行う。

```

    graph LR
      A[第八管区海上保安本部長] --> B[海上自衛隊舞鶴地方総監]
      A --> C[航空自衛隊小松基地司令]
      A --> D[航空自衛隊美保基地司令]
    
```

頁	修 正 案		対 応	
	区 分	電 話 番 号		
		勤務時間内	勤務時間外	
210	県	(災害対策本部設置時) 災害対策本部事務局	(078) 362-9900 (時間内外とも) FAX (078) 362-9911~9912 (時間内外とも)	
		(災害対策本部未設置時) 災害対策課 (防災係)	(078) 362-9988 FAX (078) 362-9911~9912	(078) 362-9900 FAX (078) 362-9911~9912
	自衛隊	第3師団 (第3部防衛班)	(072) 781-0021 内線 <u>3734, 3735</u> FAX <u>3724</u>	(072) 781-0021 内線 <u>3301</u> (司令部当直) FAX <u>3301</u>
		第3特科隊 (第3科)	(0792) 22-4001 内線 <u>650, 238</u> FAX 239	(0792) 22-4001 内線 302 (当直司令) FAX 398
	隊	第3 6普通科連隊 (第3科)	(072) 782-0001 内線 4031, 4032 FAX 4034	(072) 782-0001 内線 4004 (当直司令) FAX 4034
		阪神基地隊 (警備科)	(078) 441-1001 内線 230 FAX 239	(078) 441-1001 内線 220 (当直幹部) FAX 389

2 (2) 海上保安本部長が行う場合
災害派遣要請系統は、次のとおりである。

(1) 兵庫県南部沿岸への自衛隊の派遣要請は、第五管区海上保安本部長が行う。

```

    graph LR
      A[第五管区海上保安本部長] --> B[海上自衛隊呉地方総監]
      A --> C[海上自衛隊航空集団司令]
    
```

(2) 兵庫県北部沿岸への自衛隊の派遣要請は、第八管区海上保安本部長が行う。

```

    graph LR
      A[第八管区海上保安本部長] --> B[海上自衛隊舞鶴地方総監]
      A --> C[海上自衛隊小松基地司令]
      A --> D[航空自衛隊第3輸送航空隊司令]
    
```

現状にあわせた時点修正

関係機関からの修正意見に基づく修正

関係機関からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
205	6 自衛隊の基本方針 (3) 自衛隊の部隊等の長は、自衛隊の庁舎、営舎その他防衛庁の施設又はこれらの近傍に、火災その他の災害が発生した場合、自らの判断により部隊等を派遣することとする。	212	6 自衛隊の基本方針 (3) 自衛隊の部隊等の長は、自衛隊の庁舎、営舎その他防衛省の施設又はこれらの近傍に、火災その他の災害が発生した場合、自らの判断により部隊等を派遣することとする。	関係機関からの修正意見に基づく修正
206	7 活動内容 (11) 物資の無償貸付又は譲与 「防衛庁の管理に属する物品の無償貸付及び譲与等に関する総理府令」に基づき、被災者に対し生活必需品等の無償貸与又は救じゅつ品の譲与		7 活動内容 (11) 物資の無償貸付又は譲与 「防衛省の管理に属する物品の無償貸付及び譲与等に関する総理府令」に基づき、被災者に対し生活必需品等の無償貸与又は救じゅつ品の譲与	関係機関からの修正意見に基づく修正
	第2款 県域の被害への対応		第2款 県域の被害への対応	
	第2 内容		第2 内容	
	1 県		1 県	
	(1) 基本的な考え方		(1) 基本的な考え方	
208	① 応援・応援要請の実施基準 県は、大規模な災害の発生を知覚したときは、被災市町を応援するとともに、あらかじめ締結した応援協定等に基づき、関係機関に対して応援を要請することとする。	214	① 応援・応援要請の実施基準 県は、大規模な災害の発生を知覚したときは、被災市町を応援するとともに、あらかじめ締結した応援協定等に基づき、関係機関に対して <u>応援を求め、又は災害応急対策の実施を要請</u> することとする。	所管課からの修正意見に基づく修正
	(2) 県内市町に対する応援		(2) 県内市町に対する応援	
	① 市町災害対策本部への連絡員や支援チームの派遣 県（県民局）は、災害の状況に応じて管内市町災害対策本部にあらかじめ定めた連絡員を派遣し、情報収集や市町との調整等にあたることとする。また、連絡員からの情報等により、必要に応じて市町支援チームを編成、派遣することとする。		① 市町災害対策本部への連絡員や支援チームの派遣 県（ <u>県民局等</u> ）は、災害の状況に応じて管内市町災害対策本部にあらかじめ定めた連絡員を派遣し、情報収集や市町との調整等にあたることとする。また、連絡員からの情報等により、必要に応じて市町支援チームを編成、派遣することとする。	県の組織改編に基づく修正
209	③ 災害対策基本法に基づく応援 ウ 市町長の事務の代行（市町が事務をできない状態にある場合） (7) 知事による避難の指示等の代行（法第60条第5項～7項） (9) 広域一時滞在の協議等の代行（法第86条の4） 追加	215	③ 災害対策基本法に基づく応援 ウ 市町長の事務の代行（市町が事務をできない状態にある場合） (7) 知事による避難の指示等の代行（法第60条第6項～8項） (9) <u>指定行政機関の長等による応急措置（応急公用負担等、応急措置業務の従事命令）の代行（法第78条の2）</u> (1) 広域一時滞在の協議等の代行（法第86条の10、第86条の13）	法改正に伴う修正 国防災基本計画に合わせた修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																				
212	<p>3 近畿地方整備局</p> <p>(3) 応援の実施 近畿地方整備局は兵庫県への応援要請に対して、災害対策用資機材及び人員配置の状況を勘案し、可能な応援を行うものとする。</p> <p>(4) 応援要請によらない応援 災害が発生した場合、その事態に照らし特に緊急を要し、兵庫県からの要請をまついとまがないと確認されるときは、近畿地方整備局は独自の判断により応援を行うものとする。</p> <p>4 消防本部</p> <p>(1) 大規模災害時における広域消防応援体制</p> <p>○ 緊急消防援助隊応援要請先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平日 (9:30~18:15)</th> <th>左記以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">NTT回線</td> <td>電話 03-5253-7527</td> <td>03-5253-7777</td> </tr> <tr> <td>FAX 03-5253-7537</td> <td>03-5253-7553</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防防災無線</td> <td>電話 90-49013</td> <td>90-49102</td> </tr> <tr> <td>FAX 90-49033</td> <td>90-49036</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域衛星通信ネットワーク</td> <td>電話 TN-048-500-90-43422</td> <td>TN-048-500-90-49102</td> </tr> <tr> <td>FAX TN-048-500-90-49033</td> <td>TN-048-500-90-49036</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平日 (9:30~18:15)	左記以外	NTT回線	電話 03-5253-7527	03-5253-7777	FAX 03-5253-7537	03-5253-7553	消防防災無線	電話 90-49013	90-49102	FAX 90-49033	90-49036	地域衛星通信ネットワーク	電話 TN-048-500-90-43422	TN-048-500-90-49102	FAX TN-048-500-90-49033	TN-048-500-90-49036	218	<p>3 近畿地方整備局</p> <p>(3) 応援の実施 近畿地方整備局は兵庫県からの応援要請に対して、災害対策用資機材及び人員配置の状況を勘案し、可能な応援を行うこととする。</p> <p>(4) 応援要請によらない応援 災害が発生した場合、その事態に照らし特に緊急を要し、兵庫県からの要請を待ついとまがないと確認されるときは、近畿地方整備局は独自の判断により応援を行うこととする。</p> <p>4 消防本部</p> <p>(1) 大規模災害時における広域消防応援体制</p> <p>○ 緊急消防援助隊応援要請先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平日 (8:30~18:15)</th> <th>左記以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">NTT回線</td> <td>電話 03-5253-7527</td> <td>03-5253-7777</td> </tr> <tr> <td>FAX 03-5253-7537</td> <td>03-5253-7553</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防防災無線</td> <td>電話 90-49013</td> <td>90-49102</td> </tr> <tr> <td>FAX 90-49033</td> <td>90-49036</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域衛星通信ネットワーク</td> <td>電話 TN-048-500-90-43422</td> <td>TN-048-500-90-49102</td> </tr> <tr> <td>FAX TN-048-500-90-49033</td> <td>TN-048-500-90-49036</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平日 (8:30~18:15)	左記以外	NTT回線	電話 03-5253-7527	03-5253-7777	FAX 03-5253-7537	03-5253-7553	消防防災無線	電話 90-49013	90-49102	FAX 90-49033	90-49036	地域衛星通信ネットワーク	電話 TN-048-500-90-43422	TN-048-500-90-49102	FAX TN-048-500-90-49033	TN-048-500-90-49036	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>
区 分	平日 (9:30~18:15)	左記以外																																						
NTT回線	電話 03-5253-7527	03-5253-7777																																						
	FAX 03-5253-7537	03-5253-7553																																						
消防防災無線	電話 90-49013	90-49102																																						
	FAX 90-49033	90-49036																																						
地域衛星通信ネットワーク	電話 TN-048-500-90-43422	TN-048-500-90-49102																																						
	FAX TN-048-500-90-49033	TN-048-500-90-49036																																						
区 分	平日 (8:30~18:15)	左記以外																																						
NTT回線	電話 03-5253-7527	03-5253-7777																																						
	FAX 03-5253-7537	03-5253-7553																																						
消防防災無線	電話 90-49013	90-49102																																						
	FAX 90-49033	90-49036																																						
地域衛星通信ネットワーク	電話 TN-048-500-90-43422	TN-048-500-90-49102																																						
	FAX TN-048-500-90-49033	TN-048-500-90-49036																																						
214	<p>(2) 関係機関との連携</p> <p>① 消防及び警察の相互協力 (消防組織法第 24 条)</p>	219	<p>(2) 関係機関との連携</p> <p>① 消防及び警察の相互協力 (消防組織法第 42 条)</p>	<p>現状にあわせた時点修正</p> <p>法改正に伴う修正</p>																																				

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
218	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第5節 災害救助法の適用</p> <p>第2 内容 2 適用手続 (1) 県</p> <p>知事は、次の(2)により市町長等から被害状況等の報告があった場合等で救助が必要であると認められる場合、又は被害の状況を客観的に判断し適用すべき状態にあると認められる場合は、厚生労働省に技術的助言を求める等必要な措置を講じ、適用を決定することとする。</p>	224	<p>第3編 災害応急対策計画 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立</p> <p>第5節 災害救助法の適用</p> <p>第2 内容 2 適用手続 (1) 県</p> <p>知事は、次の(2)により市町長等から被害状況等の報告があった場合等で救助が必要であると認められる場合、又は被害の状況を客観的に判断し適用すべき状態にあると認められる場合は、<u>内閣府</u>に技術的助言を求める等必要な措置を講じ、適用を決定することとする。</p>	所管替えに伴う修正
219	<p>3 救助の実施 (2) 実施内容</p> <p>⑥ 災害にかかった者の救出 ⑦ 災害にかかった住宅の応急修理</p> <p>4 災害救助法による救助の基準</p> <p>災害救助法による救助の程度、方法及び期間等は資料編に掲載しているが、この基準により実施することが困難な場合は、厚生労働大臣に協議し、その同意を得て知事が定める基準により実施することとする。</p>	225	<p>3 救助の実施 (2) 実施内容</p> <p>⑥ <u>被災者の</u>救出 ⑦ <u>被災した</u>住宅の応急修理</p> <p>4 災害救助法による救助の基準</p> <p>災害救助法による救助の程度、方法及び期間等は資料編に掲載しているが、この基準により実施することが困難な場合は、<u>内閣総理大臣</u>に協議し、その同意を得て知事が定める基準により実施することとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正 所管替えに伴う修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
221	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第1節 水防活動の実施</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、神戸海洋気象台、県県土整備部土木局、県警察本部、警察署、水防管理者、量水標管理者〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 水防の責任等</p> <p>(4) 国土交通大臣（水防法第10条第2項、第16条第1項、第2項） 気象庁長官と共同して指定河川（猪名川、藻川、円山川、出石川、加古川、揖保川、中川、元川）の洪水予報を行うこと。 あらかじめ指定した河川について避難判断水位（特別警戒水位）到達情報を知事に通知し、一般に公表すること。 猪名川、円山川、加古川、揖保川等について水防警報を発すること等</p> <p>(5) 知事（水防法第11条第1項、第16条第1項、第3項） 気象庁長官と共同して指定河川（武庫川、市川、千種川）の洪水予報を行うこと。 あらかじめ指定した河川について避難判断水位（特別警戒水位）到達情報を関係者に対し通知し、一般に公表すること。 あらかじめ指定した河川又は海岸について水防警報を発すること等 追加</p>	227	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第1節 水防活動の実施</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、神戸地方気象台、県県土整備部土木局、県警察本部、警察署、水防管理者、量水標管理者〕</p> <p>第2 内容</p> <p>1 水防の責任等</p> <p>(4) 国土交通大臣（水防法第10条第2項、<u>第13条第1項、第13条の2、第16条第1項、第2項、第32条</u>） 気象庁長官と共同して指定河川（猪名川、藻川、円山川、出石川、加古川、揖保川、中川、元川）の洪水予報を行う<u>とともに関係市町長に通知すること。</u> あらかじめ指定した河川について避難判断水位（特別警戒水位）到達情報を知事及び関係市町長に通知し、一般に公表すること。 猪名川、円山川、加古川、揖保川等について水防警報を発すること等 <u>洪水、津波又は高潮による著しく激甚な災害が発生した場合において、水防上緊急を要すると認められるときに特定緊急水防活動を行うこと。</u></p> <p>(5) 知事（水防法第11条第1項、<u>第13条第2項、第13条の2、第16条第1項、第3項</u>） 気象庁長官と共同して指定河川（武庫川、市川、千種川）の洪水予報を行う<u>とともに関係市町長に通知すること。</u> あらかじめ指定した河川又は海岸について水防警報を発すること等</p> <p>(10) <u>水防協力団体（水防法第37条）</u> <u>水防団又は消防機関が行う水防活動への協力等</u></p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>法改正に伴う修正</p>

頁	現 行																												
222	<p>2 水防組織</p> <p>(2) 各班の事務分担</p> <p>② 情報連絡班 気象台、庁内関係各課室等関係機関との情報連絡、水防記録及び広報</p> <p>3 水防態勢</p> <p>(1) 水防態勢</p> <p>神戸海洋気象台（以下この節において「気象台」という。）から水防活動の利用に適合する予報及び警報の発表があったとき、又は水防活動の必要があるとき、水防態勢に入ることとする。</p> <p>(2) 水防非常配備</p> <p>① 連絡員待機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配 備 時 期</th> <th>態勢及び業務の内容</th> <th>配備人員</th> <th>水防本部長からの指令</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>神戸海洋気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき</td> <td>数名</td> <td>連絡員待機</td> </tr> </tbody> </table> <p>223</p> <p>② 水防非常配備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>態勢区分</th> <th>配 備 時 期</th> <th>態勢の内容</th> <th>配備人員</th> <th>水防本部長からの指令</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1非常配備態勢</td> <td>(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)</td> <td>主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢</td> <td>少数</td> <td>水防指令第1号</td> </tr> <tr> <td>第2非常配備態勢</td> <td>(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)</td> <td>水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢</td> <td>所属人員の半数</td> <td>水防指令第2号</td> </tr> <tr> <td>第3非常配備態勢</td> <td>(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報・警報が発表され、被害が予想される時。(自動発令)</td> <td>完全な水防態勢</td> <td>所属人員の全員</td> <td>水防指令第3号</td> </tr> </tbody> </table>	配 備 時 期	態勢及び業務の内容	配備人員	水防本部長からの指令		神戸海洋気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき	数名	連絡員待機	態勢区分	配 備 時 期	態勢の内容	配備人員	水防本部長からの指令	第1非常配備態勢	(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)	主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢	少数	水防指令第1号	第2非常配備態勢	(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)	水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢	所属人員の半数	水防指令第2号	第3非常配備態勢	(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報・警報が発表され、被害が予想される時。(自動発令)	完全な水防態勢	所属人員の全員	水防指令第3号
配 備 時 期	態勢及び業務の内容	配備人員	水防本部長からの指令																										
	神戸海洋気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき	数名	連絡員待機																										
態勢区分	配 備 時 期	態勢の内容	配備人員	水防本部長からの指令																									
第1非常配備態勢	(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)	主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢	少数	水防指令第1号																									
第2非常配備態勢	(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)	水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢	所属人員の半数	水防指令第2号																									
第3非常配備態勢	(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報・警報が発表され、被害が予想される時。(自動発令)	完全な水防態勢	所属人員の全員	水防指令第3号																									

頁	修 正 案	対 応																												
228	<p>2 水防組織</p> <p>(2) 各班の事務分担</p> <p>② 情報連絡班 気象台、庁内関係各課室及び関係事務所、国土交通省等関係機関との情報連絡、水防記録及び広報</p> <p>3 水防態勢</p> <p>(1) 水防態勢</p> <p>神戸地方気象台（以下この節において「気象台」という。）から水防活動の利用に適合する予報及び警報の発表があったとき、又は水防活動の必要があるとき、水防態勢に入ることとする。</p> <p>(2) 水防非常配備</p> <p>① 連絡員待機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配 備 時 期</th> <th>態勢及び業務の内容</th> <th>配備人員</th> <th>水防本部長からの指令</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき</td> <td>数名</td> <td>連絡員待機</td> </tr> </tbody> </table> <p>229</p> <p>② 水防非常配備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>態勢区分</th> <th>配 備 時 期</th> <th>態勢の内容</th> <th>配備人員</th> <th>水防本部長からの指令</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1非常配備態勢</td> <td>(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)</td> <td>主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢</td> <td>少数</td> <td>水防指令第1号</td> </tr> <tr> <td>第2非常配備態勢</td> <td>(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)</td> <td>水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢</td> <td>所属人員の半数</td> <td>水防指令第2号</td> </tr> <tr> <td>第3非常配備態勢</td> <td>(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報または津波警報、大津波警報が発表されたとき。(自動発令)</td> <td>完全な水防態勢</td> <td>所属人員の全員</td> <td>水防指令第3号</td> </tr> </tbody> </table>	配 備 時 期	態勢及び業務の内容	配備人員	水防本部長からの指令		気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき	数名	連絡員待機	態勢区分	配 備 時 期	態勢の内容	配備人員	水防本部長からの指令	第1非常配備態勢	(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)	主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢	少数	水防指令第1号	第2非常配備態勢	(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)	水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢	所属人員の半数	水防指令第2号	第3非常配備態勢	(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報または津波警報、大津波警報が発表されたとき。(自動発令)	完全な水防態勢	所属人員の全員	水防指令第3号	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>
配 備 時 期	態勢及び業務の内容	配備人員	水防本部長からの指令																											
	気象台から水防に関する予報が発表されるおそれがあるとき、又は発表されたとき等、水防本部が必要と認められたとき	数名	連絡員待機																											
態勢区分	配 備 時 期	態勢の内容	配備人員	水防本部長からの指令																										
第1非常配備態勢	(1) 今後の気象情報及び水位又は潮位に注意及び警戒を必要とするとき。 (2) 震度4の地震が発生したとき。(自動発令)	主として情報連絡に当たり、事態の推移によっては、直ちに人員の招集その他活動ができる態勢	少数	水防指令第1号																										
第2非常配備態勢	(1) 水防事態の発生が予想され、数時間の間に水防活動の必要が予想される時。 (2) 水防警報の「準備」が発せられたとき。 (3) 震度5強又は5弱の地震が発生したとき。(自動発令)	水防事態が発生すれば、そのまま水防活動が遂行できる態勢	所属人員の半数	水防指令第2号																										
第3非常配備態勢	(1) 水防事態が切迫し、又は水防態勢の規模が大きくなり、第2非常配備態勢では処理しきれないと予想される時。 (2) 水防警報の「出動」が発せられたとき。 (3) 震度6弱以上の地震が発生したとき。(自動発令) (4) 津波注意報または津波警報、大津波警報が発表されたとき。(自動発令)	完全な水防態勢	所属人員の全員	水防指令第3号																										

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
223	<p>4 水防指令及び水防警報</p> <p>(2) 国土交通大臣の発する水防警報</p> <p>② 水防警報の種類</p> <p>第1号 待機 水防団員の足留めを行うことを目的とし、主として気象予報に基づいて行う。</p> <p>第2号 準備 水防資器材の整備点検、水門等の開閉の準備、幹部の出動等に対するもので、上流の雨量に基づいて発令する。</p> <p>第3号 出動 水防団員の出動の必要を警告して行うもので、上流の雨量又は水位に基づいて発令する。</p> <p>第4号 解除 水防活動の終了の通知を行う。</p> <p>適宜 水位 水位の上昇下降、滞水時間、最高水位、時刻等、水防活動上必要とする水位状況を通知する。</p> <p>(3) 知事の発する水防警報</p> <p>① 水防警報河川</p> <p>イ 津波にかかる水防警報の対象河川は下記のとおりとする。但し、国土交通省が管理する河川の区域を除く。</p> <p>兵庫県津波被害警戒区域図(暫定)の津波被害警戒区域内にある全河川(但し、一級及び二級河川に限る。)</p>	229	<p>4 水防指令及び水防警報</p> <p>(2) 国土交通大臣の発する水防警報</p> <p>② 水防警報の種類</p> <p>第1段階 待機 水防団員の足留めを行うことを目的とし、主として気象予報に基づいて行う。</p> <p>第2段階 準備 水防資器材の整備点検、水門等の開閉の準備、幹部の出動等に対するもので、上流の雨量に基づいて発令する。</p> <p>第3段階 出動 水防団員の出動の必要を警告して行うもので、上流の雨量又は水位に基づいて発令する。</p> <p>第4段階 解除 水防活動の終了の通知を行う。</p> <p>適宜 水位 水位の上昇下降、滞水時間、最高水位、時刻等、水防活動上必要とする水位状況を通知する。</p> <p>(3) 知事の発する水防警報</p> <p>① 水防警報河川</p> <p>イ 津波にかかる水防警報の対象河川は下記のとおりとする。但し、国土交通省が管理する河川の区域を除く。</p> <p>兵庫県南海トラフ巨大地震津波浸水想定図の津波浸水想定区域内にある全河川(但し、一級及び二級河川に限る。)</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
		230		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
225	<p>第3編 災害応急対策計画</p> <p>第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第2節 救命・救急、医療対策の実施</p> <p>第1款 人命救出活動の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 県警察本部</p> <p>県警察本部は、次の措置を講じることとする。</p> <p>(1) 負傷者、行方不明者の救出救護及び搜索活動の実施</p> <p>(2) 必要な交通規制の実施</p>	231	<p>第3編 災害応急対策計画</p> <p>第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第2節 救命・救急、医療対策の実施</p> <p>第1款 人命救出活動の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 県警察本部</p> <p>県警察本部は、次の措置を講じることとする。</p> <p>(1) <u>要救助者</u>、行方不明者の救出救護及び搜索活動の実施</p> <p>(2) 必要な交通規制の実施</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正
227	<p>第2款 救急医療の提供</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施方法</p> <p>(3) 現場から医療施設への負傷者等の搬送 (ヘリコプターを有する他機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他府県消防本部等（「大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱」による） ・海上保安本部 ・自衛隊 等 	233	<p>第2款 救急医療の提供</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施方法</p> <p>(3) 現場から医療施設への負傷者等の搬送 (ヘリコプターを有する他機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他府県消防本部等（「大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱」による） ・海上保安本部 ・自衛隊 ・<u>ドクターヘリ</u>基地病院 等 	所管課からの修正意見に基づく修正
228	<p>(5) 負傷者等の収容</p> <p>② 死亡して発見された場合及び搬送中に死亡した場合等は、速やかに県警察本部に連絡し、死体見分分其他所要の処理を行わなければならない。</p> <p>速やかな死体見分に支障が生じる程度の多数の死者が発生した場合は、日本法医学会に対し応援を要請するとともに、県医師会を通じて県警本部との事前合意に基づいて、兵庫県医師会死体検案認定医等の臨床医の協力も得ることとする。</p>	234	<p>(5) 負傷者等の収容</p> <p>② 死亡して発見された場合及び搬送中に死亡した場合等は、速やかに県警察本部に連絡し、<u>検視</u>其他所要の処理を行わなければならない。</p> <p>速やかな<u>検視</u>等に支障が生じる程度の多数の死者が発生した場合は、日本法医学会に対し応援を要請するとともに、県医師会を通じて、兵庫県医師会死体検案認定医等の臨床医の協力も得ることとする。</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
229	<p>第3款 医療・助産対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施責任機関</p> <p>(2) 県は市町から要請があった場合、又は県が必要と認める場合は、救護班（兵庫DMATを含む）を現地に派遣するなど保健医療活動を実施することとする。</p> <p>2 救護所の設置</p> <p>(1) 市町は、次の場合に救護所を設置することとする。なお県は、救護所では対応しきれない場合には、救護センターを設置することとする。</p> <p>③ 被災地と医療機関との位置関係、あるいは傷病者の数と護送能力との問題から、被災地から医療機関への傷病者の護送に時間がかかるため、被災地での対応が必要な場合</p> <p>4 県における情報収集・提供</p> <p>(1) 情報の収集</p> <p>② 県（医務課）、災害医療センターは、以下の情報収集を行うこととする。</p> <p>カ 県・神戸市のヘリコプターの運航状況の確認</p> <p>キ 全壊・半壊等被災した医療機関から転送が必要な患者数の確認</p> <p>5 救護班の派遣等</p> <p>(1) 救護班の派遣等関係機関への要請</p> <p>① 県（医務課）は、市町長から要請があった場合、又は必要と認める場合は、関係機関に対し次の要請を行うこととする。</p> <p>ア 災害拠点病院（兵庫DMAT指定病院を含む）をはじめ日本赤十字社兵庫県支部及び赤十字病院、県立病院、独立行政法人国立病院機構病院（以下「国立病院」という。）、公的病院、私的医療機関に対する救護班の編成と被災地への派遣要請</p> <p>イ 県・神戸市等のヘリコプターの待機要請</p>	235	<p>第3款 医療・助産対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施責任機関</p> <p>(2) 県は市町から要請があった場合、又は県が必要と認める場合は、兵庫DMAT及び救護班（兵庫JMATを含む）を現地に派遣するなど保健医療活動を実施することとする。</p> <p>2 救護所の設置</p> <p>(1) 市町は、次の場合に救護所を設置することとする。なお県は、救護所では対応しきれない場合には、救護センターを設置することとする。</p> <p>③ 被災地と医療機関との位置関係、あるいは傷病者の数と搬送能力との問題から、被災地から医療機関への傷病者の搬送に時間がかかるため、被災地での対応が必要な場合</p> <p>4 県における情報収集・提供</p> <p>(1) 情報の収集</p> <p>② 県（医務課）、災害医療センターは、以下の情報収集を行うこととする。</p> <p>カ ヘリコプターの運航状況の確認</p> <p>キ 被災した医療機関から転送が必要な患者数の確認</p> <p>5 救護班の派遣等</p> <p>(1) 救護班の派遣等関係機関への要請</p> <p>① 県（医務課）は、市町長から要請があった場合、又は必要と認める場合は、関係機関に対し次の要請を行うこととする。</p> <p>ア 災害拠点病院をはじめ日本赤十字社兵庫県支部及び赤十字病院、県立病院、独立行政法人国立病院機構病院（以下「国立病院」という。）、公的病院、私的医療機関に対する救護班等の編成と被災地への派遣要請</p> <p>イ ドクターヘリ等の待機要請</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
230	<p>カ 県・神戸市のヘリコプターの運航状況の確認</p> <p>キ 全壊・半壊等被災した医療機関から転送が必要な患者数の確認</p>	236	<p>カ ヘリコプターの運航状況の確認</p> <p>キ 被災した医療機関から転送が必要な患者数の確認</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対応
230	<p>オ 電力会社に対する被災医療機関の優先的な復旧の要請と水道事業者及びプロパンガス事業者に対する医療機関への優先供給の要請</p> <p>キ 兵庫県医師会、兵庫県民間病院協会、兵庫県歯科医師会、兵庫県看護協会、兵庫県理学療法士会及び兵庫県作業療法士会に対する災害救援専門ボランティア（医療ボランティア）の派遣要請</p> <p>③ 県（薬務課）は、必要に応じて、以下の要請を行うこととする。</p> <p>イ 厚生労働省、兵庫県医薬品卸業協会、兵庫県医理化学機器協会、日本医療ガス協会兵庫県支部等に対する医薬品及び医療機器の確保の要請</p> <p>ウ 兵庫県薬剤師会に対する災害救援専門ボランティア（医療ボランティア）の派遣要請</p>	236	<p>オ 電力会社に対する被災医療機関の優先的な復旧の要請と水道事業者及びLPガス事業者に対する医療機関への優先供給の要請</p> <p>削除</p> <p>③ 県（薬務課）は、必要に応じて、以下の要請を行うこととする。</p> <p>イ 厚生労働省、兵庫県医薬品卸業協会、兵庫県医療機器協会、<u>日本産業・医療ガス協会近畿地域本部</u>兵庫県支部等に対する医薬品及び医療機器の確保の要請</p> <p>削除</p>	<p>事業廃止</p> <p>組織名変更による修正</p>
232	<p>(2) 救護班の編成</p> <p>① 兵庫DMAT指定病院</p> <p>兵庫DMAT指定病院は、災害の初期において、状況により自らの判断に基づき、速やかに兵庫DMAT（医師1～2名、看護師1～2名、業務調整員1～2名の計5名程度をもって1班とする）の派遣を行うこととし、派遣先については県または災害医療センターと調整することとする。</p> <p>⑦ 私的医療機関による救護班</p> <p>県は、必要により、県医師会及び県歯科医師会に設置される災害救護本部に、救護隊（JMATを含む）の派遣を要請することとする。</p> <p>⑧ 他府県による救護班</p> <p>県は、必要により相互応援に関する協定を締結している近畿2府7県及び岡山県、鳥取県、新潟県に対し、救護班の派遣について要請するとともに、その他の府県については、全国都道府県における災害時の広域応援に関する協定等に基づき、全国知事会等を通じて救護班の派遣を要請することとする。</p>	238	<p>(2) 救護班の編成</p> <p>① 兵庫DMAT指定病院</p> <p>兵庫DMAT指定病院は、災害の初期において、状況により自らの判断に基づき、速やかに兵庫DMATの派遣を行うこととし、派遣先については県または災害医療センターと調整することとする。</p> <p>⑦ 私的医療機関による救護班</p> <p>県は、必要により、県医師会及び県歯科医師会に設置される災害救護本部に、<u>兵庫JMAT</u>の派遣を要請することとする。</p> <p>⑧ 他府県による救護班</p> <p>県は、必要により相互応援に関する協定を締結している近畿2府7県及び岡山県、鳥取県、新潟県に対し、<u>救護班等</u>の派遣について要請するとともに、その他の府県については、全国都道府県における災害時の広域応援に関する協定等に基づき、全国知事会等を通じて救護班等の派遣を要請することとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
232	<p>(3) 救護班の活動</p> <p>被災地に入った救護班は、被災市町の指揮の下に、発災直後は外科的治療を中心に、傷病者のトリアージ、応急措置、重症者の搬送の指示・手配等を行うこととする。</p> <p>発災後3日目以降は内科的治療を中心に、乳幼児、高齢者等災害時要援護者の健康管理に努めるとともに、急性疾患の治療、慢性疾患の継続治療に当たることとする。</p> <p>災害拠点病院、日本赤十字社については、自主判断により救護班を派遣、活動した場合においても、県からの要請に基づいた派遣・活動として認めることとする。</p>	238	<p>(3) 救護班の活動</p> <p>被災地に入った救護班等は、被災地の地域医療情報センター、市町等の指揮の下に、発災直後は外科的治療を中心に、傷病者のトリアージ、応急措置、重症者の搬送の指示・手配等を行うこととする。</p> <p>その後は内科的治療を中心に、乳幼児、高齢者等災害時要援護者の健康管理に努めるとともに、急性疾患の治療、慢性疾患の継続治療に当たることとする。</p> <p>災害拠点病院、日本赤十字社については、自主判断により救護班等を派遣、活動した場合においても、状況により、県からの要請に基づいた派遣・活動として認めることとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
	<p>7 医療マンパワーの確保</p> <p>(2) <u>災害救援専門ボランティア（医療ボランティア）</u></p> <p>(3) その他の医療ボランティア</p>		<p>7 医療マンパワーの確保</p> <p>削除</p> <p>(2) その他の医療ボランティア</p>	事業廃止
233	<p>8 患者等搬送体制</p> <p>(3) 県、災害医療センターは、道路の寸断や交通渋滞等で救急車による搬送が困難な場合、ヘリコプターや船艇による患者搬送を行えるよう神戸市消防局、自衛隊、海上保安本部等と調整を行うこととする。</p>	239	<p>8 患者等搬送体制</p> <p>(3) 県、災害医療センターは、道路の寸断や交通渋滞等で救急車による搬送が困難な場合、ヘリコプターや船艇による患者搬送を行えるよう神戸市消防局、自衛隊、海上保安本部、<u>ドクターヘリ基地病院</u>等と調整を行うこととする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
	<p>9 医薬品等の供給</p> <p>(2) 調達方法</p> <p>③ 県は、県内の医薬品卸売業者が、約1週間分の医薬品の在庫を有していることから、流通在庫の活用を図ることとし、兵庫県医薬品卸業協会、兵庫県医理化機器協会等との連携を強化することとする。</p>		<p>9 医薬品等の供給</p> <p>(2) 調達方法</p> <p>③ 県は、県内の医薬品卸売業者が、約1週間分の医薬品の在庫を有していることから、流通在庫の活用を図ることとし、兵庫県医薬品卸業協会、<u>兵庫県医療機器協会</u>等との連携を強化することとする。</p>	組織名変更による修正
234	<p>10 医療機関のライフラインの確保</p> <p>(2) 県は、市町と連携を図りながら、(一社)兵庫県エルピーガス協会に対し医療機関へのガスの優先的な供給について要請するとともに、都市ガス利用地域においても都市ガスが復旧するまでの間、代替ガスが利用できるようガス設備の調整等について配慮を要請することとする。</p>	240	<p>10 医療機関のライフラインの確保</p> <p>(2) 県は、市町と連携を図りながら、(一社)兵庫県LPガス協会に対し医療機関へのガスの優先的な供給について要請するとともに、都市ガス利用地域においても都市ガスが復旧するまでの間、代替ガスが利用できるようガス設備の調整等について配慮を要請することとする。</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																																																																																																																																																																																																																																																								
235	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第3節 交通・輸送対策の実施</p> <p>第1款 交通の確保対策の実施</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、海上保安本部、県県土整備部県土企画局、県県土整備部土木局、県公安委員会、県警察本部、市町、西日本高速道路㈱関西支社、阪神高速道路㈱、本州四国連絡高速道路㈱、県道路公社、芦有ドライブウェイ(株)、港湾管理者、空港管理者等〕</p>	241	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第3節 交通・輸送対策の実施</p> <p>第1款 交通の確保対策の実施</p> <p>〔実施機関：近畿地方整備局、海上保安本部、<u>県農政環境部農林水産局</u>、県県土整備部県土企画局、県県土整備部土木局、県公安委員会、県警察本部、市町、西日本高速道路㈱関西支社、阪神高速道路㈱、本州四国連絡高速道路㈱、<u>県道路公社</u>、芦有ドライブウェイ(株)、<u>漁港管理者</u>、港湾管理者、空港管理者等〕</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								
240	<p>別表1 通行止め等基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">道路名</th> <th rowspan="2">管理事務所名</th> <th rowspan="2">IC名</th> <th colspan="2">通行止め基準値 (国土交通省標準値)</th> <th rowspan="2">通行規制基準値 (第二種道路等災害応急対策)</th> </tr> <tr> <th>連続閉鎖 距離(m)</th> <th>風台せ閉鎖 (km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">名神高速道路</td> <td rowspan="2">吹田管理事務所</td> <td>豊中IC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>西宮IC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">神戸管理事務所</td> <td>吹田JCT</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>宝塚IC</td> <td>210</td> <td>160</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>吉川IC</td> <td>180</td> <td>160</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>滝野社IC</td> <td>180</td> <td>130</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>播磨IC</td> <td>220</td> <td>180</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>山崎IC</td> <td>200</td> <td>150</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>佐用IC</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>佐用TB</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中国自動車道</td> <td rowspan="2">福岡高速道路事務所</td> <td>福岡IC</td> <td>220</td> <td>140</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>筑前IC</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鳥取道</td> <td>鳥取IC</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>三木小野IC</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">山陽自動車道</td> <td rowspan="2">姫路高速道路事務所</td> <td>姫路東IC</td> <td>220</td> <td>140</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>姫路IC</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山陽自動車道西神線</td> <td>西神IC</td> <td>210</td> <td>160</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>三田西IC</td> <td>180</td> <td>130</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">舞鶴志賀自動車道</td> <td rowspan="2">播磨山高速道路事務所</td> <td>綾部IC</td> <td>160</td> <td>110</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>小阪西IC</td> <td>180</td> <td>150</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第二神明道路</td> <td>第二神明道路事務所</td> <td>明石西IC</td> <td>160</td> <td>150</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>第二神明道路北線</td> <td>第二神明道路事務所</td> <td>水井谷JCT</td> <td>160</td> <td>150</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	道路名	管理事務所名	IC名	通行止め基準値 (国土交通省標準値)		通行規制基準値 (第二種道路等災害応急対策)	連続閉鎖 距離(m)	風台せ閉鎖 (km)	名神高速道路	吹田管理事務所	豊中IC	—	—	120	西宮IC	—	—	110	神戸管理事務所	吹田JCT	—	—	110	宝塚IC	210	160	45	吉川IC	180	160	60	滝野社IC	180	130	35	播磨IC	220	180	45	山崎IC	200	150	45	佐用IC	150	100	45	佐用TB	170	120	45	中国自動車道	福岡高速道路事務所	福岡IC	220	140	35	筑前IC	170	120	45	鳥取道	鳥取IC	150	100	45	三木小野IC	170	120	45	山陽自動車道	姫路高速道路事務所	姫路東IC	220	140	35	姫路IC	170	120	45	山陽自動車道西神線	西神IC	210	160	45	三田西IC	180	130	45	舞鶴志賀自動車道	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40	小阪西IC	180	150	35	第二神明道路	第二神明道路事務所	明石西IC	160	150	35	第二神明道路北線	第二神明道路事務所	水井谷JCT	160	150	35	246	<p>別表1 通行止め等基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">道路名</th> <th rowspan="2">管理事務所</th> <th rowspan="2">IC名</th> <th colspan="4">通行止め基準値</th> <th rowspan="2">通行規制基準値 (国土交通省標準値)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>連続閉鎖 距離(m)</th> <th>風台せ閉鎖 (km)</th> <th>通行止め 距離(m)</th> <th>通行止め 距離(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名神</td> <td>吹田管理事務所</td> <td>豊中IC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">中 国 道</td> <td rowspan="2">吹田管理事務所</td> <td>吹田JCT</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>中国南IC</td> <td>210</td> <td>150</td> <td>45</td> <td>150</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">神戸管理事務所</td> <td>宝塚IC</td> <td>210</td> <td>150</td> <td>45</td> <td>150</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>吉川IC</td> <td>180</td> <td>150</td> <td>50</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>滝野社IC</td> <td>180</td> <td>130</td> <td>35</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>播磨IC</td> <td>220</td> <td>150</td> <td>45</td> <td>170</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>山崎IC</td> <td>200</td> <td>150</td> <td>45</td> <td>150</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>佐用IC</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>45</td> <td>100</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>佐用TB</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> <td>120</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>三木小野IC</td> <td>220</td> <td>140</td> <td>35</td> <td>140</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山 陽 道</td> <td rowspan="2">姫路高速道路事務所</td> <td>姫路東IC</td> <td>220</td> <td>140</td> <td>35</td> <td>170</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>姫路IC</td> <td>170</td> <td>120</td> <td>45</td> <td>120</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">山 陽 道 西 神 線</td> <td rowspan="2">西神管理事務所</td> <td>西神IC</td> <td>210</td> <td>160</td> <td>45</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>三田西IC</td> <td>180</td> <td>130</td> <td>45</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">播磨山高速道路事務所</td> <td>綾部IC</td> <td>160</td> <td>110</td> <td>40</td> <td>110</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小阪西IC</td> <td>180</td> <td>150</td> <td>35</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">舞 鶴 道</td> <td rowspan="2">播磨山高速道路事務所</td> <td>綾部IC</td> <td>160</td> <td>110</td> <td>40</td> <td>110</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>小阪西IC</td> <td>180</td> <td>150</td> <td>35</td> <td>130</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第 二 神 明 道</td> <td rowspan="2">第二神明道路事務所</td> <td>明石西IC</td> <td>160</td> <td>150</td> <td>35</td> <td>120</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水井谷JCT</td> <td>160</td> <td>150</td> <td>35</td> <td>120</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	道路名	管理事務所	IC名	通行止め基準値				通行規制基準値 (国土交通省標準値)	備考	連続閉鎖 距離(m)	風台せ閉鎖 (km)	通行止め 距離(m)	通行止め 距離(m)	名神	吹田管理事務所	豊中IC	—	—	—	—	—	中 国 道	吹田管理事務所	吹田JCT	—	—	—	—	—	中国南IC	210	150	45	150	—	神戸管理事務所	宝塚IC	210	150	45	150	—	吉川IC	180	150	50	130	—	滝野社IC	180	130	35	130	—	播磨IC	220	150	45	170	—	山崎IC	200	150	45	150	—	佐用IC	150	100	45	100	—	佐用TB	170	120	45	120	—	三木小野IC	220	140	35	140	35	山 陽 道	姫路高速道路事務所	姫路東IC	220	140	35	170	140	姫路IC	170	120	45	120	—	山 陽 道 西 神 線	西神管理事務所	西神IC	210	160	45	130	—	三田西IC	180	130	45	130	—	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40	110	—	小阪西IC	180	150	35	130	—	舞 鶴 道	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40	110	—	小阪西IC	180	150	35	130	—	第 二 神 明 道	第二神明道路事務所	明石西IC	160	150	35	120	—	水井谷JCT	160	150	35	120	—	<p>現状にあわせた時点修正</p>
道路名	管理事務所名				IC名	通行止め基準値 (国土交通省標準値)		通行規制基準値 (第二種道路等災害応急対策)																																																																																																																																																																																																																																																																				
		連続閉鎖 距離(m)	風台せ閉鎖 (km)																																																																																																																																																																																																																																																																									
名神高速道路	吹田管理事務所	豊中IC	—	—	120																																																																																																																																																																																																																																																																							
		西宮IC	—	—	110																																																																																																																																																																																																																																																																							
	神戸管理事務所	吹田JCT	—	—	110																																																																																																																																																																																																																																																																							
		宝塚IC	210	160	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		吉川IC	180	160	60																																																																																																																																																																																																																																																																							
		滝野社IC	180	130	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
		播磨IC	220	180	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		山崎IC	200	150	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		佐用IC	150	100	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		佐用TB	170	120	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
中国自動車道	福岡高速道路事務所	福岡IC	220	140	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
		筑前IC	170	120	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
	鳥取道	鳥取IC	150	100	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		三木小野IC	170	120	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
山陽自動車道	姫路高速道路事務所	姫路東IC	220	140	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
		姫路IC	170	120	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
	山陽自動車道西神線	西神IC	210	160	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
		三田西IC	180	130	45																																																																																																																																																																																																																																																																							
舞鶴志賀自動車道	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40																																																																																																																																																																																																																																																																							
		小阪西IC	180	150	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
	第二神明道路	第二神明道路事務所	明石西IC	160	150	35																																																																																																																																																																																																																																																																						
第二神明道路北線	第二神明道路事務所	水井谷JCT	160	150	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
道路名	管理事務所	IC名	通行止め基準値				通行規制基準値 (国土交通省標準値)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
			連続閉鎖 距離(m)	風台せ閉鎖 (km)	通行止め 距離(m)	通行止め 距離(m)																																																																																																																																																																																																																																																																						
名神	吹田管理事務所	豊中IC	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
中 国 道	吹田管理事務所	吹田JCT	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		中国南IC	210	150	45	150	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
	神戸管理事務所	宝塚IC	210	150	45	150	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		吉川IC	180	150	50	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		滝野社IC	180	130	35	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		播磨IC	220	150	45	170	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		山崎IC	200	150	45	150	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		佐用IC	150	100	45	100	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		佐用TB	170	120	45	120	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		三木小野IC	220	140	35	140	35																																																																																																																																																																																																																																																																					
山 陽 道	姫路高速道路事務所	姫路東IC	220	140	35	170	140																																																																																																																																																																																																																																																																					
		姫路IC	170	120	45	120	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
山 陽 道 西 神 線	西神管理事務所	西神IC	210	160	45	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		三田西IC	180	130	45	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40	110	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		小阪西IC	180	150	35	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
舞 鶴 道	播磨山高速道路事務所	綾部IC	160	110	40	110	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		小阪西IC	180	150	35	130	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
第 二 神 明 道	第二神明道路事務所	明石西IC	160	150	35	120	—																																																																																																																																																																																																																																																																					
		水井谷JCT	160	150	35	120	—																																																																																																																																																																																																																																																																					

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																																												
242	<p>追加</p> <p>⑥ 本州四国連絡高速道路株式会社が管理する有料道路 ○ 通行制限・通行禁止基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>区間</th> <th>※50km規制 (通行制限基準値)</th> <th>通行禁止 (通行禁止基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">雨</td> <td rowspan="2">神戸西IC ～ 鳴門IC</td> <td>連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上</td> <td>連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時</td> </tr> <tr> <td>連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上</td> <td>連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が概ね100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他 (霧・雪等)</td> <td rowspan="3">鳴門IC</td> <td>10分間平均風速：概ね15m/s以上</td> <td>10分間平均風速：概ね25m/s以上</td> </tr> <tr> <td>視程：概ね100m以下</td> <td>視程：概ね50m以下</td> </tr> <tr> <td>積雪の始まった状態</td> <td>積雪が著しい場合</td> </tr> <tr> <td>凍結</td> <td>凍結が予想される場合</td> <td>凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事象	区間	※50km規制 (通行制限基準値)	通行禁止 (通行禁止基準値)	雨	神戸西IC ～ 鳴門IC	連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時	連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が概ね100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時	その他 (霧・雪等)	鳴門IC	10分間平均風速：概ね15m/s以上	10分間平均風速：概ね25m/s以上	視程：概ね100m以下	視程：概ね50m以下	積雪の始まった状態	積雪が著しい場合	凍結	凍結が予想される場合	凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合		246	<p>(注：1) 通行規制基準とは交通管理者に対し道路管理者として速度規制を協議する目安の基準。</p> <p>(注：2) 連続雨量は雨の降り始めから降り終わりまでの積算雨量</p> <p>(注：3) 第二基準とは、通行止め基準値を越える降雨後 24 時間以内にふたたび降雨が開始したときに採用する基準値。</p> <p>※基準値については、適宜見直す。</p> <p>⑥ 本州四国連絡高速道路株式会社が管理する有料道路 ○ 通行制限・通行禁止基準値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>区間</th> <th>※50km規制 (通行制限基準値)</th> <th>通行禁止 (通行禁止基準値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">雨</td> <td rowspan="2">神戸西IC ～ 鳴門IC</td> <td>連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上</td> <td>連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時</td> </tr> <tr> <td>10分間平均風速：概ね15m/s以上</td> <td>10分間平均風速：概ね25m/s以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">霧</td> <td rowspan="2">鳴門IC</td> <td>視程：概ね100m以下</td> <td>視程：概ね50m以下</td> </tr> <tr> <td>積雪が始まった状態</td> <td>積雪が著しい状態</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">雪</td> <td rowspan="2">凍結</td> <td>積雪が著しい場合</td> <td>積雪が著しい場合</td> </tr> <tr> <td>凍結が予想される場合</td> <td>凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合</td> </tr> </tbody> </table>	事象	区間	※50km規制 (通行制限基準値)	通行禁止 (通行禁止基準値)	雨	神戸西IC ～ 鳴門IC	連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時	10分間平均風速：概ね15m/s以上	10分間平均風速：概ね25m/s以上	霧	鳴門IC	視程：概ね100m以下	視程：概ね50m以下	積雪が始まった状態	積雪が著しい状態	雪	凍結	積雪が著しい場合	積雪が著しい場合	凍結が予想される場合	凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>
事象	区間	※50km規制 (通行制限基準値)	通行禁止 (通行禁止基準値)																																													
雨	神戸西IC ～ 鳴門IC	連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時																																													
		連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が概ね100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時																																													
その他 (霧・雪等)	鳴門IC	10分間平均風速：概ね15m/s以上	10分間平均風速：概ね25m/s以上																																													
		視程：概ね100m以下	視程：概ね50m以下																																													
		積雪の始まった状態	積雪が著しい場合																																													
凍結	凍結が予想される場合	凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合																																														
事象	区間	※50km規制 (通行制限基準値)	通行禁止 (通行禁止基準値)																																													
雨	神戸西IC ～ 鳴門IC	連続雨量：概ね200mm以上 又は 時間雨量：概ね 20mm以上	連続雨量：概ね250mm以上 又は 連続雨量が100mmに達した後、 時間雨量が概ね40mm以上の時																																													
		10分間平均風速：概ね15m/s以上	10分間平均風速：概ね25m/s以上																																													
霧	鳴門IC	視程：概ね100m以下	視程：概ね50m以下																																													
		積雪が始まった状態	積雪が著しい状態																																													
雪	凍結	積雪が著しい場合	積雪が著しい場合																																													
		凍結が予想される場合	凍結し、一般車両の通行が困難と判断される場合																																													

頁	現 行			
244	種 別	通行制限	規制対象区間	通行禁止
	降 雨	<ul style="list-style-type: none"> ○速度規制 (警察へ依頼) ・播但連絡道路 連続雨量 130mm ・遠阪トンネル 連続雨量 130mm <ul style="list-style-type: none"> ○通行注意 (情報板による表示) ・播但連絡道路 連続雨量 130mm ・西宮北道路 連続雨量 130mm 	和岡山IC～福岡北R (状況に応じて区間を設定) 朝来市山東町柴一 丹波市青垣町遠阪	<ul style="list-style-type: none"> ・播但連絡道路 連続雨量 200mm ・遠阪トンネル 連続雨量 200mm ・西宮北道路 連続雨量 200mm
	風	<ul style="list-style-type: none"> ○速度規制 (警察との協議) 風速 20m/sec以上 ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル <ul style="list-style-type: none"> ○通行注意 (情報板による表示) 西宮北道路 風速20m/sec以上 	和岡山IC～福岡北R (状況に応じて区間を設定) 全区間	<ul style="list-style-type: none"> 風速 25m/sec ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・西宮北道路
雪・凍結	<ul style="list-style-type: none"> ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ○通行注意 (情報板による表示) 西宮北道路 ・降雪が始まったとき ・凍結の恐れがあるとき ○冬用タイヤ指導 (警察と協議) ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・積雪及び凍結により一般車両の通行に支障があると判断されるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・西宮北道路 	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪及び凍結により一般車両 (冬用タイヤ指導区間) にあっては、冬用タイヤ着用車の通行が困難であると判断されるとき 	

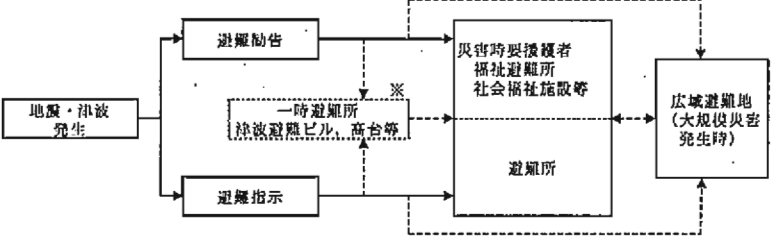
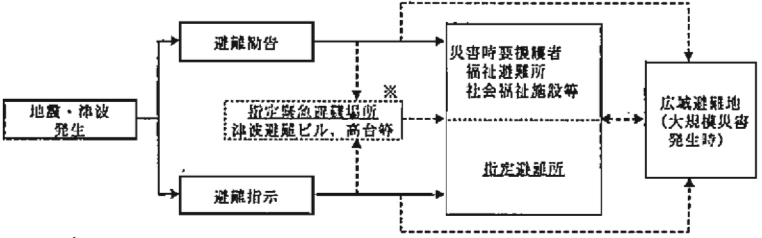
頁	修 正 案				対応
250	種 別	通行制限	規制対象区間	通行禁止	所管課からの修正意見に基づく修正
	降 雨	<ul style="list-style-type: none"> ○速度規制 (警察へ依頼) ・播但連絡道路 連続雨量 130mm ・遠阪トンネル 連続雨量 130mm <ul style="list-style-type: none"> ○通行注意 (情報板による表示) ・播但連絡道路 連続雨量 130mm ・西宮北道路 連続雨量 130mm 	和岡山IC～福岡北R (状況に応じて区間を設定) 朝来市山東町柴一 丹波市青垣町遠阪	<ul style="list-style-type: none"> ・播但連絡道路 連続雨量 200mm ・遠阪トンネル 連続雨量 200mm ・西宮北道路 連続雨量 200mm 	
	風	<ul style="list-style-type: none"> ○速度規制 (警察との協議) 風速 20m/sec以上 ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル <ul style="list-style-type: none"> ○通行注意 (情報板による表示) 風速20m/sec以上 ・播但連絡道路 ・西宮北道路 	和岡山IC～福岡北R (状況に応じて区間を設定) 全区間	<ul style="list-style-type: none"> 風速 25m/sec ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・西宮北道路 	
雪・凍結	<ul style="list-style-type: none"> ○速度規制 (警察との協議) ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ○通行注意 (情報板による表示) 播但連絡道路 ・西宮北道路 ・降雪が始まったとき ・凍結の恐れがあるとき ○冬用タイヤ指導 (警察と協議) ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・積雪及び凍結により一般車両の通行に支障があると判断されるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・播但連絡道路 ・遠阪トンネル ・西宮北道路 	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪及び凍結により一般車両 (冬用タイヤ指導区間) にあっては、冬用タイヤ着用車の通行が困難であると判断されるとき 		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
245	<p>イ 兵庫県道路公社は、通行規制の実施に際しては、次の事項に留意するものとする。</p> <p>(7) 通行禁止の規制を実施する場合は、可変情報板等により、通行中の車両に対して通行禁止の表示を行うとともに、通行禁止区間内のランプ又は通行禁止区間外の本線又は一般道から通行禁止区間内に車両が流入しないように措置するとともに、迂回路の情報提供に努めることとする。</p> <p>(イ) 異常気象により通行禁止の規制を実施した場合は、通行禁止区間内の本線上にある車両又はサービスエリア等にある車両に対して、道路パトロール車及びラジオ等により、道路公社の指定するランプ等から速やかに流出させるなど、適切な措置を講じることとする。</p> <p>a 本線上にある車両は、左側路肩に停車し、公社若しくは警察の指示又はラジオによる公共機関の指示があるまで走行しないこと。</p> <p>b 車両の運転手は、やむを得ず車両を離れるときは、車のキーをそのままにしておくこと。</p> <p>c サービスエリア内等にある車両は、公社又は警察の指示があるまでは走行しないこと。</p> <p>(3) 災害対策基本法に基づく交通規制（発災時から4、5日ないし1週間程度）</p> <p>④ 警察官等の措置命令及び措置（災害対策基本法第76条の3）</p> <p>ア 警察官は、通行禁止区域等において、車両その他の物件が災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがあると認めるときは、当該車両その他の物件の占有者、所有者又は管理者に対して、車両その他の物件の移動その他必要な措置をとることを命じ、又は警察官自ら当該措置をとることができる。</p> <p>また、県警察本部は、日本自動車連盟の「災害等における放置自動車等の除去業務に関する覚書」に基づき、必要に応じて緊急通行車両等の通行の妨害となっている放置自動車等の排除活動について協力要請を行うこととする。</p>	251	<p>イ 兵庫県道路公社は、通行規制の実施に際しては、次の事項に留意するものとする。</p> <p>(7) 通行禁止の規制を実施する場合は、<u>道路情報板</u>等により、通行中の車両に対して通行禁止の表示を行うとともに、通行禁止区間内のランプ又は通行禁止区間外の本線又は一般道から通行禁止区間内に車両が流入しないように措置するとともに、迂回路の情報提供に努めることとする。</p> <p>(イ) 異常降雨により通行禁止の規制を実施した場合は、通行禁止区間内の本線上にある車両又はサービスエリア等にある車両に対して、道路パトロール車及びラジオ等により、道路公社の指定するランプ等から速やかに流出させるなど、適切な措置を講じることとする。</p> <p><u>(ウ) その他の場合</u></p> <p>a 本線上にある車両は、左側路肩に停車し、公社若しくは警察の指示又はラジオによる公共機関の指示があるまで走行しないこと。</p> <p>b 車両の運転手は、やむを得ず車両を離れるときは、車のキーをそのままにしておくこと。</p> <p>c サービスエリア内等にある車両は、公社又は警察の指示があるまでは走行しないこと。</p> <p>(3) 災害対策基本法に基づく交通規制（発災時から4、5日ないし1週間程度）</p> <p>④ 警察官等の措置命令及び措置（災害対策基本法第76条の3）</p> <p>ア 警察官は、通行禁止区域等において、車両その他の物件が災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがあると認めるときは、当該車両その他の物件の占有者、所有者又は管理者に対して、車両その他の物件の移動その他必要な措置をとることを命じ、又は警察官自ら当該措置をとることができる。</p> <p>また、<u>県警察本部は、日本自動車連盟及び兵庫県自動車修理業レッカー事業協同組合との覚書</u>に基づき、必要に応じて緊急通行車両等の通行の妨害となっている放置自動車等の排除活動について協力要請を行うこととする。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>
246	<p>ア 警察官は、通行禁止区域等において、車両その他の物件が災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがあると認めるときは、当該車両その他の物件の占有者、所有者又は管理者に対して、車両その他の物件の移動その他必要な措置をとることを命じ、又は警察官自ら当該措置をとることができる。</p> <p>また、県警察本部は、日本自動車連盟の「災害等における放置自動車等の除去業務に関する覚書」に基づき、必要に応じて緊急通行車両等の通行の妨害となっている放置自動車等の排除活動について協力要請を行うこととする。</p>	253	<p>ア 警察官は、通行禁止区域等において、車両その他の物件が災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがあると認めるときは、当該車両その他の物件の占有者、所有者又は管理者に対して、車両その他の物件の移動その他必要な措置をとることを命じ、又は警察官自ら当該措置をとることができる。</p> <p>また、<u>県警察本部は、日本自動車連盟及び兵庫県自動車修理業レッカー事業協同組合との覚書</u>に基づき、必要に応じて緊急通行車両等の通行の妨害となっている放置自動車等の排除活動について協力要請を行うこととする。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
248	<p>(8) 道路の応急復旧作業</p> <p>① 道路啓開の実施</p> <p>イ 道路管理者は、被災地への円滑な緊急物資等の輸送を確保するため、緊急輸送（交通）路の確保を最優先に応急復旧等を実施するとともに、被災地以外の物資輸送等を円滑に実施するため、広域輸送ルートを設定し、その確保にも努めることとする。</p>	254	<p>(8) 道路の応急復旧作業</p> <p>① 道路啓開の実施</p> <p>イ 道路管理者は、被災地への円滑な緊急物資等の輸送を確保するため、<u>緊急交通路</u>の確保を最優先に応急復旧等を実施するとともに、被災地以外の物資輸送等を円滑に実施するため、広域輸送ルートを設定し、その確保にも努めることとする。</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正
249	<p>② 応急復旧業務に係る建設業者等の運用</p> <p>道路管理者は、建設業界と連携・協力し、災害時に障害物等の除去、応急復旧等に必要な人員、機材等を確保することとする。また、県（県土整備部）は、兵庫県建設業協会との「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、必要により災害時に障害物等の除去、応急復旧等に必要な人員、機材等の支援要請を行うこととする。</p>	255	<p>② 応急復旧業務に係る<u>民間団体等</u>の運用</p> <p>道路管理者は、<u>民間団体等</u>と連携・協力し、災害時に障害物等の除去、応急復旧等に必要な人員、機材等を確保することとする。また、県は、兵庫県建設業協会との「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、<u>災害発生時には、必要に応じて</u>障害物等の除去、応急復旧等に必要な人員、機材等の支援要請を行うこととする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
	<p>第2款 緊急輸送対策の実施</p>		<p>第2款 緊急輸送対策の実施</p>	
251	<p>〔実施機関：神戸運輸監理部、海上保安本部、県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、県県土整備部土木局、県公安委員会、市町、(社)兵庫県トラック協会、その他防災関係機関〕</p>	257	<p>〔実施機関：神戸運輸監理部、海上保安本部、県企画県民部防災企画局、県企画県民部災害対策局、<u>県農政環境部農林水産局</u>、<u>県県土整備部土木局</u>、県公安委員会、市町、<u>(一社)兵庫県トラック協会</u>、その他防災関係機関〕</p>	県の組織改編に基づく修正 組織名変更による修正
	<p>第2 内容</p>		<p>第2 内容</p>	
	<p>1 緊急輸送に当たっての基本的事項等</p>		<p>1 緊急輸送に当たっての基本的事項等</p>	
	<p>(1) 実施機関</p>		<p>(1) 実施機関</p>	
	<p>② 県は、兵庫県トラック協会と締結した「災害時における輸送の協力に関する協定」に基づき、その協力を得て輸送手段の確保を図ることとする。</p>		<p>② 県は、兵庫県トラック協会と締結した「災害時における輸送の協力に関する協定」<u>及び兵庫県倉庫協会と締結した「災害時における救援物資の保管等に関する協定」</u>に基づき、その協力を得て輸送手段の確保を図ることとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
	<p>③ 県は、運送業者である指定公共機関又は指定地方公共機関に対し、運送すべき物資又は資材並びに運送すべき場所又は期日を示して運送を要請することとする。資機材の故障や安全の確保ができない等の正当な理由なく要請に応じないときは、運送を行うべきことを指示することとする。</p>		<p>③ 県は、運送業者である指定公共機関又は指定地方公共機関に対し、運送すべき物資又は資材並びに運送すべき場所又は期日を示して運送を要請することとする。資機材の故障や安全の確保ができない等の正当な理由なく要請に応じないときは、<u>被災者の保護の実施のために特に必要があるときに限り、</u>運送を行うべきことを指示することとする。</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
252	<p>(3) 輸送路等に関する状況の把握 県は、広域応援を実施する場合に備え、県警察本部、各道路管理者、JR等鉄道輸送に関する機関、海上保安本部、各港湾管理者、各漁港管理者、大阪空港事務所等の協力を得て、事前に設定している緊急輸送路等に関する状況の把握に努めることとする。</p>	258	<p>(3) 輸送路等に関する状況の把握 県は、広域応援を実施する場合に備え、県警察本部、各道路管理者、JR等鉄道輸送に関する機関、海上保安本部、各港湾管理者、各漁港管理者、大阪空港事務所等の協力を得て、事前に設定している緊急輸送道路等に関する状況の把握に努めることとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
255	<p>第3款 ヘリコプターの運航</p> <p>第2 内容</p> <p>(3) 県内市町からの支援要請手続</p> <p>③ 要請先 要請の連絡先は次のとおりとする。</p> <p>○昼間（9:00～17:30） 神戸市消防局警防部司令課 TEL (078) 331-0986 FAX (078) 331-0987 消防課指導係 TEL (078) 362-9823 FAX (078) 362-9915</p> <p>○夜間（17:30～翌朝9:00）・休日 災害対策局当直 TEL (078) 362-9900 FAX (078) 362-9911</p>	261	<p>第3款 ヘリコプターの運航</p> <p>第2 内容</p> <p>(3) 県内市町からの支援要請手続</p> <p>③ 要請先 要請の連絡先は次のとおりとする。</p> <p>○昼間（9:00～17:30） 神戸市消防局警防部司令課 TEL (078) 325-8519 FAX (078) 325-8529 消防課指導係 TEL (078) 362-9823 FAX (078) 362-9915</p> <p>○夜間（17:30～翌朝9:00）・休日 災害対策局当直 TEL (078) 362-9900 FAX (078) 362-9911</p>	現状にあわせた時点修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
256	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第4節 避難対策の実施</p> <p>〔実施機関：海上保安本部、自衛隊、県企画県民部県民文化局、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、県健康福祉部障害福祉局、県健康福祉部生活消費局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県県土整備部土木局、県教育委員会、市町、消防機関〕</p>	262	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第4節 避難対策の実施</p> <p>〔実施機関：海上保安本部、自衛隊、県企画県民部災害対策局、県健康福祉部社会福祉局、<u>県健康福祉部高齢社会局</u>、県健康福祉部障害福祉局、県健康福祉部こども局、県健康福祉部健康局、県県土整備部土木局、県教育委員会、市町、消防機関〕</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>
257	<p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(1) 避難の勧告・指示</p> <p>避難の勧告・指示の実施責任機関は次の通りとするが、知事は市町が全部又は大部分の事務を行うことができなくなったときは、市町長の実施すべき措置の全部又は一部を代行することとする。 (災害対策基本法第60条第5項～7項)</p> <p>2 避難の実施</p> <p>(2) 避難のための勧告及び指示</p> <p>ク 市町長は、避難勧告等の迅速・的確な判断をするため、洪水、土砂災害等の災害事象の特性、収集できる情報等を踏まえつつ、避難すべき区域や判断基準を事前に明確にしておくよう努めることとする。</p>	263	<p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(1) 避難の勧告・指示</p> <p>避難の勧告・指示の実施責任機関は次の通りとするが、知事は市町が全部又は大部分の事務を行うことができなくなったときは、市町長の実施すべき措置の全部又は一部を代行することとする。 (災害対策基本法第60条第6項～8項)</p> <p>2 避難の実施</p> <p>(2) 避難のための勧告及び指示</p> <p>ク 市町長は、避難勧告等の迅速・的確な判断をするため、洪水、土砂災害等の災害事象の特性、収集できる情報等を踏まえつつ、<u>避難すべき区域や判断基準や伝達方法を事前に明確にしておく</u>よう努めることとする。</p>	<p>法改正に伴う修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
259	<p>(4) 避難誘導</p> <p>② 市町は、あらかじめ名簿や避難支援計画、コミュニティファイル等により災害時要援護者の所在を把握しておくとともに、避難支援者、自主防災組織等、地域の協力を得て、避難誘導と確認に努めることとする。</p>	265	<p>(4) 避難誘導</p> <p>② 市町は、あらかじめ名簿や避難支援計画、コミュニティファイル等により災害時要援護者の所在を把握しておくとともに、避難支援者、自主防災組織等、地域の協力を得て、避難誘導と確認に努めることとする。</p> <p><u>また、市町は、避難時の周囲の状況等により、屋内に留まっていた方が安全な場合等やむを得ないときは、屋内での待避等の安全確保措置を講ずべきことにも留意することとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
259	<p>追加</p> 	266	<p>⑥ 地方公共団体は、避難時の周囲の状況等により避難のために立退きを行うことがかえって危険を伴う場合等やむを得ないときは、居住者等に対し、屋内での待避等の安全確保措置を指示することができることとする。</p> 	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>
260	<p>3 避難所の開設・運営等</p> <p>(4) 避難所の運営</p> <p>⑦ 市町は、災害時要援護者や子育て家庭に対して個々の状況に応じた十分な配慮を行うとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮することとする。</p> <p>(→「災害時要援護者支援対策の実施」の項を参照)</p> <p>〔女性のニーズ例〕</p> <p>女性専用の物干し場、更衣室や授乳場所の確保、生理用品や女性用下着の女性による配布、トイレや安全確保への配慮、女性が相談できる場づくり等</p>	267	<p>3 避難所の開設・運営等</p> <p>(4) 避難所の運営</p> <p>⑦ 市町は、災害時要援護者や子育て家庭に対して個々の状況に応じた十分な配慮を行うとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点に十分配慮することとする。</p> <p>(→「災害時要援護者支援対策の実施」の項を参照)</p> <p>〔女性のニーズ例〕</p> <p>女性専用の物干し場、更衣室や授乳場所の確保、生理用品や女性用下着の女性による配布、<u>巡回警備や防犯ブザーの配布</u>、トイレや安全確保への配慮、女性が相談できる場づくり等</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
	<p>(5) 保健・衛生対策</p> <p>① 救護班等の活動</p> <p>ウ 県は、震災によって生じる睡眠障害、急性ストレス反応、PTSD（心的外傷後ストレス障害）等に速やかに対処するため、必要により、精神科救護所を設置するとともに、避難所への訪問活動も行うこととする。</p> <p>(6) <u>広域避難（広域一時滞在）等</u> 次項で追加</p>	268	<p>(5) 保健・衛生対策</p> <p>① 救護班等の活動</p> <p>ウ 県は、被災によって生じる睡眠障害、急性ストレス反応、PTSD（心的外傷後ストレス障害）等に速やかに対処するため、必要により、<u>こころのケアチーム（DPAT）活動拠点本部</u>を設置するとともに、<u>救護所や避難所等</u>への訪問活動も行うこととする。</p> <p>(6) <u>避難所以外の場所に滞在する被災者についての配慮</u> 市町は、<u>やむを得ず避難所に滞在することができない被災者</u>に対しても、食料等、必要な物資の配布、保健師等による巡回健康相談の実施等保健医療サービスの提供、<u>正確な情報の伝達等により、生活環境の確保が図られるよう努めることとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	268	<p>4 広域避難（広域一時滞在）等</p> <p>(1) 県内における広域一時滞在</p> <p>① 被災市町</p> <p>被災市町は被災住民の生命・身体を保護し、又は居住の場所を確保するため、<u>県内他市町域における広域一時滞在の必要があると認めるときは、県に報告の上、具体的な被災状況、受け入れを希望する被災住民の数その他必要な事項を示して、県内他市町に被災住民の受入を協議することができる。</u></p> <p>被災市町は、<u>県に対し、広域一時滞在の協議先とすべき市町及び当該市町の受け入れ能力（施設数、施設概要等）その他広域一時滞在に関する事項について助言を求めることができる。</u></p> <p>② 協議先市町</p> <p>協議を受けた市町は、<u>被災住民を受け入れないことについて正当な理由がある場合を除き、被災住民を受け入れ、避難所を提供する。</u></p> <p>③ 県</p> <p>県は、被災市町から、<u>広域一時滞在の協議先とすべき市町及び当該市町の受け入れ能力（施設数、施設概要等）その他広域一時滞在に関する事項について助言を求められたときは、必要な助言を行うほか、必要な協力を行うよう努める。</u></p> <p>(2) 県外における広域一時滞在</p> <p>① 被災市町</p> <p>被災市町は被災住民の生命・身体を保護し、又は居住の場所を確保するため、<u>県と協議の上、他の都道府県域における広域一時滞在の必要があると認めるときは、県に対し、具体的な被災状況、受け入れを希望する被災住民の数その他必要な事項を示し、他の都道府県に被災住民の受入を協議するよう求めることができる。</u></p>	法改正に伴う修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	268	<p>② 県</p> <p>県は、他の都道府県域における広域一時滞在の必要があると認めるときは、<u>関西広域連合に対し、具体的な被災状況、受け入れを希望する被災住民の数その他必要な事項を示し、広域一時滞在の協議先とすべき都道府県の調整を求めることができる。</u></p> <p>県は、他の都道府県に被災住民の受け入れを協議しようとするときは、<u>内閣総理大臣に報告の上、具体的な被災状況、受け入れを希望する被災住民の数その他必要な事項を示して協議する。</u></p> <p>(3) <u>他の都道府県から協議を受けた場合</u></p> <p>① 県</p> <p>県は、他の都道府県から被災住民の受け入れの協議を受けたときは、<u>県内の被災状況を勘案の上、受け入れが可能と考えられる市町に協議する。</u></p>	法改正に伴う修正
		269	<p>② 市町</p> <p>市町は、県から(1)の協議を受けたときは、<u>被災住民を受け入れないことについて正当な理由がある場合を除き、被災住民を受け入れ、避難所を提供する。</u></p> <p>(4) <u>情報共有</u></p> <p><u>被災市町は、広域一時滞在を受け入れた市町の協力を得て、広域一時滞在を行っている被災住民の状況を把握するとともに、被災住民が必要とする情報を確実に伝達する体制を整備する。</u></p> <p><u>広域一時滞在を受け入れた市町は、被災市町とともに、受け入れた被災住民の状況の把握と、被災住民が必要とする情報を確実に伝達する体制の整備に努める。</u></p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
263	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第5節 住宅の確保</p> <p>第2 内容 2 応急仮設住宅の供与 (3) 応急仮設住宅の建設 ② 建設方法 ア 市町は、平時から、あらかじめ建設可能な土地を把握しておくこととする。</p> <p>ウ 県は、大規模災害を想定し、プレハブ建築協会と締結した「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」及び都市再生機構と締結した「災害時における協力に関する協定」に基づき対応する。</p>	270	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第5節 住宅の確保</p> <p>第2 内容 2 応急仮設住宅の供与 (3) 応急仮設住宅の建設 ② 建設方法 ア 市町は、平時から、あらかじめ建設可能な土地を把握しておくこととする。 <u>学校の敷地を応急仮設住宅の用地等として定める場合には、学校の教育活動に十分配慮することとする。</u></p> <p>ウ 県は、大規模災害を想定し、<u>プレハブ建築協会</u>と締結した「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」及び都市再生機構と締結した「災害時における協力に関する協定」に基づき対応する。</p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正 所管課からの修正意見に基づく修正</p>
264	<p>3 空家住宅の確保 (1) 対象 県営住宅のほか、県内各市町、全国の都道府県、住宅供給公社、住宅・都市整備公団、雇用促進事業団等の所有する空家</p>	271	<p>3 空家住宅の確保 (1) 対象 県営住宅のほか、県内各市町、全国の都道府県、住宅供給公社、<u>(独)都市再生機構</u>、<u>(独)雇用・能力開発機構</u>等の所有する空家</p>	<p>現状にあわせた時点修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
267	<p>第3編 災害応急対策計画</p> <p>第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第6節 食料・飲料水および物資の供給</p> <p>第1款 食料の供給</p> <p>第2 内容</p> <p>7 輸送</p> <p>(3) 県は、広域防災拠点等から各市町の拠点等への搬送を、トラック協会等に依頼することとし、あらかじめ投入可能台数を把握することとする。</p>	274	<p>第3編 災害応急対策計画</p> <p>第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第6節 食料・飲料水および物資の供給</p> <p>第1款 食料の供給</p> <p>第2 内容</p> <p>7 輸送</p> <p>(3) 県は、広域防災拠点等から各市町の拠点等への搬送を、<u>兵庫県トラック協会</u>等に依頼することとし、あらかじめ投入可能台数を把握することとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
269	<p>第2款 応急給水の実施</p> <p>[実施機関：県企業庁、市町、水道事業者]</p> <p>第2 内容</p> <p>3 水源及び給水量</p> <p>(2) 給水量</p> <p>市町（水道事業者）は、災害発生から3日以内は、1人1日3・、10日目までには3～20％、20日目までには20～100％を供給することを目標とし、それ以降は、できる限り速やかに被災前の水準にまで回復させることとする。</p>	276	<p>第2款 応急給水の実施</p> <p>[実施機関：県企業庁、<u>県企画県民部災害対策局</u>、市町、水道事業者]</p> <p>第2 内容</p> <p>3 水源及び給水量</p> <p>(2) 給水量</p> <p>市町（水道事業者）は、災害発生から3日以内は、1人1日3％、10日目までには3～20％、20日目までには20～100％を供給することを目標とし、それ以降は、できる限り速やかに被災前の水準にまで回復させることとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>脱字</p>
271	<p>第3款 物資の供給</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(4) 県民は、自ら3日分の生活必需品を備蓄し、災害発生時に活用することとする。</p>	278	<p>第3款 物資の供給</p> <p>第2 内容</p> <p>1 実施機関</p> <p>(4) 県民は、自ら最低でも3日間、<u>可能な限り1週間分程度</u>の生活必需品を備蓄し、災害発生時に活用することとする。</p>	南海トラフ地震防災対策推進基本計画にあわせた修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
271	<p>3 品目（詳細は資料編に掲載）</p> <p>(1) 生活必需品 寝具、外衣、肌着、身の回り品、炊事道具、食器、日用品、光熱材料</p> <p>※ 毛布、下着、作業着、タオル、トイレットペーパー、哺乳瓶、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ、ポリタンク、懐中電灯、乾電池、卓上コンロ・ボンベなど、必要性の高い品目には、特に配慮する。</p> <p>(2) 応急復旧用物資 シート、テント、鋼材、セメントほか</p>	278	<p>3 品目（詳細は資料編に掲載）</p> <p>(1) 生活必需品 寝具、外衣、肌着、身の回り品、炊事道具、食器、日用品、光熱材料</p> <p>※ 毛布、下着、作業着、タオル、トイレットペーパー、哺乳瓶、生理用品、紙おむつ、大人用おむつ、ポリタンク、懐中電灯、乾電池、卓上コンロ・ボンベ、<u>小型エンジン発電機</u>、<u>ティッシュペーパー</u>、<u>仮設トイレ</u>など、必要性の高い品目には、特に配慮する。</p> <p>(2) 応急復旧用物資 シート、テント、鋼材、セメント、<u>土のう袋</u>ほか</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
273	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第7節 保健衛生、感染症対策、遺体の火葬等の実施</p> <p>第1款 精神医療の実施</p> <p>第2 内容 追加</p> <p>1 精神科救護所の設置</p> <p>(1) 県及び神戸市は、災害時に既存の医療機関だけで対応できない場合、精神科救護所を設置し、被災精神障害者の継続的医療の確保、避難所等での精神疾患の急発・急変への救急対応、避難所巡回相談等を行うこととする。(医療機関や団体への依頼、医薬品の調達を含む)</p> <p>(2) 県(健康福祉事務所)は、精神科救護所の管理運営を行うこととする。</p> <p>(3) 県(精神保健福祉センター)は、精神科救護所を中心とした精神保健活動の調整を行うこととする。</p>	280	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第7節 保健衛生、感染症対策、遺体の火葬等の実施</p> <p>第1款 精神医療の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 <u>兵庫県こころのケアチーム「ひょうごDPAT」の派遣</u></p> <p>(1) <u>県及び神戸市は、災害時に既存の医療機関だけで対応できない場合、健康福祉事務所の要請に応じ、精神科医師、精神科看護師、精神保健福祉士、臨床心理士等で構成された「ひょうごDPAT」を派遣する(被災により健康福祉事務所が機能しない場合は、派遣の要否を本庁が判断する)。</u></p> <p>2 <u>こころのケアチーム(DPAT)活動拠点本部の設置</u></p> <p>(1) 県及び神戸市は、災害時に既存の医療機関だけで対応できない場合、<u>こころのケアチーム(DPAT)活動拠点本部</u>を設置し、被災精神障害者の継続的医療の確保、避難所等での精神疾患の急発・急変への救急対応、避難所巡回相談等を行うこととする(医療機関や団体への依頼、医薬品の調達を含む)。</p> <p>(2) 県(健康福祉事務所)は、<u>こころのケアチーム(DPAT)活動拠点本部</u>の管理運営を行うこととする。</p> <p>(3) 県(精神保健福祉センター)は、<u>こころのケアチーム(DPAT)活動拠点本部</u>を中心とした精神保健活動の調整と技術支援を行うこととする。</p> <p>(4) 県は、必要に応じて、厚生労働省及び他の都道府県に対して、<u>災害時のこころのケアの専門職からなるこころのケアチーム(DPAT)の編成及び協力を求めることとする。</u></p>	<p>新制度創設に伴う追加</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
273	2 精神科夜間診療体制の確保	280	3 精神科夜間診療体制の確保	項目追加による修正
	3 対応可能精神科医療機関の情報収集、受け入れ協力の要請		4 対応可能精神科医療機関の情報収集、受け入れ協力の要請	
	4 こころのケアに対する相談・普及啓発活動		5 こころのケアに対する相談・普及啓発活動	
	5 こころのケアに関する拠点の設置		削除	
274	6 こころのケア連絡会議の開催		6 こころのケア連絡会議の開催	
	7 児童、生徒のこころのケア		7 児童、生徒のこころのケア	
	第2款 健康対策の実施		第2款 健康対策の実施	
	第2 内容		第2 内容	
	1 巡回健康相談の実施		1 巡回健康相談の実施	
	(1) 県、市町及び県看護協会は、避難所や被災家庭の生活環境の整備や被災者の健康管理を行うため、相互に連携し、保健師、看護師等による巡回健康相談及び家庭訪問を行うこととする。		(1) 県、市町及び県看護協会は、避難所や被災家庭の生活環境の整備や被災者の健康管理を行うため、相互に連携し、保健師、看護師等による巡回健康相談及び家庭訪問を行う。	
275	(2) 県、市町及び県看護協会は、仮設住宅入居者が生活環境の変化に適應し、健康で自立した生活ができるよう訪問指導、グループワーク、健康相談、健康教育等を実施するとともに、コミュニティや見守り体制づくりを推進することとする。	281	(2) 県及び市町は、 <u>互いに連携し巡回健康相談や家庭訪問の実施により</u> 高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児等災害時要援護者をはじめ、被災者の健康状況の把握に努め、支援が必要な者については、医療機関（医療救護班）やこころのケアチーム等、 <u>保健・医療・福祉等関係機関と</u> 連携して支援を行う。	所管課からの修正意見に基づく修正
	(3) 県は、保健・医療・福祉等のサービスの提供について市町に助言を行うとともに、保健・医療・福祉関係者、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を図るためのコーディネートを行うこととする。		(3) 県及び市町は、巡回健康相談や家庭訪問・健康教育により、衛生管理や危険防止を行い、良好な生活環境を確保し、生活習慣病の悪化・増加の防止、感染症や食中毒、高齢者の生活不活発病等の予防に努めることとする。	
	(4) 県及び市町は、巡回健康相談や家庭訪問の実施にあたり、連携して高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児等災害時要援護者をはじめ、被災者の健康状況の把握に努め、支援が必要な者については、医療機関（医療救護班）やこころのケアチーム等と連携して支援を行う。		(4) 県及び市町はサービス提供に向け保健・医療・福祉関係者、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を図るためのコーディネートを行うこととする。	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
275	<p>(5) 県及び市町は、巡回健康相談や家庭訪問・健康教育により、衛生管理や危険防止を行い、良好な生活環境を確保し、生活習慣病の悪化・増加の防止、感染症や食中毒、高齢者の生活不活発発病等の予防に努めることとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 巡回健康相談の実施等</p> <p>(2) 巡回栄養相談の実施</p> <p>(3) その他必要な事項</p> <p>第4款 感染症対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>2 災害時感染症対策活動</p> <p>(1) 県及び保健所設置市の活動</p> <p>④ 患者等に関する措置</p>	281	<p>(5) 県、市町及び県看護協会は、仮設住宅入居者が生活環境の変化に適応し、健康で自立した生活ができるよう、訪問指導、グループワーク、健康相談、健康教育等を実施するとともに、コミュニティや見守り体制づくりを推進することとする。</p> <p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 巡回健康相談、<u>家庭訪問の実施等</u></p> <p>(2) <u>保健・医療・福祉サービス提供のための調整</u></p> <p>(3) <u>避難生活等による二次的な健康障害の予防</u></p> <p>(4) 巡回栄養相談の実施</p> <p>(5) その他必要な事項</p> <p>第4款 感染症対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>2 災害時感染症対策活動</p> <p>(1) 県及び保健所設置市の活動</p> <p>④ 患者等に関する措置</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
278	<p>県及び保健所設置市は、被災地において、1類感染症及び2類感染症、又は1類感染症の無症状病原体保有者が発生したときは、速やかに第1種感染症指定医療機関又は第2種感染症指定医療機関に入院の勧告又は措置をとることとし、感染症指定医療機関が災害により使用できない場合は、近隣の感染症指定医療機関又はその他適当と認められる医療機関に入院の勧告又は措置をとることとする。</p> <p>(2) 保健所設置市以外の市町の対策</p> <p>③ 消毒方法</p> <p>市町（保健所設置市を除く）は、…略</p> <p>また、平成11年3月30日付健医感発第44号「伝染病予防法の廃止に伴う個別の感染症等に係る対策通知の取扱いについて」も参考とすることとする。</p>	284	<p>県及び保健所設置市は、被災地において、1類感染症、2類感染症及び<u>新型インフルエンザ等感染症</u>の患者、並びに1類感染症及び<u>新型インフルエンザ等感染症</u>の無症状病原体保有者が発生したときは、速やかに第1種感染症指定医療機関又は第2種感染症指定医療機関に入院の勧告又は措置をとることとし、感染症指定医療機関が災害により使用できない場合は、近隣の感染症指定医療機関又はその他適当と認められる医療機関に入院の勧告又は措置をとることとする。</p> <p>(2) 保健所設置市以外の市町の対策</p> <p>③ 消毒方法</p> <p>市町（保健所設置市を除く）は、…略</p> <p>また、<u>災害防疫実施要綱（昭和40年5月10日衛発第302号厚生省公衆衛生局長通知）</u>も参考とすることとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
280	<p>第5款 遺体の火葬等の実施</p> <p>〔実施機関：県健康福祉部生活消費局、警察署、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>2 実施方法</p> <p>(2) 管轄の警察署は、警察官が死体を発見し、又はこれがある届出を受けたときは、死体見分その他の所要の処置を行った後、関係者（遺族又は市町長）に引き渡すこととする。なお、発見された遺体については、警察署と市町が協力して身元確認作業を行う。</p> <p>3 大規模災害発生時の県、市町等の連携</p> <p>(3) 遺体の保存</p> <p>県は、民間業者等の協力を得て、ドライアイス及びびひつぎ等を確保し、市町からの要請があればあつせんすることとする。</p>	286	<p>第5款 遺体の火葬等の実施</p> <p>〔実施機関：<u>県健康福祉部健康局</u>、警察署、市町〕</p> <p>第2 内容</p> <p>2 実施方法</p> <p>(2) 管轄の警察署は、警察官が死体を発見し、又はこれがある届出を受けたときは、<u>検視</u>その他の所要の処置を行った後、関係者（遺族又は市町長）に引き渡すこととする。なお、発見された遺体については、警察署と市町が協力して身元確認作業を行う。</p> <p>3 大規模災害発生時の県、市町等の連携</p> <p>(3) 遺体の保存</p> <p>県は、<u>市町からの要請があつた場合は</u>、民間業者等の協力を得て、ドライアイス及びびひつぎ等を確保し、あつせんすることとする。</p>	<p>県の組織改編の基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
284	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第8節 生活救援対策の実施</p> <p>第2 内容 7 税の特例措置 県等は、被災状況を勘案のうえ、必要により税の申告・申請・納付等の期限延長や課税の減免措置を講ずることとする。</p>	290	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第8節 生活救援対策の実施</p> <p>第2 内容 7 税の特例措置 県等は、被災状況を勘案のうえ、必要により税の申告・申請・納付等の期限延長や納税の猶予、<u>軽減措置</u>、課税の減免措置を講ずることとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

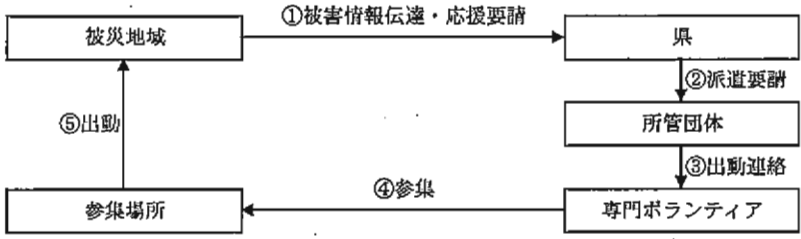
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
285	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第9節 災害時要援護者支援対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 安否確認・救助・避難誘導</p> <p>市町は、非難行動要支援者名簿等に基づき、地域の避難支援組織、福祉サービス事業者や支援団体を通じて災害時要援護者の安否確認を行い、救助、避難誘導を迅速・的確に行うこととする。</p> <p>4 生活支援</p> <p>(3) 専門家による支援</p> <p>市町は、医師、看護師、保健師、臨床心理士、理学療法士、ホームヘルパー等の専門家による支援チームを設置するなどして必要な支援を迅速に提供し、必要に応じて医療機関等へ適切につないでいく仕組みを構築することとする。</p> <p>県は、市町の要請があるとき、または必要と認めるときは、保健師等の専門人材、こころのケアチームの派遣等の応援を行う。</p>	291	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第9節 災害時要援護者支援対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>3 安否確認・救助・避難誘導</p> <p>市町は、<u>避難行動要支援者本人の同意の有無に関わらず、避難行動要支援者名簿を効果的に利用し</u>、地域の避難支援組織、福祉サービス事業者や支援団体を通じて災害時要援護者の安否確認を行い、救助、避難誘導を迅速・的確に行うこととする。</p> <p>4 生活支援</p> <p>(3) 専門家による支援</p> <p>市町は、医師、看護師、保健師、臨床心理士、理学療法士、ホームヘルパー等の専門家による支援チームを設置するなどして必要な支援を迅速に提供し、必要に応じて医療機関等へ適切につないでいく仕組みを構築することとする。</p> <p>県は、市町の要請があるとき、または必要と認めるときは、保健師等の専門人材、<u>兵庫県こころのケアチーム（ひょうごDPAT）</u>の派遣等の応援を行う。</p>	法改正に伴う修正
286	<p>(5) 避難所等における配慮</p> <p>④ 快適な空間の確保</p> <p>要介護高齢者や妊産婦が静養しやすいよう、専門スペースの確保に努めることとする。</p>	292	<p>(5) 避難所等における配慮</p> <p>④ 快適な空間の確保</p> <p>要介護高齢者や妊産婦、<u>障害者等</u>が静養しやすいよう、専門スペースの確保に努めることとする。</p>	所管課からの修正意見に基づく修正
287	<p>10 市町地域防災計画で定めるべき事項 追加</p> <p>(4) 生活・すまい支援方法</p> <p>(5) 外国人県民等の被災情報の把握</p> <p>(6) 外国人県民等への情報提供</p> <p>(7) その他必要な事項</p>	293	<p>10 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(4) 健康状態の把握とサービスの提供</p> <p>(5) 生活・すまい支援方法</p> <p>(6) 外国人県民等の被災情報の把握</p> <p>(7) 外国人県民等への情報提供</p> <p>(8) その他必要な事項</p>	所管課からの修正意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
288	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第10節 愛玩動物の収容対策の実施</p> <p>〔実施機関：県健康福祉部生活消費局、市町、県獣医師会、神戸市獣医師会〕</p> <p>第1 趣旨 災害で被災放置された愛玩動物の収容対策について定める。</p> <p>2 内容 1 実施機関 獣医師会及び動物愛護団体は、「災害時における動物救護活動に関する協定」に基づき、連携・協力して動物救援本部を設置し、県等の指導・助言のもと愛玩動物の収容対策を実施することとする。</p> <p>2 実施方法 (3) 市町は、動物救援本部に対し、避難所における愛玩動物の状況等、必要に応じ、情報を提供することとする。</p>	294	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第10節 愛玩動物の収容対策の実施</p> <p>〔実施機関：県健康福祉部健康局、市町、県獣医師会、神戸市獣医師会〕</p> <p>第1 趣旨 災害で被災放置された愛玩動物の収容対策等について定める。</p> <p>第2 内容 1. 実施機関 獣医師会及び動物愛護団体は、「災害時における動物救護活動に関する協定」に基づき、連携・協力して動物救援本部を設置し、県等の指導・助言のもと愛玩動物の収容対策等を実施することとする。</p> <p>2 実施方法 (3) 市町は、<u>同行避難した愛玩動物の避難所における飼養管理が適切に行われるよう必要な措置を講じるとともに、動物救援本部に対し、必要に応じ、その状況等を情報提供することとする。</u></p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
290	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第11節 災害情報等の提供と相談活動の実施</p> <p>第1款 災害広報の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 基本方針</p> <p>(2) 広報の方法</p> <p>追加</p> <p>2 県における広報</p> <p>(3) 広報の実施</p> <p>② 住民に対する広報</p> <p>ウ 県は、県民や被災者に対し携帯電話を利用した災害緊急情報等の発信システム「ひょうご防災ネット」により、災害情報の提供を図ることとする。</p>	296	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第11節 災害情報等の提供と相談活動の実施</p> <p>第1款 災害広報の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 基本方針</p> <p>(2) 広報の方法</p> <p>⑮ <u>公共情報共有システム（Lアラート）の活用</u></p> <p>2 県における広報</p> <p>(3) 広報の実施</p> <p>② 住民に対する広報</p> <p>ウ 県は、県民や被災者に対し携帯電話のメール機能等を利用した災害緊急情報等の発信システム「ひょうご防災ネット」により、災害情報の提供を図ることとする。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>
292	<p>第2款 各種相談の実施</p> <p>[実施機関：県企画県民部、県企画県民部災害対策局、市町]</p>	298	<p>第2款 各種相談の実施</p> <p>[<u>実施機関：県企画県民部</u>、県企画県民部災害対策局、市町]</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
303	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第13節 環境対策の実施</p> <p>第2 内容 2 応急対策 (4) 建築物の解体撤去工事等に対する措置 県は、市町と協力して、被災により損壊した建築物の解体撤去工事において生じる、粉じんや石綿の飛散を防止するため、建築物の損壊状況の実態調査を行うとともに、当該建築物等の所有者及び解体工事事業者等に対し、粉じんや石綿の飛散防止等環境保全対策を実施するよう指導することとする。</p>	309	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第13節 環境対策の実施</p> <p>第2 内容 2 応急対策 (4) 建築物の解体撤去工事等に対する措置 県は、市町と協力して、被災により損壊した建築物の解体撤去工事において生じる、粉じんや石綿の飛散を防止するため、建築物の損壊状況実態調査の情報をもとに、当該建築物等の所有者及び解体工事事業者等に対し、粉じんや石綿の飛散防止等環境保全対策を実施するよう指導することとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修正 案	対 応
	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第14節 災害ボランティアの派遣、受入れ</p> <p>304 [実施機関：県企画県民部県民文化局、県企画県民部防災企画局、市町]</p> <p>第2 内容 1 災害ボランティアの受入れ (1) 災害ボランティアの受入体制 ② 県は、県災害対策本部でボランティア活動支援に係る総合調整を行うとともに、県民局（地方本部）にも担当を設けることとする。また市町においても、市町災害対策本部に担当班等を設けることとする。</p>	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第14節 災害ボランティアの派遣、受入れ</p> <p>310 [実施機関：県企画県民部、県企画県民部防災企画局、市町]</p> <p>第2 内容 1 災害ボランティアの受入れ (1) 災害ボランティアの受入体制 ② 県は、県災害対策本部でボランティア活動支援に係る総合調整を行うとともに、県民局・県民センター（地方本部）にも担当を設けることとする。また市町においても、市町災害対策本部に担当班等を設けることとする。</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p> <p>県の組織改編に基づく修正</p>	
305	<p>○ 災害ボランティア活動支援の基本スキーム</p> <p>ボランティア募集、募金の要請 記者発表 ホームページ等県広報媒体</p> <p>県災害対策本部</p> <p>県民局</p> <p>【調整・指示】 ・ボランティア必要性判断 ・災害ボランティアセンターの運営協力依頼 ・被害状況等の情報提供</p> <p>【立ち上げ・運営支援】 ・応援職員派遣 ・資機材の供給調整 ・ボランティアバス運行 等</p> <p>ひょうごボランティアプラザ (県社協) 協力 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議</p> <p>県内社協の被害情報収集 ・他府県社協等との連携 ・ボランティア基金の運用 ・ボランティアのニーズ把握 等</p> <p>先遣隊派遣 ・スポンサー派遣 ・支援隊派遣</p> <p>資金調達 (募金、協賛基金補助金、ボランティア基金等)</p> <p>一般ボランティアの募集要請</p> <p>市町 <平時> ・市町社協等関係団体との連携 <災害時> ・災害対策本部にボランティア班を設置 ・災害ボランティアセンターの開設判断</p> <p>施設提供 ・電話設備等の便宜 ・資機材貸与 ・職員派遣</p> <p>現場</p>	<p>○ 災害ボランティア活動支援の基本スキーム</p> <p>ボランティア募集、募金の要請 記者発表 ホームページ等県広報媒体</p> <p>県災害対策本部</p> <p>県民局・県民センター</p> <p>【調整・指示】 ・ボランティア必要性判断 ・災害ボランティアセンターの運営協力依頼 ・被害状況等の情報提供</p> <p>【立ち上げ・運営支援】 ・応援職員派遣 ・資機材の供給調整 ・ボランティアバス運行 等</p> <p>ひょうごボランティアプラザ (県社協) 協力 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議</p> <p>県内社協の被害情報収集 ・他府県社協等との連携 ・ボランティア基金の運用 ・ボランティアのニーズ把握 等</p> <p>先遣隊派遣 ・スポンサー派遣 ・支援隊派遣</p> <p>資金調達 (募金、協賛基金補助金、ボランティア基金等)</p> <p>一般ボランティアの募集要請</p> <p>市町 <平時> ・市町社協等関係団体との連携 <災害時> ・災害対策本部にボランティア班を設置 ・災害ボランティアセンターの開設判断</p> <p>施設提供 ・電話設備等の便宜 ・資機材貸与 ・職員派遣</p> <p>現場</p>	<p>県の組織改編に基づく修正</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
306	<p>2 災害救援専門ボランティアの派遣 <u>県は、県内外で大規模災害等が発生し、必要があると認めるときは、被災地域での救援活動に当たるため、所管団体の協力を得て、災害救援専門ボランティア（ひょうご・フェニックス救援隊－「HEART－PHOENIX」）を派遣することとする。</u> <u>なお、県はボランティアの派遣に先立ち、あらかじめ災害特約を付加したボランティア災害保険に加入しておくこととする。</u></p> <p>(1) 災害救援専門ボランティアの活動分野</p> <p>① 救急・救助 ② 医療（医師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、薬剤師、理学療法士、作業療法士） ③ 介護 ④ 建物判定 ⑤ 手話通訳 ⑥ 情報・通信 ⑦ ボランティアのコーディネート ⑧ 輸送</p> <p>(2) 派遣の手順</p> 		<p>削除</p>	<p>事業廃止に伴う削除</p>
	<p>3 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 災害ボランティアの受入体制 (2) 災害ボランティアの受入・紹介窓口の開設 <u>(3) 県災害救援専門ボランティアの活用</u> (4) その他必要な事項</p>	311	<p>2 市町地域防災計画で定めるべき事項</p> <p>(1) 災害ボランティアの受入体制 (2) 災害ボランティアの受入・紹介窓口の開設 削除 <u>(3) その他必要な事項</u></p>	<p>事業廃止に伴う削除</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
307	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第15節 海外からの支援の受入れ</p> <p>〔実施機関：県産業労働部国際局、県警察本部、消防機関〕</p> <p>第1 趣旨 災害時に海外から救援物資の提供や救援隊派遣などの支援の申し出があった場合の受入れについて定める。</p> <p>第2 内容 2 支援の受入れ (1) 受入れの準備 県は、海外からの支援の受入れが予想される場合、あらかじめ次のことを行うこととする。 ① 外務省、県海外事務所等への被災状況の概要及び想定されるニーズの連絡 ② 外務省、県海外事務所等からのニーズの照会への対応</p>	312	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第15節 海外からの支援の受入れ</p> <p>〔実施機関：<u>県企画県民部災害対策局</u>、県産業労働部国際局、県警察本部、消防機関〕</p> <p>第1 趣旨 <u>災害時の海外からの救援物資の提供や救援隊派遣などの支援（在日米軍からの支援を含む。以下同じ）</u>の受入れについて定める。</p> <p>第2 内容 2 支援の受入れ (1) 受入れの準備 県は、海外からの支援の受入れが予想される場合、あらかじめ次のことを行うこととする。 ① <u>国</u>、県海外事務所等への被災状況の概要及び想定されるニーズの連絡 ② <u>国</u>、県海外事務所等からのニーズの照会への対応</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
309	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開 第16節 鉄道施設における応急対策の実施 [実施機関：県企画県民部災害対策局、西日本旅客鉄道(株)、神戸市交通局、山陽電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、神戸電鉄(株)、神戸高速鉄道(株)、六甲摩耶鉄道(株)、神戸市都市整備公社]</p>	314	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開 第16節 鉄道施設における応急対策の実施 [実施機関：県企画県民部災害対策局、西日本旅客鉄道(株)、神戸市交通局、山陽電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、神戸電鉄(株)、神戸高速鉄道(株)、<u>六甲山観光(株)、(一社)神戸市すまいまちづくり公社</u>]</p>	組織名変更による修正
311	<p>第2 内容 4 阪急電鉄(株)の応急対策 (2) 発災時の初動態勢 ① 運行規制 イ 水害 ・ まくら木上面まで冠水した時は、毎時 30 km以下で運転することとする。</p>	316	<p>第2 内容 4 阪急電鉄(株)の応急対策 (2) 発災時の初動態勢 ① 運行規制 イ 水害 ・ まくら木上面まで冠水した時は、<u>毎時 25 km以下</u>で運転することとする。</p>	関係機関からの修正意見に基づく修正
314	9 六甲摩耶鉄道(株)の応急対策	319	9 <u>六甲山観光(株)</u> の応急対策	組織名変更による修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
316	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第17節 ライフラインの応急対策の実施</p> <p>第1款 電力の確保</p> <p>第2 内容 1 県の応急対策 (3) 優先復旧等 追加</p>	321	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第17節 ライフラインの応急対策の実施</p> <p>第1款 電力の確保</p> <p>第2 内容 1 県の応急対策 (3) 優先復旧等 <u>④ 情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</u></p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>
318	<p>第2款 ガスの確保</p> <p>[実施機関：県企画県民部災害対策局、大阪ガス㈱、(一社)兵庫県エルピーガス協会]</p> <p>第2 内容 1 県の応急対策 (1) 被害状況等の情報収集 大阪ガス㈱及び(一社)兵庫県エルピーガス協会のほか、市町、県警察本部、消防本部等防災関係機関と連携し、被害状況等の情報収集に努めることとする。 (3) 優先復旧等 ① 応急対策上の必要性や被害状況等を勘案して、特に必要があると認める施設については、大阪ガス㈱又は(一社)兵庫県エルピーガス協会に対し、当該施設等を優先的に復旧するよう要請することとする。 ② 大阪ガス㈱又は(一社)兵庫県エルピーガス協会から復旧用資機材置場の確保等の応援を求められたときは、応急対策に支障のない範囲で支援を行うこととする。</p>	323	<p>第2款 ガスの確保</p> <p>[実施機関：県企画県民部災害対策局、大阪ガス㈱、(一社)兵庫県LPガス協会]</p> <p>第2 内容 1 県の応急対策 (1) 被害状況等の情報収集 大阪ガス㈱及び(一社)兵庫県LPガス協会のほか、市町、県警察本部、消防本部等防災関係機関と連携し、被害状況等の情報収集に努めることとする。 (3) 優先復旧等 ① 応急対策上の必要性や被害状況等を勘案して、特に必要があると認める施設については、大阪ガス㈱又は(一社)兵庫県LPガス協会に対し、当該施設等を優先的に復旧するよう要請することとする。 ② 大阪ガス㈱又は(一社)兵庫県LPガス協会から復旧用資機材置場の確保等の応援を求められたときは、応急対策に支障のない範囲で支援を行うこととする。</p>	<p>組織名変更による修 正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	追加	323	④ <u>情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</u>	国防災基本計画にあわせた修正
319	<p>3 (一社)兵庫県エルピーガス協会の応急対策</p> <p>(1) 地震発生直後の対応</p> <p>① 災害対策本部の設置</p> <p>災害の発生により、兵庫県内の行政機関(県・市・町)に災害対策基本法第23条の規定による災害対策本部が設置され、協会の会長が必要と認めた時は、直ちに(一社)兵庫県エルピーガス協会内に、兵庫県エルピーガス災害対策本部を設置し、関係機関、関係団体等と連携して被害を最小限にとどめる措置を講じることとする。</p> <p>② 情報の収集伝達</p> <p>防災組織を通じ、各地区から被害情報の収集に努めるとともに、防災関係機関に対し、迅速かつ的確に必要な情報を伝達することとする。</p> <p>追加</p> <p>③ 応急対策の実施</p> <p>ア 緊急措置の周知</p> <p>(株)ラジオ関西との「災害時におけるLPガスの二次災害を防止するための放送協定」に基づき、エルピーガスの容器バルブの閉止等を周知する内容を、(株)ラジオ関西が自動的に反復して放送することにより周知を図ることとする。</p> <p>また、災害地区の市町、自治体等に依頼し、災害地区の市町、自治会等に依頼し、広報車・有線放送等を利用して、消費者自らが直ちに容器のバルブを閉めるよう住民に周知するとともにエルピーガス販売事業者は状況の把握に努め、二次災害の防止措置を講じることとする。</p>	324	<p>3 (一社)兵庫県LPガス協会の応急対策</p> <p>(1) 地震発生直後の対応</p> <p>① 災害対策本部の設置</p> <p>災害の発生により、兵庫県内の行政機関(県・市・町)に災害対策基本法第23条の規定による災害対策本部が設置され、協会の会長が必要と認めた時は、直ちに(一社)兵庫県LPガス協会内に、兵庫県LPガス災害対策本部を設置し、関係機関、関係団体等と連携して被害を最小限にとどめる措置を講じることとする。</p> <p>② 情報の収集伝達</p> <p>防災組織を通じ、各地区から被害情報の収集に努めるとともに、防災関係機関に対し、迅速かつ的確に必要な情報を伝達することとする。</p> <p><u>ア 被害状況として、製造設備、貯蔵設備及び人的被害等</u></p> <p><u>イ 支援可能状況として、保安員の確保、入出荷及び周辺の道路状況等並びに在庫量</u></p> <p>(2) 応急対策の実施</p> <p>① 緊急措置の周知</p> <p>(株)ラジオ関西との「災害時におけるLPガスの二次災害を防止するための放送協定」に基づき、LPガスの容器バルブの閉止等を周知する内容を、(株)ラジオ関西が自動的に反復して放送することにより周知を図ることとする。</p> <p>また、災害地区の市町、自治体等に依頼し、広報車・有線放送等を利用して、消費者自らが直ちに容器のバルブを閉めるよう住民に周知するとともにLPガス販売事業者は状況の把握に努め、二次災害の防止措置を講じることとする。</p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
320	<p>イ ローラー作戦の展開 エルピーガス消費家庭等が地震のため広範囲にわたり被害を受け、エルピーガス容器並びにガス供給管等に損傷があった場合、又は点検調査が必要となった箇所に対する対応については、各防災事業所がキーステーションとなり、応急対策を実施することとする。</p> <p>ウ 危険個所からの容器の撤収</p> <p>エ 高齢者等弱者対策 エルピーガス販売事業者は、あらかじめ保安台帳等により、高齢者・身体障害者等の家庭をチェックし、災害時には最優先で点検調査、安全対策等を実施することとする。</p> <p>オ エルピーガスの供給 都市ガスが停止した場合には、要請により、病院、避難所等を優先に、エルピーガスの供給を行うこととする。</p> <p>カ 電話相談窓口の開設 災害対策本部及びキーステーションにエルピーガス電話相談窓口を開設し、都市ガス事業者とも連絡をとりながら県民の要望に対応することとする。</p> <p>キ 不要容器の回収 不要となったエルピーガス容器については、市町の廃棄物担当セクションと連携を取りながら、迅速に回収することとする。また、災害時に使用する容器には、不要になった時の返却・連絡先を明記した荷札を取り付けるなど、返却を周知することとする。</p> <p>ク 要員の確保</p>	325	<p>② ローラー作戦の展開 <u>LPガス消費家庭等が地震のため広範囲にわたり被害を受け、LPガス容器並びにガス供給管等に損傷があった場合、又は点検調査が必要となった箇所に対する対応については、各防災事業所がキーステーションとなり、応急対策を実施することとする。</u></p> <p>③ 危険個所からの容器の撤収</p> <p>④ 高齢者等弱者対策 LPガス販売事業者は、あらかじめ保安台帳等により、高齢者・身体障害者等の家庭をチェックし、災害時には最優先で点検調査、安全対策等を実施することとする。</p> <p>③ 復旧対応 ① <u>LPガスの供給</u> ア <u>都市ガスが停止した場合には、災害支援協定により各自治体からの要請に応え、病院、避難所等を優先にLPガスの供給を行う。</u> イ <u>一般充てん所の被害状況により、中核充てん所において設備の共同利用を始めるとともに、LPガスの国家備蓄の放出に備える。</u></p> <p>② 電話相談窓口の開設 災害対策本部及びキーステーションにLPガス電話相談窓口を開設し、都市ガス事業者とも連絡をとりながら県民の要望に対応することとする。</p> <p>③ 不要容器の回収 不要となったLPガス容器については、市町の廃棄物担当セクションと連携を取りながら、迅速に回収することとする。また、災害時に使用する容器には、不要になった時の返却・連絡先を明記した荷札を取り付けるなど、返却を周知することとする。</p> <p>④ 要員の確保</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p> <p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
321	<p>第3款 電気通信の確保</p> <p>[実施機関：県企画県民部災害対策局、西日本電信電話㈱、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱、KDDI㈱]</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(3) 優先復旧等 追加</p> <p>2 西日本電信電話㈱、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱の応急対策</p> <p>西日本電信電話㈱、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱各社は、連携を図りながら、次のとおり応急対策を実施することとする。</p>	326	<p>第3款 電気通信の確保</p> <p>[実施機関：県企画県民部災害対策局、西日本電信電話㈱、㈱NTTドコモ関西支社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱、KDDI㈱、ソフトバンクテレコム㈱、ソフトバンクモバイル㈱]</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(3) 優先復旧等</p> <p>③ <u>情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</u></p> <p>2 西日本電信電話㈱、㈱NTTドコモ関西支社及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱の応急対策</p> <p>西日本電信電話㈱、㈱NTTドコモ関西支社及びエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ㈱各社は、連携を図りながら、次のとおり応急対策を実施することとする。</p> <p>4 <u>ソフトバンクテレコム㈱及び、ソフトバンクモバイル㈱の応急対策</u></p> <p><u>ソフトバンクテレコム㈱、ソフトバンクモバイル㈱は、連携を図りながら、次のとおり応急対策を実施することとする。</u></p> <p>(1) <u>災害発生直後の対応</u></p> <p>① <u>情報収集および被害状況の把握</u></p> <p><u>設備の被害状況の把握、復旧に必要な資材、要員の確保。</u></p> <p>② <u>防災組織の確立</u></p> <p><u>災害発生時、速やかに通信ネットワークの復旧対応を行う体制をとり、社内基準に基づき災害対策本部を設置し、ネットワーク復旧対策を講じる。</u></p> <p><u>また、必要に応じて、全国から要員派遣、復旧資材を含めた物資供給等を行う。</u></p>	<p>組織名変更による修正</p> <p>指定公共機関追加に伴う修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p> <p>組織名変更による修正</p> <p>指定公共機関追加に伴う修正</p>
追加		328		

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	<p>追加</p> <p>第4款 水道の確保 第2 内容 1 県の応急対策 (2) 復旧過程 追加</p>	328	<p>(2) 復旧作業にいたるまでの対応</p> <p>① 応急措置 大災害発生時に幅輻拡大による、通信ネットワークのシステムダウン（通信障害）を防ぎ、電気通信事業法の定めに従って110番や119番などの重要通信の疎通を確保するため、幅輻の規模に応じて一般通信サービスを一時的に規制する場合がある。</p> <p>② 応急復旧 移動電源車・移動無線基地局車・可搬型基地局による復旧。 基地局停電対応として、移動電源車を出動させ電源を確保する。 基地局が利用できなくなった場合には、移動無線基地局車を出動させ、通信エリアを確保する。また、小規模な避難所等には可搬型臨時基地局を設置し、通信サービスを復旧させる。</p> <p>③ 公共機関による復旧活動への支援・協力 災害救助法適用時には公共機関の借用依頼に応じて、災害復旧活動に利用する携帯電話、衛星電話の貸出を行う。（借用台数等、依頼内容によっては貸出できない場合あり。）</p> <p>④ 災害時のWEBサイト・報道発表による障害状況および復旧状況の告知 大規模災害が発生した場合には、被災地における障害状況や復旧状況、臨時基地局の稼働状況、ソフトバンクショップの営業状況などを、WEBサイトで地図等を用いて情報を公開する。</p> <p>第4款 水道の確保 第2 内容 1 県の応急対策 (2) 復旧過程</p>	<p>指定公共機関追加に伴う修正</p>
323		329	<p>③ 情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</p>	<p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
325	<p>第5款 下水道の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(2) 復旧までの支援・調整</p> <p>応急復旧完了までの間は、県は被災した下水道施設の被害状況、応急復旧の進捗状況、復旧の見込み、人員・復旧用資機材の充足状況、外部支援の状況等の調査を継続的に収集し、支援・調整を行うこととする。</p> <p>追加</p>	331	<p>第5款 下水道の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(2) 復旧過程</p> <p>① 復旧までの支援・調整</p> <p>応急復旧完了までの間は、県は被災した下水道施設の被害状況、応急復旧の進捗状況、復旧の見込み、人員・復旧用資機材の充足状況、外部支援の状況等の調査を継続的に収集し、支援・調整を行うこととする。</p> <p>② <u>情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</u></p>	<p>他の災害編の書きぶりにあわせた修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p>
328	<p>第6款 工業用水道の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(2) 復旧までの支援・調整</p> <p>応急復旧完了までの間、県は被災した工業用水道施設の被災状況、応急復旧の進捗状況、復旧の見込み、作業人員、復旧用資機材等の充足状況、外部支援の状況等の現地情報を継続的に収集し、支援・調整を行うとともに、応急復旧の進捗状況、復旧の見通しについて広報を行うこととする。</p> <p>追加</p>	334	<p>第6款 工業用水道の確保</p> <p>第2 内容</p> <p>1 県の応急対策</p> <p>(2) 復旧過程</p> <p>① 復旧までの支援・調整</p> <p>応急復旧完了までの間、県は被災した工業用水道施設の被災状況、応急復旧の進捗状況、復旧の見込み、作業人員、復旧用資機材等の充足状況、外部支援の状況等の現地情報を継続的に収集し、支援・調整を行うとともに、応急復旧の進捗状況、復旧の見通しについて広報を行うこととする。</p> <p>② <u>情報収集で得た航空写真・画像等については、ライフライン施設の被害状況の早期把握のため、ライフライン事業者等の要望に応じて、情報提供に努めることとする。</u></p>	<p>他の災害編の書きぶりにあわせた修正</p> <p>国防災基本計画にあわせた修正</p>

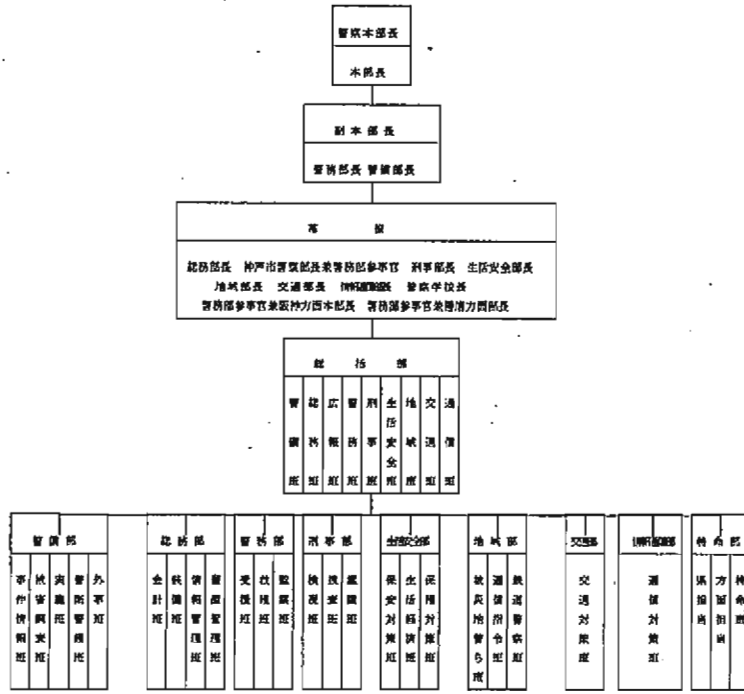
頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
334	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第19節 警備対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 災害時における警察活動</p> <p>(1) 被害実態の把握 (2) 被災者の救出救護 (3) 危険箇所の実態把握及び警戒 (4) 気象情報等の収集及び伝達 (5) 危険区域居住者に対する避難の指示、警告及び誘導 (6) 行方不明者の捜索及び死体の見分 (7) 被災地等における交通の安全と円滑の確保 (8) 被災地等における犯罪の予防検挙 (9) 地域安全情報、地域関連情報等の広報活動 (10) 関係機関の行う災害復旧活動に対する援助活動</p> <p>2 警備体制の区分</p> <p>警察本部長は、災害が発生し、又はそのおそれがあるときは、災害の種類、規模、被害状況等に応じて、その都度、警察署を示して次に定める体制を発令することとする。</p> <p>(1) 甲号災害警備体制（緊急体制）</p> <p>① 震度5強以上の地震により、県下に大被害が発生したとき。 ② 県下において、大津波警報が発表され、大被害が発生し、又はそのおそれがあるとき。</p> <p>(2) 乙号災害警備体制（非常体制）</p> <p>① 震度5強以上の地震により、県下に相当な被害が発生したとき。 ② 県下において、津波警報が発表され、相当な被害が発生し、又はそのおそれがあるとき。</p> <p>(3) 丙号災害警備体制（警戒体制）</p> <p>① 県下において、震度5弱又は震度4の地震が発生したとき。 ② 県下において、津波注意報が発表され、今後の水位及び潮位の状況で県下に被害が発生するおそれがあるとき。</p>	<p>340</p> <p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第19節 警備対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 基本方針</p> <p><u>災害警備活動は、警察各部門が相互に連携して一体的な活動を展開するとともに、県・市町等の行政機関、消防機関及び自衛隊等の防災関係機関と緊密な連携を図り、総合的な災害対策を推進し、県民の生命及び身体の保護を第一とした活動を行うこととする。</u></p> <p>2 災害警備本部の設置等</p> <p>(1) 災害警備体制の種類</p> <p><u>災害警備体制は災害警備本部体制及び準災害警備本部体制とし、災害警備本部体制にあつては、A号、B号及びC号に区分する。</u></p> <p>(2) 兵庫県警察災害警備本部及び兵庫県災害警備対策室等の設置</p> <p><u>警察本部長は、災害警備本部体制を発令したときは、警察本部長を長とする兵庫県警察災害警備本部を、準災害警備本部体制を発令したときは、警備部長を長とする兵庫県警察災害警備対策室を警察本部等に設置する。</u></p> <p>3 警察本部の災害警備本部体制の種類及び発令基準</p> <p>(1) A号災害警備本部体制</p> <p>① <u>県内における震度6強以上の地震を観測したとき。</u> ② <u>県内に大津波警報の発表があつたとき。</u></p> <p>(2) B号災害警備本部体制</p> <p>① <u>県内における震度6弱の地震を観測したとき。</u> ② <u>県内に津波警報の発表があつたとき。</u> ③ <u>県内の大雨、大雪、暴風、暴風雪及び高潮に係る特別警報の発表があつたとき。</u></p> <p>(3) C号災害警備本部体制</p> <p><u>県内における震度5強の地震を観測したとき。</u></p>	<p>関係機関からの修正 意見に基づく修正</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
334	<p>3 警備体制の変更等</p> <p>(1) 警察本部長は、気象条件の悪化又は好転、危険の増減、被災地における応急措置の状況、情勢の変化等に応じて、警備体制の変更又は解除を発令することとする。</p> <p>(2) 警察署長は、管轄区域の状況により必要と認めるときは、警察本部長が災害警備体制を発令しない場合においても、所要の警備体制をとることができることとする。</p> <p>(3) 警察署長は、管轄区域の状況により必要があると認めるときは、警察本部長が発令した警備体制のうち、乙号災害警備体制については甲号災害警備体制を、丙号災害警備体制については乙号又は甲号災害警備体制をとることができることとする。</p> <p>4 災害警備本部の設置等</p> <p>(1) 兵庫県警察災害警備本部及び兵庫県警察災害警備連絡本部の設置 警察本部長は、甲号又は乙号災害警備体制を発令したときは、兵庫県警察災害警備本部を、丙号災害警備体制を発令したときは、兵庫県警察災害警備連絡本部を県警察本部に設置することとする。</p> <p>(2) 警察署災害警備本部又は警察署災害警備連絡本部の設置 警察署長は、甲号又は乙号災害警備体制を発令したときは、警察署災害警備本部を、丙号災害警備体制を発令したときは、警察署災害警備連絡本部を警察署に設置することとする。</p>	340	<p>(4) 準災害警備本部体制</p> <p>① 県内における震度5弱又は震度4の地震を観測したとき。</p> <p>② 県内に津波注意報の発表があったとき。</p> <p>③ 県内の大雨、大雪、暴風、暴風雪及び高潮に係る警報の発表があったとき。</p> <p>4 災害警備体制の発令等</p> <p>(1) 警察本部長は、上記基準に該当する状況を認知したときは、災害警備体制を発令することとする。 ただし、上記基準に該当しない場合において、県内で災害が発生し、又は発生するおそれがあると認めるときは、被害の状況及び被害の程度又は見込まれる被害を勘案して相当の災害警備体制を発令することができる。</p> <p>(2) 警察本部長は、気象条件の悪化又は好転、危険の増減、被災地における応急措置の状況等、情勢の変化等並びに被害の程度及び見込まれる被害を勘案して、災害警備体制の種類の変更又は解除を発令することとする。</p>	<p>関係機関からの修正意見に基づく修正</p>

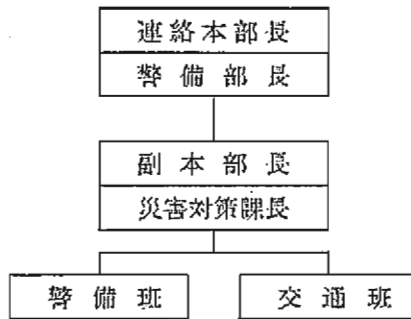
頁
335

現 行

5 兵庫県警察災害警備本部指揮系統図



6 兵庫県警察災害警備対策室指揮系統図

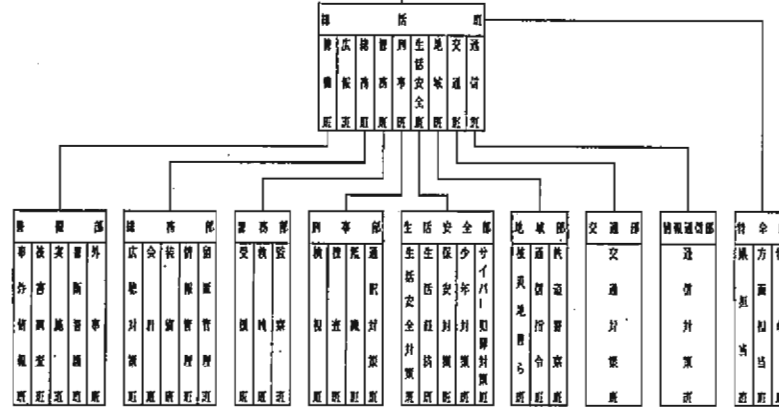


頁
341

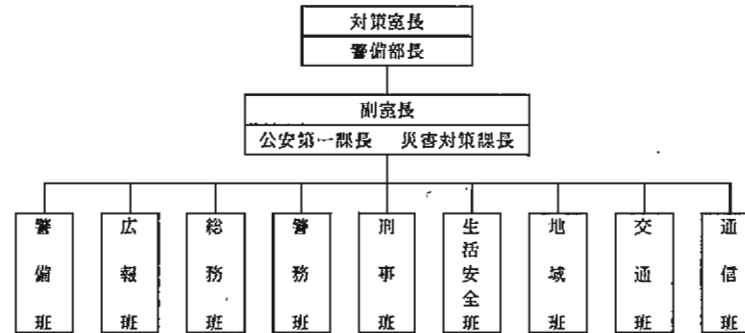
修 正 案

5 兵庫県警察災害警備本部指揮系統図

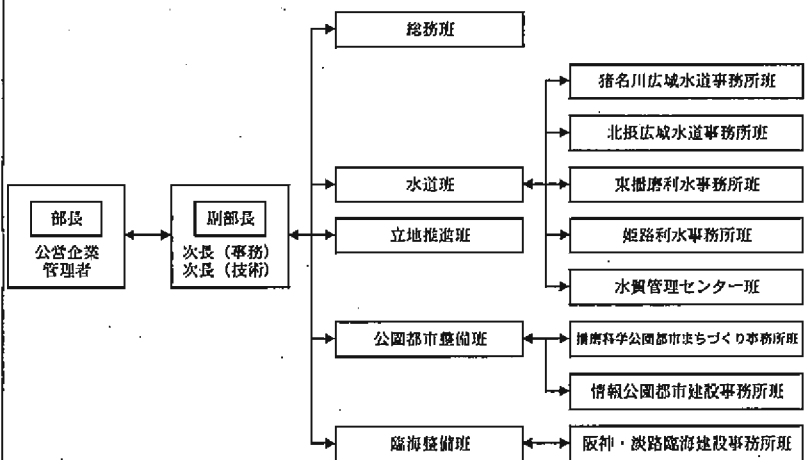
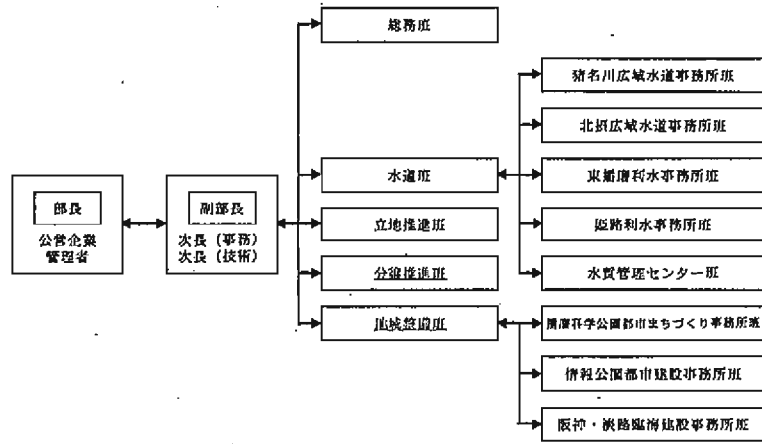
警備本部長	警備本部長
副本部長	警備部長 警備部長
部	総務部長 (兼) 警務部長 刑事部長 生活安全部長 地域部長 交通部長
	(兼) 警備部長 神戸市警察部長兼第一方面本部長 警察学校長 警務課長
	第二方面本部長 第三方面本部長 第四方面本部長兼訓練部長
	刑事部警備課長 生活安全部警備課長 交通部警備課長
近畿地区警察局長兼兵庫地区通信部長	



6 兵庫県警察災害警備対策室指揮系統図



対応
関係機関からの修正
意見に基づく修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
336	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第20節 企業庁応急対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 組織</p> <p>(1) 企業部は部長、副部長、班長をもって構成する。 (2) 部長には公営企業管理者をもって充てる。 (3) 副部長には次長(事務)、次長(技術)をもって充てる。 (4) 班長には各課室長をもって充てる。</p> <p>2 動員</p> <p>(1) 動員の連絡</p> 	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第20節 企業庁応急対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>1 組織</p> <p>(1) 企業部は部長、副部長、班長をもって構成する。 (2) 部長には公営企業管理者をもって充てる。 (3) 副部長には次長(事務)、次長(技術)をもって充てる。 (4) 班長には各課長をもって充てる。</p> <p>2 動員</p> <p>(1) 動員の連絡</p> 	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
337	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第21節 農林水産関係対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>2 家畜防疫対策</p> <p>(1) 家畜保健衛生所は、市町及び県農業共済組合連合会家畜診療所等を通じて畜舎及び家畜の被害状況を把握することとする。</p> <p>(2) 家畜保健衛生所は、県農業共済組合連合会家畜診療所に対し、救命治療の実施体制を整備し、獣医師及び動物用医薬品の確保を図るよう指導することとする。</p> <p>(3) 家畜保健衛生所は、家畜の被害状況を勘案し、死亡家畜の処分施設、場所の確保を図ることとする。</p> <p>(4) 家畜保健衛生所は、汚染物等の流出の危険がある畜舎に対し、流出阻止及び消毒の実施を指導することとする。</p> <p>(5) 家畜保健衛生所は、発生のおそれのある疾病についてのワクチン接種を行うこととする。</p> <p>(6) 県は、必要に応じて家畜伝染病予防法第48条の2の規定に基づき他の都道府県への家畜防疫員の派遣を要請することとする。</p> <p>3 飼料確保対策</p> <p>(1) 県は、飼料製造施設、荷役、配送施設の被災状況を把握し、生産者団体に情報を提供することとする。</p> <p>(2) 県は、製造施設、荷役、配送施設が被災していない場合は、業界団体に対して、輸送経路を確保して農家に遅滞なく必要量を供給するための緊急輸送を行うよう指導することとする。</p> <p>(3) 県は、製造施設、荷役、配送施設が被災した場合は、業界団体に対して、被災地域外からの緊急輸送、製造受委託による被災地域外への生産シフト等により当面の必要量を確保するように指導することとする。</p>	343	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第21節 農林水産関係対策の実施</p> <p>第2 内容</p> <p>2 家畜防疫対策</p> <p>県は、市町及び家畜関係団体と協力して、次の対策を図ることとする。</p> <p>(1) <u>畜舎及び家畜の被害状況の把握</u></p> <p>(2) <u>救命治療の体制の整備と獣医師及び動物用医薬品の確保</u></p> <p>(3) <u>死亡家畜の処分施設、場所の調整、確保</u></p> <p>(4) <u>家畜の逸走防止、家畜排せつ物の流出阻止及び消毒の指導</u></p> <p>(5) <u>発生のおそれのある疾病についてのワクチン接種</u></p> <p>(6) <u>他の都道府県への家畜防疫員の派遣要請</u></p> <p>3 飼料確保対策</p> <p>県は、市町及び家畜関係団体と協力して、次の対策を図ることとする。</p> <p>(1) <u>飼料製造施設、荷役、配送施設の被災状況把握と生産者団体への情報提供</u></p> <p>(2) <u>(1)の施設が被災施設が被災していない場合における業界団体に対する輸送経路の確保と遅滞なく必要量を供給するための緊急輸送の指導</u></p> <p>(3) <u>(1)の施設が被災した場合における業界団体に対する当面の必要量の確保指導</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p> <p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
338	<p>10 流通対策</p> <p>県は、被害の場所、生産物の種類ならびに被害の程度により異なるが、災害発生時において情報収集に努めるとともに、関係者に対し出荷先の変更及び輸送経路の迂回等の指導を行い、滞貨を防止し、価格の維持に努めることとする。</p> <p>(1) 畜産</p> <p>① 県は、食肉センター、食鳥処理場、乳業工場、集出荷施設等の被災状況を把握し、生産者団体に情報を提供することとする。</p> <p>② 家畜保健衛生所は、県農業共済組合連合会家畜診療所を通じ、被災家畜の予後を判定し、農家に緊急出荷を指導することとする。</p> <p>③ 県は生産者団体を通じ、出荷先の被害状況等を勘案して出荷経路の確保及び出荷先変更、又は貯蔵施設等への一時保管及び出荷待機等を農家に指導することとする。</p>	344	<p>10 流通対策</p> <p>県は、<u>市町及び関係団体等と協力して、情報収集に努めるとともに、関係者に対し出荷先の変更及び輸送経路の迂回等の指導を行い、滞貨を防止し、価格の維持に努めることとする。</u></p> <p>(1) 畜産</p> <p>① <u>食肉センター、食鳥処理場、乳業工場、集出荷施設等における被災状況の把握と生産者団体への情報提供。</u></p> <p>② <u>被災家畜の予後判定と緊急出荷の指導</u></p> <p>③ <u>出荷経路の確保及び出荷先変更、又は貯蔵施設等への一時保管及び出荷待機等の指導</u></p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	修 正 案	対 応
339	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第22節 公共土木施設等の応急復旧及び二次災害防災対策の推進</p> <p>[実施機関：近畿地方整備局、神戸海洋气象台、自衛隊、県企画管理部災害対策局、県農政環境部農林水産局、県県土整備部土木局、県県土整備部まちづくり局、県県土整備部住宅建築局、県警察本部、市町]</p>	<p>第3編 災害応急対策計画 第3章 円滑な災害応急活動の展開</p> <p>第22節 公共土木施設等の応急復旧及び二次災害防災対策の推進</p> <p>[実施機関：近畿地方整備局、<u>神戸地方气象台</u>、自衛隊、県企画管理部災害対策局、県農政環境部農林水産局、県県土整備部土木局、県県土整備部まちづくり局、県県土整備部住宅建築局、県警察本部、市町]</p>	<p>組織名変更による修正</p>
345	<p>第2 内容</p> <p>1 実施体制</p>	<p>第2 内容</p> <p>1 実施体制</p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p> <p>県の組織改編に基づ く修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
340	<p>2 対策内容</p> <p>(3) 河川</p> <p>② 管理者は、危険箇所について、関係機関への連絡や県民への周知、警戒避難体制の整備を図ることとする。</p>	346	<p>2 対策内容</p> <p>(3) 河川</p> <p>② 管理者は、危険箇所について、関係機関への連絡や県民への周知を通じて、<u>警戒避難行動の支援</u>を図ることとする。</p>	<p>所管課からの修正意見に基づく修正</p>

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
347	<p>第3編 災害応急対策計画 第4章 その他の災害の応急対策の推進</p> <p>第2節 大規模火災の応急対策の推進</p> <p>第2 内容 4 応援 (1) 知事の応援指示権の発動</p> <p>県は、数市町にまたがる広域災害又は一市町における全域災害等で、必要がある場合には、災害対策基本法第72条及び消防組織法第24条の2の規定による非常事態の際の知事の指示権によって災害防除活動及び応急復旧作業の円滑かつ的確を期するため、次の区分により市町長に応援出動を指示して人的確保に努めることとする。</p>	353	<p>第3編 災害応急対策計画 第4章 その他の災害の応急対策の推進</p> <p>第2節 大規模火災の応急対策の推進</p> <p>第2 内容 4 応援 (1) 知事の応援指示権の発動</p> <p>県は、数市町にまたがる広域災害又は一市町における全域災害等で、必要がある場合には、災害対策基本法第72条及び消防組織法第43条の規定による非常事態の際の知事の指示権によって災害防除活動及び応急復旧作業の円滑かつ的確を期するため、次の区分により市町長に応援出動を指示して人的確保に努めることとする。</p>	法改正に伴う修正

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
	第4編 災害復旧計画		第4編 災害復旧計画	
	第1節 災害復旧事業の実施		第1節 災害復旧事業の実施	
	第2 内容		第2 内容	
361	1 災害復旧事業の種類 (1) 公共土木施設復旧事業	367	1 災害復旧事業の種類 (1) 公共土木施設災害復旧事業	所管課からの修正意見に基づく修正
362	2 激甚災害の指定 (2) 激甚災害に係る財政援助措置 ク 身体障害者更生援護施設災害復旧事業 ケ 知的障害者援護施設災害復旧事業 コ 婦人保護施設災害復旧事業 サ 感染症指定医療機関災害復旧事業 シ 感染症予防事業	368	2 激甚災害の指定 (2) 激甚災害に係る財政援助措置 ク 障害者福祉施設災害復旧事業 ケ 婦人保護施設災害復旧事業 コ 感染症指定医療機関災害復旧事業 サ 感染症予防事業	所管課からの修正意見に基づく修正
	ス 堆積土砂排除事業 { (公共的施設区域内) (公共的施設区域外)		シ 堆積土砂排除事業 { (公共的施設区域内) (公共的施設区域外)	
	セ 湛水排除事業		ズ 湛水排除事業	
363	(3) 局地激甚災害に係る財政援助措置 ク 身体障害者更生援護施設災害復旧事業 ケ 知的障害者援護施設災害復旧事業 コ 婦人保護施設災害復旧事業 サ 感染症指定医療機関災害復旧事業 シ 感染症予防事業	369	(3) 局地激甚災害に係る財政援助措置 ク 障害者福祉施設災害復旧事業 ケ 婦人保護施設災害復旧事業 コ 感染症指定医療機関災害復旧事業 サ 感染症予防事業	所管課からの修正意見に基づく修正
	ス 堆積土砂排除事業 { (公共的施設区域内) (公共的施設区域外)		シ 堆積土砂排除事業 { (公共的施設区域内) (公共的施設区域外)	
	セ 湛水排除事業		ズ 湛水排除事業	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応																														
	第4編 災害復旧計画		第4編 災害復旧計画																															
	第3節 住宅の復旧・再建支援		第3節 住宅の復旧・再建支援																															
	第2 内容		第2 内容																															
	1 住宅復旧の主な種類と順序		1 住宅復旧の主な種類と順序																															
367	(5) 土地区画整理法による土地区画整理の設計及び事業実施	373	(5) 土地区画整理法による土地区画整理事業の計画及び実施	所管課からの修正意見に基づく修正																														
	4 被災住宅に対する融資等	374	4 被災住宅に対する融資等																															
	(1) 災害復興住宅建設、購入又は補修資金の貸付		(1) 災害復興住宅建設、購入又は補修資金の貸付																															
	④ 条件 (平成 25 年 4 月 17 日現在)		④ 条件 (平成 26 年 4 月 1 日現在)	現状にあわせた時点修正																														
368	ア 融資限度額 (建設融資の場合)		ア 融資限度額 (建設融資の場合)																															
	住宅 耐火・準耐火・木造 (耐久性) 構造… 1,460 万円		住宅 耐火・準耐火・木造 (耐久性) 構造… 1,500 万円																															
	土地取得費 …………… 970 万円		土地取…………… 970 万円																															
	整地費 …………… 390 万円		整地費 …………… 400 万円																															
	イ 貸付利率		イ 貸付利率																															
	年 1.20% (平成 25 年 4 月 17 日現在)		年 1.28% (平成 26 年 4 月 1 日現在)																															
	6 兵庫県住宅再建共済制度に基づく給付	375	6 兵庫県住宅再建共済制度に基づく給付																															
369	(2) 共済給付金		(2) 共済給付金																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>住宅再建共済制度</th> <th>マンション共用部分再建共済制度</th> <th>家財再建共済制度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円</td> <td>○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限)</td> <td>○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円</td> </tr> <tr> <td>○全壊で住宅補修 200 万円</td> <td>○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数</td> <td>○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円</td> </tr> <tr> <td>○大規模半壊で住宅補修 100 万円</td> <td>○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数</td> <td>○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円</td> </tr> <tr> <td>○半壊で住宅補修 50 万円</td> <td>○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数</td> <td>○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円</td> </tr> <tr> <td>○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	住宅再建共済制度	マンション共用部分再建共済制度	家財再建共済制度	○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円	○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限)	○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円	○全壊で住宅補修 200 万円	○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数	○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円	○大規模半壊で住宅補修 100 万円	○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数	○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円	○半壊で住宅補修 50 万円	○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数	○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円	○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>本体制度 (半壊以上を対象とする制度)</th> <th>付加制度 【一部限額超過給付 10% 以上を対象とする制度】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅再建共済制度</td> <td>○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円 ○全壊で住宅補修 200 万円 ○大規模半壊で住宅補修 100 万円 ○半壊で住宅補修 50 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円</td> <td>○一部限額超過給付 10% 以上で新たな住宅建築・購入 25 万円 ○一部限額超過給付 10% 以上で住宅補修 25 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円</td> </tr> <tr> <td>マンション共用部分再建共済制度</td> <td>○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数 ○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数 ○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数</td> <td>○一部限額超過給付 10% 以上で新たなマンション建築 12 万 5 千円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○一部限額超過給付 10% 以上でマンション補修 12 万 5 千円×加入住戸数</td> </tr> <tr> <td>家財再建共済制度</td> <td>○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円 ○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円 ○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円 ○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	本体制度 (半壊以上を対象とする制度)	付加制度 【一部限額超過給付 10% 以上を対象とする制度】	住宅再建共済制度	○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円 ○全壊で住宅補修 200 万円 ○大規模半壊で住宅補修 100 万円 ○半壊で住宅補修 50 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円	○一部限額超過給付 10% 以上で新たな住宅建築・購入 25 万円 ○一部限額超過給付 10% 以上で住宅補修 25 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円	マンション共用部分再建共済制度	○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数 ○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数 ○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数	○一部限額超過給付 10% 以上で新たなマンション建築 12 万 5 千円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○一部限額超過給付 10% 以上でマンション補修 12 万 5 千円×加入住戸数	家財再建共済制度	○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円 ○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円 ○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円 ○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円		所管課からの修正意見に基づく修正
住宅再建共済制度	マンション共用部分再建共済制度	家財再建共済制度																																
○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円	○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限)	○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円																																
○全壊で住宅補修 200 万円	○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数	○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円																																
○大規模半壊で住宅補修 100 万円	○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数	○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円																																
○半壊で住宅補修 50 万円	○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数	○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円																																
○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円																																		
区 分	本体制度 (半壊以上を対象とする制度)	付加制度 【一部限額超過給付 10% 以上を対象とする制度】																																
住宅再建共済制度	○全壊・大規模半壊・半壊で新たな住宅建築・購入 600 万円 ○全壊で住宅補修 200 万円 ○大規模半壊で住宅補修 100 万円 ○半壊で住宅補修 50 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円	○一部限額超過給付 10% 以上で新たな住宅建築・購入 25 万円 ○一部限額超過給付 10% 以上で住宅補修 25 万円 ○上記以外で新たな住宅等に居住 10 万円																																
マンション共用部分再建共済制度	○全壊・大規模半壊・半壊で新たなマンション建築 300 万円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○全壊でマンション補修 100 万円×加入住戸数 ○大規模半壊でマンション補修 50 万円×加入住戸数 ○半壊でマンション補修 25 万円×加入住戸数	○一部限額超過給付 10% 以上で新たなマンション建築 12 万 5 千円×新築マンション住戸数 (加入住戸数が上限) ○一部限額超過給付 10% 以上でマンション補修 12 万 5 千円×加入住戸数																																
家財再建共済制度	○住宅が全壊で家財購入・補修 50 万円 ○住宅が大規模半壊で家財購入・補修 35 万円 ○住宅が半壊で家財購入・補修 25 万円 ○住宅が床上浸水で家財購入・補修 15 万円																																	

頁	現 行	頁	修 正 案	対 応
375	<p>第5編 災害復興計画</p> <p>第2節 復興計画の策定</p> <p>第2 内容</p> <p>1 復興計画の基本的な考え方</p> <p>県は、県の総合計画等との整合性を図りつつ、被災者、各分野にわたる有識者、市民団体等の参画、提案等を十分に配慮するとともに被災市町の復興計画との調整を図り、震災以前の状態を回復するだけでなく、新たな視点から地域を再生することを目指し、被災の規模や社会情勢等の状況に応じた復興計画を策定することとする。</p> <p>追加</p>	381	<p>第5編 災害復興計画</p> <p>第2節 復興計画の策定</p> <p>第2 内容</p> <p>1 復興計画の基本的な考え方</p> <p>県は、県の総合計画等との整合性を図りつつ、被災者、各分野にわたる有識者、市民団体等の参画、提案等を十分に配慮するとともに<u>国の復興基本方針</u>や被災市町の復興計画とも調整を図り、震災以前の状態を回復するだけでなく、新たな視点から地域を再生することを目指し、被災の規模や社会情勢等の状況に応じた復興計画を策定することとする。</p> <p><u>市町は、必要に応じ、国の復興基本指針や県の復興計画（復興方針）に即して復興計画を作成し、同計画に基づき市街地再開発事業、土地改良事業等を実施することにより、特定大規模災害により土地の利用状況が相当程度変化した地域等における円滑かつ迅速な復興を図ることとする。</u></p> <p><u>県は、特定大規模災害からの復興のために必要な場合、関係行政機関又は関係地方行政機関に対し、職員の派遣を要請することとする。同様に市町は、必要な場合、関係地方行政機関に対し、職員の派遣を要請することとする。県は、必要に応じて職員の派遣にかかるあつせん</u>に努めることとする。</p>	<p>国防災基本計画にあ わせた修正</p>